

長野県保育士・保育所等実態調査  
報告書

2024年10月

長野県県民文化部

こども若者局こども・家庭課



## 目 次

第Ⅰ章 調査の概要	1
第Ⅱ章 保育士実態調査	5
1 保育士有資格者の全体の実態	7
（1）回答者の属性	7
（2）保育士資格の取得方法	10
（3）現在の保育士としての就業状況	13
2 保育士・保育所支援センターについて	15
（1）「長野県保育士・保育所支援センター」（旧保育士人材バンク）の認知度	15
（2）求職活動の利用機関	16
（3）保育士・保育所支援センターへの希望する相談方法	17
（4）保育士・保育所支援センターへの希望する取り組み	18
3 現役保育士向け調査	21
（1）現在の就業施設について	21
（2）保育士就業年数	28
（3）現在の職場の実態	30
（4）有給の取得状況	33
（5）給与水準の妥当性	34
（6）保育士のやりがい	35
（7）課題・悩み	36
（8）職場を選ぶ際に重視すること	38
（9）現在の職場で働き続けるために充実を希望する項目	40
（10）過去の保育士経験について	42
（11）現在の職場で改善を希望する事項	46
（12）研修の受講状況	48
（13）保育業務支援のためのシステムの導入の有無	50
（14）保育業務支援のためのシステムによる負担の軽減	52
（15）処遇改善に対する実感	57
（16）役職（上位の役職）への就任希望の有無	59
（17）今後の保育士としての継続希望	64
4 潜在保育士向け調査	71
（1）潜在保育士の過去の勤務状況	71
（2）過去に保育士として経験がある人の意見	72
（3）保育士として働いたことがない方の意見	81
（4）今後保育士として働く意向のある人の意見	84

第三章 保育所実態調査	91
（１）属性	93
（２）定員・現員について	94
（３）職員について	95
（４）ICTの導入について	105
（５）保育士数について	106
（６）施設での取り組み	108
（７）支援・制度について	109
（８）保育士の採用について	110
（９）保育補助者・保育支援者の活用について	121
（10）休暇の取得について	123
第四章 保育士養成校学生調査	125
（１）回答者の属性	127
（２）保育者を目指す理由等	128
（３）保育者の魅力	130
（４）目指す保育者像	131
（５）家族の理解	131
（６）不安に思うこと	132
（７）実習について	133
（８）県内での就職希望	134
（９）保育者確保のための支援や制度について	138
（10）保育者として働く上で重要だと思うこと	140
第五章 調査票	141

# 第 I 章 調査概要



## 1 調査目的

長野県では、今後の保育士確保、定着、再就職支援のための基礎資料とすることを目的に「長野県保育士・保育所等実態調査」を実施した。

## 2 調査対象

### (1) 保育士実態調査

県内に保育士登録のある65歳以下保育士(令和5年12月1日現在)

- ①現役保育士実態調査(保育施設に勤務する現役保育士)
- ②潜在保育士実態調査(無職又は他の仕事に就いている保育士登録者)

### (2) 保育所実態調査

県内保育施設(認可保育所、認定こども園、地域型保育事業所、へき地保育所)

### (3) 指定保育士養成校学生実態調査

県内の指定保育士養成校9校の在学学生

<回収結果>

	調査対象者	回答数	回答率	調査期間
保育士調査	22,061人	4,385人	19.9%	令和6年1月18日～2月16日
保育所調査	660施設	211施設	32.0%	令和6年3月21日～3月28日
学生調査	964人	494人	51.2%	令和6年1月18日～2月16日

## 3 調査方法

### (1) 保育士実態調査

県内に保育士登録のある65歳以下の保育士向けに二次元コード記載のチラシを郵送し、インターネットで回答

### (2) 保育所実態調査

県内保育施設向けに二次元コード記載のチラシを郵送し、インターネットで回答

### (3) 指定保育士養成校学生実態調査

県内指定保育士養成校向けに二次元コード記載のチラシを郵送し、インターネットで回答

## 4 調査結果の見方

- (1) 回答は各質問の回答者(n)を基礎とした百分率(%)で示し、小数点第2位を四捨五入した。  
(比率の合計が100.0%にならない場合がある。)
- (2) 図表の間のタイトル及び回答の選択肢を簡略化して表記している場合がある。





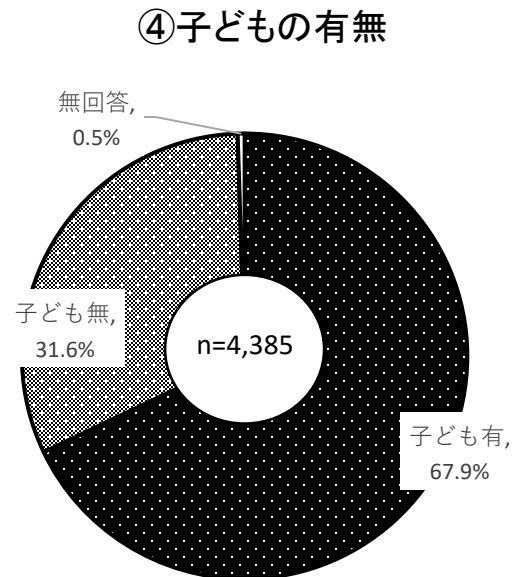
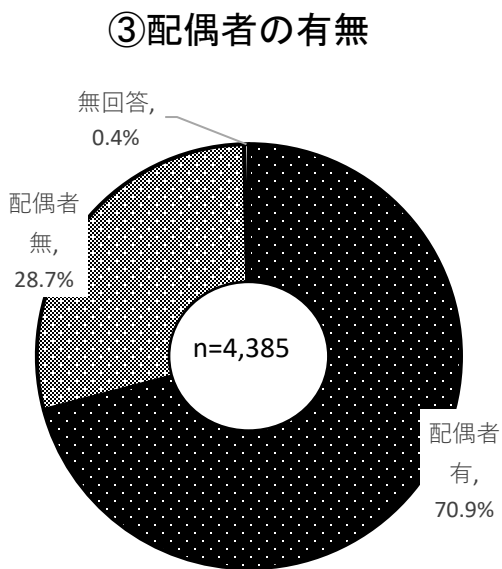
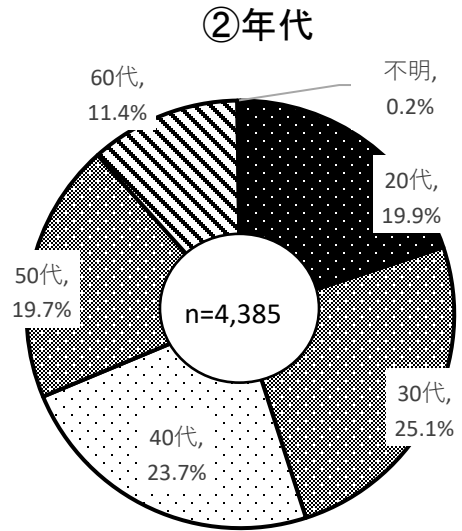
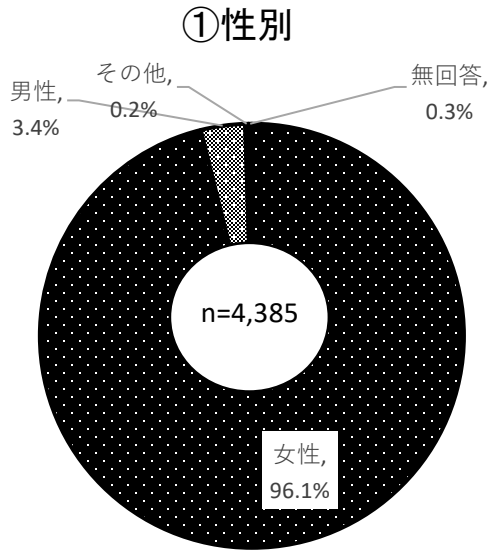
## 第Ⅱ章 保育士実態調査



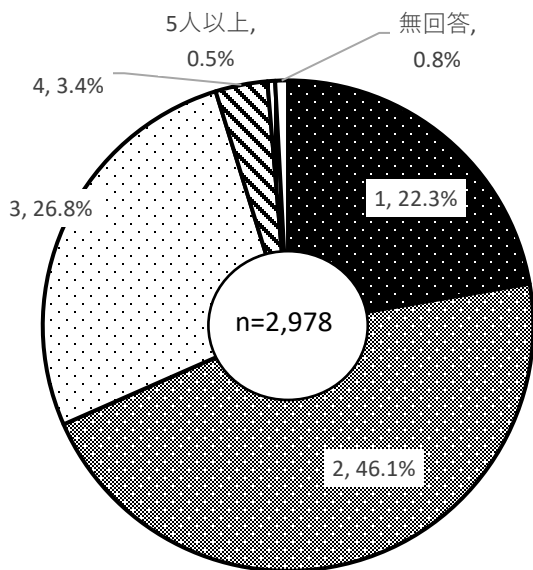
# 1 保育士有資格者の全体の実態

## (1) 回答者の属性

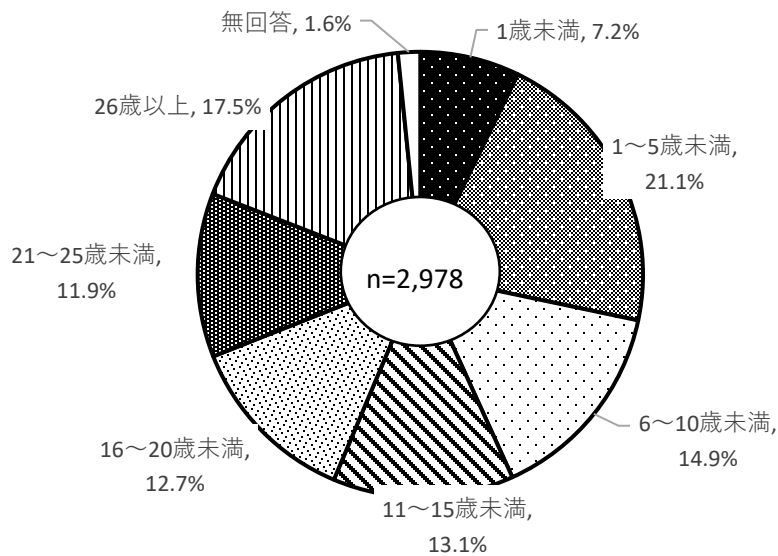
Q1 あなたご自身についてお答えください



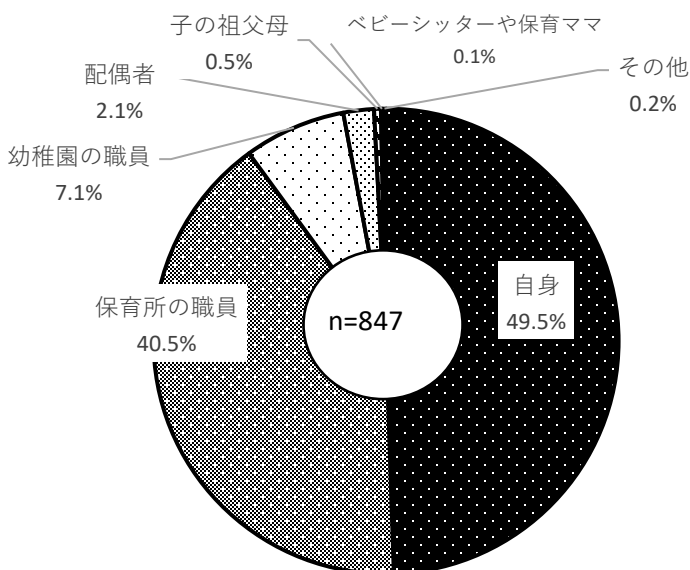
### ⑤子どもの数



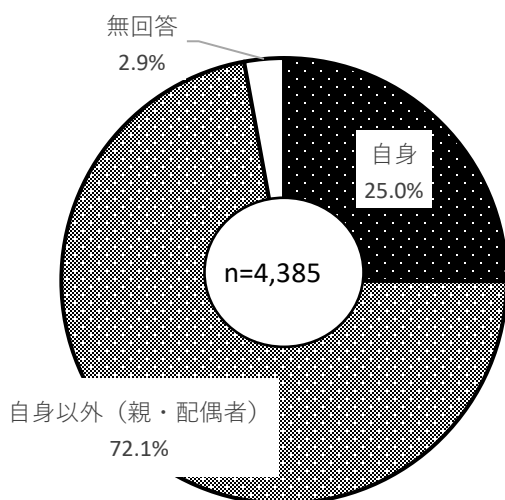
### ⑥子どもの年齢



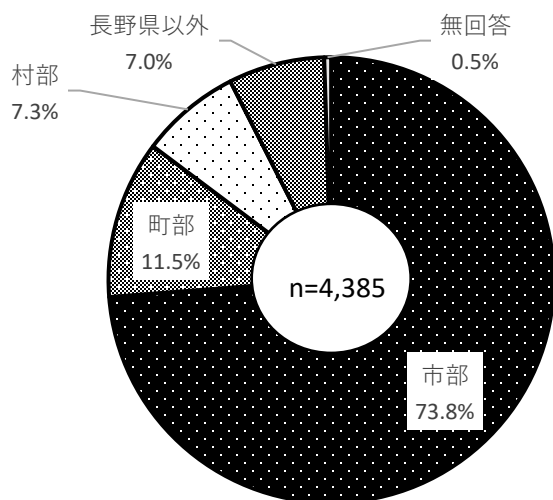
### ⑦末子の日中の主な保育者(休日除く) (未就学児がいる方のみ)



### ⑧家計の主たる生計者



Q2 あなたの現在のお住まいをお答えください。

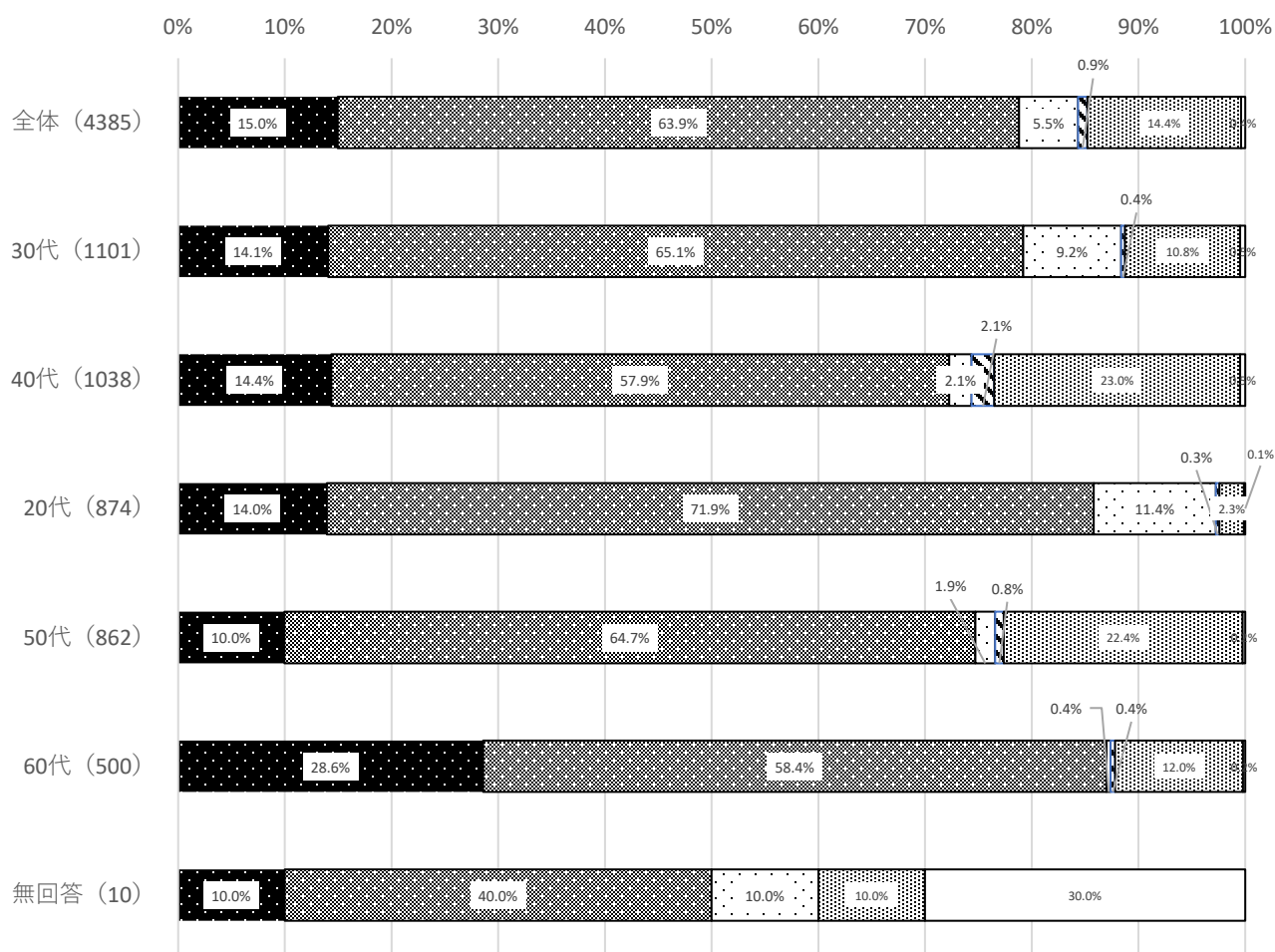


## (2) 保育士資格の取得方法

Q3 あなたの保育士資格の取得方法をお答えください。

保育士資格の取得方法は、全体で「短期大学の保育士養成課程」が63.9%と最も多く、「専門（専修）学校の保育士養成課程」（15.0%）「保育士試験」14.4%となっている。  
年代別で見ると、どの年代でも「短期大学の保育士養成課程」が最も多い。

資格取得方法



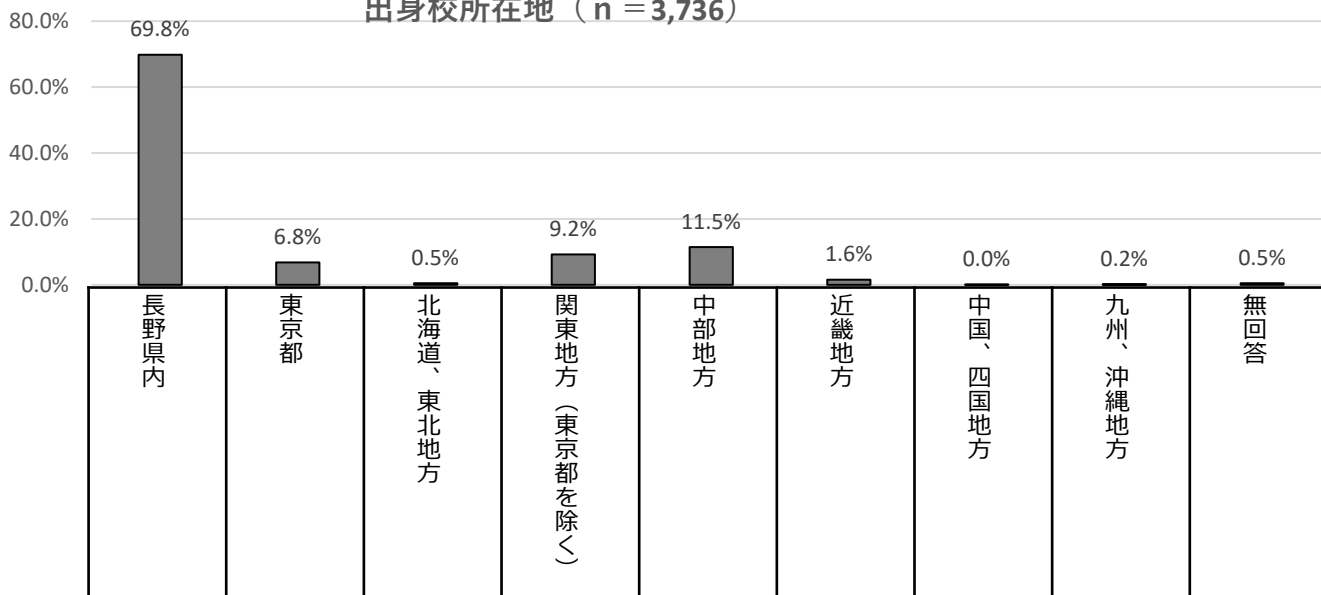
- 専門（専修）学校の保育士養成課程
- 短期大学の保育士養成課程
- 大学の保育士養成課程
- その他養成施設の保育士養成課程
- 保育士試験
- 無回答

Q4 Q3において1~4 と答えた方におたずねします。あなたが保育士資格を取得した養成施設はどこに所在していますか。

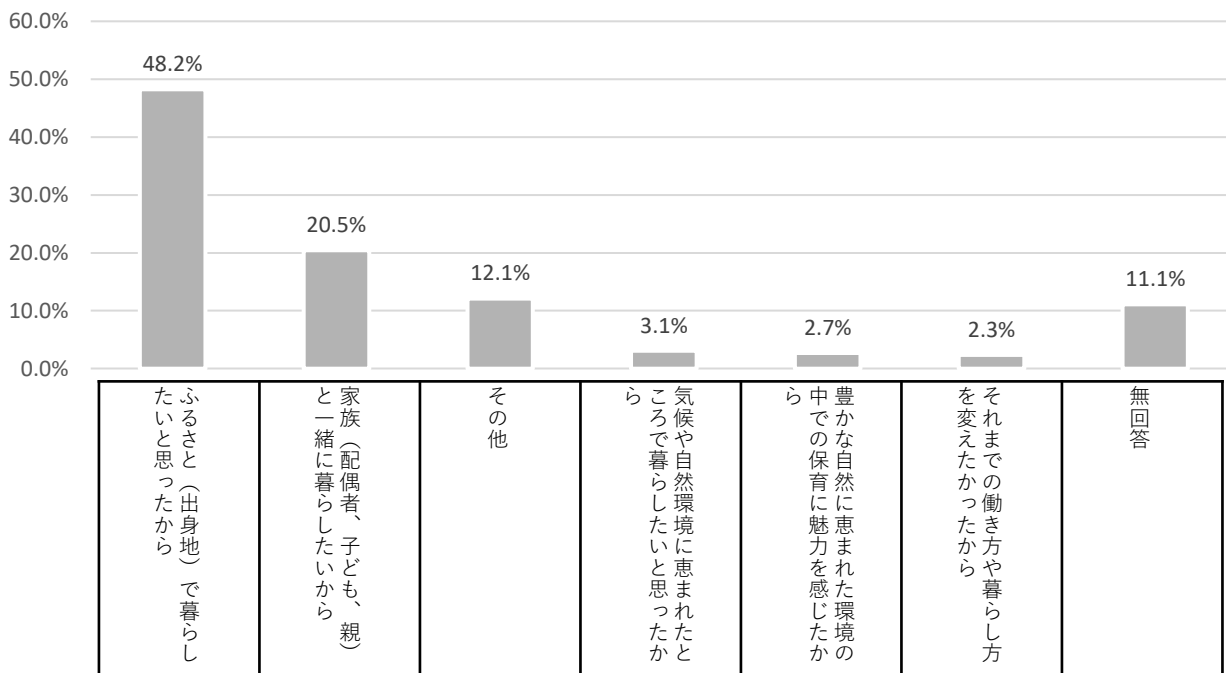
Q4-1 現在長野県に住んでおり、Q4において2~8と答えた方におたずねします。県外の養成校を卒業して長野県に住所を移した理由を教えてください。

出身保育士養成施設は「長野県内」が69.8%で最も多く、次いで「中部地方」(11.5%)となっている。  
 県外養成施設の卒業者が長野県住所を移した理由は「ふるさと(出身地)で暮らしたいと思ったから」が48.2%で最も多く、次いで「家族(配偶者、子ども、親)と一緒に暮らしたいから」(20.5%)となっている。

出身校所在地 (n = 3,736)



長野県に住所を移した理由 (n=1,109)



## その他の内容（要約）

### 1 家庭の事情

- ① 結婚や配偶者の転勤。
- ② 両親の希望や親の老後を考えて。
- ③ 実家で生活するため。

### 2 経済的な理由

- ① 給料が低く、一人暮らしが難しいため。
- ② 生活費の節約。

### 3 健康と体調

- ① 体調を崩したため実家で療養するため。
- ② 自身の健康を考えて。

### 4 地元への愛着

- ① 地元に友達が多いため。
- ② 地元での就職を希望していたから。

### 5 就職の都合

- ① 地元での保育士採用試験に合格したため。
- ② 実習先での採用が決まったため。
- ③ 長野県での求人や就職先があったため。

### 6 その他の理由

- ① 自由な時間が欲しかったから。
- ② 保育士の仕事に興味がなく、他の職につきたかったから。
- ③ 地元で働きたいと思ったから。

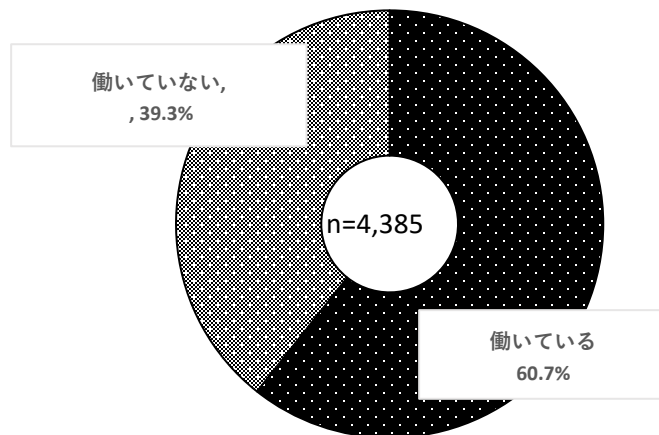


### (3)現在の保育士としての就業状況

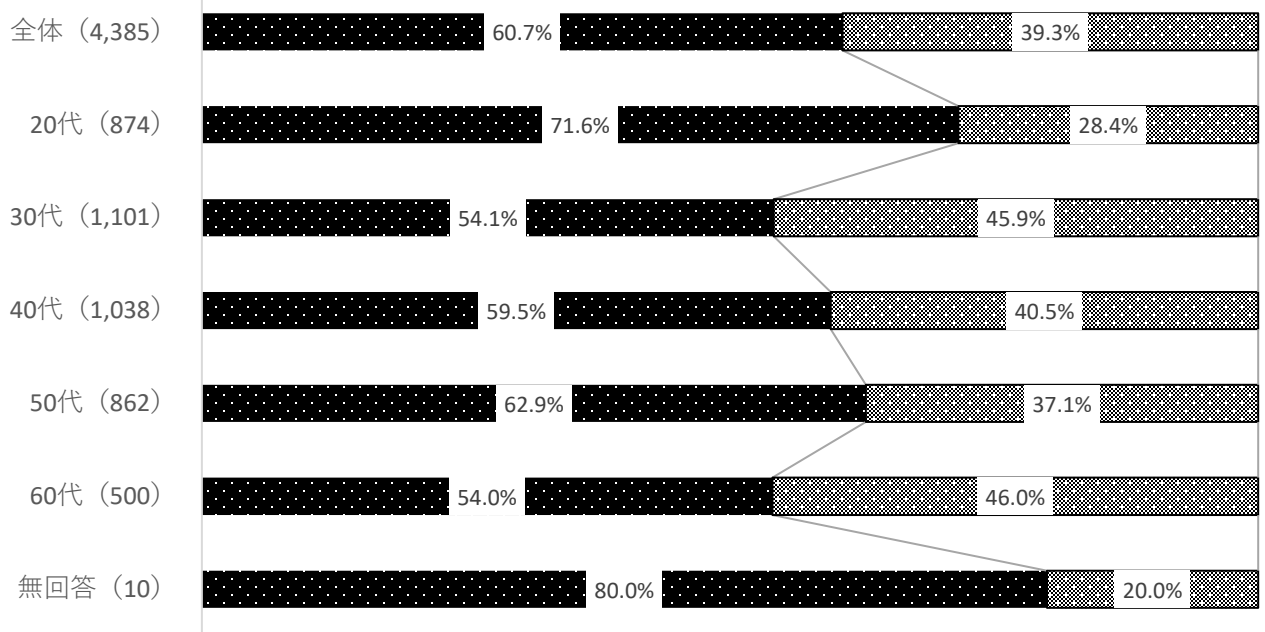
Q5 あなたは令和5年10月時点で、保育士として働いていますか。(○は1つだけ)  
現在、休職中の方(産休・育休含む)は「1.働いている」を選択してください。

現在の保育士としての就業状況は、「働いている」が約6割(60.7%)となり、「働いていない」は約4割(39.3%)となっている。

現在の保育士としての就業状況

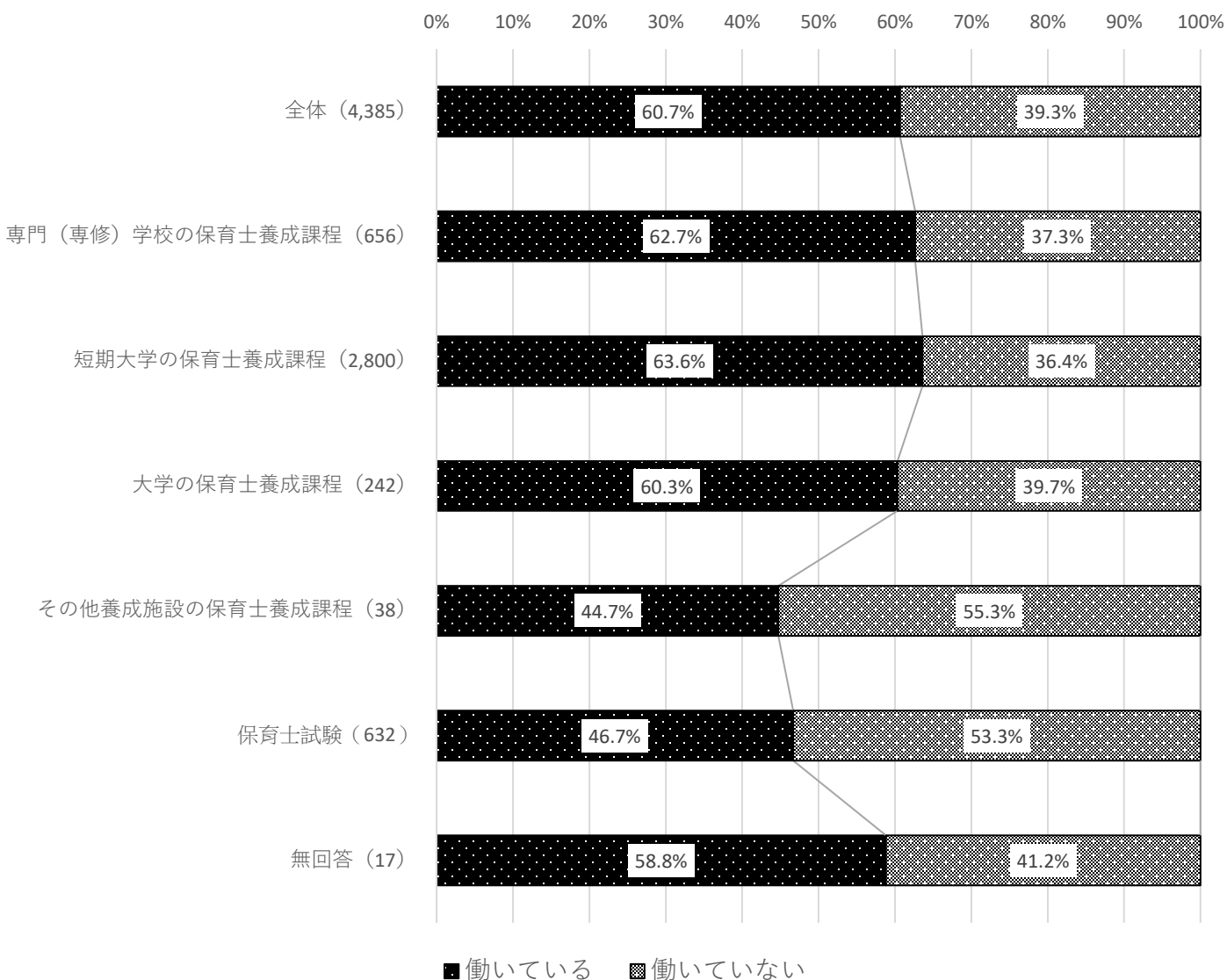


現在の保育士としての就業状況(年代別)



■ 保育士として働いている    ■ 保育士として働いていない

### 現在の保育士としての就業状況（資格取得方法別）



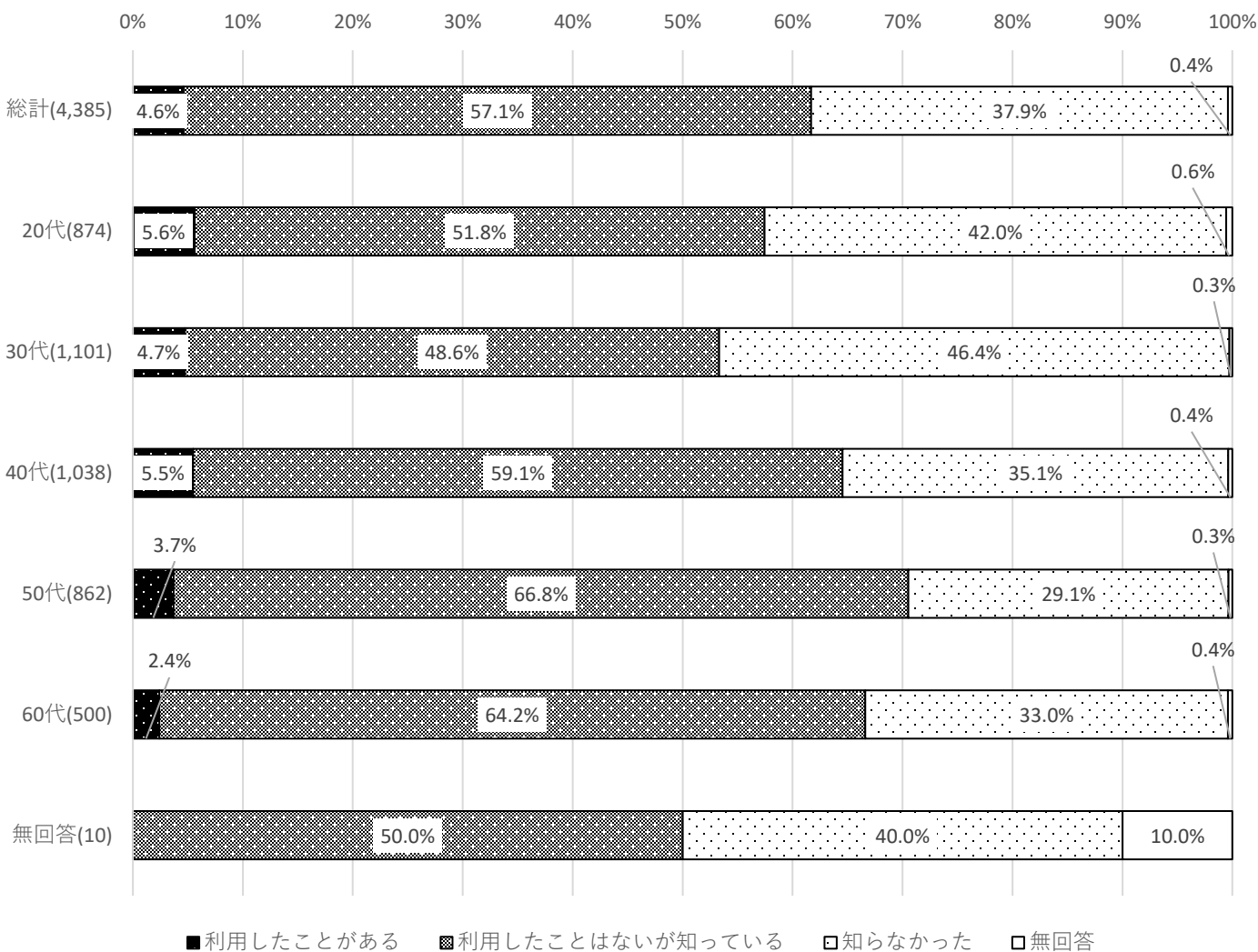
## 2 保育士・保育所支援センターについて

### (1)「長野県保育士・保育所支援センター」(旧保育士人材バンク)の認知度

CQ1 長野県では、保育士の就職支援や相談支援などを行うため、平成29年度から「長野県保育士人材バンク」を開設しています。あなたは「長野県保育士人材バンク」をご存じですか。(〇は1つだけ)

「長野県保育士・保育所支援センター（旧保育士人材バンク）」を認知している者の割合は、約6割（「利用したことがある」（4.6%）、「利用したことはないが知っている」（57.1%））となっている。

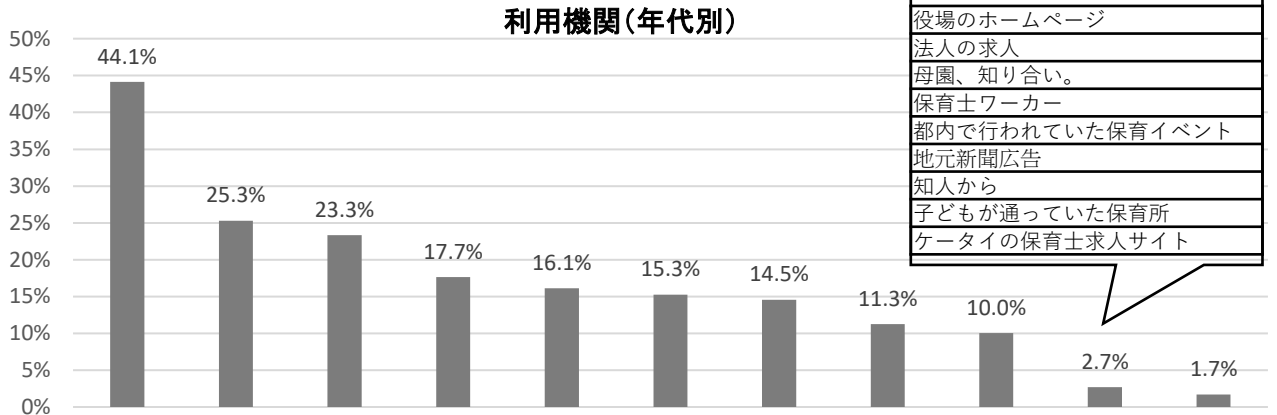
認知度(年代別)



## (2) 求職活動の利用機関

CQ2 あなたが、保育関係の求人情報を得るために利用した(する、したい)機関等を教えてください。  
(〇はいくつでも)

保育士が求人情報を得るために利用する(したい)機関は「ハローワーク」が44.1%と最も多い。  
年代別にみても30代以上はハローワークが最も多くなっている。



	n	ハローワーク	先輩や友人からの紹介	保育士仲間	長野県保育士・保育所支援センター(旧保育士人材バンク)	お住まい又は就労を希望する保育所等の所在する区市町村	卒業した学校(指定保育士養成施設)	以前の勤め先(保育所等)や同僚からの紹介	就労を希望する保育所等のホームページ・チラシ等	民間職業紹介(求人情報誌・求人サイト等)	その他(具体的に)	民間職業紹介(相談窓口)
全体	4385	44.1%	25.3%	23.3%	17.7%	16.1%	15.3%	14.5%	11.3%	10.0%	2.7%	1.7%

### 【年代】

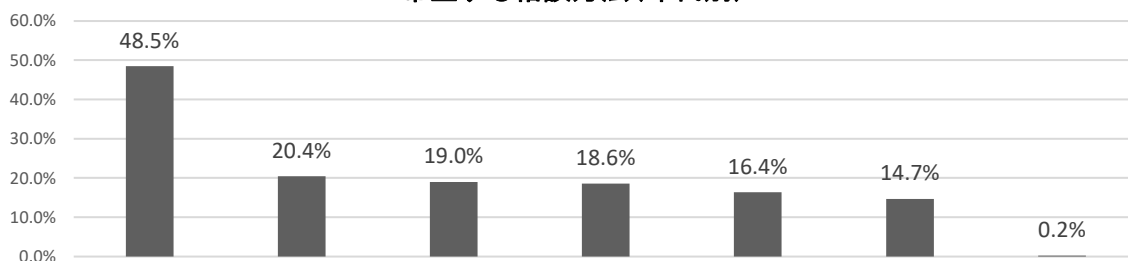
年代	n	ハローワーク	先輩や友人からの紹介	保育士仲間	長野県保育士・保育所支援センター(旧保育士人材バンク)	お住まい又は就労を希望する保育所等の所在する区市町村	卒業した学校(指定保育士養成施設)	以前の勤め先(保育所等)や同僚からの紹介	就労を希望する保育所等のホームページ・チラシ等	民間職業紹介(求人情報誌・求人サイト等)	その他(具体的に)	民間職業紹介(相談窓口)
20代	874	27.7%	19.5%	16.2%	13.8%	13.5%	40.0%	5.0%	15.3%	10.4%	3.2%	1.7%
30代	1101	50.5%	24.9%	24.0%	17.3%	14.4%	16.2%	13.3%	11.9%	9.6%	2.6%	1.7%
40代	1038	53.9%	27.7%	25.1%	20.9%	16.4%	6.9%	17.1%	11.2%	12.6%	2.7%	2.1%
50代	862	46.9%	28.1%	25.8%	20.3%	17.5%	5.9%	18.8%	8.9%	10.2%	2.2%	1.7%
60代	500	34.0%	26.8%	26.4%	14.2%	21.4%	3.6%	21.8%	7.0%	4.6%	2.8%	0.6%
無回答	10	10	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%

### (3) 保育士・保育所支援センターへの希望する相談方法

CQ3 「長野県保育士人材バンク」では、現在、来所又は電話で、保育にまつわる様々なご相談に応じています。あなたが希望する相談方法をお選びください。(〇はいくつでも)

希望する相談方法は「利用する予定はない」が48.5%と最も多く、次いで、「メール相談」(20.4%)「SNSを利用したチャット相談」(19.0%)となっている。

希望する相談方法(年代別)



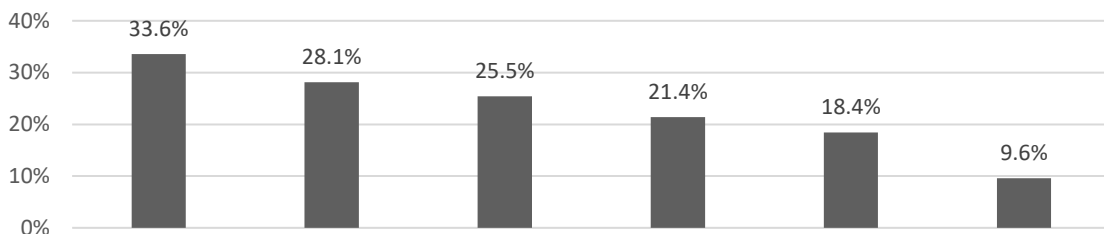
	n	利用する予定はない	メール相談	SNSを利用したチャット相談	電話相談	来所相談	オンライン相談	その他
全体	4385	48.5%	20.4%	19.0%	18.6%	16.4%	14.7%	0.2%
20代	874	42.0%	20.7%	33.9%	12.7%	16.4%	16.1%	0.0%
30代	1101	47.1%	20.2%	24.0%	16.1%	19.2%	18.6%	0.3%
40代	1038	48.5%	23.5%	17.0%	19.8%	17.1%	14.8%	0.4%
50代	862	48.5%	20.8%	9.6%	24.7%	15.8%	12.5%	0.2%
60代	500	62.4%	14.0%	2.4%	21.4%	10.2%	7.2%	0.2%
無回答	10	70.0%	0.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%

#### (4) 保育士・保育所支援センターへの希望する取り組み

CQ4 「長野県保育士人材バンク」で行っている、またはこれから行う可能性のある取り組みについて、あなたが今後利用したい(人に勧めたい)と思うものをお選びください。(〇はいくつでも)

「保育人材コーディネーター」が33.6%と最も多く、次いで、「今後利用したい(人に勧めたい)と思うものはない」(28.1%)、「保育士キャリアアドバイザー」(25.5%)となっている。

希望する取り組み(年代別)



	n	保育人材コーディネーター	今後利用したい(人に勧めたい)と思うものはない	保育士キャリアアドバイザー	職場体験	潜在保育士就職支援セミナー	オンライン就職相談会
全体	4,385	33.6%	28.1%	25.5%	21.4%	18.4%	9.6%
20代	874	36.6%	27.7%	23.0%	18.8%	12.2%	12.0%
30代	1,101	31.4%	30.5%	25.9%	19.4%	20.6%	8.6%
40代	1,038	32.7%	29.1%	26.9%	23.2%	20.3%	9.7%
50代	862	35.0%	25.3%	26.3%	23.4%	20.1%	9.0%
60代	500	32.6%	26.2%	24.6%	23.6%	17.8%	8.4%
無回答	10	20.0%	40.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%

保育人材コーディネーター：保育士資格を持った職員が保育所等や保育士さんからの様々なご相談に応じます  
 保育士キャリアアドバイザー：保育士資格をお持ちの方でブランクがある方向けに研修に関する助言や保育所見学の同行など伴走支援を行います

CQ5上記以外に、「長野県保育士人材バンク」で、どのような取組があれば利用したいと思いますか。(自由記述)(抜粋)

年代	内容
20代	ハローワークや市町村での便り等で保育士の募集を見ることができし、インターネットが普及してる現代で自身で就職したい保育園等がすぐ見つかるのに、人材バンクに登録しようとは思わない。
30代	保育士の仕事内容の改善、給料の改善、現場にいる方の変さを知り、それを改善してくれる取組があれば利用し、復帰したいと感じます。
30代	保育士人材バンクを利用している雇用先への体験・見学ツアーや、その場で実際に働く保育士の意見を聞くことができること。管理職ではなく、実際に現場に出ている保育士の話が聞きたい。
30代	今の所、保育士として働く気はない
30代	試験合格者の研修に、力を入れていただければ
40代	現場に出たことがない人向けに、慣らし的な実践ができる場を作っていただきたい。
40代	県外に住んでいるため、利用する予定はない
40代	保護者向きではなくて、保育士向けの保育園の情報が見てみたい。具体的な施設写真、給与平均、園児数と保育士人数
40代	復職を考えている人へのフォロー。具体的な時間や責任範囲や休みの取りづらさなど直接園に聞きにくいために就職を躊躇する人への綺麗な事でない実態相談。
40代	資格があっても実際の現場にたったことがない人でも保育士として働くための研修制度
50代	長野県の特徴を生かした保育の実例や自然環境を生かした保育士の研修
50代	定年退職後の保育士人材育成
50代	保育士の働き方を考える交流会や仕事内容を見直すアドバイスを受けたい
50代	現場の保育士の悩みや相談を吸い上げ、実際に改善される様に現場に指導していってくれる取り組みがあると嬉しいです
60代	短時間勤務体制可能な職場の紹介など
60代	保育園や幼稚園の求人情報を検索出来るシステム
60代	再就職の為の研修
60代	わからない
60代	特にない
60代	パートで働き方ができる職場の紹介

CQ6あなたの「保育士として働くことへの不安」や「働くために支援が必要だと感じていること」、「理想とする保育」など、ぜひお聞かせください。(自由記述)(抜粋)

年代	現役・潜在	内容
40代	現役保育士	令和の子ども主体の保育について、もう一度、再確認の意味を込めて、研修をしていただきたいです。具体的な子どもたちへの対応の仕方。また、令和の保育を続けていくことで、期待できる子どもたちの育ちについて。または、子ども主体の保育をしている中で困っていることや、これでいいのだろうか?と思う事例を出しあって学び合う機会があると良いです。特性を持ったお子さんへの対応の仕方も学びたいです。
50代	現役保育士	臨時の保育士や、加配保育士の手当ての充実
40代	現役保育士	理想の保育は、それぞれの子どもが主体的に過ごし、のびのびと生活ができるようにすること。自分で考えてやってみたい、やってみようがっぱいの保育を心がけています。
20代	現役保育士	理想とする保育。自分のクラスは自分が責任を持ってやることは大事だが、園の職員全員で、子どもを見れると良いと思う。そのクラスの担任だけが知っている、また、責任を持つのでは無く、他のクラスの担任も別のクラスの子どもを知っていて、みんなで子どもたちを見ていくイメージ。子どもたちの情報を共有して、悩みを共有して、全員がチームとなって、子どもたちの保育に携われたいと思う。責任を1人で背負わず、全員で責任を持って保育していきたい。また、園だけでなく、市も、園長から園の情報を聞いて、園と市のやりとりも大事にして行けたらいいと思う。誰かの保育に文句を言ったり、裏で色々言うのではなく、もし気になることがあるのであれば、みんなで話したり、聞いたりして、どうしていけばいいか考えたりして、誰かの悩みはみんなの悩みとして、共有できれば、働きたい職場になるのではないかなと思う。でも、余裕がないと、相手のことを気遣えないと思うし、仕事を定時内で終わらせたいので、コミュニケーションができない。コミュニケーションを大事にしようとする、結局持ち帰ってやることになる。園でも取り入れ始めているが、月に1.2回事務仕事の日があれば、変わってくるのではないかなと思う。
60代	現役保育士	養成校卒でなく、試験で資格を取得した方は、実習もなく、現場経験がない。誰もが簡単に取得出来るのではなく、ある程度は実習の経験が必要に思う。
50代	現役保育士	余裕をもって保育出来るよう職員確保と、賃金アップ
60代	現役保育士	有給休暇の消化や急病など、休みたいときに代替の確保ができ、心配なく休める環境であってほしい。保護者もだんだん変化してきているが、子育てのノウハウはあまり変わらないと思われるので…保護者に受け入れてもらえる子育てのコツを上手に伝えられる保育士が必要と感じる。
30代	潜在保育士	命を預かる専門職としてもっと優遇されるべき仕事である。男性でも生涯続けていけるような待遇を期待する。(仕事量、内容に対して賃金が低すぎて続けていけない。男性でも"手に職"として働けるよう国内の平均年収程度は最低でも保証されるべき)
40代	潜在保育士	命を預かることに、プレッシャーを感じているけど、発達障がいのある子や医療的ケアのひつような子どもも皆と同じ保育園・幼稚園に通える体制と保育士への教育をしてほしい。子育てに悩む親御さんへのサポートや児童養護施設とのつながり。保育士しているけど児童養護施設についてよく知らない人も多く、日々の保育だけじゃなくてその子の家庭にも少し気持ちを向けられる余裕があれば、虐待を防ぐことにつながると思うので、そういった研修も皆にしてほしい。園がそういう考えを持たなければ、保育士一人で頑張っても何も変わらないから。
40代	現役保育士	未満児保育を希望する親が増えているのに、施設や職員の制限があり受け入れが難しいこと
30代	現役保育士	慢性的に職員が足りないので、子どもが体調不良で休み連絡をすると休みをもらえるが、頼みづらい。また人手不足なのでコミュニケーションや新しくなったやり方について話をする時間もあまりない。
60代	現役保育士	豊かな自然を活用して子どもの育つ力を伸ばす保育
30代	現役保育士	保育指針をしっかり読み解き、保育をアップデートしてほしい。今は都内で保育士をしているが以前南信で働いていた時「こんなに古い保育をしているのか」と絶望したので。
30代	潜在保育士	保育士不足により、資格のない方が保育士になることが増えている。(子育て経験のあるマダム世代)せっかく保育の専門性を学んできた若者が正規職員として就職してもそのような方たちに潰されてしまう事例をたくさん見てきた。保育士資格を持つ人、持たない人の給料の差などをもっと明確につけて、モチベーションが上がるようになっていけばいいかなと思う。
50代	現役保育士	保育士配置基準の見直し。障害児を含む要支援児の支援の充実や、事務仕事の軽減もしくはノンコンタクトタイムの充実のため、人材確保。
50代	現役保育士	保育士同士の連携と保護者との情報共有は大切かなと思う。保護者にはそれぞれの家庭状況があるので、個々に応じた丁寧な対応が必要だと感じる。
40代	現役保育士	保育士側も守る支援、平等に見解してくれる場所
20代	現役保育士	保育士自身の心身のケア
60代	潜在保育士	保育士自身が子どもの発達を理解していないことがあり、保育意欲に欠けている。生まれてからのとっても大事な幼少期をお預かりする大人として保育士として学びが必要不可欠であることを大変、忙しい、割に合わないという言葉で片付けられないでほしいと思います。働くための支援は必要だけれど、今の保育現場を見ているとつらくなります。
30代	現役保育士	保育園(保育士)に対する保護者の要求が過度になり過ぎている。保育園の実務の実態や保育士の負担を、保護者にも理解してもらえるよう、何らかの形でもっと情報発信を行ってほしい。個別に配慮が必要な子どもに対して、保育士の数が圧倒的に不足しており、必要な支援ができていないのが現状です。保育士の確保と、保育の質のレベルアップが必須だと思います。



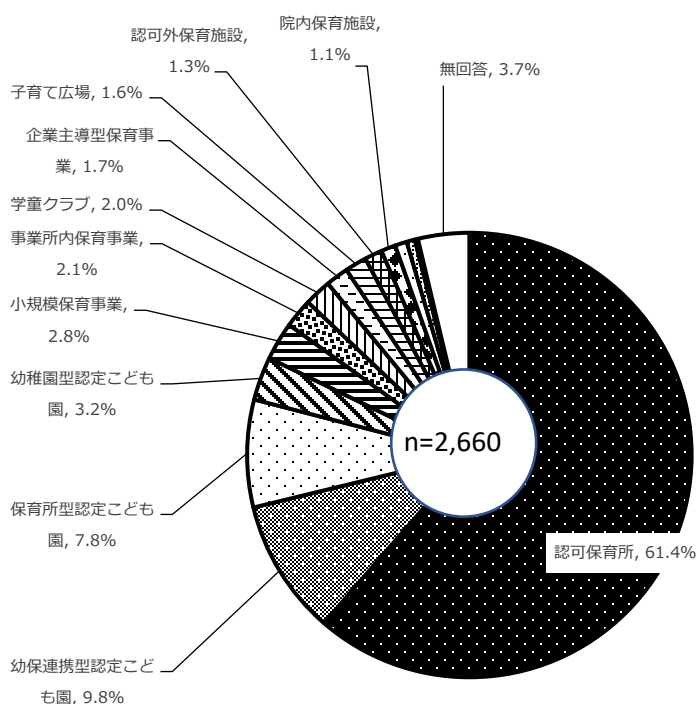
### 3 現役保育士向け調査

#### (1)現在の就業施設について

AQ6 ◆現在、保育士として働いている方におたずねします。現在、保育士としてお勤めの施設は下記のそれぞれの項目のいずれにあたりますか。また、あなたの雇用形態としてあてはまるものをお選びください。(施設種別)

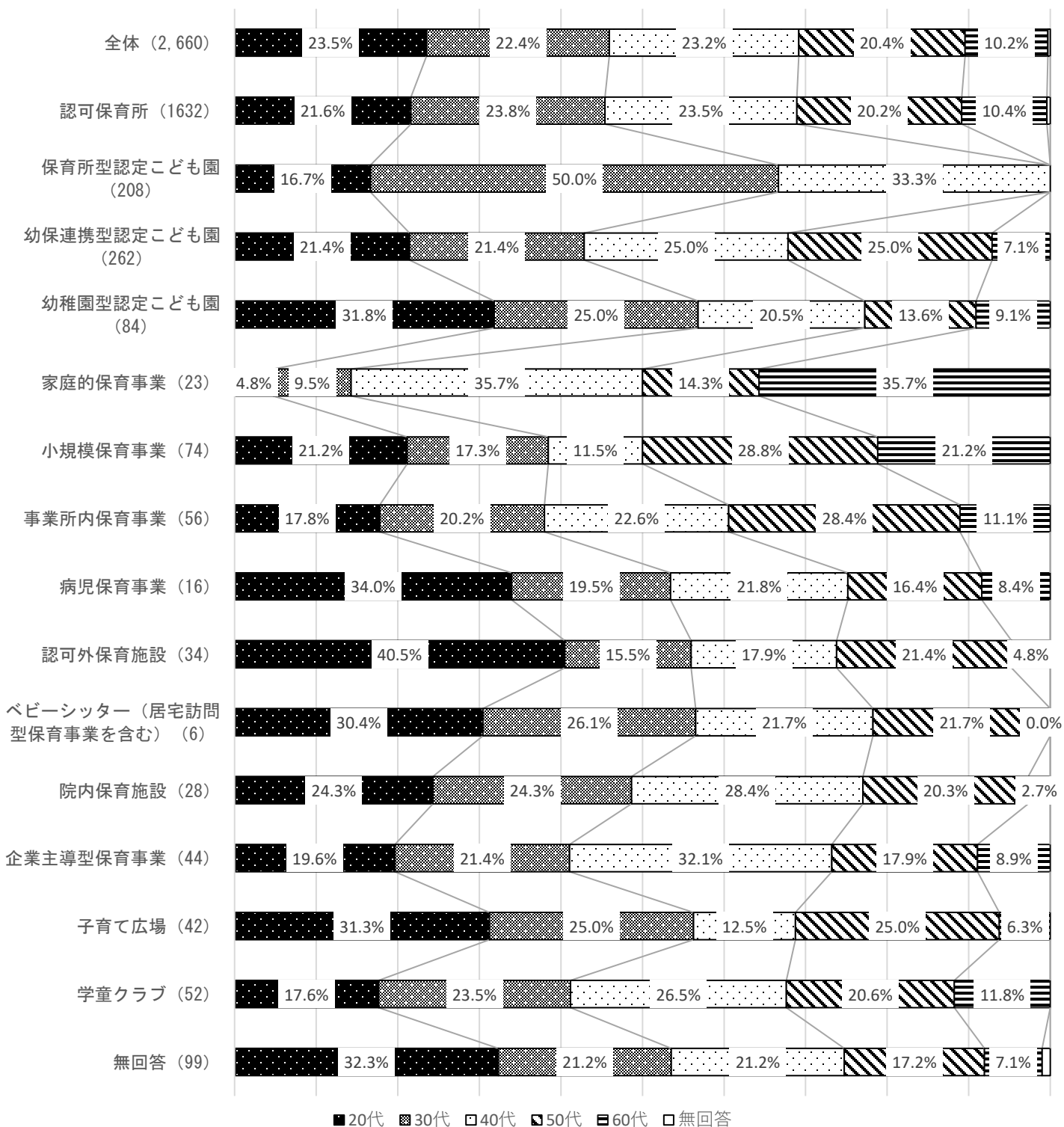
現在保育士として働いている者の施設類型は、全体で「認可保育所が約6割（61.4%）で最も多く、次いで「幼保連携型認定こども園」（9.8%）、「保育所型認定こども園」（7.8%）となっている。

施設種別

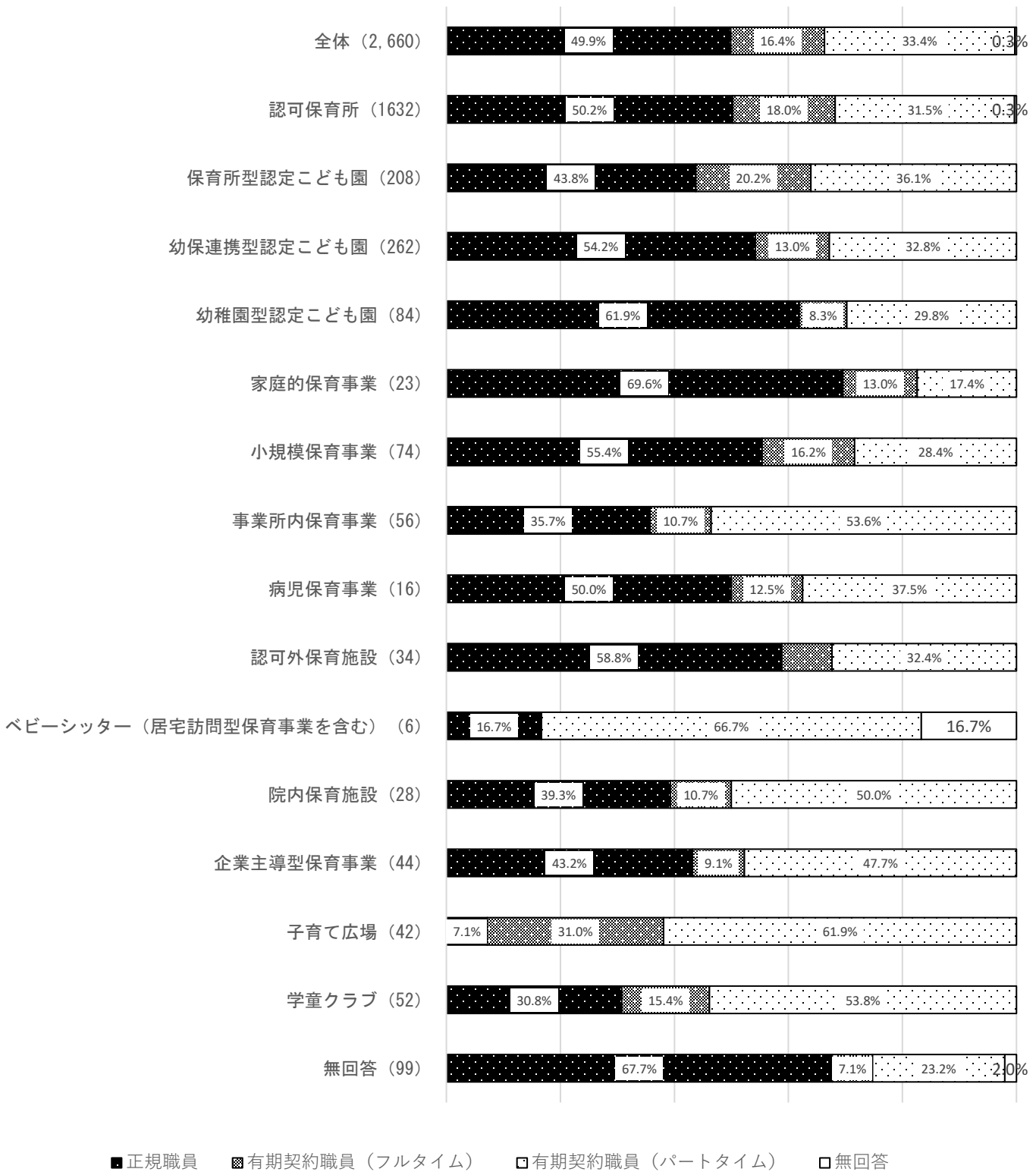


認可保育所	61.4%
幼保連携型認定こども園	9.8%
保育所型認定こども園	7.8%
幼稚園型認定こども園	3.2%
小規模保育事業	2.8%
事業所内保育事業	2.1%
学童クラブ	2.0%
企業主導型保育事業	1.7%
子育て広場	1.6%
認可外保育施設	1.3%
院内保育施設	1.1%
家庭的保育事業	0.9%
病児保育事業	0.6%
ベビーシッター(居宅訪問型保育事業を含む)	0.2%
無回答	3.7%
合計	100.0%

## 年代(施設類型別)



## 雇用形態(施設類型別)

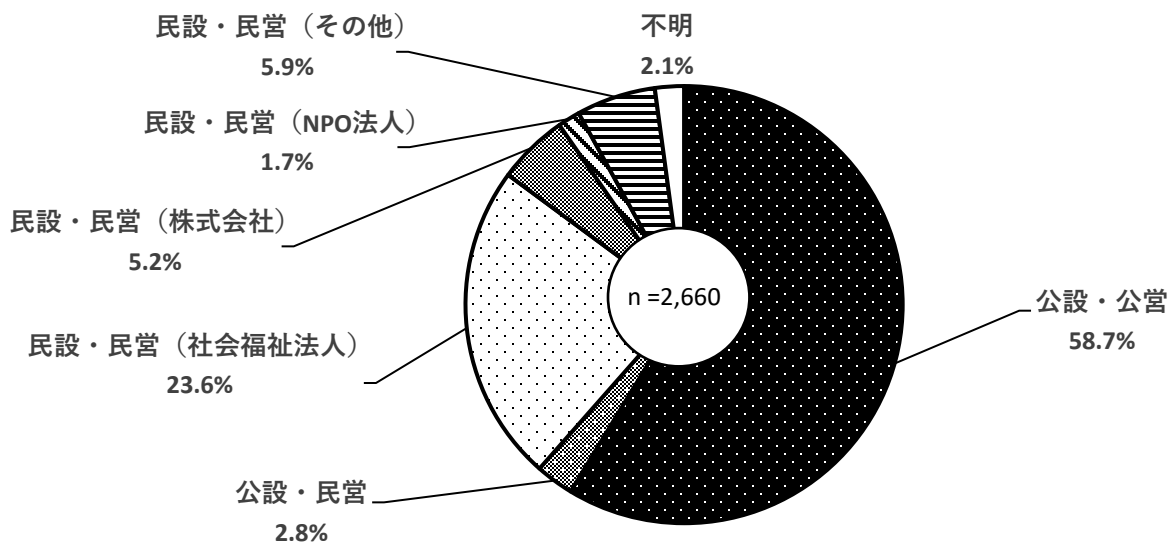


AQ6 ◆現在、保育士として働いている方におたずねします。現在、保育士としてお勤めの施設は下記のそれぞれの項目のいずれにあたりますか。(運営主体)

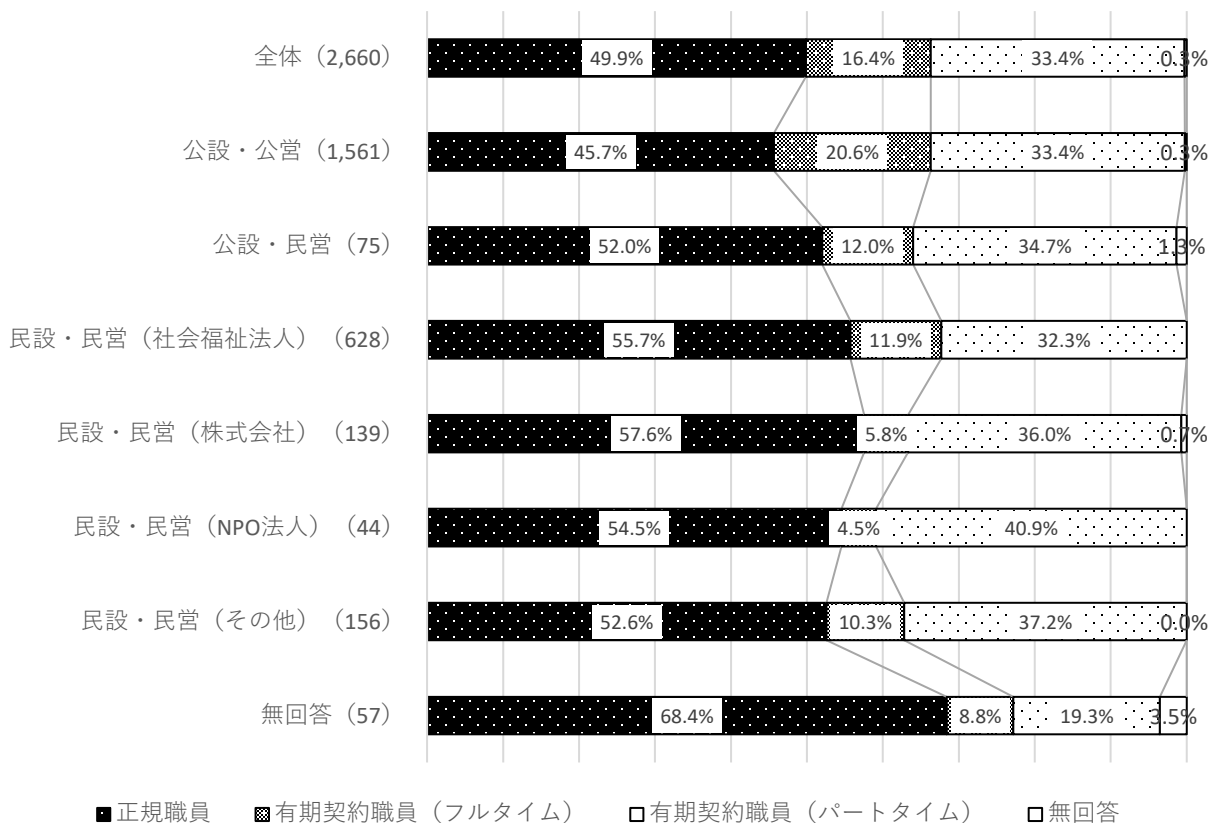
就業施設の運営主体は、「公設・公営」が58.7%で最も多く、次いで「民設・民営（社会福祉法人）」(23.6%)となっている。

「公設・公営」以外の運営主体では、「正規職員」が半数以上となっている。

### 運営主体

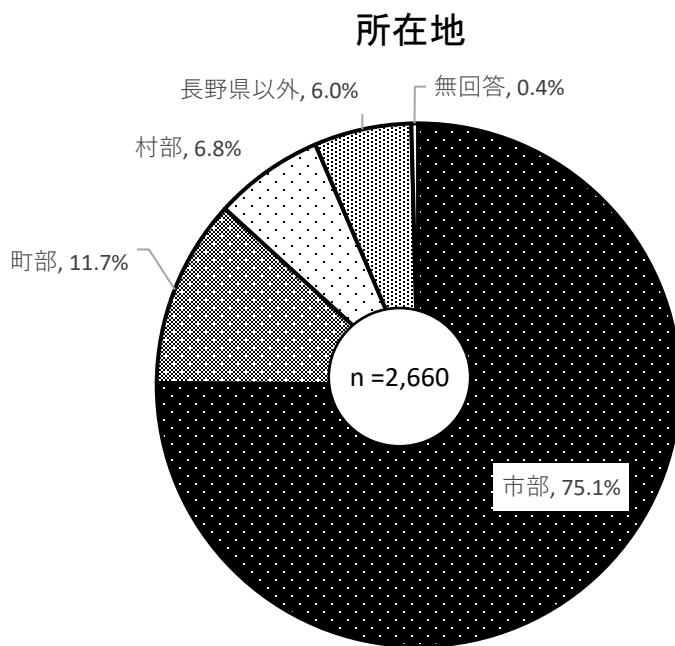


### 雇用形態(運営主体別)

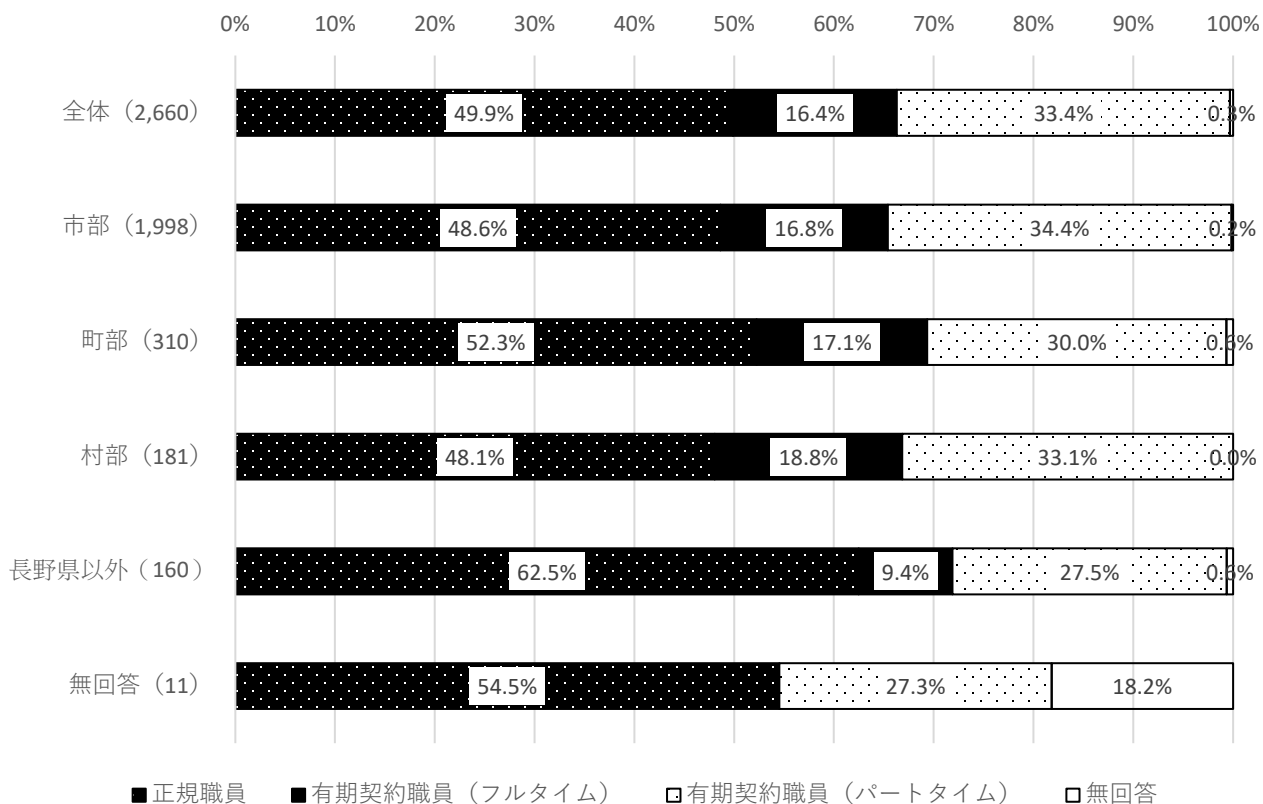


AQ6 ◆現在、保育士として働いている方におたずねします。現在、保育士としてお勤めの施設は下記のそれぞれの項目のいずれにあたりますか。(施設所在地)

就業施設の所在地は、「市部」が75.1%で最も多く、次いで「町部」(11.7%)となっている。



### 雇用形態(所在地別)

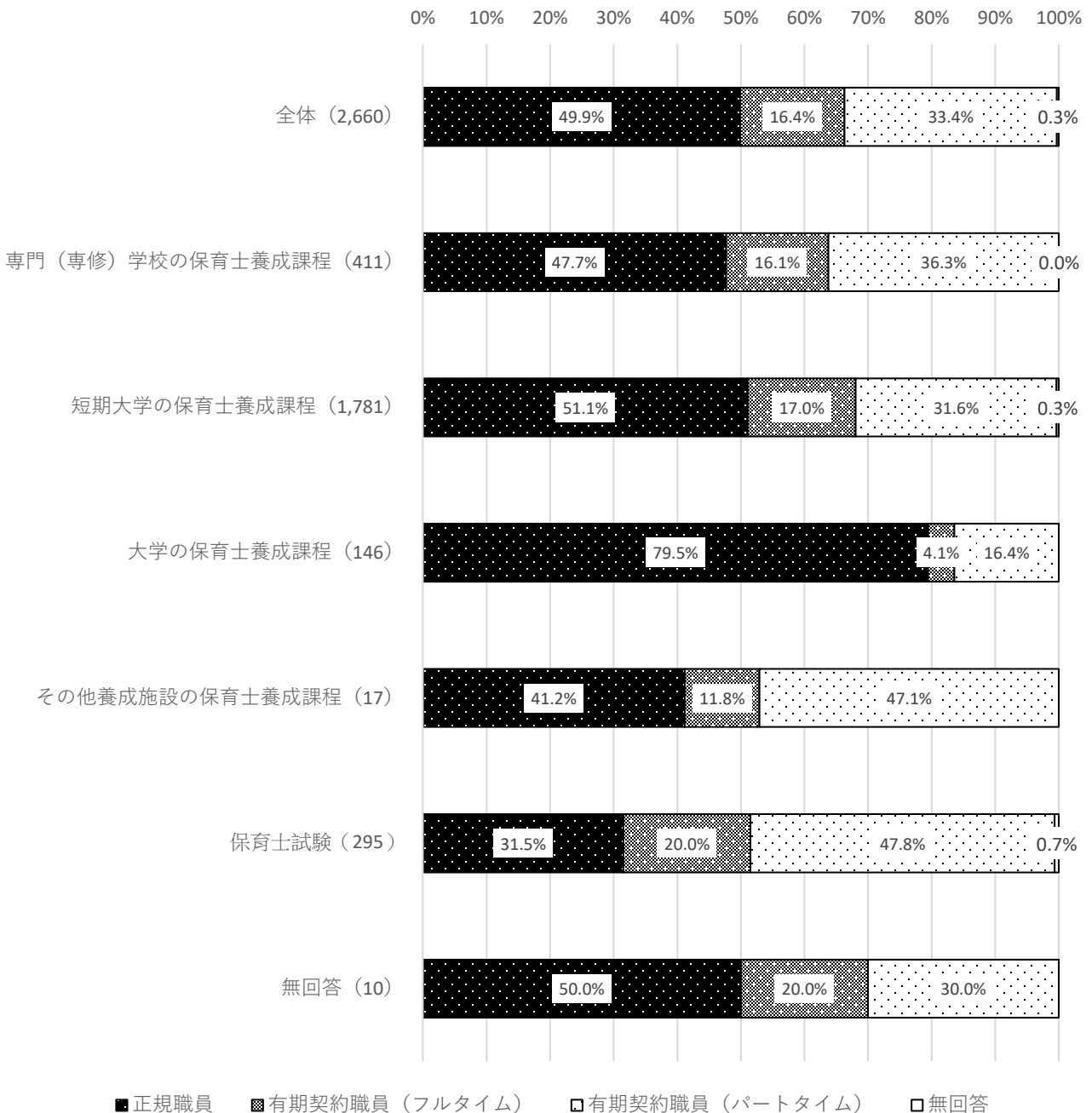


AQ6 ◆現在、保育士として働いている方におたずねします。現在、保育士としてお勤めの施設は下記のそれぞれの項目のいずれにあたりますか。また、あなたの雇用形態としてあてはまるものをお選びください。

雇用形態は、全体で「正規職員」が5割（49.9%）で最も多く、次いで「有期契約職員（パートタイム）」（33.4%）となっている。

資格取得方法別でみると、大学の保育士養成課程の卒業生で「正規職員」の割合が約8割（79.5%）を占めている。

### 雇用形態（資格取得別）



AQ6 ◆現在、保育士として働いている方におたずねします。現在、保育士としてお勤めの施設は下記のそれぞれの項目のいずれにあたりますか。(役職)

現在の職場における役職は、全体で「なし」が54.2%と最も多い。

「園長(4.0%)」「副園長(1.1%)」「主任(6.7%)」は全体の11.8%となっている。

年齢別にみるとどの年代も「なし」が一番多く、20代、30代は「分野別リーダー等(乳児保育リーダー、食育リーダー等)」の割合が他の年代よりも多く、40代は「主任」、50代は「園長」の割合が他の年代よりも多い。

### 役職

	園長	副園長	主任	副主任	分野別リーダー等 (乳児保育リーダー、 食育リーダー等)	その他	なし	無回答
全体(2,660)	4.0%	1.1%	6.7%	2.6%	12.4%	18.3%	54.2%	0.7%
20代(626)	0.0%	0.2%	2.2%	3.5%	17.1%	20.6%	55.4%	1.0%
30代(596)	0.3%	0.3%	4.7%	4.2%	19.0%	18.8%	52.5%	0.2%
40代(618)	2.3%	2.4%	13.9%	1.9%	9.4%	17.3%	52.4%	0.3%
50代(542)	11.8%	1.7%	7.7%	1.5%	7.9%	15.3%	53.0%	1.1%
60代(270)	9.3%	0.4%	2.2%	0.7%	3.7%	20.7%	61.9%	1.1%
無回答(8)	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	50.0%	0.0%

## (2) 保育士就業年数

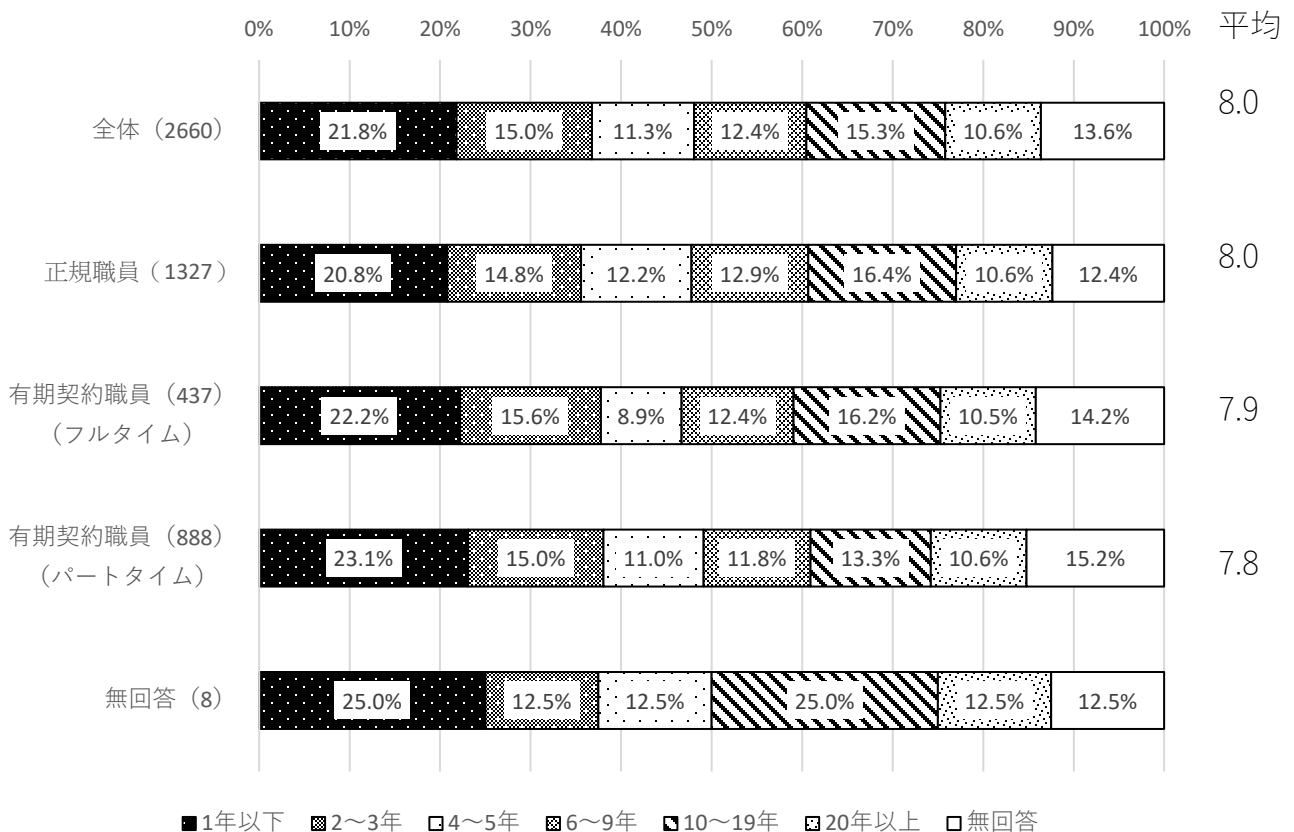
AQ7 あなたは現在働いている施設に何年勤務していますか。

また、あなたは保育士として通算何年お仕事をされていますか。1箇所で保育士として最も長く継続して働いた年数もお答えください。(1年未満の方は1年とお書きください)

現在の職場の就業年数は、全体で「1年以下」が21.8%と最も多く、次いで「10～19年」(15.0%)となっている。

平均就業年数はどの雇用形態も8年前後となっている。

### 保育士就業年数(現在の職場)(雇用形態別)

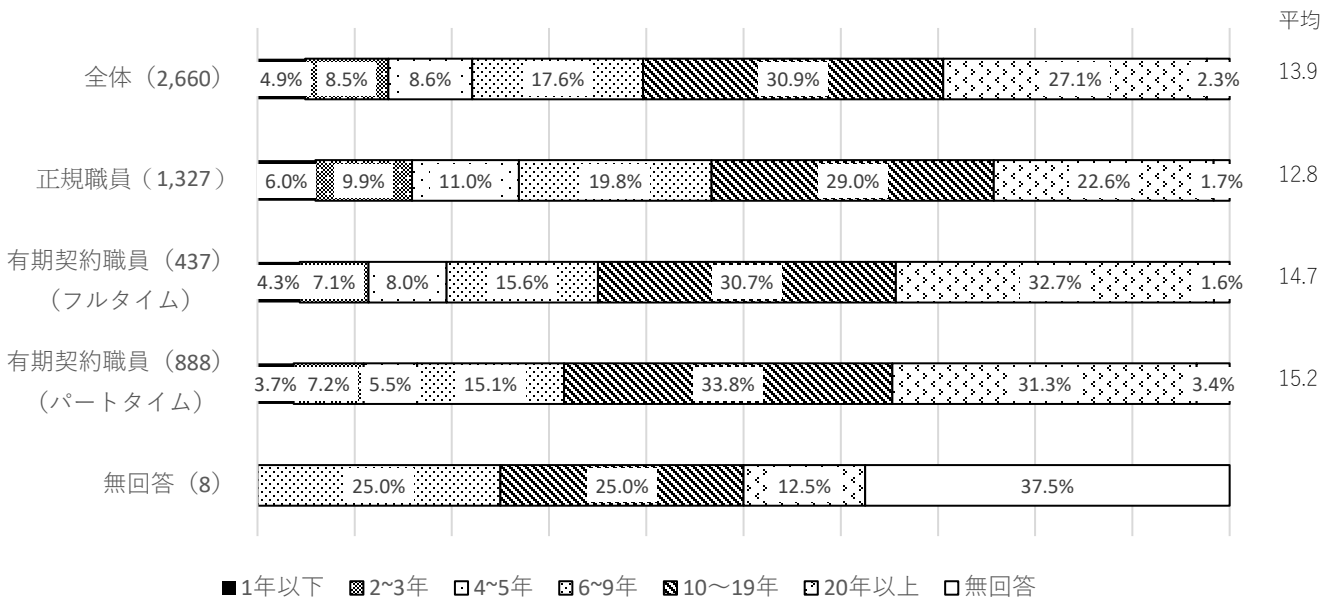




AQ7 あなたは保育士として通算何年お仕事をされていますか。

保育士としての通算就業年数は、全体で「10年～19年」が30.9%と最も多く、次いで「20年以上」(27.1%) となっている。  
 平均就業年数は13.9年であった。

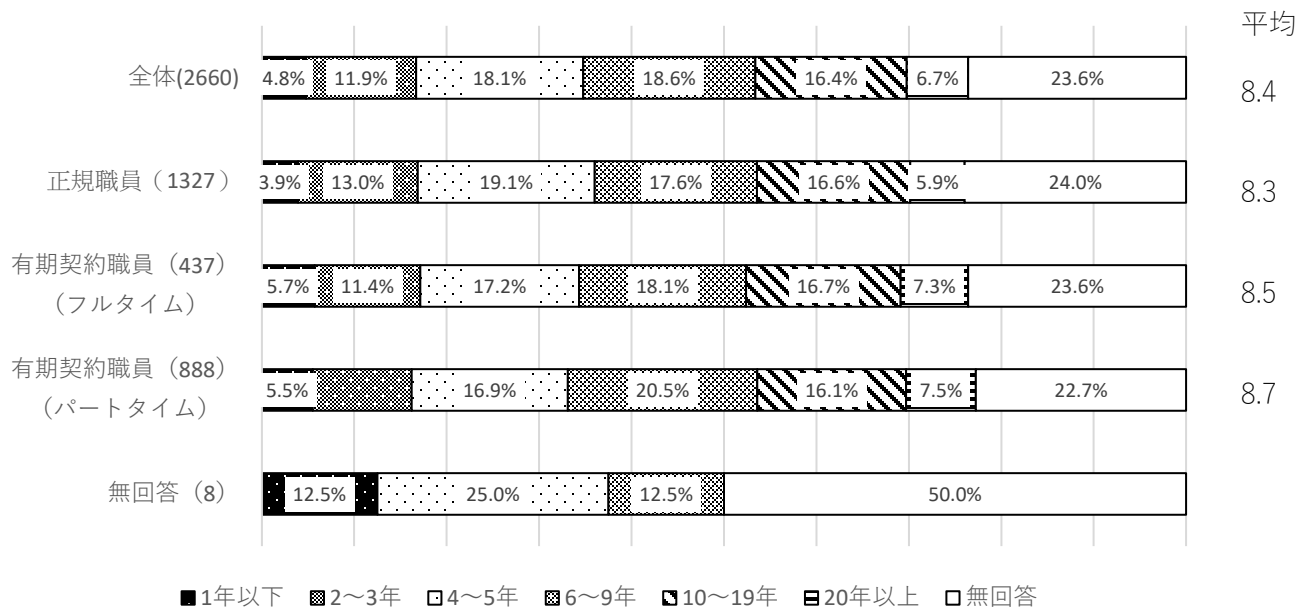
保育士就業年数(通算)(雇用形態別)



AQ7 1箇所保育士として最も長く継続して働いた年数もお答えください。(1年未満の方は1年とお書きください)

1箇所最長就業年数は、全体で「6～9年」が18.6%で最も多く、次いで「4～5年」 (18.1%) となっている。  
 平均年数は8年前後となっている。

保育士就業年数(1箇所最長)(雇用形態別)

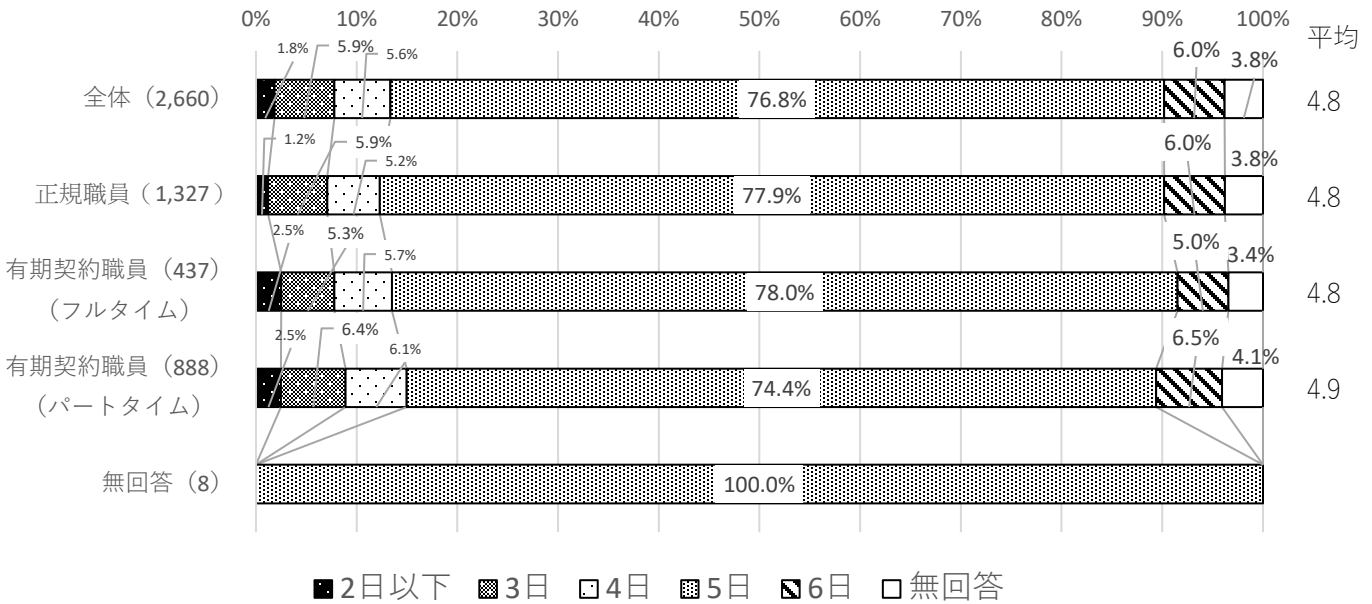


### (3)現在の職場の実態

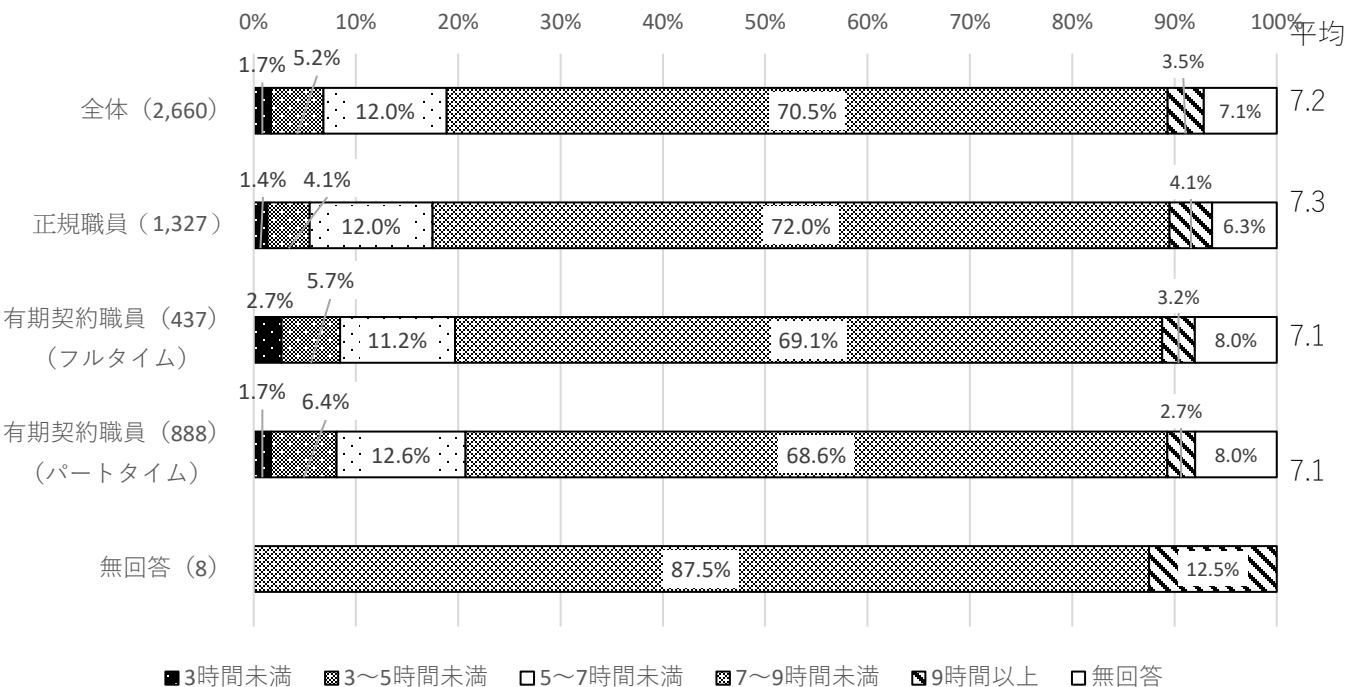
AQ8 現在の職場の状況をご記入ください。※変則勤務の方は主たる勤務パターンでお答えください。

現在の職場の実態は、平均勤務日数が4.8日、平均勤務時間が7.2時間、平均年収が264.3万円、平均通勤時間（片道）が17.8分である。  
 それぞれの平均を現在の雇用形態別でみると、正規職員は、勤務日数週4.8日、勤務時間7.3時間、年収357.1万円、通勤片道19.9分、フルタイムは勤務日数4.8日、勤務時間7.1時間、年収241.9万円、通勤片道17.1分、パートタイムは勤務日数4.9日、勤務時間7.1時間、年収134.0万円、通勤片道14.9分となっている。

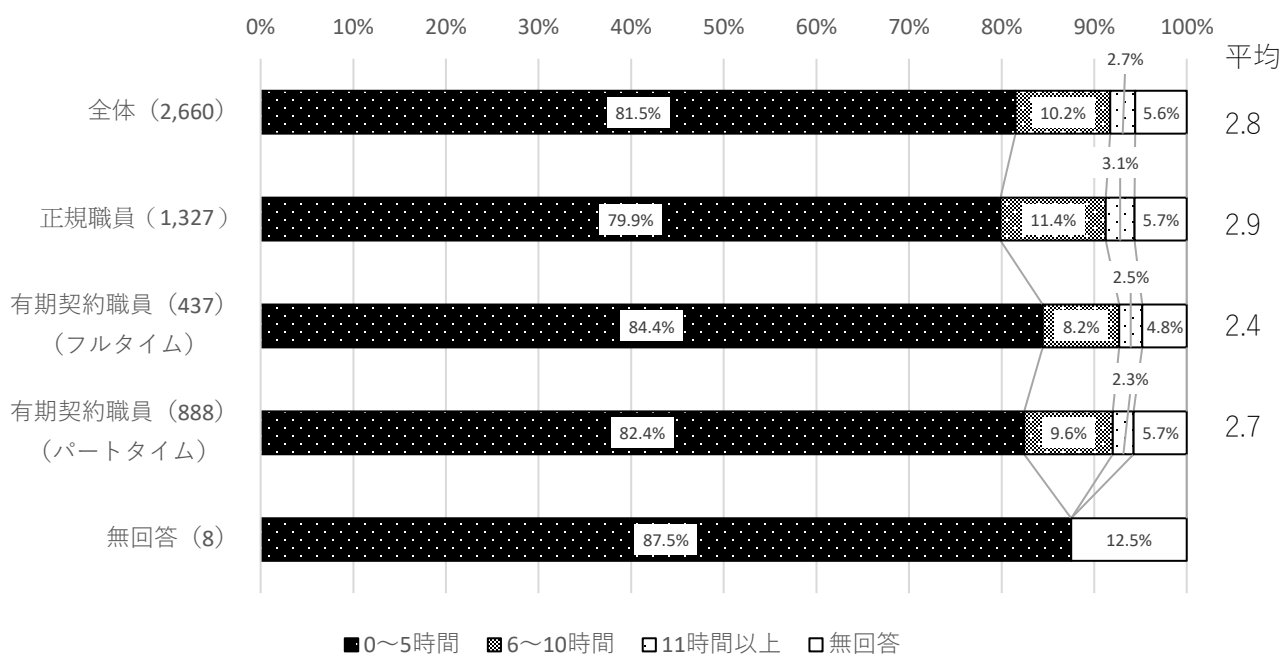
①勤務日数(週)(雇用形態別)



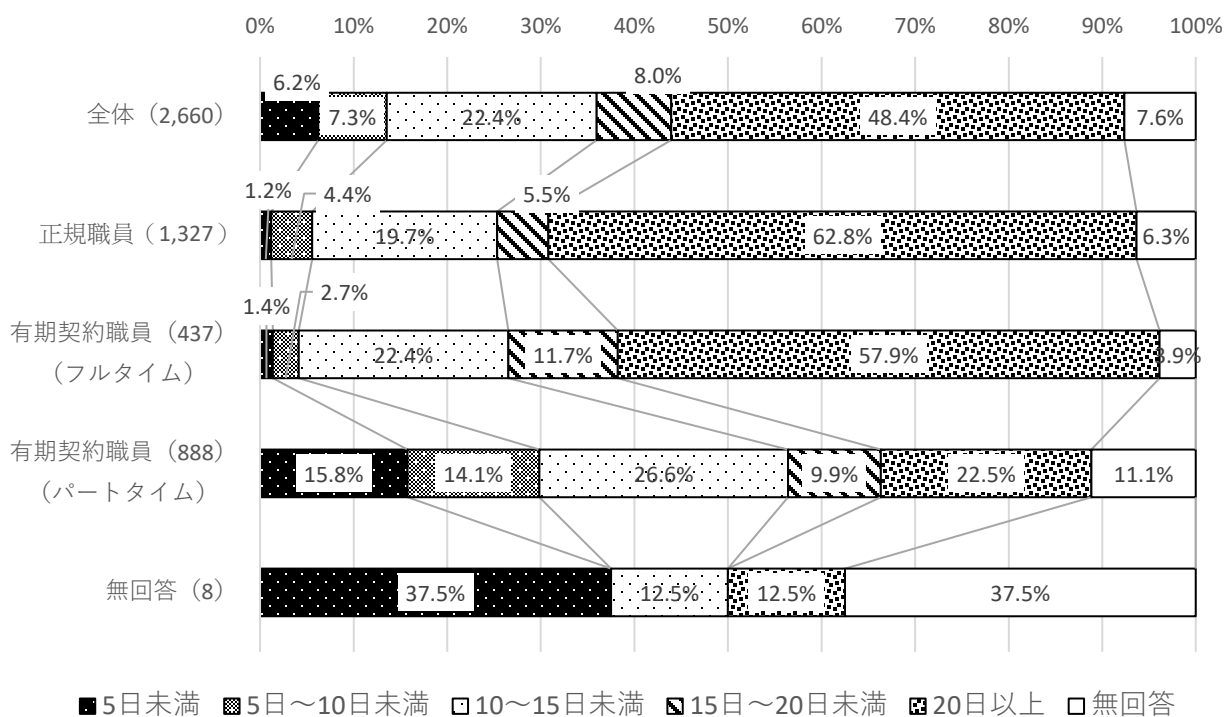
②勤務時間(雇用形態別)



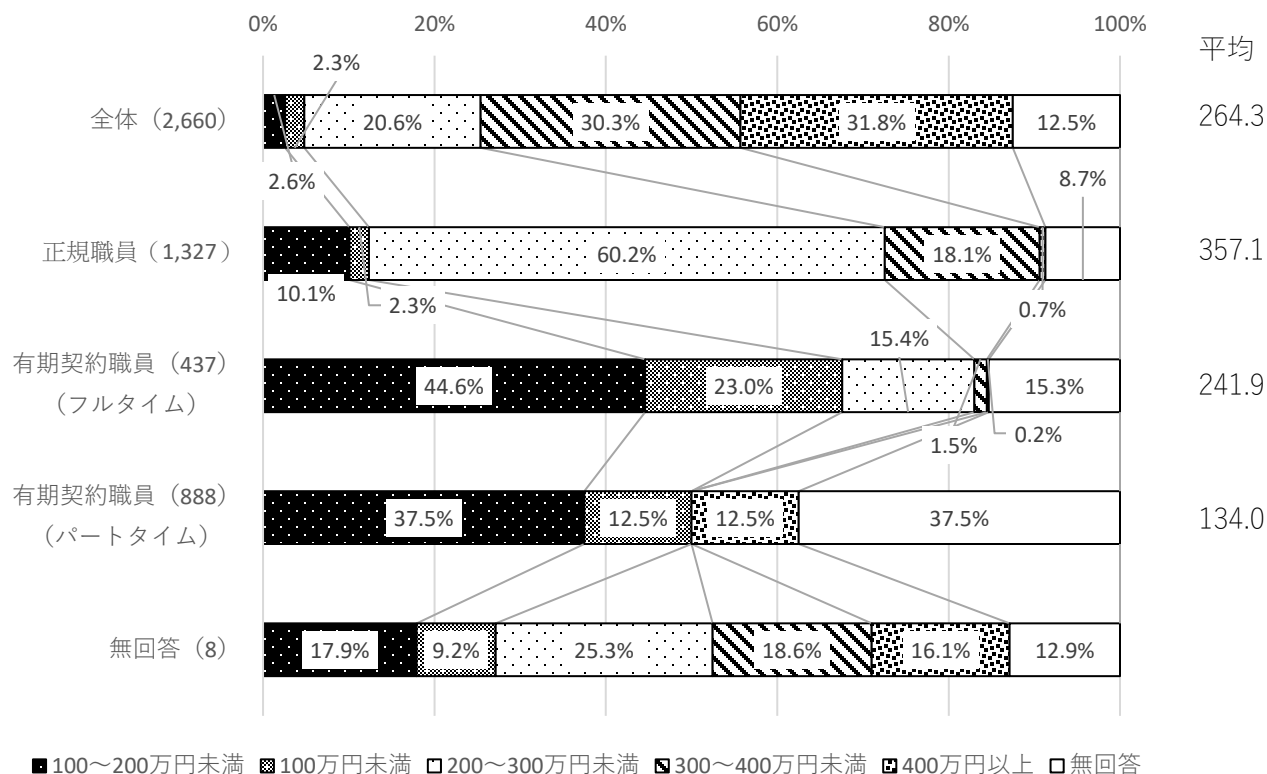
### ③ 残業時間(週)(雇用形態別)



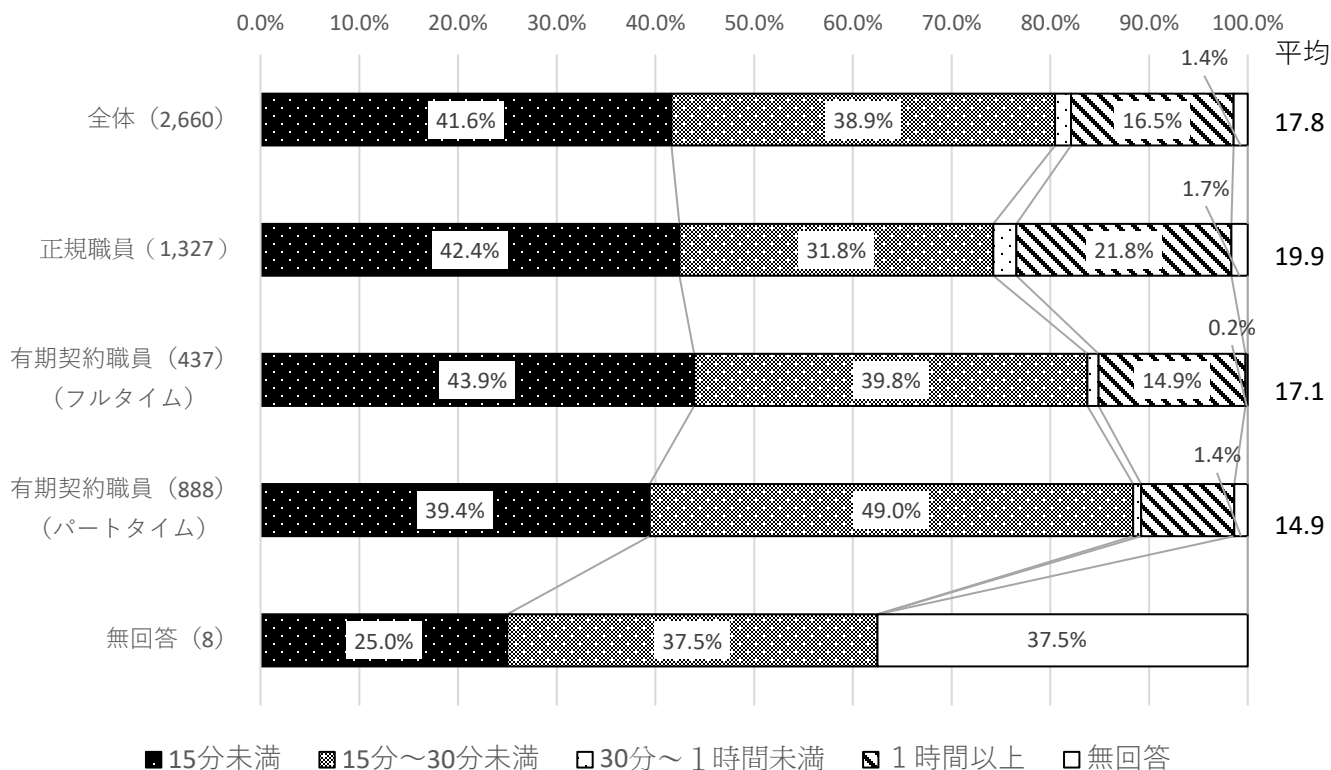
### ④ 取得可能な有給休暇(雇用形態別)



### ⑤年収(雇用形態別)



### ⑥自宅からの通勤時間(雇用形態別)



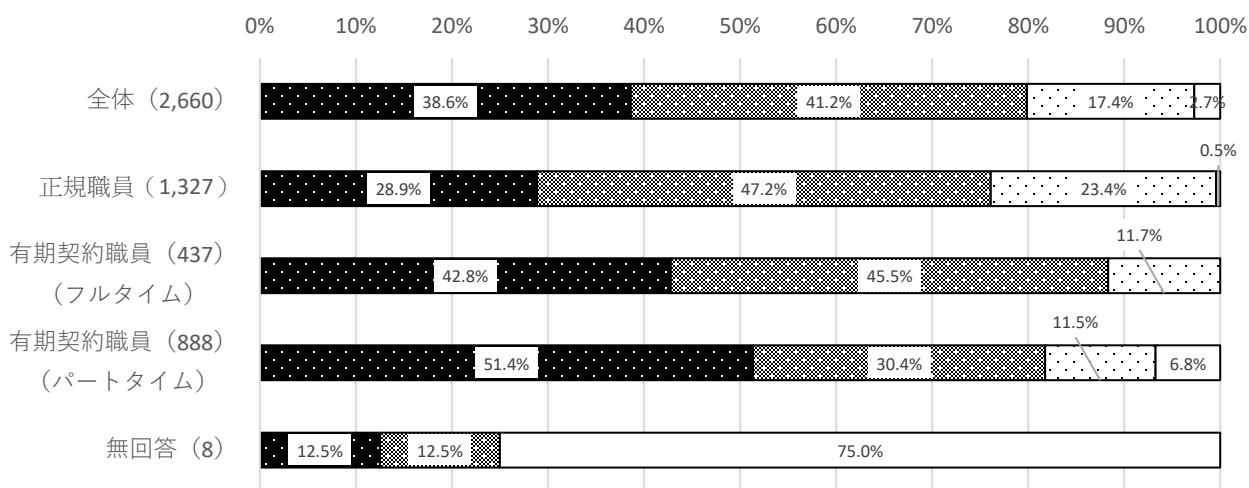
#### (4)有給の取得状況

AQ9 あなたは希望どおり有給が取得できていますか。(〇は1つだけ)

「希望通り取得できている」「概ね取得できている」が多い。正規職員については「取得が難しい」が他の形態よりも多い。

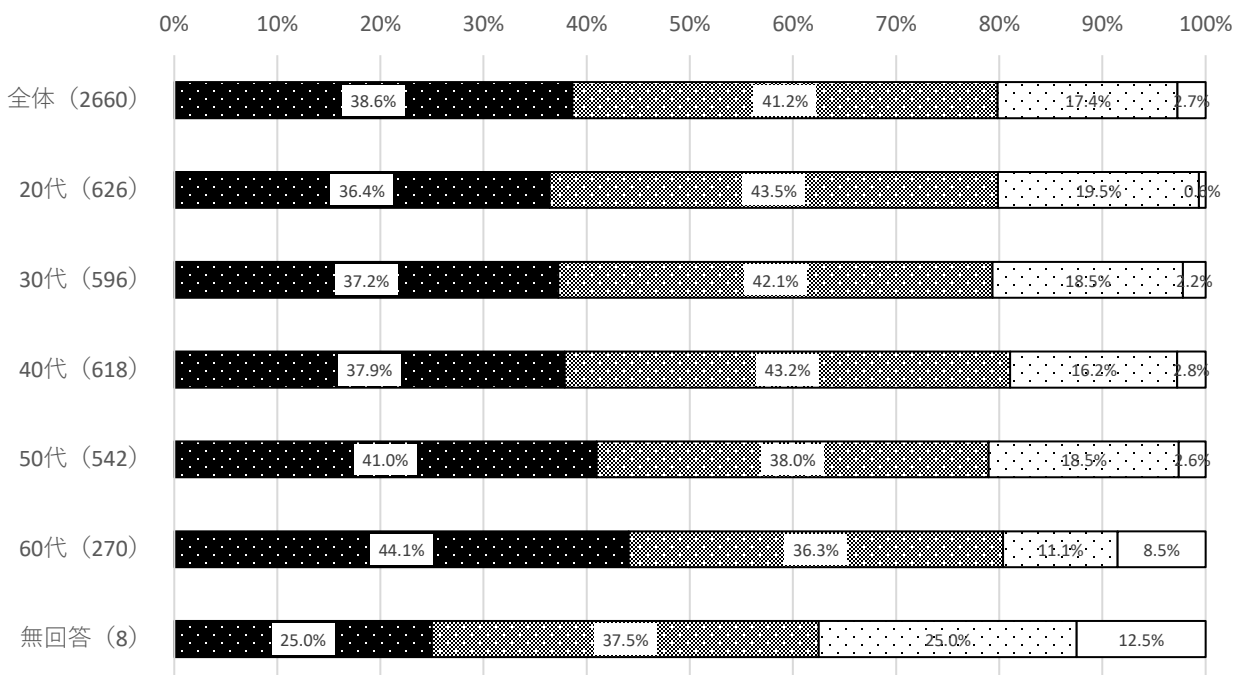
年齢別にみると年代が高くなるにつれ「希望通り取得できている」の割合が多くなっている。

有給の取得状況(雇用形態別)



■ 希望通り取得できている ■ 概ね取得できている □ 取得が難しい □ 無回答

有給の取得状況(年齢別)



■ 希望通り取得できている ■ 概ね取得できている □ 取得が難しい □ 無回答

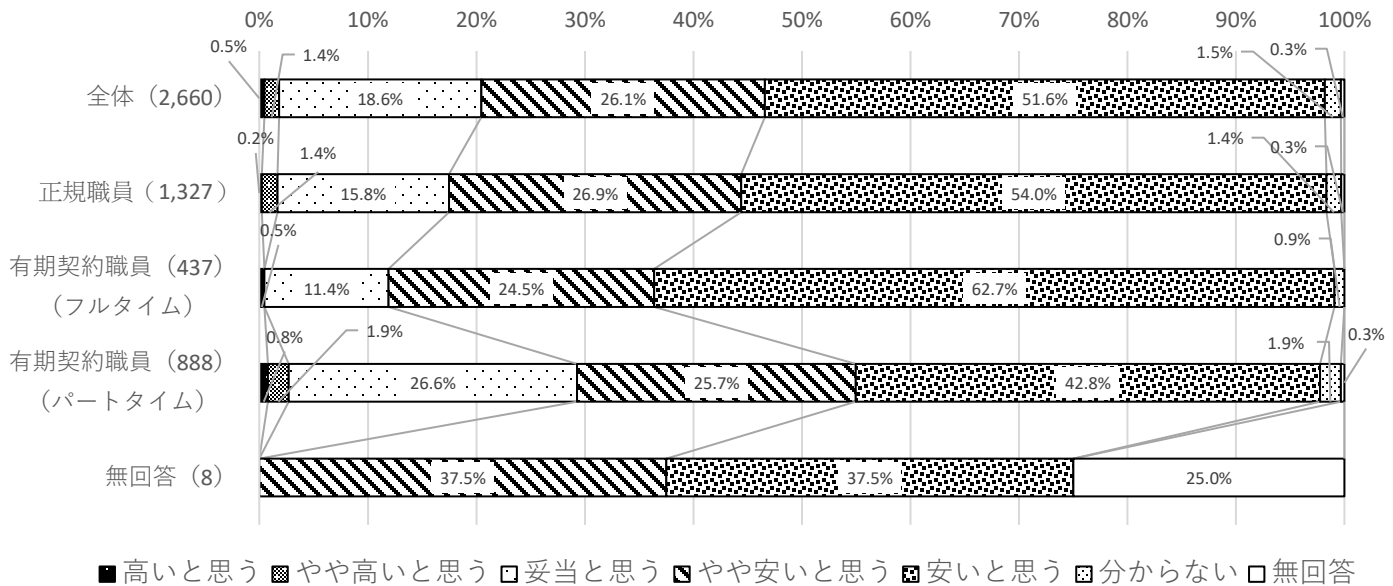
## (5) 給与水準の妥当性

AQ10 現在の給与は勤務内容に比べ、妥当だと感じていますか。

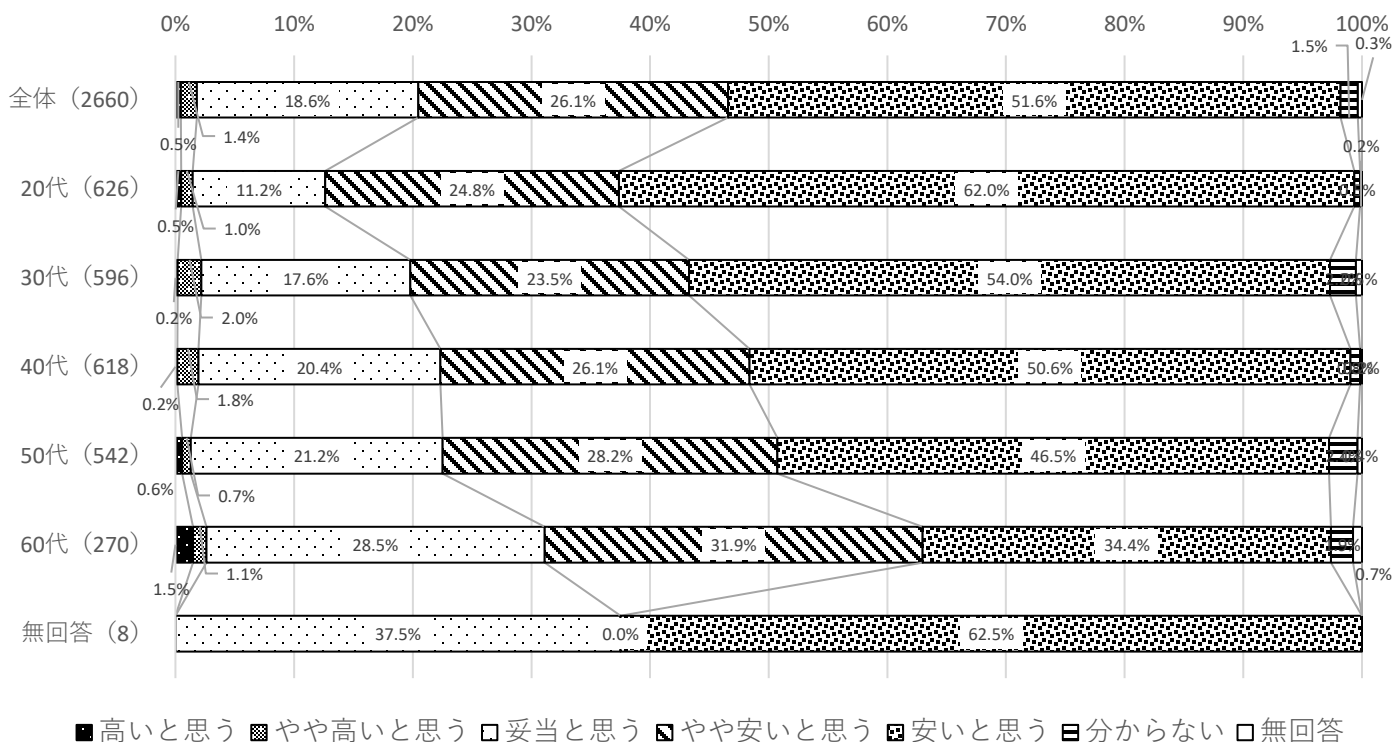
雇用形態別にみると「正規職員」「フルタイム」が「やや安いと思う」、「安いと思う」の割合が多く8割を超えている。

年齢別にみると「高いと思う」「やや高いと思う」「妥当と思う」の割合は年齢を重ねるごとに多くなってきているが、50代でも「やや安いと思う」、「安いと思う」の割合が74.7%となっている。

### 給与の妥当性（雇用形態別）



### 給与の妥当性（年齢別）



## (6) 保育士のやりがい

AQ11 保育士の仕事のやりがいを感じますか。またどういったところにやりがいを感じますか。(自由記述) (抜粋)

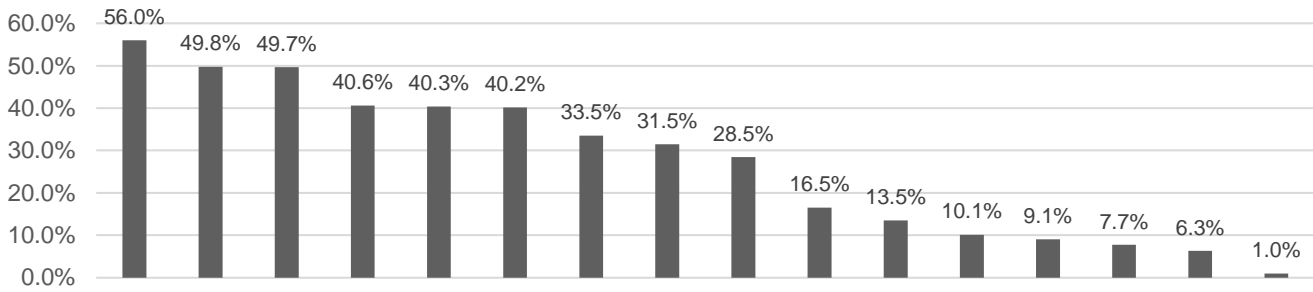
年代	内容
20代	子どもの成長を感じられた時
20代	日々の保育の中で子どもたちの笑顔が見れることを楽しみにしていて、そのような姿が見れることがやりがいに繋がっていると思う。子どもたちのこれからを過ごす中で土台作りにもなっているのではないかと考えていてその土台を作る上で誰かのためになっているのかなというのもやりがいの1つになっている。
20代	子ども達の成長を身近に感じられるところ。今まで出来なかったことが日々の積み重ねによりできることが増えることを身近に感じられて、保護者の方とその成長と一緒に喜べるところにやりがいを感じる。
20代	子ども達(2歳児)がオムツが取れてパンツで過ごせるようになったなど、成長していく手助けができたと感じる時にやりがいを感じる。また、自分が準備したものが子ども達にとって楽しめていると感じた時にやりがいを感じます。
20代	病児保育室勤務ですので、子どもたちが徐々に回復してきて元気よく遊べるようになってくると嬉しくなります。また、時折いただく保護者からの感謝の言葉はやりがいを感じます。
20代	保護者から相談を持ち出された時や感謝を言われた時
20代	初めて名前を呼ばれたり、成長を感じ、保護者の方と喜びあった時
30代	子どもの成長や行事において保護者から温かい感想や感謝の言葉をいただいた時
30代	今までできなかったことができるようになった、そういった子どもたちの日々の成長を1番近くで見ることができ、やりがいを感じる。
30代	担任ではないのに、子どもが慕ってくれたり、頼ってくれたりする所。子どもの成長を間近で見守り、支援できる所にやりがいを感じる。
30代	子どもの成長のために様々なねらいや手立てを考え実行していく中で、子どもの成長や変化が見られた時はやりがいを感じる。また、保護者と意思疎通が出来たり、他職員と切磋琢磨して仕事が出来た場合にやりがいを感じる。
30代	子どもの成長を保護者の方と共に身近に感じ、また、子どもの成長を身近でサポート出来るところにとってもやりがいを感じます。
30代	やりがいを感じている。子どもたちの素直で純粋な一瞬の表情や感情を近くで感じられ、成長していく姿をそばで見守れる。未満児で保育した子たちをその後担任にならなくても卒園までずっと見ていられる。卒園した子たちが大きくなって会いに来てくれる。
30代	やりがいを感じています。子どもの成長発達に大切な経験ができる環境を整え、対話的保育を意識しながら日々保育を行なっている。もちろん思うようにいかずに自分の無力さが身に染みるとかもあるが、それでももがき工夫したことでこどもの姿が変わっていくとやりがいを感じる。
30代	子どもに接し、次世代の育成に携われるところ。コロナ禍を経て、自身も社会的インフラの一部として、なくてはならない存在だと実感できたこと。
40代	感じます。子供達の成長や自分のサポートで子供達に変化が見られたとき。頼られたとき
40代	感じる。自分の子どもたちが、だいぶ手を離れている今、未満児の子たちがとにかかわい。子どもたちが日々成長していくのを見られて保護者の方と喜びを分かち合うのも嬉しい。
40代	とてもやりがいを感じます。とにかく子どもと一緒に楽しめる。子どもの成長に関われる。研修や日々の保育の中で学んだこと考えたことが生かされ、子どもの成長や保護者の安心に繋がったと感じる時。
50代	子どもの成長を感じた時や、今の保育について話し合い、実践した時に保育の進歩がみられたとき。保育の主体性を考え、保育士達とワクワクした保育が実現できた時。
50代	保育士と言う仕事には、やりがいを感じています。子どもの成長に関わり、日々見守ることが出来ることにやりがいを感じます。
50代	子どもたちからパワーがもらえる。
60代	やりがいは感じています。同じ園にいますので、子どもの成長を未満から以上児になり卒園まで見る事ができている事。一歳の歩かなかった赤ちゃんだったのに年長になって心身共に大きくなっていく姿を間近で見た時。できなかった事ができた時子どもや他の先生と共に喜べる事。子どもと遊んでいて、大人が思いつかない言葉を言ったり、お友達に優しくして思いやりの言葉や態度をとっていたり、友達と仲良く遊んだ理、素直に謝ったり大人の人間関係よりほっこりする事など。
60代	延長保育を必要とする家庭、園児が増加している。正規職員として勤務、退職後退職後そのような状況の一助となるよう勤務している。子供達の成長を見守ることが出来ることにやりがいを感じている。
60代	子どもから元気を貰う。子どもに癒やされる。子どもの成長が嬉しい。体を動かすことで健康的に生活できる。

## (7)課題・悩み

AQ12保育士として働いている中での課題・悩みは何ですか。(〇はいくつでも)

雇用形態別にみると「正規職員」「パートタイム」が「発達に遅れのある児童への対応」の割合が最も多く、「フルタイム」は「賃金・福利厚生」が最も多い。

年齢別にみると「50代」「60代」は「体力の低下」が最も多く、それ以外の年代では「発達に遅れのある児童への対応」が最も多い。



	n	発達に遅れのある児童への対応	保護者への対応	賃金・福利厚生	体力の低下	保育所等勤務先での人間関係	最近の保育の知識や技術などの不足	家事、育児、介護等との両立 家族などの周囲の理解	障害児保育	事故対応	防災対策	衛生管理	食物アレルギーへの対応	その他	体力づくり	地域の子育て支援	課題・悩み等はない
全体	2660	56.0%	49.8%	49.7%	40.6%	40.3%	40.2%	33.5%	31.5%	28.5%	16.5%	13.5%	10.1%	9.1%	7.7%	6.3%	1.0%

### 【雇用形態別】

	n	発達に遅れのある児童への対応	保護者への対応	賃金・福利厚生	体力の低下	保育所等勤務先での人間関係	最近の保育の知識や技術などの不足	家事、育児、介護等との両立 家族などの周囲の理解	障害児保育	事故対応	防災対策	衛生管理	食物アレルギーへの対応	その他	体力づくり	地域の子育て支援	課題・悩み等はない
正規職員	1327	59.1%	58.9%	53.6%	31.4%	46.2%	39.9%	35.9%	35.3%	34.6%	21.3%	16.5%	11.3%	11.6%	8.5%	7.2%	0.3%
有期契約職員 (フルタイム)	437	55.4%	53.5%	60.0%	47.4%	44.6%	41.0%	30.0%	30.4%	26.8%	14.6%	11.4%	12.8%	6.9%	8.0%	7.6%	0.7%
有期契約職員 (パートタイム)	888	52.1%	34.3%	38.9%	51.0%	29.5%	40.2%	31.5%	26.6%	20.0%	10.4%	10.0%	7.1%	6.3%	6.2%	4.5%	2.1%
無回答	8	12.5%	37.5%	50.0%	37.5%	37.5%	37.5%	37.5%	0.0%	37.5%	25.0%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%

### 【年代別】

	n	発達に遅れのある児童への対応	保護者への対応	賃金・福利厚生	体力の低下	保育所等勤務先での人間関係	最近の保育の知識や技術などの不足	家事、育児、介護等との両立 家族などの周囲の理解	障害児保育	事故対応	防災対策	衛生管理	食物アレルギーへの対応	その他	体力づくり	地域の子育て支援	課題・悩み等はない
20代	626	59.6%	57.7%	59.1%	12.3%	48.1%	41.1%	19.6%	33.4%	27.8%	13.3%	9.7%	8.3%	8.8%	6.1%	3.2%	0.6%
30代	596	58.4%	53.9%	58.2%	28.5%	42.1%	40.4%	55.9%	37.4%	32.9%	19.8%	16.6%	12.9%	8.1%	8.4%	6.0%	0.7%
40代	618	59.7%	49.7%	51.1%	51.0%	39.8%	41.7%	44.0%	31.7%	28.8%	17.3%	13.4%	10.4%	9.5%	9.1%	8.1%	1.1%
50代	542	51.3%	44.6%	39.5%	64.0%	37.3%	38.7%	23.1%	29.2%	28.0%	17.5%	14.8%	11.3%	9.4%	7.4%	8.1%	0.9%
60代	270	43.3%	33.3%	25.9%	61.9%	26.3%	37.4%	13.7%	18.1%	20.4%	13.3%	12.6%	5.2%	9.6%	7.4%	6.7%	2.2%
無回答	8	62.5%	37.5%	62.5%	50.0%	25.0%	12.5%	12.5%	25.0%	25.0%	12.5%	12.5%	12.5%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%



## その他の内容（要約）

### 1 給与・待遇

- ① 仕事内容に対して給与が低く、生活が苦しい。
- ② 賞与や賃金の上昇が見込めず、モチベーションが低下。
- ③ 正規職員と非正規職員の間での賃金差に不満。

### 2 労働環境

- ① 長時間労働やサービス残業が常態化している。
- ② 休憩時間が取れない、または十分でない。
- ③ 保育士不足による負担の増加。

### 3 仕事量と負担

- ① 書類作成や事務作業が多く、持ち帰り仕事が増えている。
- ② 保育業務以外の負担が大きく、プライベートな時間が確保できない。
- ③ イベントや行事の準備に時間を取られ、精神的にも肉体的にも疲弊。

### 4 家庭との両立

- ① 自分の子どもや家庭との時間を確保するのが難しい。
- ② 子どもの病気などでの休暇取得が難しく、フルタイムで働けない。

### 5 職場の人間関係

- ① 職場内の人間関係が複雑でストレスを感じる。
- ② 上司や同僚からのハラスメントや不適切な指導方法に悩む。

### 6 保育の質

- ① 子ども一人一人に対する適切な対応が難しい。
- ② 特別な支援を必要とする子どもへの対応に不安がある。
- ③ 保育方針の変更や行政の指導に対する不満。

### 7 キャリアとスキルアップ

- ① スキルアップやキャリアアップの機会が少ない。
- ② 新人育成や後輩指導に時間と労力が取られる。

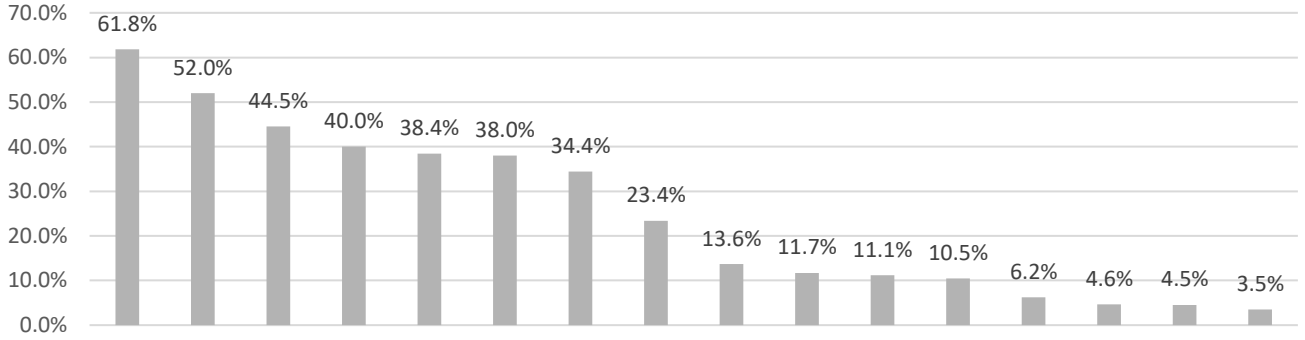
### 8 その他の悩み

- ① 保護者対応の難しさ。
- ② 職場の設備や環境の不備。
- ③ 公立と私立の保育園での待遇や環境の差。

## (8) 職場を選ぶ際に重視すること

AQ13あなたが保育士として職場を選ぶ際、どのようなことを重視していましたか。(〇はいくつでも)

「勤務地」が61.8%と最も多く、次いで「職場の人間関係」(52.0%)となっている。  
 年齢別では20代は「職場の人間関係」(57.3%)が最も多く、その他の世代は「勤務地」が最も多い。  
 雇用形態別ではどの形態も「勤務地」を最も重視している。



	n	勤務地 (自宅から近い等)	職場の人間関係	休暇が多い・とりやすい	やりがい	給与が高いこと	勤務時間・交代制の融通がきく	福利厚生 の 充 実 度	保育理念への共感	職員の数	保育所や法人の評判	保育所等の施設や設備充実度 (新しさ等)	昇格制度 (キャリアアップ)	研修制度の充実度	寮や家賃補助制度の有無	その他	特になし
全体	2660	61.8%	52.0%	44.5%	40.0%	38.4%	38.0%	34.4%	23.4%	13.6%	11.7%	11.1%	10.5%	6.2%	4.6%	4.5%	3.5%

### 【雇用形態別】

雇用形態	n	勤務地 (自宅から近い等)	職場の人間関係	休暇が多い・とりやすい	やりがい	給与が高いこと	勤務時間・交代制の融通がきく	福利厚生 の 充 実 度	保育理念への共感	職員の数	保育所や法人の評判	保育所等の施設や設備充実度 (新しさ等)	昇格制度 (キャリアアップ)	研修制度の充実度	寮や家賃補助制度の有無	その他	特になし
正規職員	1327	53.1%	49.9%	41.3%	38.7%	42.2%	26.6%	41.8%	24.2%	16.3%	11.2%	10.9%	13.6%	8.0%	7.5%	6.3%	3.8%
有期契約職員 (フルタイム)	437	68.9%	57.9%	53.3%	46.5%	44.2%	40.0%	37.8%	24.5%	14.2%	13.7%	13.7%	11.7%	5.7%	3.4%	3.0%	3.4%
有期契約職員 (パートタイム)	888	71.4%	52.5%	45.3%	38.7%	30.3%	53.9%	21.8%	21.7%	9.6%	11.6%	10.1%	5.3%	3.8%	0.9%	2.5%	3.0%
無回答	8	62.5%	37.5%	25.0%	50.0%	0.0%	37.5%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%

### 【年代別】

年代	n	勤務地 (自宅から近い等)	職場の人間関係	休暇が多い・とりやすい	やりがい	給与が高いこと	勤務時間・交代制の融通がきく	福利厚生 の 充 実 度	保育理念への共感	職員の数	保育所や法人の評判	保育所等の施設や設備充実度 (新しさ等)	昇格制度 (キャリアアップ)	研修制度の充実度	寮や家賃補助制度の有無	その他	特になし
全体	2660	61.8%	52.0%	44.5%	40.0%	38.4%	38.0%	34.4%	23.4%	13.6%	11.7%	11.1%	10.5%	6.2%	4.6%	4.5%	3.5%
20代	626	52.7%	56.7%	44.2%	35.0%	47.1%	27.2%	44.7%	21.6%	19.0%	12.8%	13.3%	13.6%	6.5%	10.1%	3.7%	2.9%
30代	596	58.2%	51.2%	51.0%	34.4%	43.1%	40.9%	47.1%	19.6%	16.6%	11.9%	11.2%	13.3%	6.0%	5.9%	5.4%	3.0%
40代	618	65.7%	56.0%	51.5%	38.2%	41.1%	46.1%	30.9%	24.4%	10.7%	14.1%	10.5%	10.0%	6.3%	2.4%	4.9%	4.5%
50代	542	69.2%	48.7%	37.3%	48.0%	30.6%	38.7%	21.0%	28.4%	11.3%	9.2%	10.9%	7.4%	6.5%	1.3%	4.2%	3.3%
60代	270	67.4%	41.1%	30.4%	52.2%	16.7%	36.3%	16.7%	23.3%	6.3%	8.5%	8.1%	3.7%	5.2%	0.4%	4.1%	3.7%
無回答	8	50.0%	37.5%	25.0%	50.0%	62.5%	37.5%	50.0%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	12.5%	0.0%

## その他の内容（要約）

### 1 雇用形態と安定性

- ① 公務員としての安定性（給料面、雇用の安定、倒産の心配がない）。
- ② 公立保育園で働くこと。
- ③ 長く勤められるか、定年まで働けるか。

### 2 給与と待遇

- ① 給与の安定性と適正な賃金。
- ② 家賃補助や光熱費補助などの福利厚生。
- ③ 賞与の有無。

### 3 職場環境

- ① 職場の雰囲気や人間関係。
- ② 園長や施設長の保育に対する考え方、情熱。
- ③ 職場の規模（小規模園を好む意見あり）。

### 4 労働条件

- ① 勤務時間と通勤距離。
- ② 休暇が取りやすいかどうか。
- ③ 持ち帰り仕事の有無。

### 5 育児との両立

- ① 育児と仕事の両立が可能か。
- ② 自分子どもを預ける先があるかどうか。
- ③ 母子同園ができるか。

### 6 勤務地と通勤

- ① 自宅からの通勤距離や通勤の利便性。
- ② 県内での勤務（特に修学資金を借りている場合）。

### 7 職場の方針と理念

- ① 園の保育方針や理念が自身の考えに合っているか。
- ② 自分の保育キャリアやスキルを活かせる環境か。

### 8 その他

- ① 職場の選択肢が限られている場合も多い。
- ② 過去の実習経験や知人の口コミ。
- ③ 仕事量とその対価が適正か。

## (9)現在の職場で働き続けるために充実を希望する項目

AQ14あなたはどのようなことが充実すれば、現在の職場で働き続けたいと思いますか。(〇はいくつでも)

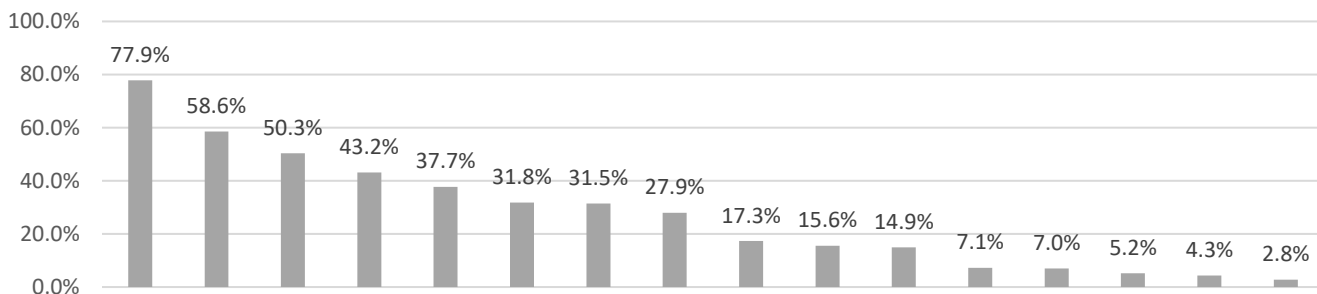
現在の職場で働き続けるために充実を希望する項目は、全体で「給与」が約8割（77.9%）と最も多く、次いで「職場の人間関係」（58.6%）となっている。

年代別で見るとどの年代も給与が一番多く、特に20代は約9割（88.5%）となっている。

雇用形態別にみると、「正規」「フルタイム」は「給与」が8割を超えている

前問の職場選択時に重視した項目では少なかった「福利厚生」が5番目に多くなっている

### 充実を希望する事項



	n	給与	職場の人間関係	休暇	がきく勤務時間・交代制の融通	福利厚生	職員の数	やりがい	勤務地（自宅から近い等）	昇格制度（キャリアアップ）	保育所等の施設や設備（新しさ等）	保育理念への共感	寮や家賃補助制度	研修制度	その他（具体的に）	保育所や法人の評判	特になし
全体	2660	77.9%	58.6%	50.3%	43.2%	37.7%	31.8%	31.5%	27.9%	17.3%	15.6%	14.9%	7.1%	7.0%	5.2%	4.3%	2.8%

#### 【雇用形態別】

	n	給与	職場の人間関係	休暇	がきく勤務時間・交代制の融通	福利厚生	職員の数	やりがい	勤務地（自宅から近い等）	昇格制度（キャリアアップ）	保育所等の施設や設備（新しさ等）	保育理念への共感	寮や家賃補助制度	研修制度	その他（具体的に）	保育所や法人の評判	特になし
正規職員	1327	82.3%	59.1%	58.3%	43.9%	44.9%	41.1%	29.5%	22.5%	20.4%	17.9%	13.8%	10.1%	7.7%	5.7%	4.9%	2.0%
有期契約職員（フルタイム）	437	83.3%	61.8%	51.7%	39.1%	42.3%	30.7%	35.0%	30.0%	21.3%	17.2%	16.9%	7.3%	8.2%	4.6%	5.3%	1.6%
有期契約職員（パートタイム）	888	68.7%	56.5%	37.8%	44.1%	24.8%	18.9%	32.7%	34.8%	10.5%	11.3%	15.5%	2.7%	5.2%	4.7%	2.8%	4.5%
無回答	8	75.0%	37.5%	37.5%	25.0%	37.5%	0.0%	37.5%	37.5%	25.0%	25.0%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%

#### 【年代別】

	n	給与	職場の人間関係	休暇	がきく勤務時間・交代制の融通	福利厚生	職員の数	やりがい	勤務地（自宅から近い等）	昇格制度（キャリアアップ）	保育所等の施設や設備（新しさ等）	保育理念への共感	寮や家賃補助制度	研修制度	その他（具体的に）	保育所や法人の評判	特になし
20代	626	88.5%	63.1%	60.1%	41.1%	51.9%	41.1%	29.1%	20.9%	25.2%	21.4%	10.2%	16.0%	6.9%	3.4%	6.4%	1.1%
30代	596	84.1%	57.0%	59.7%	48.8%	45.5%	37.6%	26.3%	27.9%	21.8%	15.6%	12.1%	9.4%	5.4%	5.5%	4.9%	1.5%
40代	618	78.6%	60.5%	50.8%	44.7%	33.7%	28.2%	32.0%	29.6%	16.0%	14.2%	16.0%	3.1%	9.4%	6.6%	3.6%	2.4%
50代	542	70.5%	57.6%	38.9%	38.7%	25.6%	26.8%	34.7%	32.5%	10.7%	13.5%	21.8%	1.8%	8.1%	5.2%	3.3%	3.3%
60代	270	53.0%	50.0%	29.3%	41.1%	21.9%	16.7%	41.1%	31.5%	4.8%	9.6%	15.6%	1.5%	3.0%	5.6%	1.9%	9.3%
無回答	8	75.0%	37.5%	25.0%	37.5%	25.0%	25.0%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

## その他の内容（要約）

### 1 雇用形態と安定性

- ① 公務員としての安定性（給料面、雇用の安定、倒産の心配がない）。
- ② 公立保育園で働くこと。
- ③ 長く勤められるか、定年まで働けるか。

### 2 給与と待遇

- ① 給与の安定性と適正な賃金。
- ② 家賃補助や光熱費補助などの福利厚生。
- ③ 賞与の有無。

### 3 職場環境

- ① 職場の雰囲気や人間関係。
- ② 園長や施設長の保育に対する考え方、情熱。
- ③ 職場の規模（小規模園を好む意見あり）。

### 4 労働条件

- ① 勤務時間と通勤距離。
- ② 休暇が取りやすいかどうか。
- ③ 持ち帰り仕事の有無。

### 5 育児との両立

- ① 育児と仕事の両立が可能か。
- ② 自分の子どもを預ける先があるかどうか。
- ③ 母子同園ができるか。

### 6 勤務地と通勤

- ① 自宅からの通勤距離や通勤の利便性。
- ② 県内での勤務（特に修学資金を借りている場合）。

### 7 職場の方針と理念

- ① 園の保育方針や理念が自身の考えに合っているか。
- ② 自分の保育キャリアやスキルを活かせる環境か。

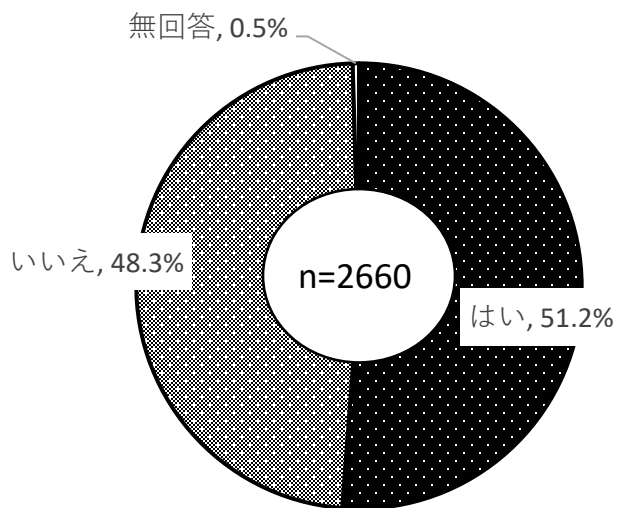
### 8 その他

- ① 職場の選択肢が限られている場合も多い。
- ② 過去の実習経験や知人の口コミ。
- ③ 仕事量とその対価が適正か。

## (10)過去の保育士経験について

AQ15 以前に別の職場で保育士として働いていたことはありますか。

別の職場で保育士経験がありの人は51.2%と約半数が転職経験があることになる。



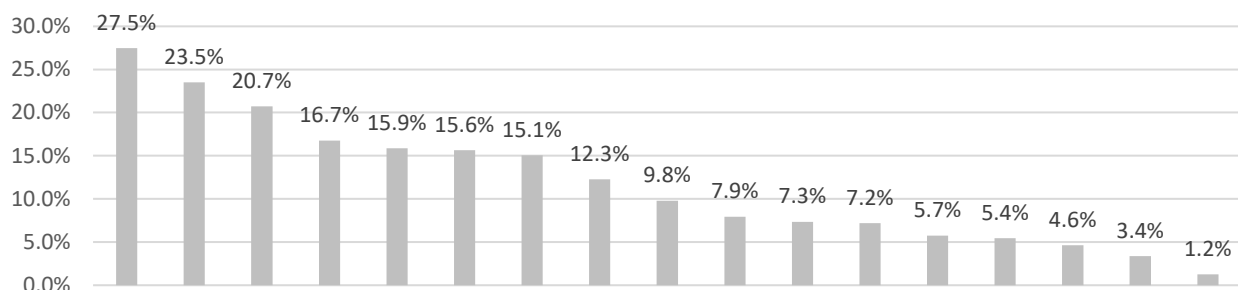
AQ16その職場を辞めた理由をお選びください。(〇はいくつでも)

別の職場で保育士経験がありの人で以前の職場を辞めた理由は、「結婚」が27.5%で最も多く、次いで「職場の人間関係」(23.5%)となっている。

雇用形態別にみると正規は「職場の人間関係」が最も多く、有期雇用は「結婚」が最も多い。

年代別にみると20代が「職場の人間関係」が44.8%で他の年代より多い。

以前の職場を辞めた理由



	n	結婚	職場の人間関係	妊娠・出産	仕事量が多い	給料が安い	労働時間が長い	その他	転居	保育所や法人の保育理念に共感できなかった	子育て・家事	健康上の理由(体力含む)	雇用期間満了	他業種への興味	家族の事情(介護等)	職業適性に対する不安	保護者対応の大変さ	配偶者の意向
全体	1,362	27.5%	23.5%	20.7%	16.7%	15.9%	15.6%	15.1%	12.3%	9.8%	7.9%	7.3%	7.2%	5.7%	5.4%	4.6%	3.4%	1.2%

【雇用形態別】

正規職員	415	18.3%	29.6%	8.4%	19.0%	21.4%	18.3%	23.1%	13.7%	11.8%	3.6%	7.2%	8.0%	7.2%	3.9%	5.3%	4.3%	1.7%
有期契約職員(フルタイム)	288	28.1%	27.1%	19.8%	19.1%	19.1%	18.8%	17.0%	8.7%	11.1%	8.0%	7.3%	8.0%	5.9%	2.4%	5.2%	2.1%	0.0%
有期契約職員(パートタイム)	653	32.8%	17.9%	28.9%	14.1%	10.7%	12.6%	8.6%	12.6%	8.0%	10.7%	7.5%	6.1%	4.6%	7.7%	4.0%	3.2%	1.5%
無回答	6	33.3%	16.7%	0.0%	16.7%	33.3%	16.7%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%

【年代別】

20代	145	18.6%	44.8%	4.8%	32.4%	22.8%	31.0%	19.3%	17.2%	14.5%	1.4%	13.1%	2.1%	6.9%	1.4%	9.0%	11.0%	2.1%
30代	290	22.8%	30.7%	25.5%	17.9%	19.7%	21.4%	13.1%	16.2%	7.6%	6.9%	5.5%	5.9%	5.9%	3.8%	6.2%	2.4%	0.3%
40代	367	28.1%	23.4%	26.7%	17.2%	17.2%	13.6%	14.4%	10.1%	11.7%	9.5%	7.4%	6.8%	5.7%	4.1%	5.4%	3.0%	0.8%
50代	356	33.1%	16.9%	20.5%	13.2%	12.6%	12.1%	14.3%	9.0%	9.8%	8.7%	7.3%	7.9%	4.8%	8.4%	2.5%	2.5%	1.4%
60代	200	28.5%	9.0%	14.5%	8.5%	9.0%	6.5%	17.0%	12.5%	6.0%	10.0%	5.5%	11.5%	5.5%	8.0%	1.5%	1.0%	2.5%
無回答	4	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

## その他の内容（要約）

### 1 職場環境と人間関係

- ① 上司や園長からのパワハラやいじめ。
- ② 職場内の人間関係の悪化。
- ③ 園長の不適切な態度や圧力。

### 2 給与と待遇

- ① 残業手当や福利厚生がない。
- ② パートから正規職員への転職希望。
- ③ 賃金や待遇に不満。

### 3 労働環境

- ① 長時間労働やサービス残業。
- ② 休暇の取りにくさや有給休暇の未取得。
- ③ 勤務時間の変更や減少。

### 4 キャリアと異動

- ① キャリアアップのための転職。
- ② 人事異動による職場変更。
- ③ 新しい職場からの誘い。

### 5 家庭と健康

- ① 妊娠や育児休暇の取得が困難。
- ② 親の介護や子どもの成長に伴う転職。
- ③ 体調不良やメンタルヘルスの問題。

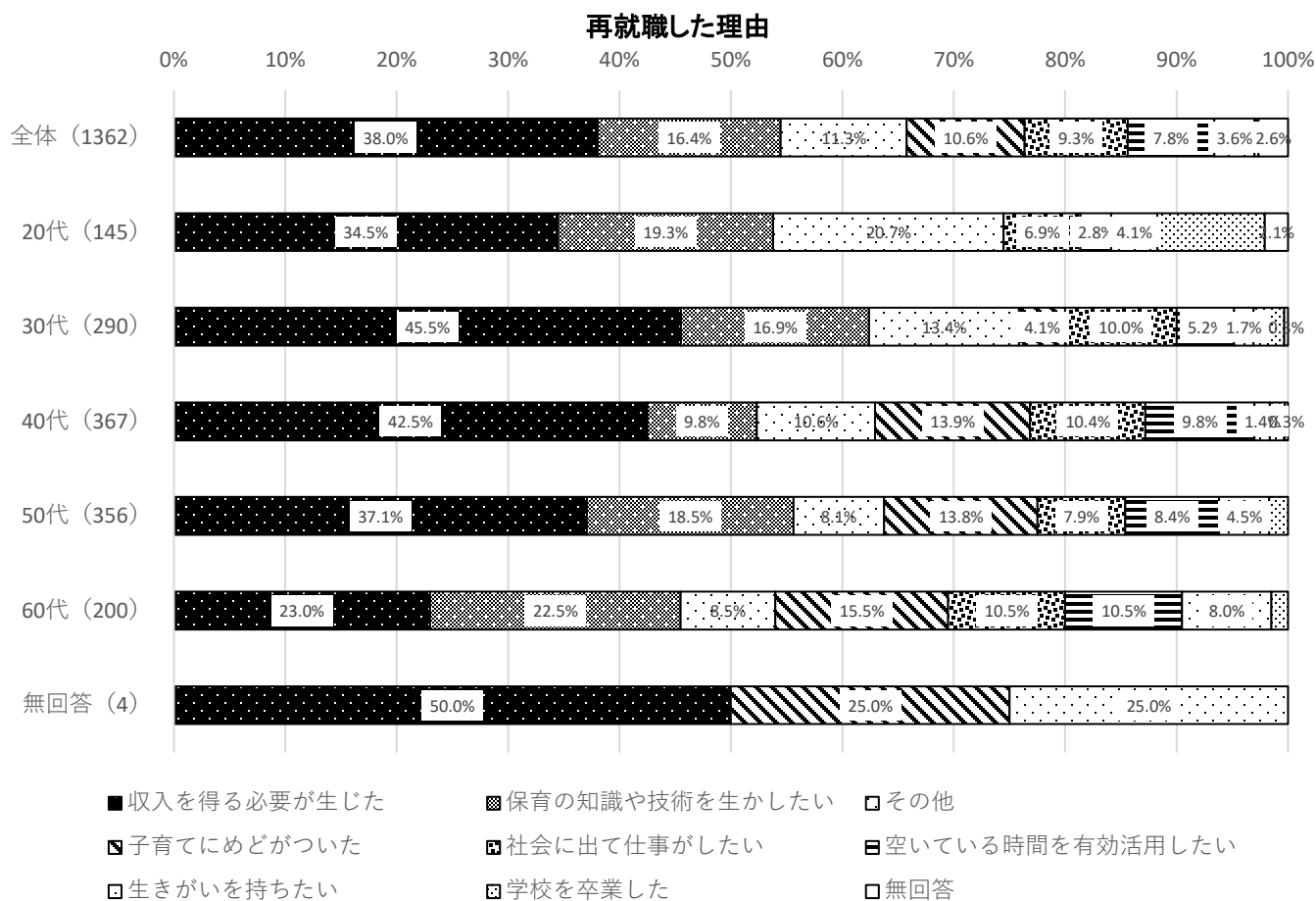
### 6 その他の理由

- ① 職場の閉園や統廃合。
- ② 自分のやりたいことができる環境を求めての転職。
- ③ 通勤時間が長すぎる。
- ④ 非正規雇用から正規雇用への転職。



## AQ17 再就職した最大の理由は何ですか。

再就職した理由は、収入を得る必要が生じたが38.0%で最も多く、次いで、「保育の知識や技術を生かしたい」（16.4%）となっている。



### その他の内容（要約）

#### 1 家庭の事情

- ① 子どもが保育園に入ったため時間ができた。
- ② 結婚や引越しに伴う再就職。
- ③ 子どもを保育園に預けるために就労の必要があった。

#### 2 職場からの誘い

- ① 知り合いや元職場からの誘い。
- ② 保育士不足で依頼された。
- ③ 友人や後輩からの勧め。

#### 3 職場環境と条件

- ① 自宅から近い。
- ② 勤務時間や休日の融通が利く。
- ③ 給料や雇用条件が希望に合っていた。

#### 4 キャリアと資格の活用

- ① 保育士資格を活かしたい。
- ② 正規職員として安定した雇用を希望。
- ③ 保育の知識や技術を上げたい。

#### 5 保育に対する情熱

- ① 保育の仕事にやりがいを感じる。
- ② 子どもが好き。
- ③ 保育現場に再び魅力を感じた。

#### 6 その他の理由

- ① 再就職ではなく異動。
- ② 新しい環境や挑戦を求めて。
- ③ 地元で働きたいという希望。

## (11)現在の職場で改善を希望する事項

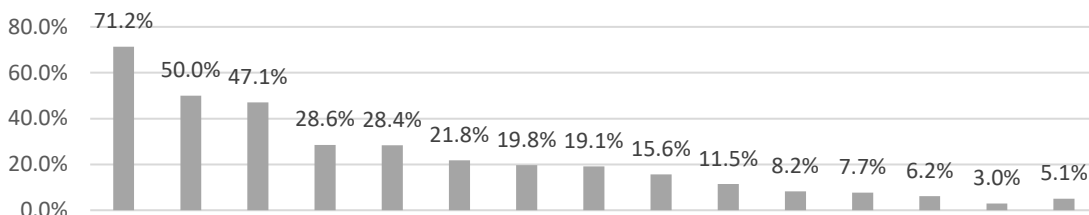
AQ18現在の職場に対して、日ごろあなたが改善してほしいと思っている事柄はありますか。下記の中から近いものをお選びください。(〇はいくつでも)

現在の職場で改善を希望する事項は、「給与・賞与等の改善」が71.2%で最も多く、次いで「職員数の増員」(50.0%)となっている。

雇用形態別でみると、正規では「事務・雑務の軽減」が2番目に多く、有期契約職員(フルタイム及びパートタイム)では「職員数の増員」が2番目に多くなっている。

年代別では、20代、30代において「事務・雑務の軽減」が2番目に多くなっている。

現在の職場で改善を希望する事項



	n	給与・賞与等の改善	職員数の増員	事務・雑務の軽減	未消化(有給等)休暇の改善	職員間のコミュニケーション	勤務シフトの改善	責任範囲の縮小	雇用の安定化(正規職員登用)	相談体制の充実	評価制度の見直し	研修機会の充実	保育所や法人の保育理念や運営方針	特になし	権限範囲の拡大	その他
全体	2,660	71.2%	50.0%	47.1%	28.6%	28.4%	21.8%	19.8%	19.1%	15.6%	11.5%	8.2%	7.7%	6.2%	3.0%	5.1%

### 【雇用形態別】

正規職員	1,327	73.5%	59.8%	64.4%	41.4%	29.8%	29.2%	23.1%	18.9%	17.9%	16.2%	9.6%	8.4%	2.2%	3.6%	5.8%
有期契約職員(フルタイム)	437	82.6%	46.9%	45.8%	22.7%	30.0%	16.9%	25.6%	30.4%	15.8%	11.0%	6.4%	6.9%	4.3%	3.4%	5.0%
有期契約職員(パートタイム)	888	62.2%	37.2%	22.2%	12.3%	25.6%	13.3%	12.0%	13.7%	12.3%	4.7%	7.2%	7.3%	13.3%	1.8%	4.1%
無回答	8	87.5%	12.5%	25.0%	25.0%	25.0%	12.5%	0.0%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

### 【運営主体別】

公設・公営	1,561	71.7%	53.6%	53.0%	32.0%	28.6%	20.2%	22.5%	23.5%	15.0%	13.5%	6.4%	5.9%	6.0%	3.0%	4.2%
公設・民営	75	61.3%	37.3%	42.7%	17.3%	26.7%	28.0%	16.0%	18.7%	14.7%	8.0%	12.0%	9.3%	9.3%	0.0%	2.7%
民設・民営(社会福祉法人)	628	72.1%	46.3%	38.7%	26.6%	29.9%	24.0%	16.6%	12.3%	18.2%	8.8%	10.0%	12.1%	5.1%	3.2%	8.0%
民設・民営(株式会社)	139	71.2%	45.3%	36.7%	17.3%	23.0%	25.9%	15.8%	10.8%	15.8%	10.8%	16.5%	8.6%	9.4%	2.9%	4.3%
民設・民営(NPO法人)	44	59.1%	47.7%	38.6%	22.7%	25.0%	29.5%	6.8%	18.2%	13.6%	11.4%	15.9%	13.6%	11.4%	6.8%	6.8%
民設・民営(その他)	157	67.5%	40.8%	34.4%	19.1%	25.5%	21.7%	12.7%	15.3%	10.2%	7.0%	8.3%	6.4%	8.9%	1.9%	4.5%
無回答	57	80.7%	45.6%	49.1%	29.8%	31.6%	17.5%	24.6%	5.3%	22.8%	5.3%	7.0%	5.3%	3.5%	3.5%	3.5%

【年代別】

	n	給与・賞与等の改善	職員数の増員	事務・雑務の軽減	未消化（有給等）休暇の改善	職員間のコミュニケーション	勤務シフトの改善	責任範囲の縮小	雇用の安定化（正規職員登用）	相談体制の充実	評価制度の見直し	研修機会の充実	針 保育所や法人の保育理念や運営方	特 に ない	権 限 範 圍 の 拡 大	そ の 他
20代	626	79.9%	56.2%	57.2%	36.7%	32.6%	26.2%	26.0%	17.7%	19.0%	12.0%	7.8%	7.8%	3.4%	5.3%	3.8%
30代	596	74.8%	53.9%	54.4%	35.2%	28.5%	23.5%	23.2%	20.5%	16.6%	13.8%	7.9%	8.9%	3.7%	6.4%	2.3%
40代	618	70.4%	49.2%	44.2%	23.6%	28.5%	20.7%	19.1%	20.1%	15.2%	12.0%	8.7%	6.0%	6.0%	5.5%	3.1%
50代	542	66.8%	43.4%	39.9%	24.0%	28.4%	20.8%	14.8%	21.6%	15.5%	11.4%	8.3%	9.0%	7.2%	4.8%	3.1%
60代	270	54.4%	42.6%	28.5%	15.9%	17.8%	12.6%	9.3%	12.6%	7.4%	4.1%	8.5%	6.3%	17.4%	1.5%	1.1%
無回答	8	62.5%	37.5%	62.5%	12.5%	37.5%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	25.0%

その他の内容（要約）

<p>1 労働環境と待遇</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 超過勤務の認定と残業代の支払い。</li> <li>② 休憩時間の確保。</li> <li>③ 給与アップと適正な賃金。</li> <li>④ 住宅補助の提供。</li> <li>⑤ 時短勤務やリフレッシュ休暇の導入。</li> <li>⑥ 正規職員とパート職員の待遇格差の解消。</li> </ul> <p>2 職場環境と人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 園長や上司のパワハラや圧力の改善。</li> <li>② 上司の適正な教育と態度の改善。</li> <li>③ 職場内の人間関係の見直し。</li> <li>④ 保育士の声を反映する経営方針の導入。</li> <li>⑤ パート職員の異動の必要性。</li> </ul> <p>3 業務と仕事量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 業務量の適正化と負担の軽減。</li> <li>② デジタル化の推進。</li> <li>③ 行事や掃除の負担軽減。</li> <li>④ 事務作業の削減。</li> </ul>	<p>4 施設と設備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 施設設備の修繕と改善。</li> <li>② 給食の献立の改善。</li> <li>③ 園内のトイレや駐車場の整備。</li> <li>④ 保育園の建て替え。</li> </ul> <p>5 研修と教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 非正規職員も参加できる研修の実施。</li> <li>② 保育士の教育と研修内容の現場への反映。</li> <li>③ ベテラン保育士の不適切な対応の改善。</li> </ul> <p>6 保育方針と運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 保育方針の見直しと現代の保育に合った運営。</li> <li>② 保護者の意見ばかりに依存しない方針。</li> <li>③ 保育士1人あたりの担当する子どもの人数の見直し。</li> </ul> <p>7 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 保育士の職場でのリフレッシュ休暇の導入。</li> <li>② 保育士のための看病休暇の提供。</li> <li>③ 福祉や地域社会との連携強化。</li> <li>④ 福利厚生の実施。</li> </ul>
--	--

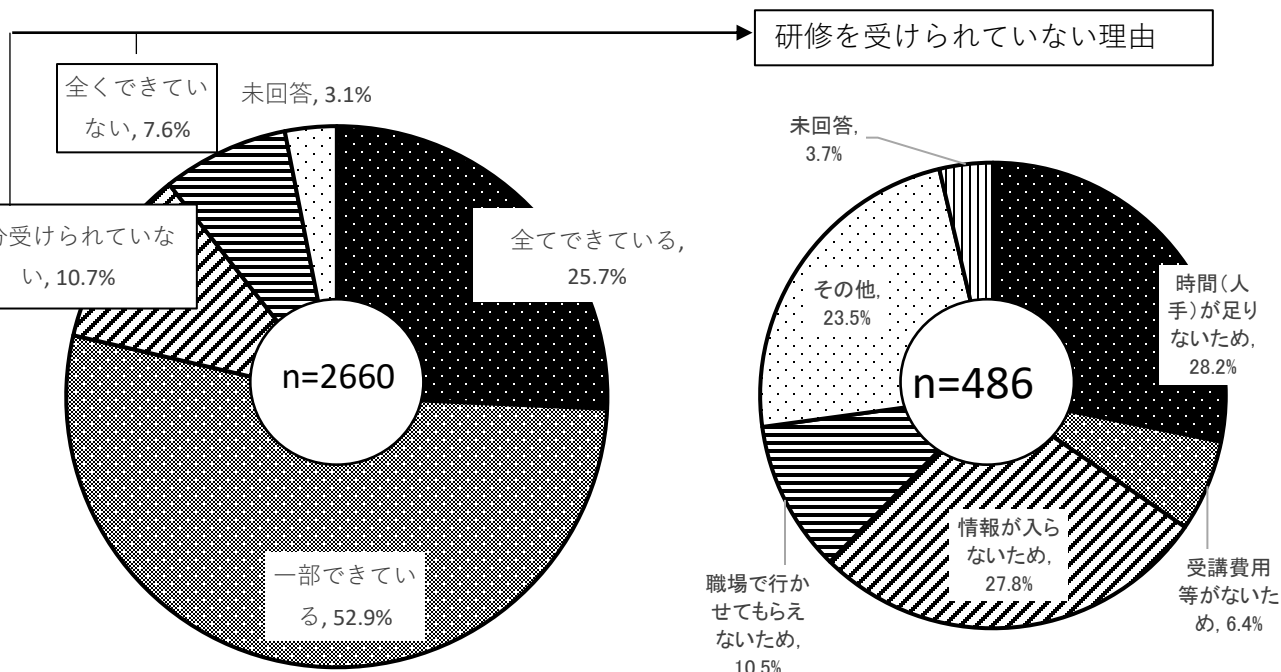
## (12) 研修の受講状況

AQ19学びたい研修を受けることができますか  
AQ20研修を受けられていない理由をお選びください。

研修の受講状況については「全てできている」(25.7%)「一部できている」(52.9%)と「できている」が78.6%となっている。運営主体別にみても「全てできている」「一部できている」の割合が多い。

一方で「十分受けられていない」「全くできていない」理由としては「時間(人手)が足りないため」が28.2%と最も多く、次いで「情報が入らないため」(27.8%)となっている。

運営主体別では「公設・民営」「民設・民営(社会福祉法人)」「民設・民営(株式会社)」で「情報が入らないため」が最も多い。



研修が受けられているか(運営主体別)

	n	全てできている	一部できている	十分受けられていない	全くできていない	無回答
全体	2,660	25.7%	52.9%	10.7%	7.6%	3.1%
公設・公営	1,561	23.8%	55.8%	10.4%	7.1%	2.9%
公設・民営	75	18.7%	54.7%	16.0%	10.7%	0.0%
民設・民営(社会福祉法人)	628	28.2%	51.3%	9.9%	7.8%	2.9%
民設・民営(株式会社)	139	24.5%	48.9%	12.2%	10.1%	4.3%
民設・民営(NPO法人)	44	22.7%	43.2%	18.2%	9.1%	6.8%
民設・民営(その他)	156	35.9%	41.7%	10.9%	7.1%	4.5%
無回答	57	38.6%	38.6%	12.3%	7.0%	3.5%

## 研修が受けられない理由(運営主体別)

	n	時間(人手)が足りないため	受講費用等がないため	情報が入らないため	職場で行かせてもらえないため	その他	無回答
全体	486	28.2%	6.4%	27.8%	10.5%	23.5%	3.7%
公設・公営	273	29.3%	5.5%	26.0%	11.0%	25.3%	2.9%
公設・民営	20	20.0%	0.0%	35.0%	10.0%	30.0%	5.0%
民設・民営(社会福祉法人)	111	27.0%	8.1%	29.7%	9.9%	19.8%	5.4%
民設・民営(株式会社)	31	9.7%	6.5%	38.7%	16.1%	29.0%	0.0%
民設・民営(NPO法人)	12	66.7%	0.0%	8.3%	8.3%	16.7%	0.0%
民設・民営(その他)	28	35.7%	14.3%	21.4%	3.6%	17.9%	7.1%
無回答	11	18.2%	9.1%	45.5%	9.1%	9.1%	9.1%

### その他の内容(要約)

#### 1 雇用形態と職位

- ① パート職員や派遣社員のため対象外。
- ② 正規職員優先で会計年度職員や代替え職員には機会がない。
- ③ 嘱託や臨時保育士であるため。

#### 2 勤務時間と業務量

- ① 勤務時間が限られているため参加できない。
- ② やるべきことが多く、研修に割く時間がない。
- ③ 延長保育士や早朝保育担当のため時間が合わない。

#### 3 家庭の事情

- ① 家庭や育児との両立が難しい。
- ② 小さな子どもがいるため時間を確保できない。

#### 4 職場の方針

- ① 職場で研修の必要性が認められていない。
- ② 研修の案内がない、または上司が決めている。
- ③ 職場全体で研修に対する積極性がない。

#### 5 個人的な理由

- ① 研修に興味がない、または必要性を感じていない。
- ② コロナ禍による制約。
- ③ 研修の内容や対象が自分に合わない。

### (13) 保育業務支援のためのシステムの導入の有無

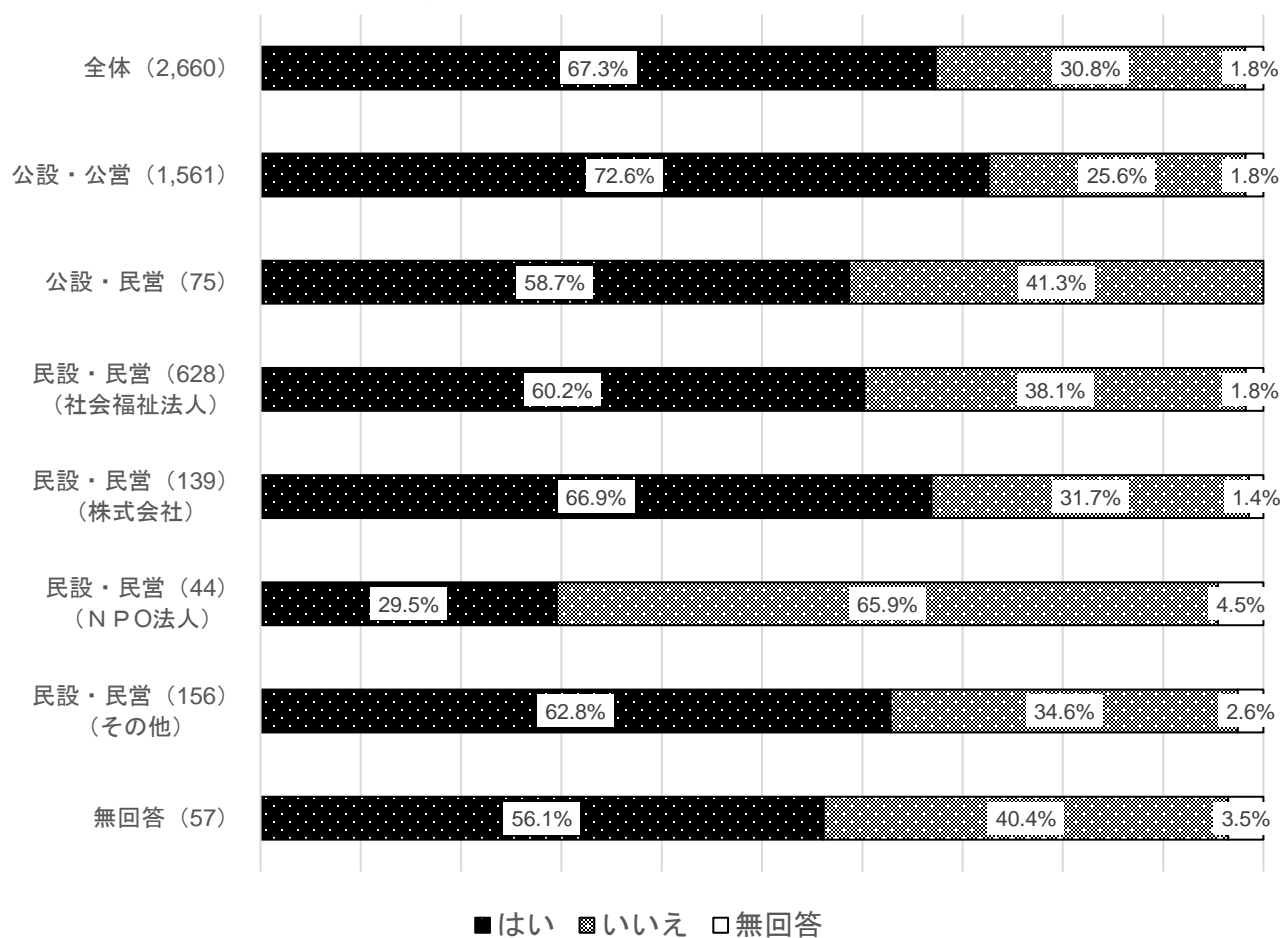
AQ21あなたが現在働いている職場では、保育業務を支援するシステム(例えば、児童の登降管理を行うシステムなど)は導入されていますか。

保育業務支援のためのシステムの導入の有無は、導入している（「はい」）が67.3%、導入していない（「いいえ」）が30.8%となっている。

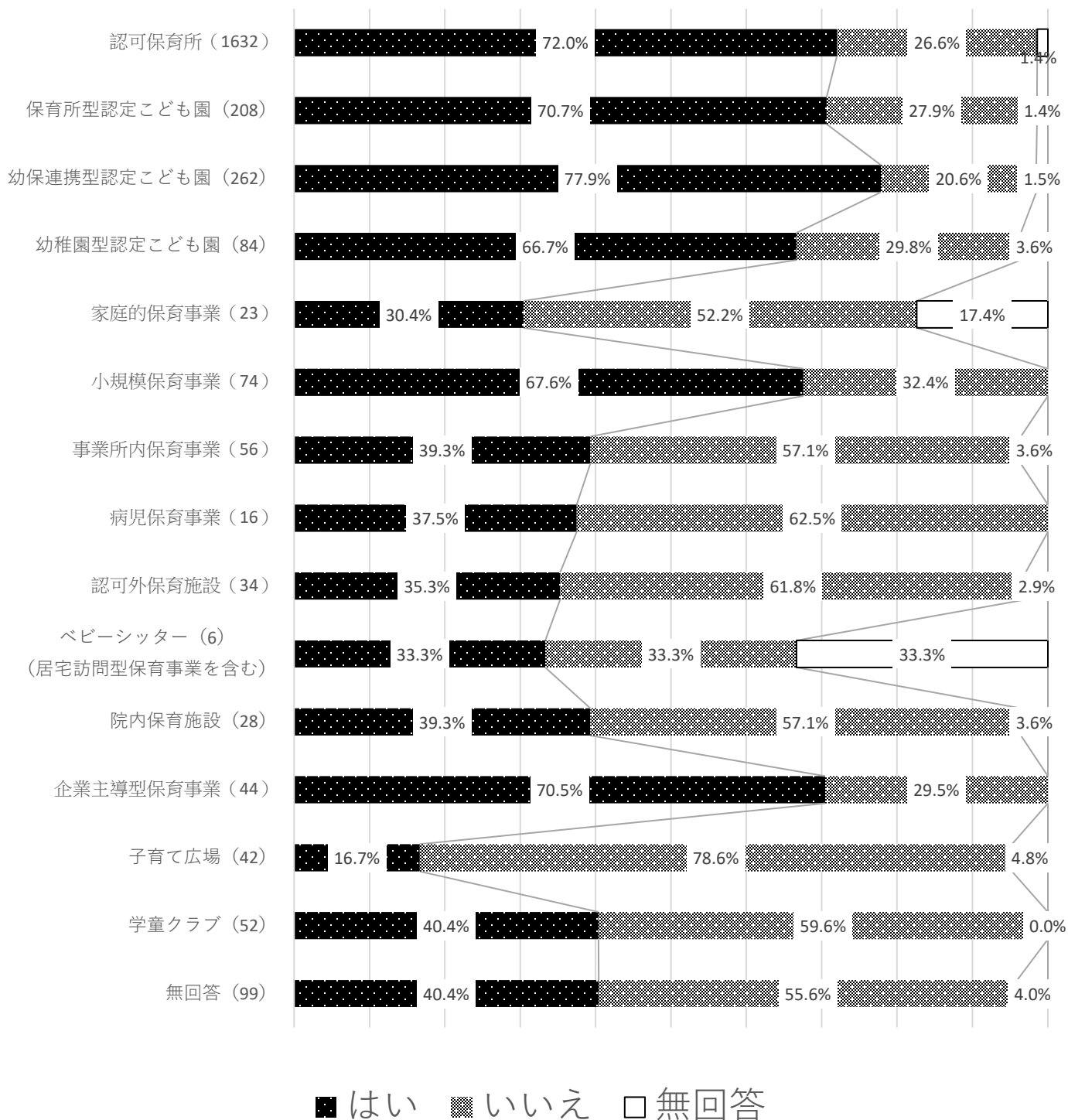
運営主体別でみると導入している（「はい」）がNPO法人以外は5割を超えている。

施設類型別でみると、認可保育所、保育所型認定こども園、幼保連携型認定こども園、幼稚園型認定こども園、小規模保育事業、企業主導型保育事業において導入が5割を超えている。

保育業務支援のためのシステム導入の有無(運営主体別)



### 保育業務支援のためのシステム導入の有無（施設類型別）



## (14) 保育業務支援のためのシステムによる負担の軽減

AQ22【AQ21で「1. はい」と回答した方にお聞きします。】

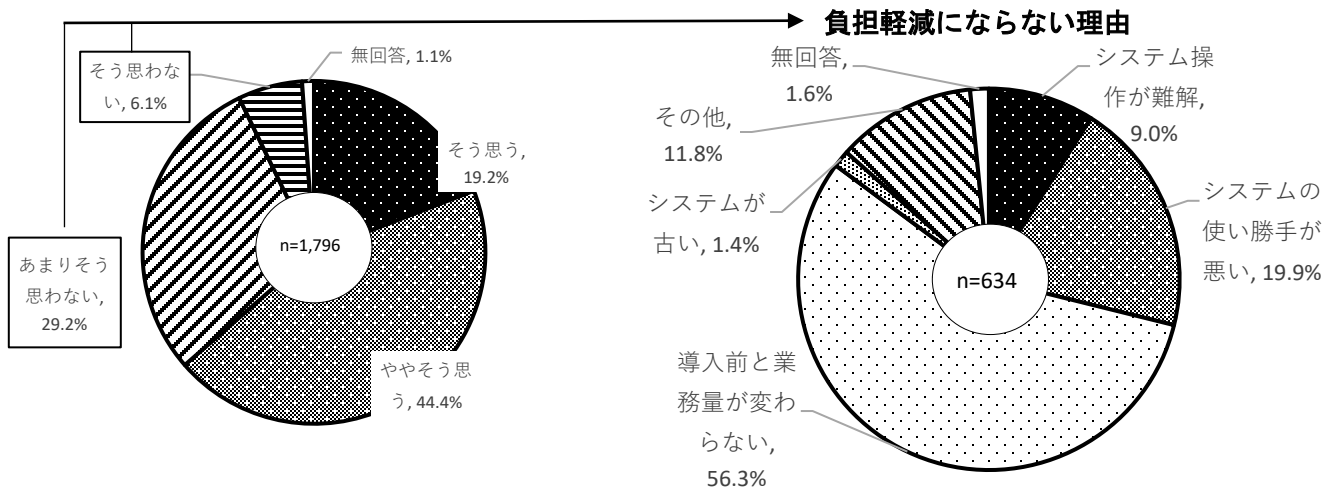
導入されたことで、業務負担の軽減につながっていると感じますか。

AQ23【AQ22で「3. あまりそう思わない」「4. そう思わない」と回答した方にお聞きします。】

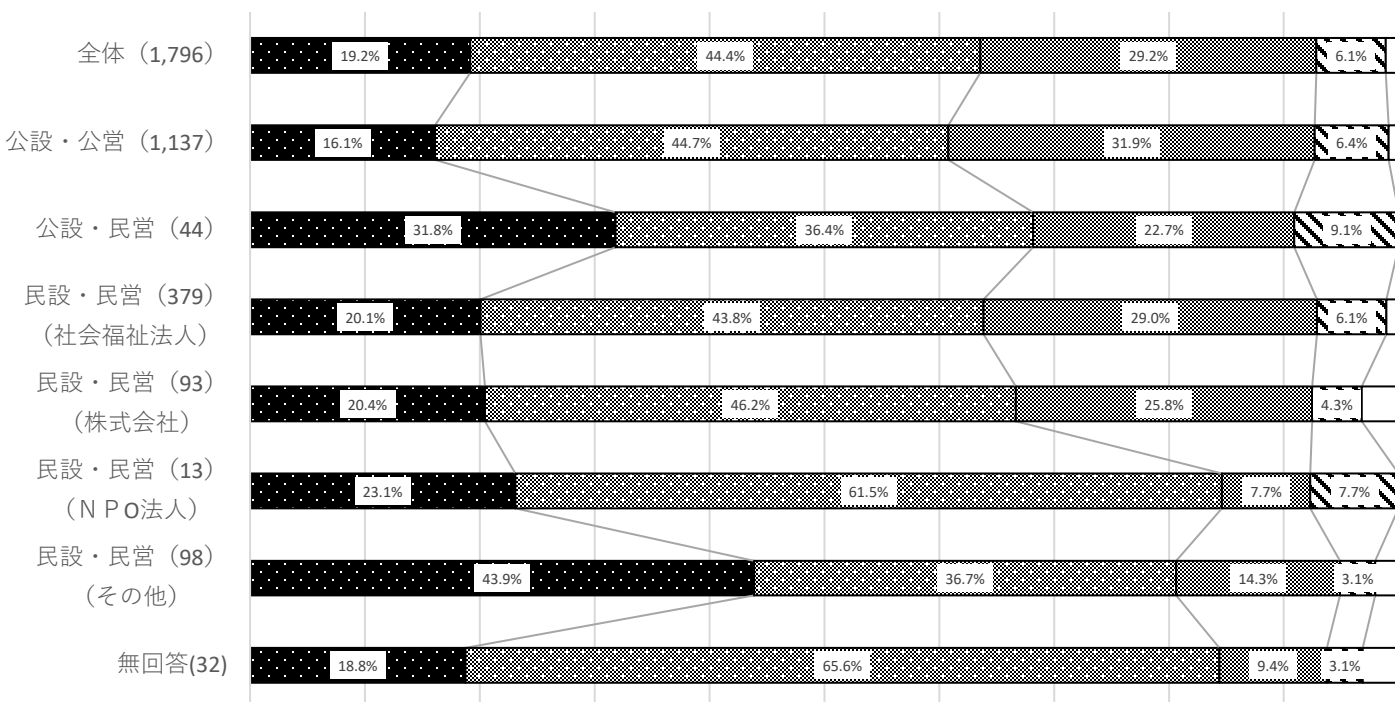
AQ22のように感じる理由をお聞かせください。(〇はいくつでも)

現在の職場で導入した保育業務支援のためのシステムが業務負担の軽減につながっているかでは、「そう思う」「ややそう思う」が63.6%と6割を超えている。  
負担軽減にならないと感じる理由は「導入前と業務量が変わらない」が56.3%と最も多い。

### 負担軽減の軽減について



### 保育業務支援のためのシステムによる負担軽減(運営種類別)



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない □ 無回答



## 負担軽減にならない理由（運営種類別）

	n	導入前と業務量が変わらない	システムの使い勝手が悪い	その他	システム操作が難解	システムが古い	無回答
全体	634	56.3%	19.9%	11.8%	9.0%	1.4%	1.6%

### 【運営主体別】

公設・公営	436	56.4%	21.6%	10.6%	9.4%	0.7%	1.4%
公設・民営	14	50.0%	28.6%	7.1%	7.1%	7.1%	0.0%
民設・民営 (社会福祉法人)	133	57.1%	15.8%	15.8%	8.3%	3.0%	0.0%
民設・民営 (株式会社)	28	39.3%	17.9%	21.4%	10.7%	3.6%	7.1%
民設・民営 (NPO法人)	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
民設・民営 (その他)	17	70.6%	5.9%	5.9%	5.9%	0.0%	11.8%
無回答	4	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

### その他の内容（要約）

#### 1 二重作業

- ① システム導入後も紙ベースでの作業が続いている。
- ② 手書きとデジタルの両方で同じ情報を入力するため、二重の手間がかかる。

#### 2 システムの不慣れと不具合

- ① 職員がシステムに慣れていない。
- ② システムの操作に不安や抵抗がある。
- ③ 故障や不具合が多い。

#### 3 通信環境の問題

- ① Wi-Fiやネットワーク環境が不安定。
- ② 通信環境の悪さでシステムがスムーズに動かない。

#### 4 業務量の増加

- ① システム導入によって逆に業務量が増えたと感じる。
- ② 登降園時間の入力や確認作業が増加。

#### 5 職員の技術的な問題

- ① 年長者やパート職員がシステムを使いこなせない。
- ② システムの操作方法が分からない職員がいる

#### 6 システムの適用範囲

- ① パート職員や代替え保育士はシステム利用の対象外。
- ② システムが全職員に行き渡っていない。
- ③ 担当が毎朝システムをチェックする必要がある。

#### 7 運用上の問題

- ① システム導入後も旧来の方法を継続している。
- ② 必要な項目を後から付け足すため、かえって手間が増えている。
- ③ 保護者がシステムを正しく利用していない。

#### 8 その他の理由

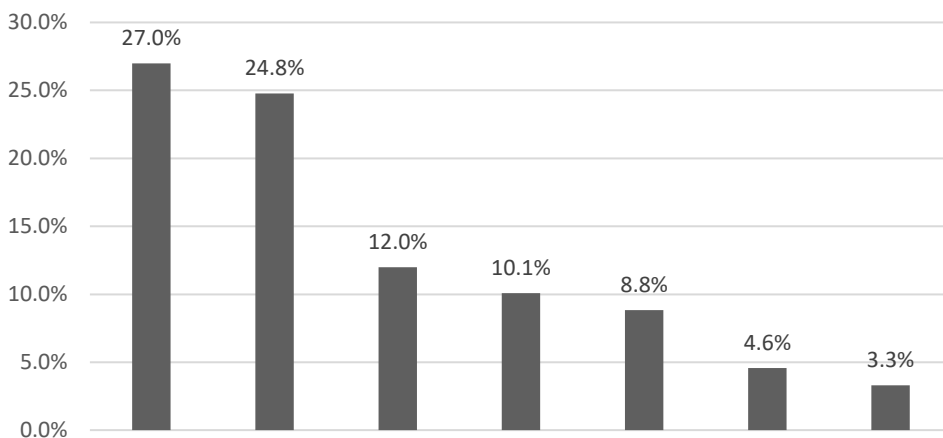
- ① システムに依存しすぎてコミュニケーションが取りづらい。
- ② パソコン台数不足でシステムが十分に活用されていない。
- ③ システムの起動や操作に時間がかかる。

AQ24【AQ22で「3. あまりそう思わない」「4. そう思わない」と回答した方にお聞きます。】

AQ22で回答した理由を解消するために必要だと感じているものはどれですか？（〇はいくつでも）

負担軽減にならない理由を解消するために必要なことは「既存のシステムを使い勝手が良いように改善してほしい」が27.0%で最も多く、次いで、「わからない」となっている。

負担軽減解消に必要な事由



	n	既存のシステムを使い勝手が良いように改善してほしい（バージョンアップやカスタマイズなど）	わからない	システムをより使う方針にするなど保育所内の意識改革をしてほしい	その他	保育所等に来てシステムの利用方法を教えるなど直接支援してほしい	研修の機会・場を設けてほしい	システムを買い替えてほしい
全体	634	27.0%	24.8%	12.0%	10.1%	8.8%	4.6%	3.3%

【運営主体別】

運営主体	n	既存のシステムを使い勝手が良いように改善してほしい	わからない	システムをより使う方針にするなど保育所内の意識改革をしてほしい	その他	保育所等に来てシステムの利用方法を教えるなど直接支援してほしい	研修の機会・場を設けてほしい	システムを買い替えてほしい
公設・公営	436	29.8%	21.1%	10.1%	11.7%	11.0%	4.1%	3.0%
公設・民営	14	35.7%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%
民設・民営（社会福祉法人）	133	20.3%	28.6%	16.5%	8.3%	4.5%	6.0%	3.8%
民設・民営（株式会社）	28	25.0%	28.6%	10.7%	3.6%	7.1%	7.1%	7.1%
民設・民営（NPO法人）	2	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
民設・民営（その他）	17	5.9%	64.7%	11.8%	5.9%	0.0%	5.9%	0.0%
無回答	4	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

## その他の内容（要約）

### 1 システムと機器の改善

- ① 職員一人に一台の電子機器を提供。
- ② 端末の台数を増やし、各クラスに配置。
- ③ システムが頻繁に変更されないよう安定させる。
- ④ 故障や不具合が少ない安定したシステム。
- ⑤ パソコンやタブレットの充電環境の整備。
- ⑥ 電波やWiFi環境の改善。

### 2 業務の簡素化

- ① 紙ベースと電子システムの二重作業を廃止。
- ② 手作業での確認を減らす。
- ③ システムと現行の業務を統合して一元管理。
- ④ 書類や記録の内容を簡素化し、重複を避ける。

### 3 教育とサポート

- ① 高齢の職員にもシステムの使い方を教える。
- ② システム専用の事務職員を配置し、保育士が保育に専念できるようにする。
- ③ システムの使い方や運用方法の改善。

### 4 時間管理

- ① 職務時間内に業務を終わらせるための工夫。
- ② 園外でも業務ができるようにする。
- ③ 仕事をする時間を確保し、持ち帰り仕事を減らす。

### 5 システムの活用促進

- ① システムを効果的に活用し、業務の軽減につなげる。
- ② 保護者へのシステム利用の徹底。
- ③ システムが連動して通知が出るようにする。

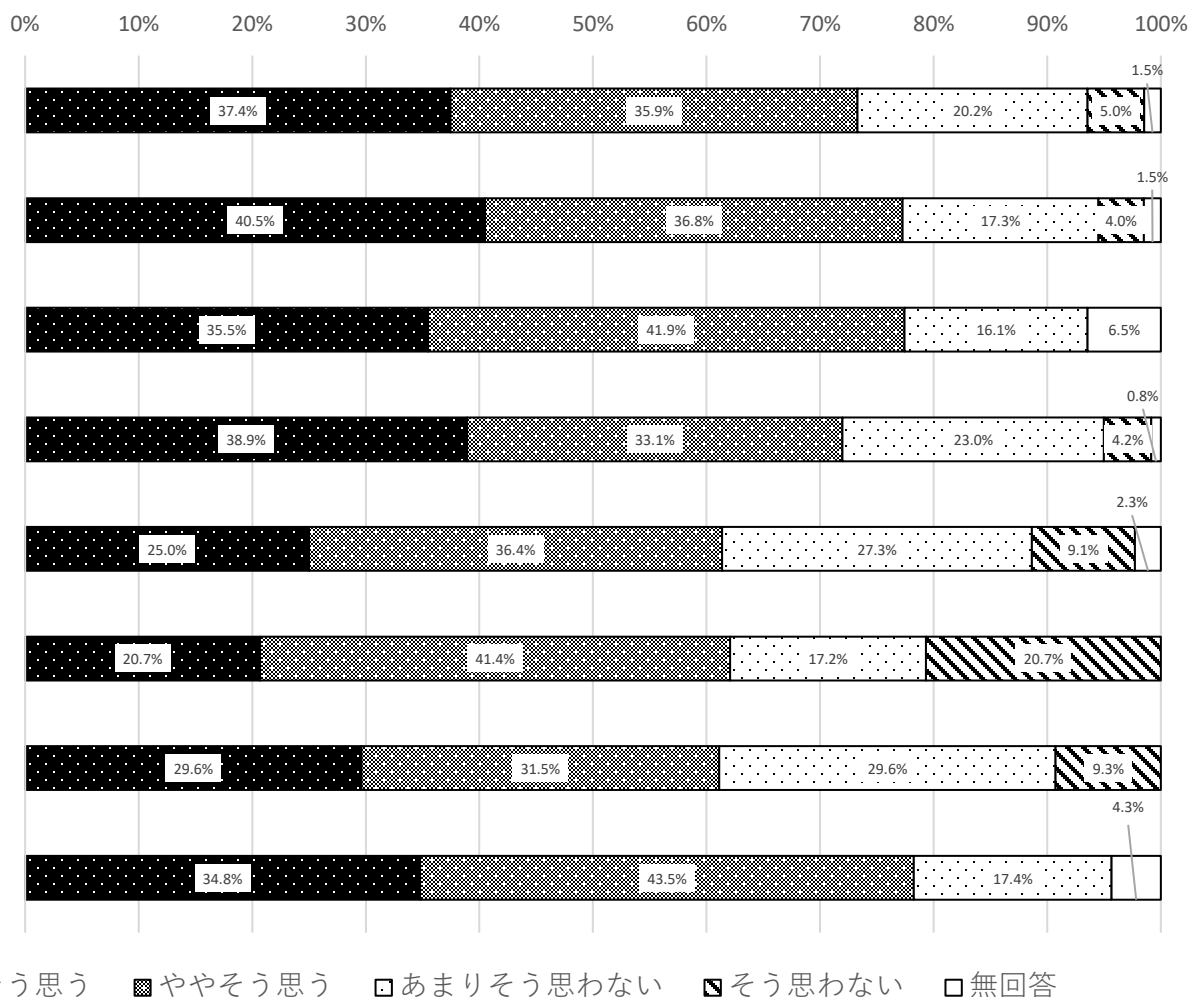
### 6 その他の提案

- ① 保育士の負担を減らすための事務職員の導入。
- ② 子どもの登園時の確認作業の改善。
- ③ システムと人間同士のやり取りのバランスを取る。

AQ25【AQ21で「2. いいえ」(導入していない)と回答した方にお聞きます。】  
 今後、保育業務を支援するシステムを導入してほしいと思いますか。

「そう思う」(37.4%)と「ややそう思う」(35.9%)で導入希望が73.4%となっている。

### 導入希望 (運営主体別)



## (15) 処遇改善に対する実感

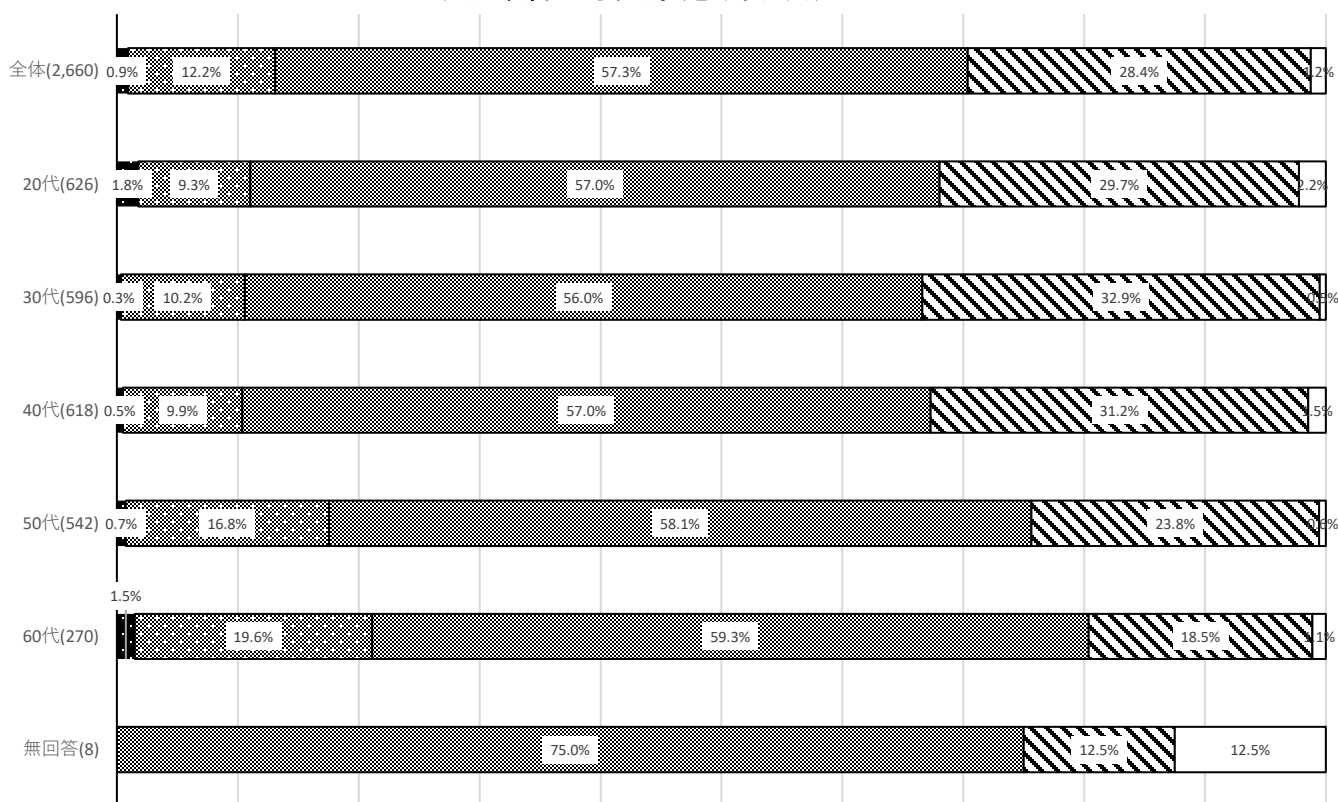
AQ26近年、行政において保育士への処遇改善を図る取組（処遇改善臨時特例事業など）を実施していますが、保育士の処遇が改善されていると感じますか。

処遇が改善されているかについては「十分改善されている」「改善されている」は全体で13.1%で、「あまり改善されていない」「全く改善されていない」は85.7%となっている。

年代別も60代を除き、「あまり改善されていない」「全く改善されていない」が全体の8割を超えている。

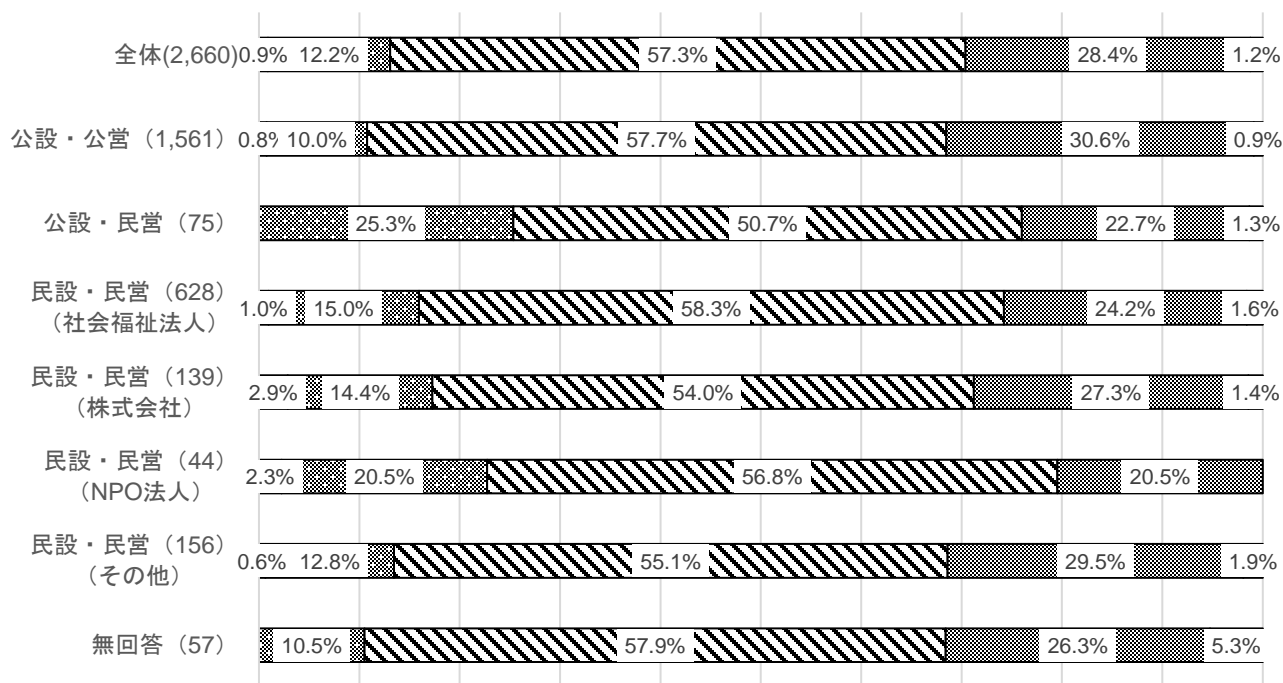
役職別では「園長」「副園長」が他の役職と比べると「あまり改善されていない」「全く改善されていない」の割合が多いが、全体的にどの役職も「あまり改善されていない」「全く改善されていない」の割合が多い。

処遇改善に対する実感(年代別)



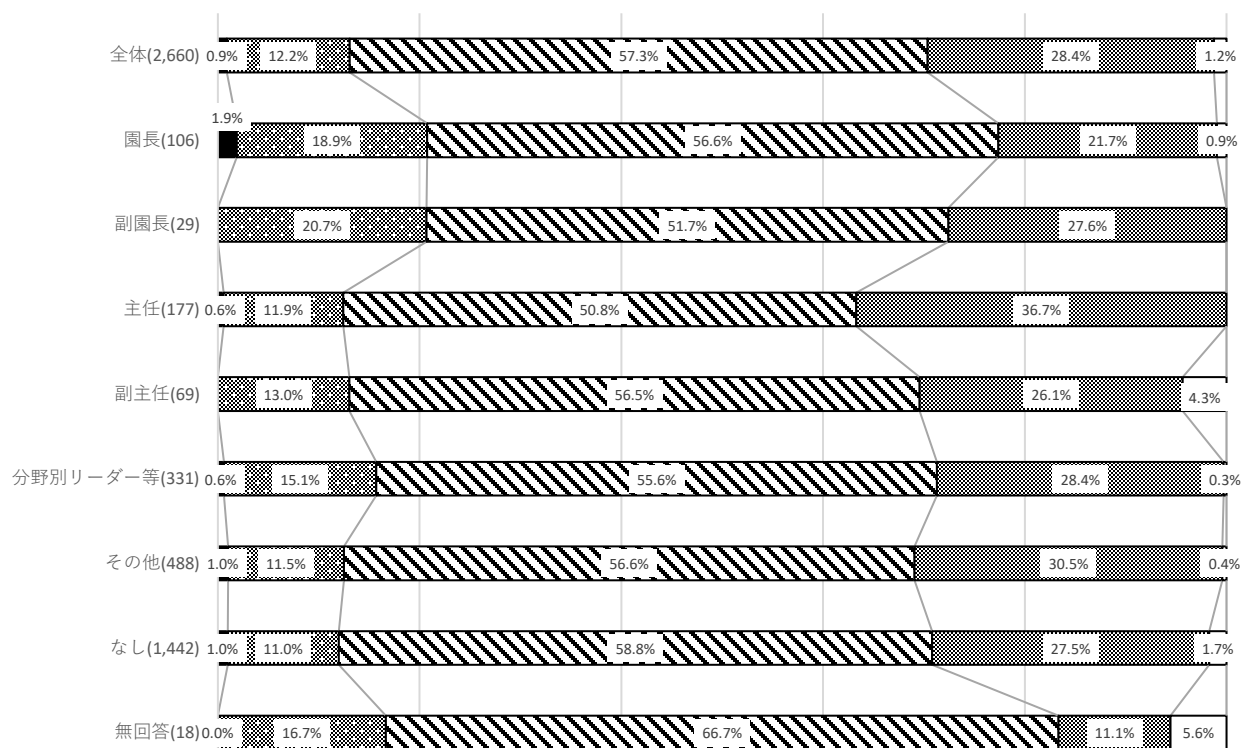
- 十分改善されている
- かなり改善されている
- あまり改善されていない
- 全く改善されていない
- 無回答

### 処遇改善に対する実感(運営主体別)



十分改善されている
  かなり改善されている
  あまり改善されていない
  全く改善されていない
  無回答

### 処遇改善に対する実感(役職別)



十分改善されている
  かなり改善されている
  あまり改善されていない
  全く改善されていない
  無回答

## (16) 役職(上位の役職)への就任希望の有無

AQ27現在の職場で働き続ける上で、副主任保育士やクラスリーダー、乳児保育リーダーなどの役職に今後就きたいと思いますか。現在、役職に就いている場合は、現在の役職よりも組織上で上位の役職(クラスリーダー→副主任保育士など)に就きたいと考えていますか。

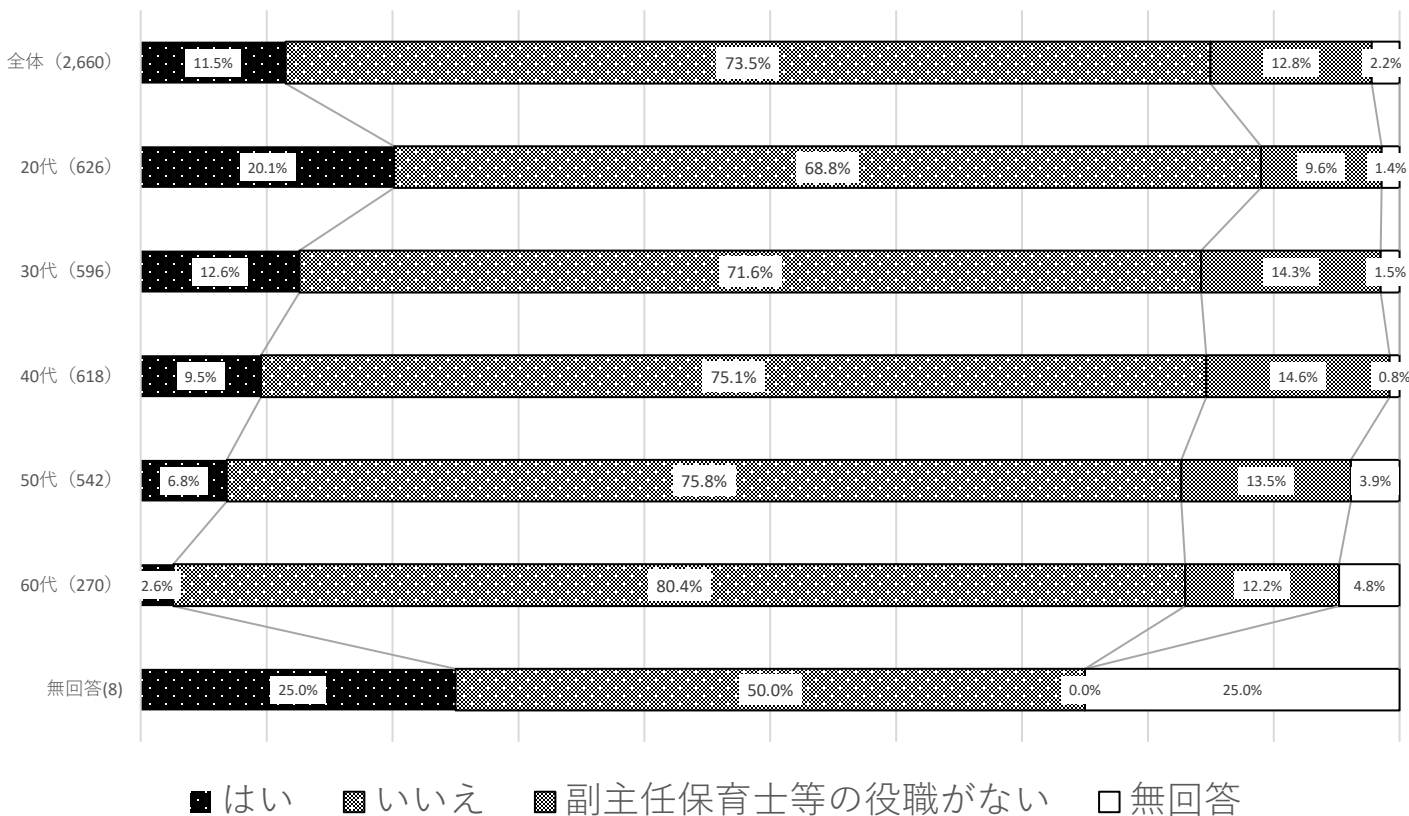
役職(上位の役職)への就任希望の有無は、就任したい(「はい」)が11.5%で、就任したくない(「いいえ」)が73.5%となっている。

年代別でみると20代の就任希望が20.1%でほかの年代よりも多い。

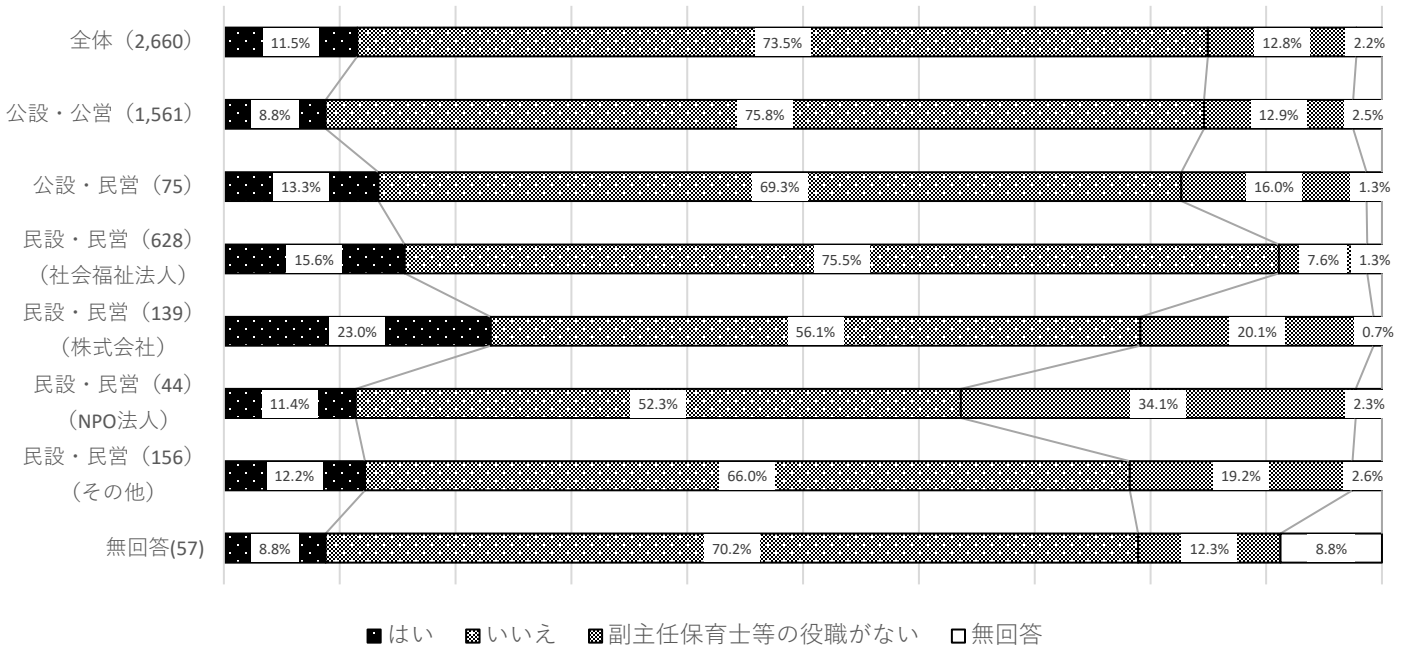
運営主体別でみると公設・公営の就任希望(「はい」)が8.8%と最も少ない。

役職別でみると副主任が就任希望(「はい」)が24.6%と最も多い。

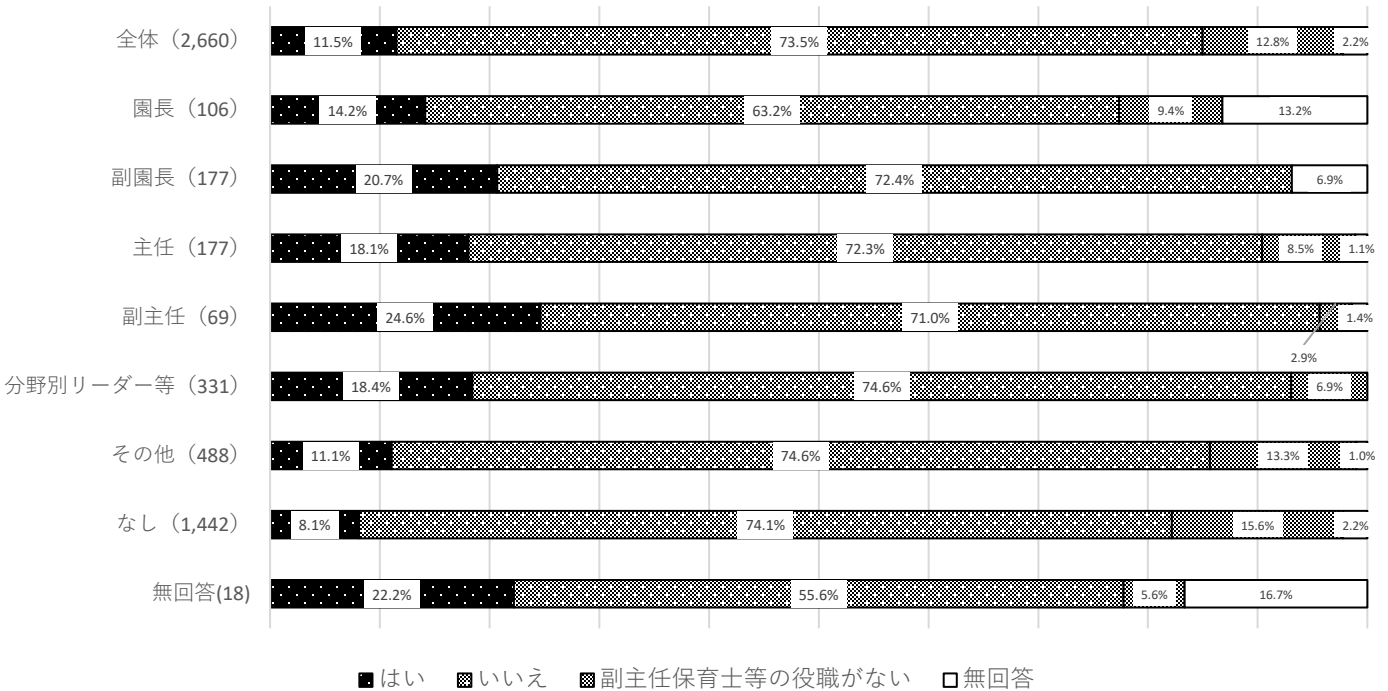
役職(上位の役職)への就任希望の有無(年齢別)



### 役職(上位の役職)への就任希望の有無(運営主体別)



### 役職(上位の役職)への就任希望の有無(役職別)





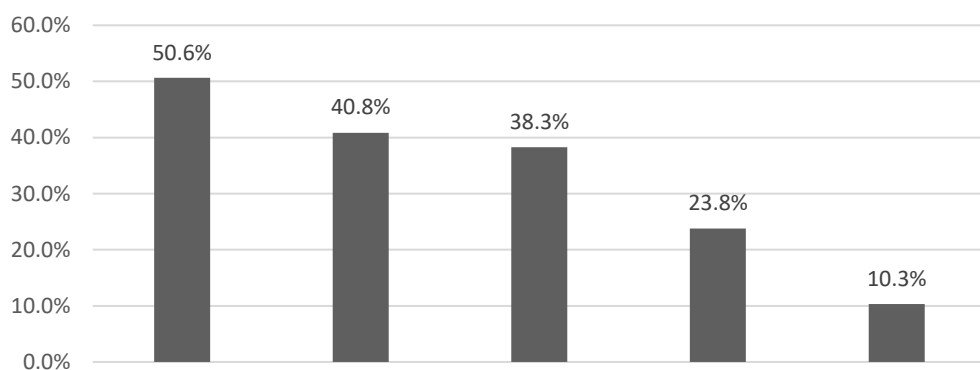
AQ28【AQ27で「2. いいえ」と回答した方にお聞きます。】

役職(上位の役職)に今後就きたいと思わない理由をお聞かせください。(〇はいくつでも)

役職に就きたいと思わない理由としては、「責任の重い仕事をしたくない」が50.6%で最も多く、次いで、「役職に見合った昇給が見込めない」(40.8%)となっている。

年代別でも20代から30代では同様の傾向となっている。

役職別では「園長」「副主任」「分野別リーダー等」が「役職に見合った昇給が見込めない」が最も多くなっている。



	n	責任の重い仕事をしたくない	役職に見合った昇給が見込めない	今の仕事やポジションに満足している	後輩の育成よりも子どもに向き合う仕事に取り組みたい	その他
全体	1954	50.6%	40.8%	38.3%	23.8%	10.3%

【年代】

年代	n	責任の重い仕事をしたくない	役職に見合った昇給が見込めない	今の仕事やポジションに満足している	後輩の育成よりも子どもに向き合う仕事に取り組みたい	その他
20代	431	64.0%	52.7%	29.5%	31.1%	4.4%
30代	427	60.0%	54.1%	33.3%	23.9%	11.0%
40代	464	52.6%	44.4%	39.2%	24.1%	10.6%
50代	412	36.4%	26.9%	44.7%	21.6%	10.9%
60代	217	27.6%	10.6%	52.1%	12.4%	18.9%
無回答	4	75.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%

	n	責任の重い仕事をしたくない	役職に見合った昇給が見込めない	今の仕事やポジションに満足している	後輩の育成よりも子ども向き合う仕事に取り組みたい	その他
全体	1954	50.6%	40.8%	38.3%	23.8%	10.3%

【運営主体】

公設・公営	1184	52.5%	41.4%	36.1%	22.0%	10.6%
公設・民営	52	51.9%	25.0%	34.6%	25.0%	17.3%
民設・民営 (社会福祉法人)	474	43.2%	41.6%	43.9%	26.8%	10.3%
民設・民営 (株式会社)	78	59.0%	46.2%	39.7%	30.8%	7.7%
民設・民営 (NPO法人)	23	39.1%	34.8%	34.8%	21.7%	4.3%
民設・民営 (その他)	103	52.4%	34.0%	40.8%	23.3%	9.7%
無回答	40	65.0%	47.5%	32.5%	30.0%	2.5%

【役職】

園長	67	38.8%	44.8%	17.9%	23.9%	13.4%
副園長	21	61.9%	57.1%	9.5%	52.4%	14.3%
主任	128	62.5%	44.5%	20.3%	27.3%	12.5%
副主任	49	55.1%	63.3%	24.5%	24.5%	6.1%
分野別リーダー等	247	56.7%	60.3%	29.6%	27.5%	6.9%
その他	364	46.2%	41.2%	39.3%	26.9%	13.2%
なし	1068	49.6%	34.4%	44.4%	21.1%	9.9%
無回答	10	50.0%	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%

その他の内容（要約）

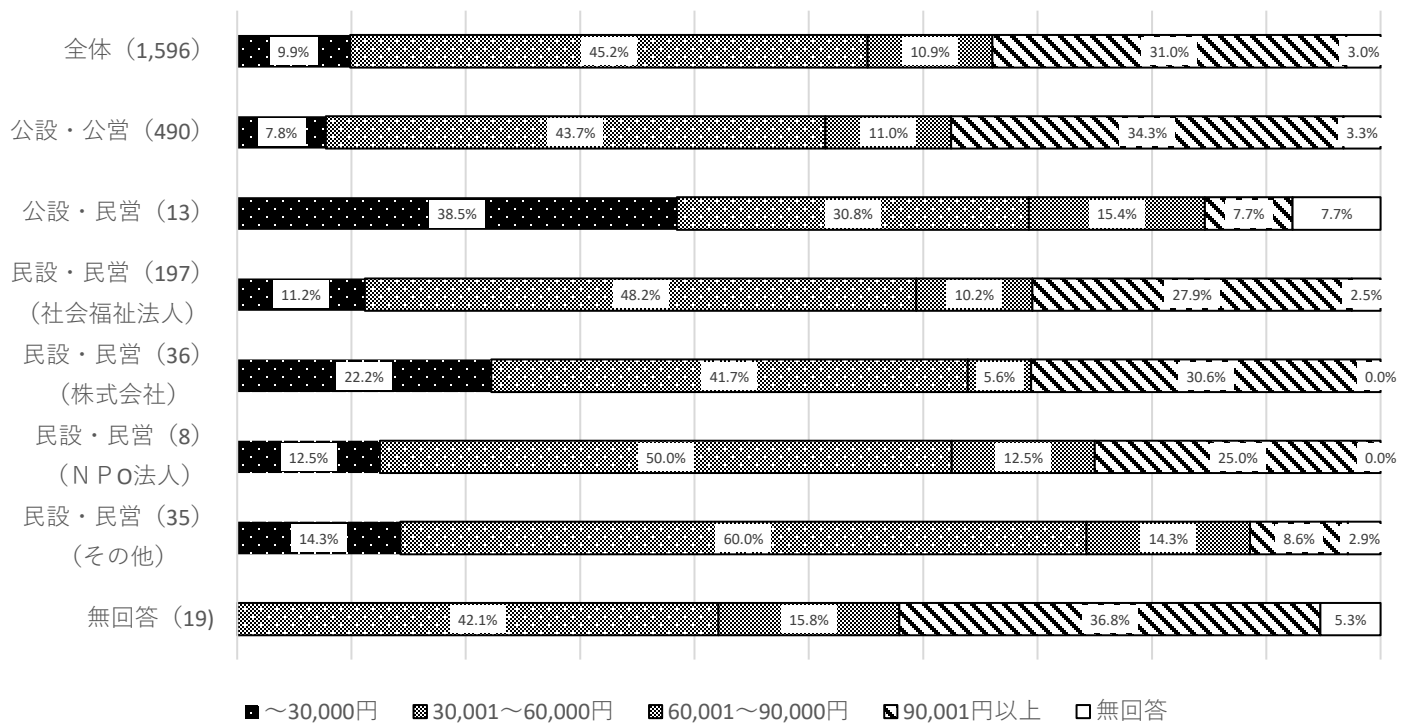
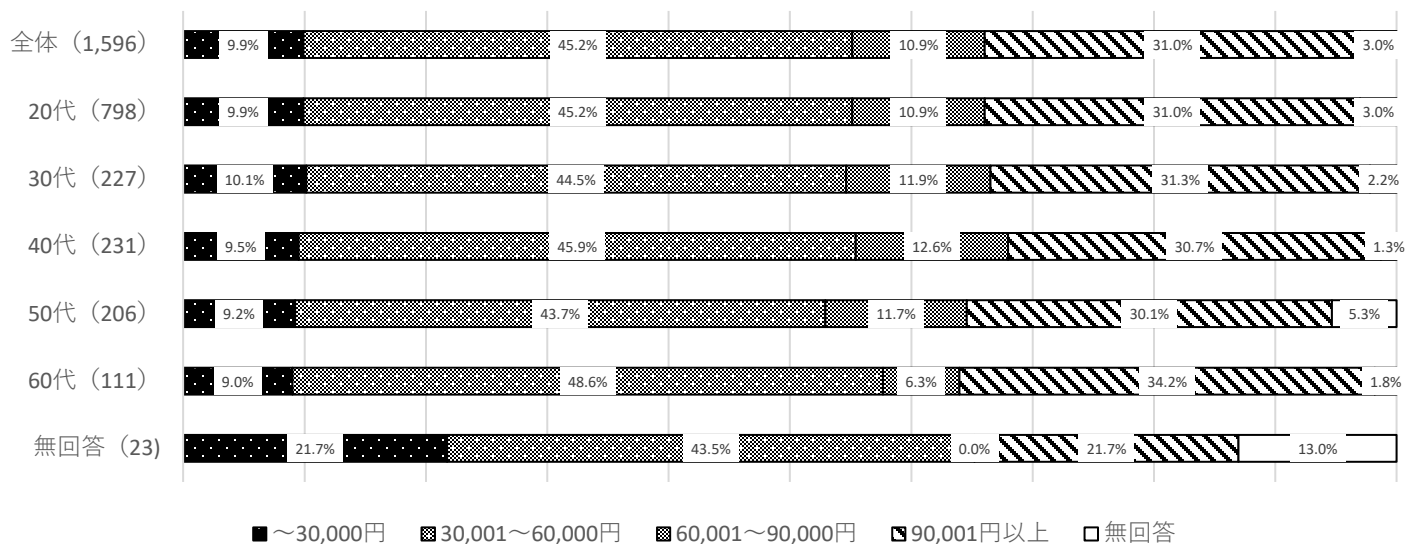
<p>1 責任と負担の重さ</p> <p>① 重い責任や業務量が増えることによる心身への負担。</p> <p>② シフト作成や書類仕事の増加。</p> <p>③ 保育業務に加えて園全体の仕事が増えるため。</p> <p>2 家庭との両立の難しさ</p> <p>① 家庭や育児との両立が難しい。</p> <p>② 家庭を優先したい。</p> <p>③ 自分の子どもが小さいため、思うように働けない。</p> <p>3 自身の適性と自信の不足</p> <p>① 自分には向いていないと感じる。</p> <p>② 自信がない、力不足。</p> <p>③ 自身の知識や実力が不足していると感じる。</p>	<p>4 職場環境と人間関係</p> <p>① 園長や上司のワンマン体質や人間関係の悪さ。</p> <p>② 職場の人間関係やトラブルの対処に疲れる。</p> <p>5 業務量と残業</p> <p>① サービス残業が増える。</p> <p>② 仕事量が多く、精神的に負担が大きい。</p> <p>③ 残業が常態化している。</p> <p>6 他の理由</p> <p>① 現在の役職に満足しているため、さらに上の役職を目指す気がない。</p> <p>② 退職を考えている。</p> <p>③ 特殊な立場や業務に就いているため。</p> <p>④ 年齢的に後輩に役職を譲りたいと考えている。</p> <p>⑤ 過去に役職を経験し、もう十分だと感じている。</p>
--	---

**AQ29【AQ28で「2. 役職に見合った昇給が見込めない」と回答された方にお聞きます。】  
現在の給料から、どの程度昇給すれば、上位の役職に就きたいと考えますか。**

昇給希望額としては「30001～60000円」が45.2%で最も多く、次いで、「90,001円以上」（31.0%）となっている。

年代別でもどの年代も同様の傾向となっている。

運営主体別でみると公設・民営、民設・民営（その他）以外は全体と同様の傾向となっている。



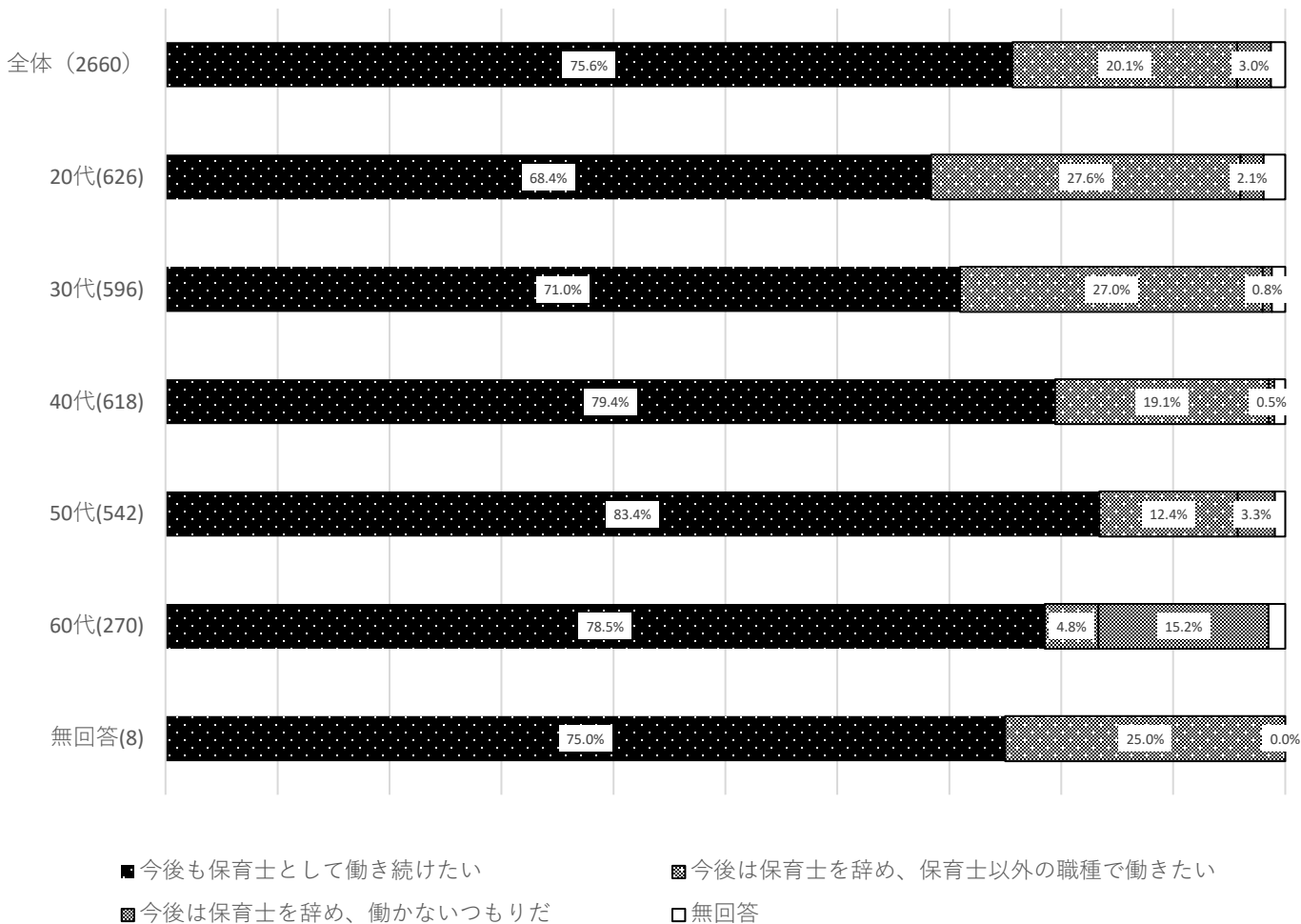
## (17) 今後の保育士としての継続希望について

AQ30 あなたは、今後も保育士として働き続けたいと思っていますか。(〇は1つだけ)

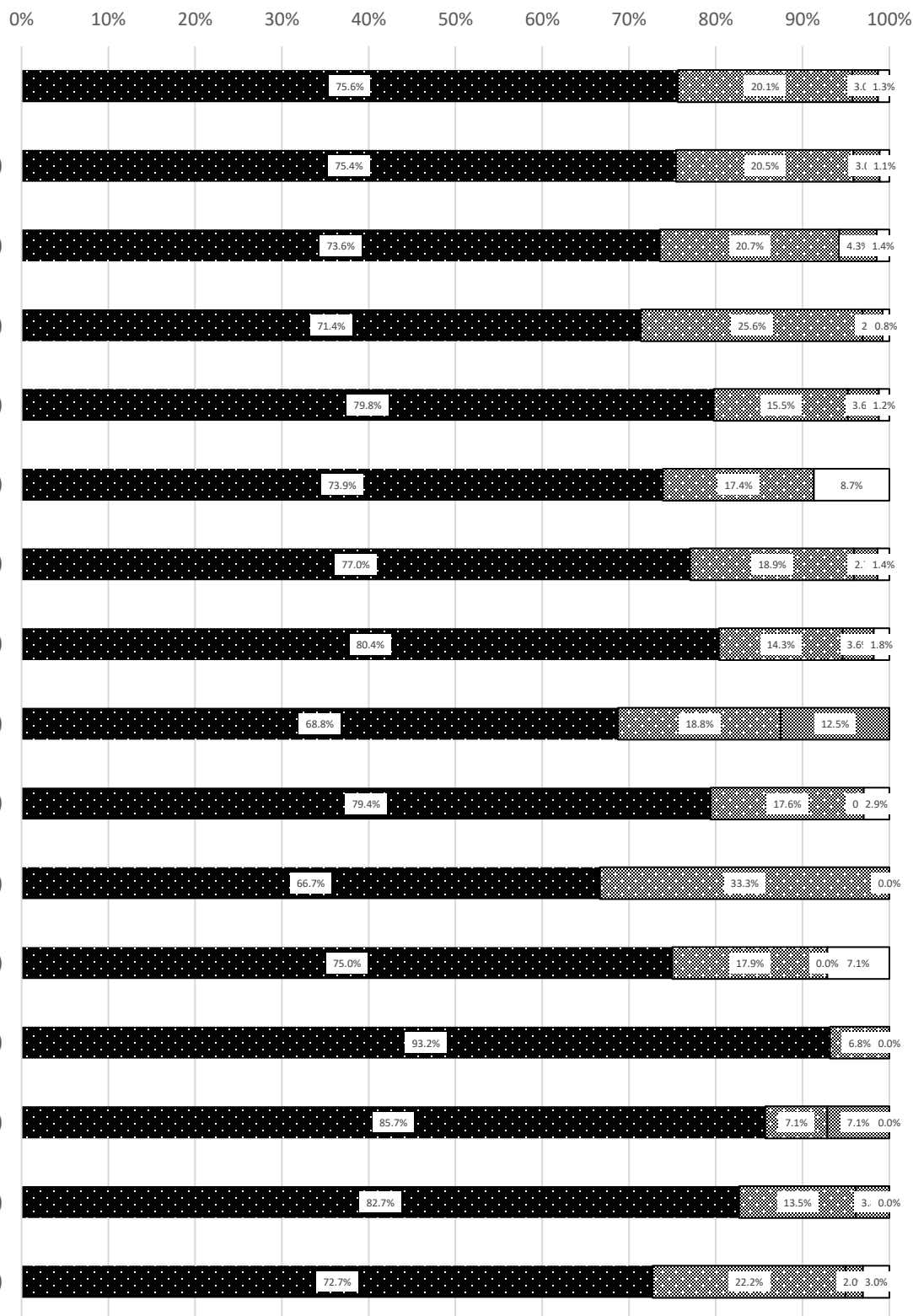
「今後も保育士として働き続けたい」が75.6%となっている。

年代別、施設類型においても（「今後も保育士として働き続けたい」が最も多くなっている。

今後の継続希望(年代別)



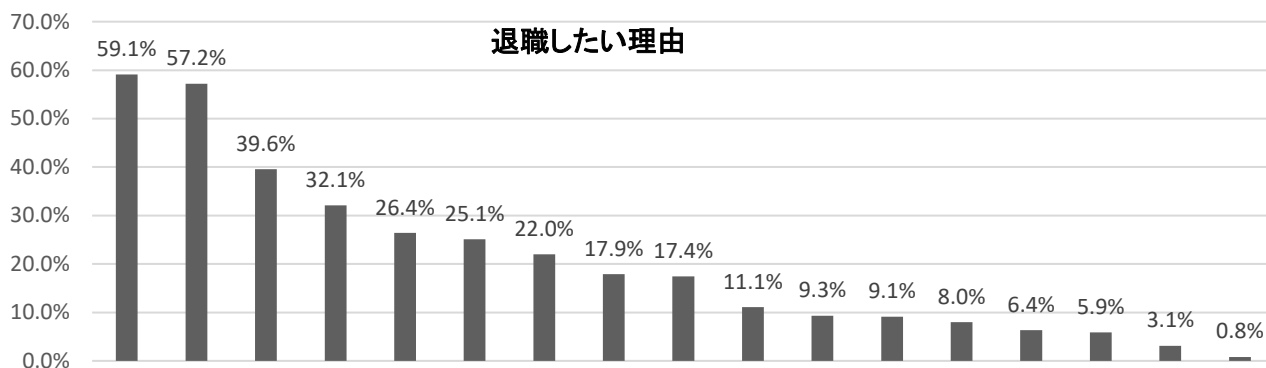
### 今後の継続希望(施設類型別)



- 今後も保育士として働きたい
- ▨ 今後は保育士を辞め、保育士以外の職種で働きたい
- 無回答

AQ31 【AQ30で「2. 今後は保育士を辞め、保育士以外の職種で働きたい」「3. 今後は保育士を辞め、働かないつもりだ」と回答した方にお聞きします。】あなたが現在保育士としてお勤めされている保育所等を退職したいと考える理由としてあてはまるものをお答えください。(〇はいくつでも)

退職したいと考える理由として「給料が安い」が59.1%で最も多い。次いで、「仕事量が多い」が57.2%で多くなっている。



	n	給料が安い	仕事量が多い	労働時間が長い	保護者対応の大変さ	職場の人間関係 (具体的に)	他業種への興味	職業適性に対する不安	子育て・家事	健康上の理由 (体力含む)	その他	妊娠・出産	自身の昇格等のキャリアアップが見通せない	結婚	家族の事情 (介護等)	保育所や法人の保育理念に共感できなかった	転居	配偶者の意向
全体	614	59.1%	57.2%	39.6%	32.1%	26.4%	25.1%	22.0%	17.9%	17.4%	11.1%	9.3%	9.1%	8.0%	6.4%	5.9%	3.1%	0.8%

【運営主体別】

公設・公営	360	61.1%	59.2%	40.3%	38.3%	29.2%	21.4%	20.3%	19.2%	15.6%	11.7%	8.9%	7.8%	7.2%	6.4%	5.0%	2.2%	1.1%
公設・民営	21	38.1%	47.6%	23.8%	19.0%	14.3%	28.6%	33.3%	19.0%	19.0%	28.6%	4.8%	9.5%	9.5%	0.0%	4.8%	4.8%	0.0%
民設・民営 (社会福祉法人)	143	60.8%	55.9%	41.3%	28.0%	21.0%	25.2%	21.7%	17.5%	18.9%	8.4%	11.9%	7.7%	10.5%	7.0%	7.0%	4.2%	0.7%
民設・民営 (株式会社)	35	54.3%	51.4%	34.3%	20.0%	28.6%	40.0%	20.0%	17.1%	17.1%	20.0%	11.4%	17.1%	11.4%	2.9%	0.0%	8.6%	0.0%
民設・民営 (NPO法人)	7	42.9%	28.6%	14.3%	14.3%	28.6%	42.9%	42.9%	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%
民設・民営 (その他)	31	51.6%	48.4%	35.5%	12.9%	25.8%	38.7%	25.8%	12.9%	29.0%	3.2%	6.5%	6.5%	3.2%	12.9%	16.1%	3.2%	0.0%
無回答	17	52.9%	82.4%	58.8%	23.5%	29.4%	41.2%	35.3%	11.8%	17.6%	5.9%	5.9%	23.5%	5.9%	5.9%	5.9%	0.0%	0.0%

【年代別】

	n	給料が安い	仕事量が多い	労働時間が長い	保護者対応の大変さ	職場の人間関係 (具体的に)	他業種への興味	職業適性に対する不安	子育て・家事	健康上の理由 (体力含む)	その他	妊娠・出産	自身の昇格等のキャリアアップ が見通せない	結婚	家族の事情 (介護等)	保育所や法人の保育理念に共感 できなかった	転居	配偶者の意向
20代	186	69.9%	64.5%	52.2%	32.3%	35.5%	30.1%	31.2%	22.0%	10.2%	3.8%	21.5%	14.5%	20.4%	3.8%	4.3%	5.9%	0.5%
30代	166	64.5%	66.9%	51.2%	40.4%	23.5%	26.5%	22.9%	31.3%	9.0%	10.2%	9.6%	9.0%	5.4%	1.2%	4.8%	3.6%	0.6%
40代	121	69.4%	62.0%	32.2%	37.2%	28.1%	19.8%	17.4%	12.4%	23.1%	13.2%	0.8%	9.1%	1.7%	3.3%	7.4%	0.8%	0.8%
50代	85	38.8%	44.7%	22.4%	25.9%	20.0%	31.8%	17.6%	1.2%	29.4%	15.3%	0.0%	2.4%	0.0%	12.9%	11.8%	0.0%	1.2%
60代	54	14.8%	13.0%	5.6%	7.4%	11.1%	5.6%	3.7%	1.9%	37.0%	27.8%	0.0%	1.9%	0.0%	27.8%	3.7%	1.9%	1.9%
無回答	2	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

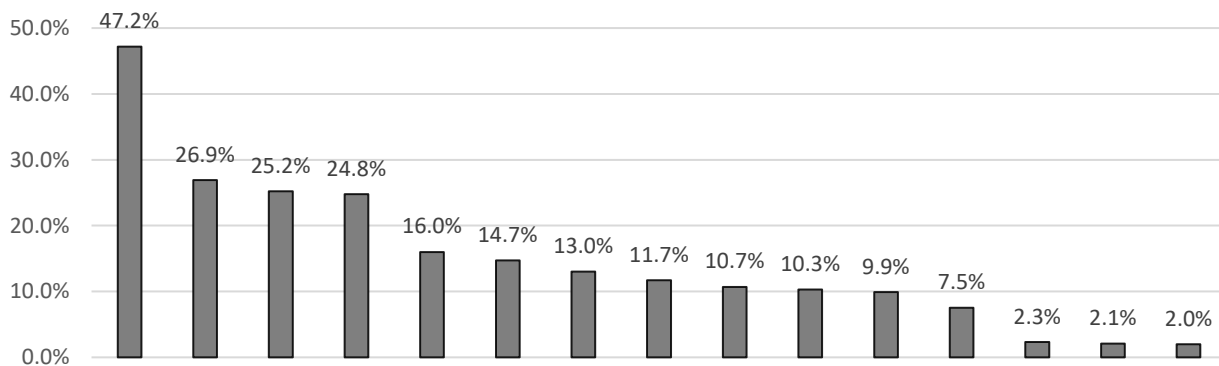
その他の内容（要約）

<p>1 責任とプレッシャー</p> <p>① 命を預かる責任の重さ。</p> <p>② プレッシャーが大きく、心身ともに限界。</p> <p>2 給与と待遇</p> <p>① 賃金が低く、責任と見合わない。</p> <p>② 非正規雇用で給与が支給されず、正規職員と同じ仕事をしている。</p> <p>③ 給与改善の対象外でモチベーションが上がらない。</p> <p>3 家庭と育児の両立</p> <p>① 自分の家庭や育児が疎かになる。</p> <p>② 育児休暇が短い。</p> <p>③ 自由な時間が欲しい。</p> <p>4 職場環境と人間関係</p> <p>① 職場の人間関係に疲れる。</p> <p>② コミュニケーション不足やパワハラ。</p> <p>③ 園長や職員間のコミュニケーションがうまく取れない。</p> <p>5 身体的・精神的な問題</p> <p>① 体力的にきつい。</p> <p>② 精神的なストレスが大きい。</p> <p>③ 健康を脅かすほどのストレスを抱えている。</p>	<p>6 仕事のやりがいとモチベーションの低下</p> <p>① やりがいを感じなくなった。</p> <p>② 保育士の質の低下や親の子育ての質が悪いと感じる。</p> <p>③ 仕事に楽しさを感じなくなった。</p> <p>7 職場の改善が見られない</p> <p>① 報告・連絡・相談ができず、何を言っても変わらない。</p> <p>② 配置基準が改善されない。</p> <p>③ 職場の課題が改善されない。</p> <p>8 年齢と体力の問題</p> <p>① 年齢的に無理。</p> <p>② 定年退職が近い。</p> <p>9 他の仕事への興味</p> <p>① 他の職種に興味がある。</p> <p>② 子育て支援の起業を考えている。</p> <p>③ 看護師や保健師への移行。</p> <p>10 その他</p> <p>① 子どもの園と行事が被った時の対応が悪い。</p> <p>② 正規職員としてキャリアアップが必要。</p> <p>③ 非正規のため将来の不安がある。</p>
--	--

AQ32 【AQ30で「2. 今後は保育士を辞め、保育士以外の職種で働きたい」「3. 今後は保育士を辞め、働かないつもりだ」と回答した方にお聞きします。】あなたが退職した場合で、再び保育士として働くとしたら、どのような条件を求めますか。また( )内に具体的な数字もあわせてご記入ください。(〇はいくつでも)

求める条件は「給与等」が47.2%で最も多く、次いで「勤務時間」(26.9%)となっている。

### 求める条件



	n	給与等	勤務時間	勤務日数	雇用形態パート・非常勤雇用	働くことが可能な家庭の状況	自身の健康状況の改善	通勤時間片道	雇用形態正規職員雇用	どのような条件があっても保育士として働くつもりはない	自身のキャリアアップが可能／やりがいを感じられること	保育所や法人の保育理念や運営方針への納得感	その他(具体的に)	研修等の再教育プログラム参加	求人情報の提供	雇用形態派遣
全体	614	47.2%	26.9%	25.2%	24.8%	16.0%	14.7%	13.0%	11.7%	10.7%	10.3%	9.9%	7.5%	2.3%	2.1%	2.0%

#### 【運営主体別】

運営主体	n	給与等	勤務時間	勤務日数	雇用形態パート・非常勤雇用	働くことが可能な家庭の状況	自身の健康状況の改善	通勤時間片道	雇用形態正規職員雇用	どのような条件があっても保育士として働くつもりはない	自身のキャリアアップが可能／やりがいを感じられること	保育所や法人の保育理念や運営方針への納得感	その他(具体的に)	研修等の再教育プログラム参加	求人情報の提供	雇用形態派遣
公設・公営	360	44.2%	26.9%	24.2%	27.2%	16.7%	15.3%	11.9%	11.4%	11.1%	6.7%	8.3%	6.1%	1.7%	1.1%	2.5%
民設・民営	21	33.3%	23.8%	19.0%	38.1%	19.0%	14.3%	4.8%	4.8%	14.3%	9.5%	19.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
民設・民営(社会福祉法人)	143	52.4%	27.3%	28.7%	23.8%	14.7%	12.6%	12.6%	10.5%	9.1%	14.7%	11.9%	9.1%	2.1%	4.2%	1.4%
民設・民営(株式会社)	35	68.6%	37.1%	28.6%	11.4%	17.1%	8.6%	31.4%	31.4%	5.7%	17.1%	8.6%	5.7%	5.7%	5.7%	0.0%
民設・民営(NPO法人)	7	42.9%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	14.3%	28.6%	28.6%	28.6%	14.3%	28.6%	0.0%	0.0%
民設・民営(その他)	31	35.5%	22.6%	29.0%	16.1%	12.9%	19.4%	19.4%	9.7%	19.4%	16.1%	6.5%	12.9%	0.0%	3.2%	0.0%
無回答	17	52.9%	82.4%	58.8%	23.5%	29.4%	41.2%	35.3%	11.8%	17.6%	5.9%	5.9%	23.5%	5.9%	5.9%	5.9%



【年代別】

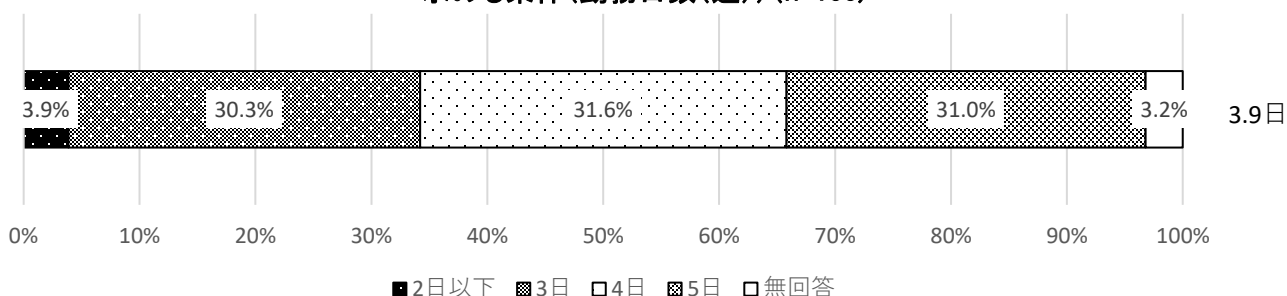
	n	給与等年収	勤務時間	勤務日数週	雇用形態パート・非常勤雇用	働くことが可能な家庭の状況	自身の健康状況の改善	通勤時間片道	雇用形態正規職員雇用	どのような条件があっても保育士として働くつもりはない	自身のキャリアアップが可能／やりがいを感じられること	保育所や法人の保育理念や運営方針への納得感	その他（具体的に）	研修等の再教育プログラム参加	求人情報の提供	雇用形態派遣
20代	186	61.8%	26.3%	23.1%	19.9%	12.4%	13.4%	9.7%	14.0%	9.1%	14.5%	9.1%	8.1%	2.2%	3.2%	2.7%
30代	166	50.0%	32.5%	26.5%	28.3%	22.3%	6.0%	15.7%	11.4%	6.6%	8.4%	8.4%	10.2%	1.8%	1.8%	1.8%
40代	121	55.4%	27.3%	24.0%	29.8%	18.2%	21.5%	18.2%	15.7%	9.1%	10.7%	19.0%	8.3%	3.3%	3.3%	2.5%
50代	85	18.8%	21.2%	30.6%	25.9%	8.2%	18.8%	9.4%	9.4%	24.7%	7.1%	7.1%	2.4%	3.5%	0.0%	0.0%
60代	54	16.7%	18.5%	22.2%	18.5%	14.8%	20.4%	11.1%	0.0%	11.1%	5.6%	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%	1.9%
無回答	2	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

その他の内容（要約）

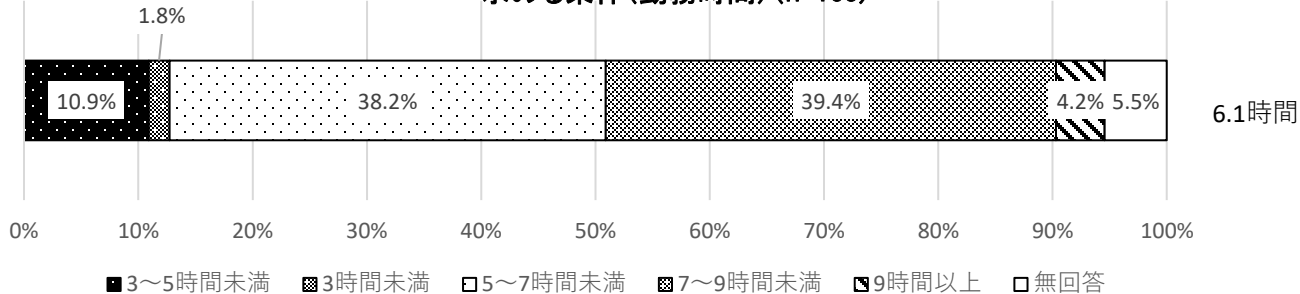
<p>1 給与・報酬</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 時給の引き上げ。</li> <li>② 残業代や退職金の確実な支払い。</li> <li>③ 日数や時間に関係なくボーナスが支給されること。</li> </ul> <p>2 労働条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 土曜出勤分の代休の十分な取得。</li> <li>② 休憩時間の確保、特に子どもから離れて休める環境。</li> <li>③ 残業なし、持ち帰り仕事なし。</li> <li>④ 仕事量の改善と待遇の見直し。</li> </ul> <p>3 人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 職員間の良好な人間関係。</li> <li>② 職場のあたたかい雰囲気。</li> <li>③ いじめやハラスメントのない環境。</li> </ul> <p>4 柔軟な勤務体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 子どもの急な発熱時に休みやすい環境。</li> <li>② 子どもが小さいうちは正規職員でも時短勤務ができること。</li> <li>③ 平日休みや土日勤務、夜間勤務の選択肢。</li> <li>④ ライフスタイルに合わせた勤務体制。</li> </ul>	<p>5 仕事の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 保育業務以外の雑務の軽減。</li> <li>② 行事の負担（運動会や発表会など）がないこと。</li> <li>③ 配置基準の増加やノンコンタクトタイムでの事務作業の時間の確保。</li> </ul> <p>6 福利厚生</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 子どもや家庭を犠牲にしない勤務形態。</li> <li>② 休暇取得の確実な実施。</li> <li>③ 保育士の増員と職場環境の改善。</li> </ul> <p>7 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 責任の軽減と求められる資質のハードルを高くしすぎないこと。</li> <li>② 保育方針や行政の在り方が改善されること。</li> <li>③ 人間関係が良好で、楽しく働ける環境。</li> </ul>
---	---

求める条件の具体的な数値を記載してもらった結果は以下の通りであった。  
 勤務日数は「4日」が31.6%で最も多く、平均は3.9日であった。  
 勤務時間は「7～9時間」が39.4%最も多く、平均は6.1時間であった。  
 通勤時間は「15～30分未満」が53.8%で最も多く、平均は18.7分であった。  
 給与等は400～500万円が23.2%で最も多く、平均は382.6万円であった。

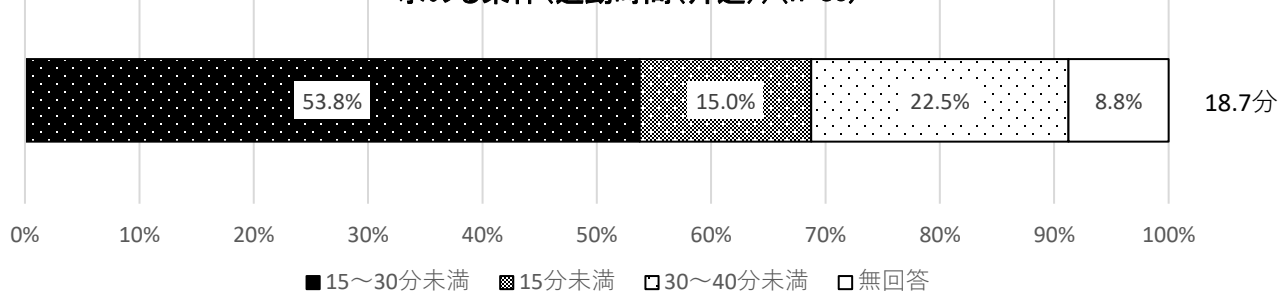
求める条件(勤務日数(週))(n=155)



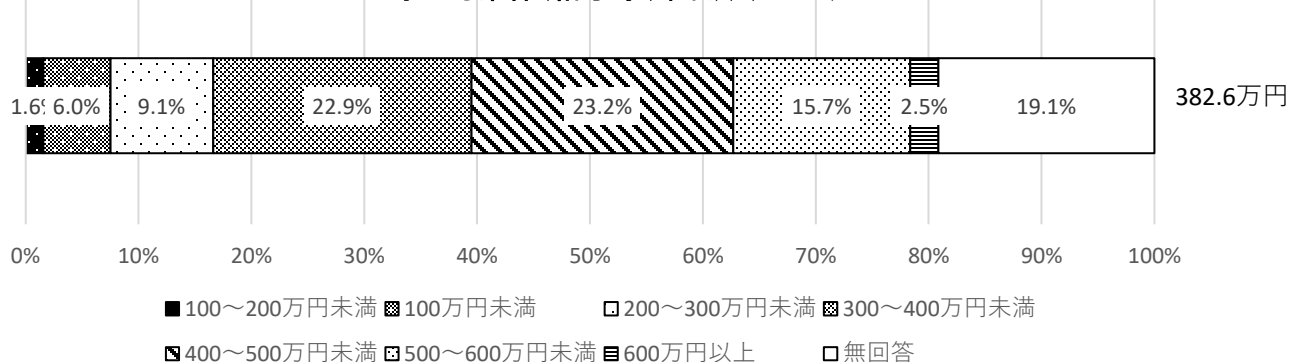
求める条件(勤務時間)(n=165)



求める条件(通勤時間(片道))(n=80)



求める条件(給与等(年収))(n=290)



## 4 潜在保育士向け調査

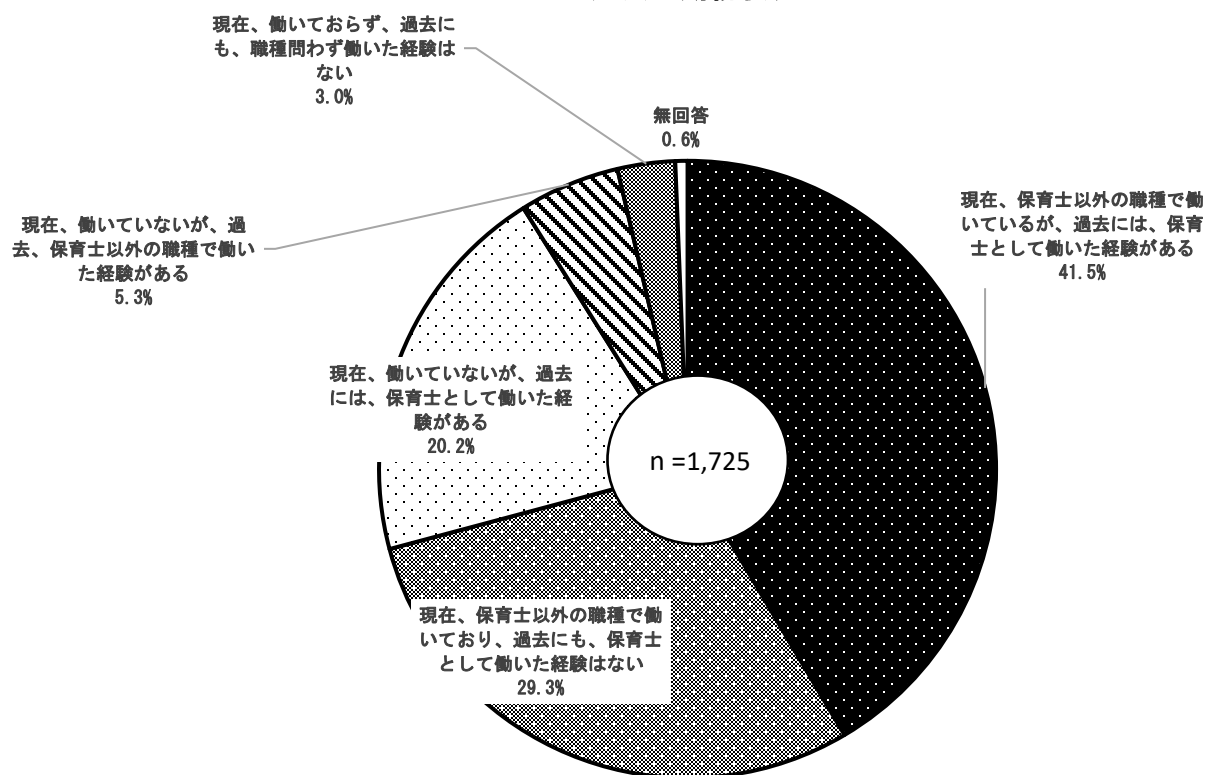
### (1) 潜在保育士の過去の勤務状況

BQ6 あなたの現在の就業状況(自営・パートを含む)をお答えください。(○は1つだけ)※現在、休職中の方(産休・育休含む)は、「働いている」としてお答えください。

⇒「2」「4」「5」(保育士として働いたことがない)と回答した方(保育士として働いたことのない方)はBQ14へ

潜在保育士の過去の勤務状況として「現在、保育士以外の職種で働いているが、過去には、保育士として働いた経験がある」が41.5%で最も多い。次いで、「現在、保育士以外の職種で働いており、過去にも、保育士として働いた経験はない」が29.3%で多くなっている。

過去の勤務状況

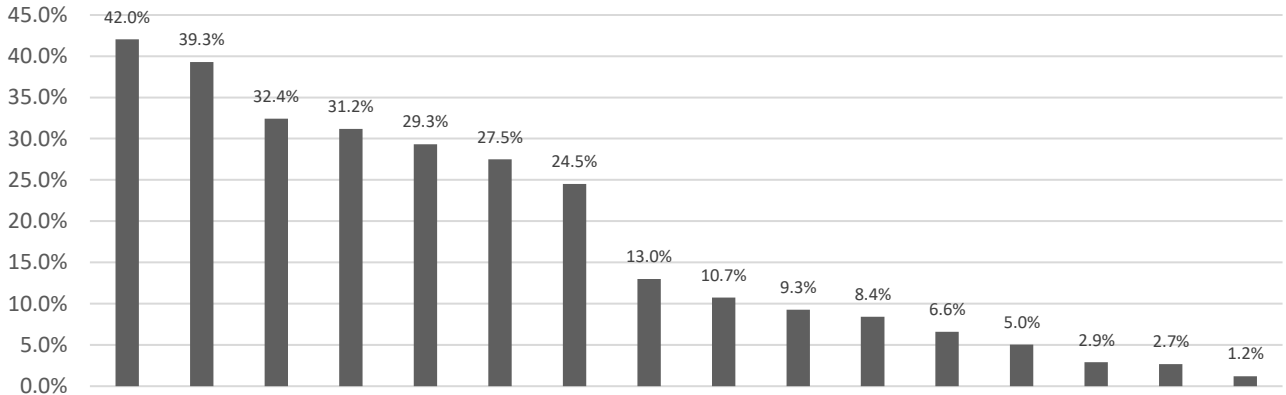


## (2)過去に保育士として経験がある人の意見

BQ7 あなたが保育士として職場を選ぶ際、どのようなことを重視していましたか。(〇はいくつでも)

保育士として働いた経験がある方の中で、職場を選ぶ際に重視した項目として「勤務地（自宅から近い等）」が42.0%で最も多い。次いで、「職場の人間関係」が39.3%で多くなっている。  
年代別では、20代・30代で「職場の人間関係」が最も多くなっている。

### 重視すること



	n	勤務地（自宅から近い等）	職場の人間関係	やりがい	休暇が多い・とりやすい	勤務時間・交代制の融通がきく	給与が高いこと	福利厚生充実度	保育理念への共感	保育所や法人の評判	保育所等の施設や設備充実度（新しさ等）	職員の数	昇格制度（キャリアアップ）	研修制度の充実度	寮や家賃補助制度の有無	その他（具体的に）	特になし
全体	1725	42.0%	39.3%	32.4%	31.2%	29.3%	27.5%	24.5%	13.0%	10.7%	9.3%	8.4%	6.6%	5.0%	2.9%	2.7%	1.2%

#### 【年代別】

年代	n	勤務地（自宅から近い等）	職場の人間関係	やりがい	休暇が多い・とりやすい	勤務時間・交代制の融通がきく	給与が高いこと	福利厚生充実度	保育理念への共感	保育所や法人の評判	保育所等の施設や設備充実度（新しさ等）	職員の数	昇格制度（キャリアアップ）	研修制度の充実度	寮や家賃補助制度の有無	その他（具体的に）	特になし
20代	248	26.2%	37.1%	21.8%	28.6%	20.2%	31.9%	29.4%	7.7%	8.9%	14.5%	12.1%	9.7%	6.9%	8.5%	2.8%	0.4%
30代	505	40.4%	41.4%	28.7%	37.6%	30.3%	33.7%	32.3%	11.9%	10.7%	11.3%	9.9%	9.1%	4.4%	3.4%	1.6%	0.8%
40代	420	43.3%	39.3%	30.7%	33.1%	33.1%	28.3%	22.4%	11.4%	12.1%	7.1%	6.7%	6.4%	5.2%	1.4%	2.1%	1.4%
50代	320	41.6%	34.7%	35.0%	24.4%	29.7%	22.8%	15.6%	14.7%	9.4%	4.4%	6.9%	4.4%	3.4%	1.3%	3.4%	1.9%
60代	230	60.9%	43.9%	51.3%	26.1%	30.0%	14.3%	18.7%	21.7%	12.2%	10.0%	6.5%	1.3%	6.5%	0.9%	4.8%	1.7%
無回答	2	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

## その他の内容（要約）

### 1 雇用形態と安定性

- ① 公務員としての就職、地方公務員としての配置。
- ② 正規職員としての雇用、雇用の安定。
- ③ 臨時雇用やパートタイムの場合、正規職員と同じ仕事をする事ができない職場。

### 2 労働条件

- ① 育児休暇制度や看護休暇制度の充実。
- ② 家庭や育児との両立ができる環境。
- ③ 仕事量の明確な線引き（常勤、臨時、パート）。
- ④ 施設の規模（大きすぎないこと、小規模園）。

### 3 職場環境

- ① 保育に対する職員の考え方が合うかどうか。
- ② 園長や経営者の人格や理解。
- ③ 保育ママのような託児所の存在。

### 4 個人的な価値観やニーズ

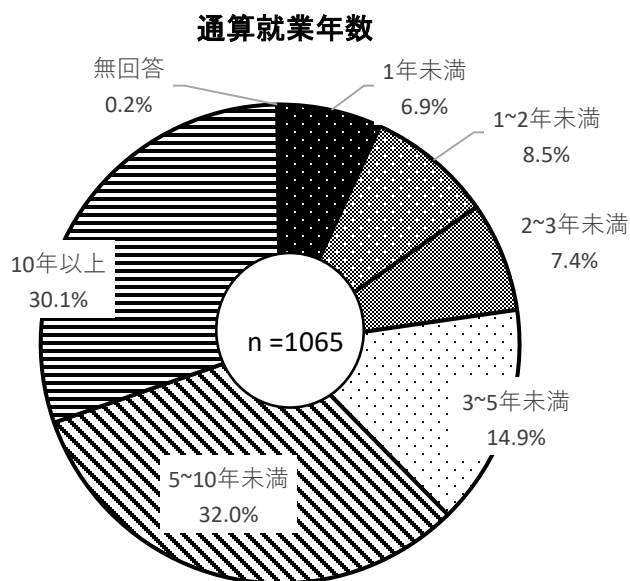
- ① 自身の育った場所で働くこと。
- ② 地域の特性に合った保育所の選択。
- ③ 加配保育士として障がいを持つ子どもと親のサポート。
- ④ 子どもひとりひとりと丁寧に関わることができる環境。
- ⑤ 行事の数やPTA活動の頻度。

### 5 その他の要因

- ① 役所からの配属や公務員試験の結果による配置。
- ② 時間の都合上、募集している職場を選ぶ。
- ③ 自分の成長と仕事のやりがいを重視。
- ④ 未満児保育園の立ち上げなど、新しいプロジェクトへの参加。

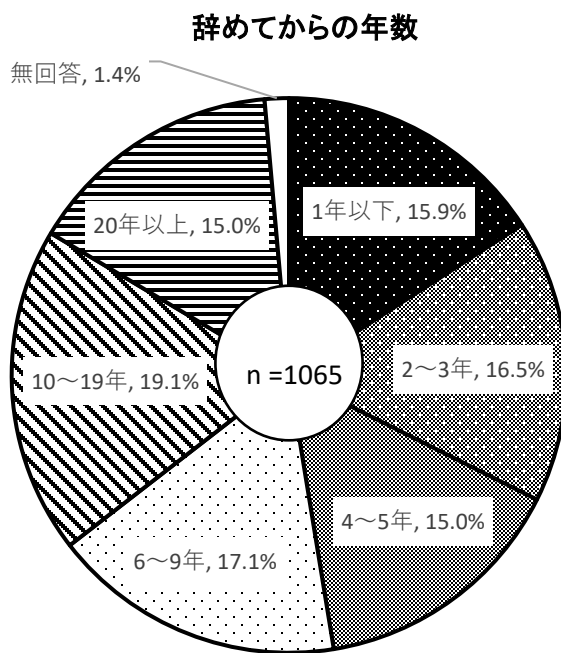
BQ8 あなたが保育士として働いた通算就業年数はどれくらいでしょうか。(○は1つだけ)

保育士として働いた経験がある方に、通算就業年数を聞いたところ「5～10年未満」が32.0%で最も多い。次いで、「10年以上」が30.1%となっている。



BQ9 あなたは保育士を辞めて何年になりますか。(1年未満の方は1年とお書きください。)

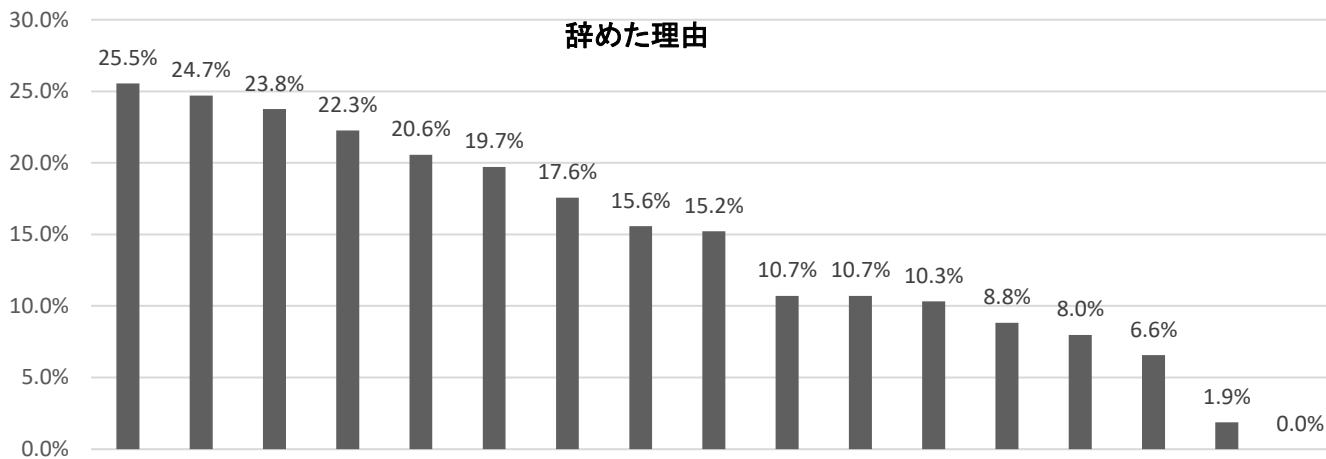
保育士として働いた経験がある方に、保育士を辞めてからの年数を聞いたところ「10～19年」が19.1%と最も多く、次いで、「6～9年」が17.1%となっている。



BQ10 あなたが保育士として就業された保育所等を退職した理由としてあてはまるものをお答えください。(〇はいくつでも)

保育士として働いた経験がある方に、就業先を退職した理由を聞いたところ「職場の人間関係」が25.5%で最も多い。次いで、「仕事量が多い」が24.7%となっている。

一方、年代別では、40代では「給料が安い」が最も多くなっている。



	n	職場の人間関係 (具体的に)	仕事量が多い	給料が安い	結婚	妊娠・出産	労働時間が長い	健康上の理由(体力含む)	その他	他業種への興味	子育て・家事	家族の事情(介護等)	職業適性に対する不安	転居	保護者対応の大変さ	保育所や法人の保育理念に共感できなかつた	配偶者の意向	自身の昇格等のキャリアアップが見通せない
全体	1065	25.5%	24.7%	23.8%	22.3%	20.6%	19.7%	17.6%	15.6%	15.2%	10.7%	10.7%	10.3%	8.8%	8.0%	6.6%	1.9%	0.0%

【年代別】

年代	n	職場の人間関係 (具体的に)	仕事量が多い	給料が安い	結婚	妊娠・出産	労働時間が長い	健康上の理由(体力含む)	その他	他業種への興味	子育て・家事	家族の事情(介護等)	職業適性に対する不安	転居	保護者対応の大変さ	保育所や法人の保育理念に共感できなかつた	配偶者の意向	自身の昇格等のキャリアアップが見通せない
20代	121	47.9%	35.5%	31.4%	23.1%	23.1%	29.8%	21.5%	10.7%	15.7%	5.8%	1.7%	15.7%	14.9%	10.7%	9.1%	0.0%	0.0%
30代	295	27.5%	33.2%	33.2%	28.8%	30.2%	27.1%	13.6%	9.2%	16.3%	12.2%	2.0%	11.2%	12.9%	9.8%	4.1%	2.0%	0.0%
40代	258	24.0%	26.0%	27.5%	18.6%	22.1%	20.5%	15.1%	19.8%	18.6%	13.6%	4.7%	11.6%	6.6%	9.3%	7.8%	1.6%	0.0%
50代	195	22.1%	14.9%	17.4%	23.1%	14.9%	12.3%	19.5%	14.4%	15.4%	9.2%	19.0%	9.2%	4.1%	4.1%	7.7%	2.6%	0.0%
60代	195	13.3%	13.3%	6.2%	15.9%	8.2%	8.7%	22.6%	24.1%	8.7%	9.2%	29.2%	5.1%	6.7%	5.6%	6.2%	2.6%	0.0%
無回答	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

## その他の内容（要約）

### 1 人間関係やハラスメント

- ① 園長や同僚からのパワハラ、モラハラによる精神的・肉体的な負担。
- ② 園長や主任が変わったことでの不適應。
- ③ 同僚の強い性格や不適切な対応に疲弊。
- ④ 上司からのパワハラや同僚からの差別的な発言。

### 2 健康上の理由

- ① 体調不良や病気（うつ病、白血病など）。
- ② 感染症の恐怖や腰痛などの身体的な問題。
- ③ 妊活や不妊治療との両立が難しい。

### 3 契約・雇用形態

- ① 契約満了や更新されなかったため。
- ② 非正規雇用や嘱託職員での不安定な雇用。
- ③ 定年退職。

### 4 職場環境・業務内容

- ① 園の経営状態の悪化。
- ② 保育士としての負担が増加したため。
- ③ 業務量や責任が重くなり、特別な手当や休暇がなかったため。

### 5 個人的な理由

- ① 起業や自営の継続。
- ② 家庭の事情（子供の行事と仕事の両立、配偶者の体調や転勤など）。
- ③ 他の仕事への転職や起業。

### 6 その他の理由

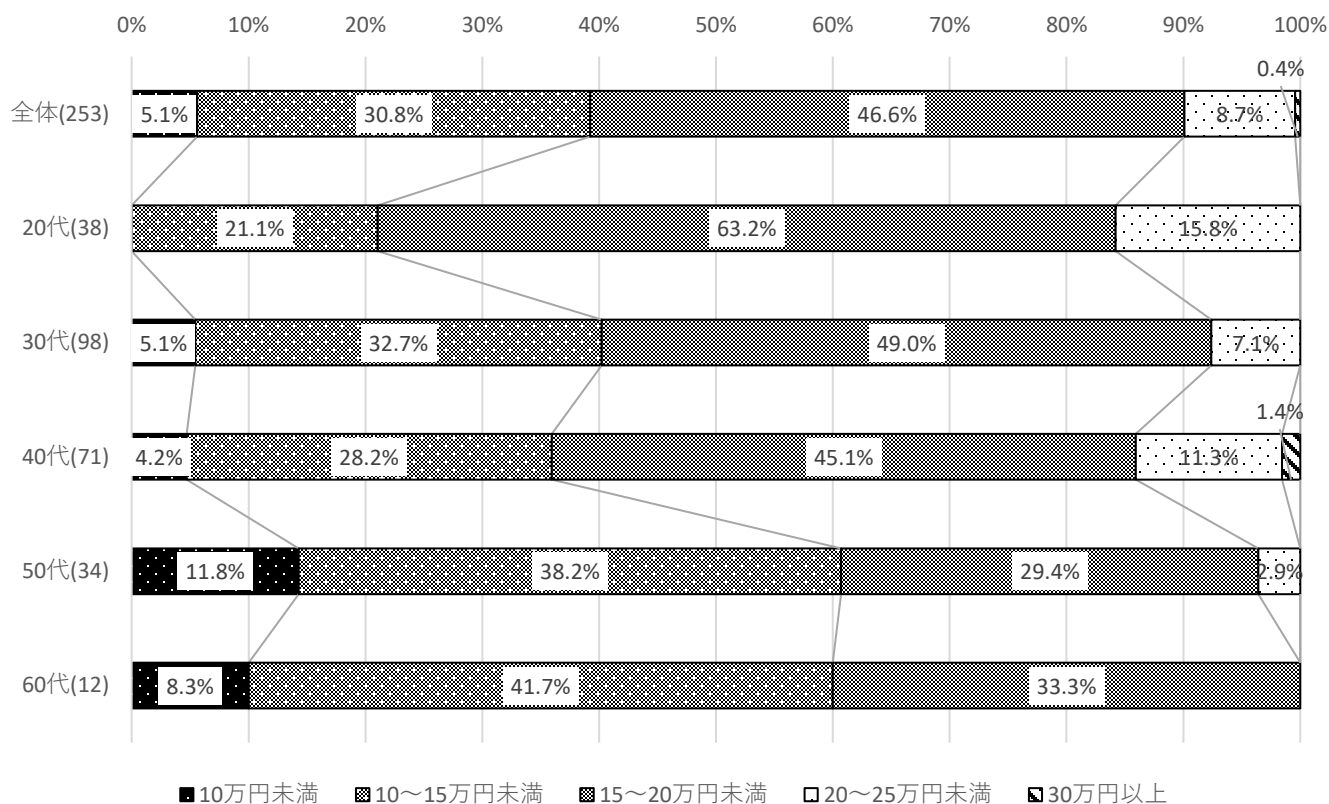
- ① 園の方針に合わない。
- ② 保育所の閉園や異動。
- ③ 休憩時間が確保されないなどの労働条件の問題。
- ④ 自身の目標や夢の実現のため。



BQ11 【BQ10で「6. 給料が安い」を選択した方にお聞きします。】保育所等を退職した時の月給をお聞かせください。  
 BQ11-1 【BQ10で「6. 給料が安い」を選択した方にお聞きします。】あなたが保育所等を退職した時の月給と比較して、どの程度月給が高ければ働きたいと思われましたか。

保育士として働いた経験がある方の中で、就業先を退職した理由として「給料が安い」を選択した方の退職時の月給は「15～20万円未満」が46.6%で最も多い。次いで、「10～15万円未満」が30.8%となっている。  
 一方、年代別では、50代・60代では「10～15万円未満」が最も多くなっている。

退職時の月給(年代別)



退職時の月給と希望の月給との差(年代別)

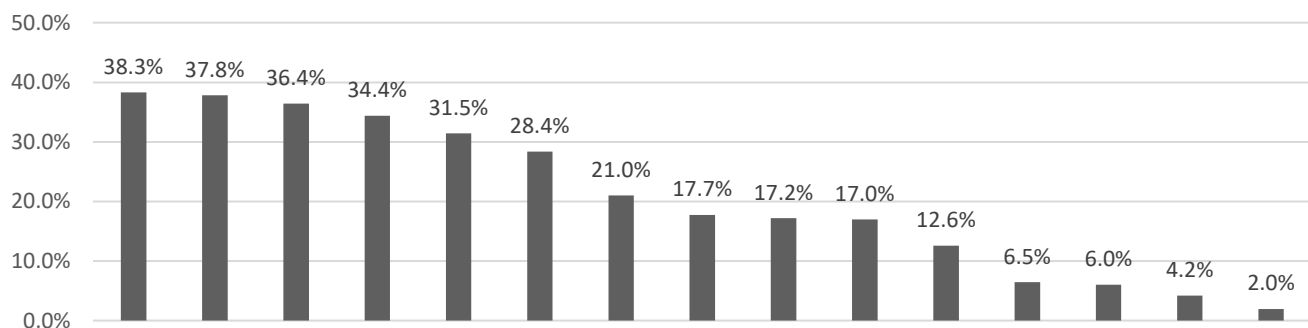
	n	～10,000円	10,001～20,000円	20,001～30,000円	30,001～40,000円	40,001～50,000円	50,001～60,000円	60,001～70,000円	70,001～80,000円	80,001～90,000円	90,001～100,000円	100,001円以上	無回答
全体	253	0.4%	0.4%	5.5%	6.3%	14.2%	19.4%	5.9%	7.9%	3.6%	9.1%	18.2%	9.1%
20代	38	0.0%	0.0%	2.6%	10.5%	28.9%	23.7%	7.9%	7.9%	2.6%	7.9%	5.3%	2.6%
30代	98	0.0%	0.0%	6.1%	7.1%	13.3%	18.4%	7.1%	9.2%	2.0%	7.1%	22.4%	7.1%
40代	71	1.4%	1.4%	7.0%	2.8%	7.0%	19.7%	7.0%	7.0%	8.5%	11.3%	16.9%	9.9%
50代	34	0.0%	0.0%	5.9%	8.8%	14.7%	11.8%	0.0%	8.8%	0.0%	11.8%	20.6%	17.6%
60代	12	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	25.0%	16.7%

BQ12 あなたが今後、保育士として働く場合に求める条件をお聞かせください。(〇はいくつでも)

保育士として働いた経験がある方に、今後、保育士として働く場合に求める条件をきいたところ「雇用形態パート・非常勤」が38.3%で最も多い。次いで、「働くことが可能な家庭の状況」が37.8%となっている。一方で、「どのような条件があっても保育士として働くつもりはない」も17.7%となっている。

年代別では、40代では「勤務日数・週」が25.5%と最も多くなっている。

今後保育士として働く場合の条件



	n	雇用形態パート・非常勤雇用	働くことが可能な家庭の状況	勤務時間	勤務日数週	通勤時間	研修等の再教育プログラム参加	自身のキャリアアップが可能／やりがいを感じられること	どのような条件があっても保育士として働くつもりはない	雇用形態正規職員雇用	給与等年収	自身の健康状況の改善	その他	雇用形態派遣	求人情報の提供	保育所や法人の保育理念や運営方針への納得感
全体	1065	38.3%	37.8%	36.4%	34.4%	31.5%	28.4%	21.0%	17.7%	17.2%	17.0%	12.6%	6.5%	6.0%	4.2%	2.0%

【年代別】

年代	n	雇用形態パート・非常勤雇用	働くことが可能な家庭の状況	勤務時間	勤務日数週	通勤時間	研修等の再教育プログラム参加	自身のキャリアアップが可能／やりがいを感じられること	どのような条件があっても保育士として働くつもりはない	雇用形態正規職員雇用	給与等年収	自身の健康状況の改善	その他	雇用形態派遣	求人情報の提供	保育所や法人の保育理念や運営方針への納得感
20代	121	35.5%	32.2%	31.4%	28.9%	51.2%	24.8%	23.1%	9.1%	28.1%	32.2%	13.2%	9.1%	2.5%	5.0%	0.8%
30代	295	48.5%	45.4%	40.7%	37.6%	45.4%	35.3%	24.4%	7.1%	20.7%	23.1%	8.8%	8.8%	7.8%	3.4%	3.1%
40代	258	39.9%	35.3%	41.5%	39.5%	31.8%	32.9%	22.1%	16.7%	14.7%	18.6%	12.8%	6.2%	7.8%	5.4%	1.9%
50代	195	28.2%	37.9%	30.3%	32.8%	22.1%	24.1%	20.0%	24.1%	16.9%	11.3%	16.4%	3.6%	4.1%	4.6%	2.1%
60代	195	32.8%	33.3%	32.8%	27.7%	7.2%	18.5%	14.4%	34.4%	8.7%	2.1%	13.8%	4.1%	5.1%	3.1%	1.0%

## その他の内容（要約）

### 1 労働条件

- ① 時短勤務や持ち帰り仕事のない環境。
- ② 残業や残業代がきちんと支払われること。
- ③ 休憩時間の確保と有給休暇の取りやすさ。
- ④ 仕事量が適切で、給与がその仕事量に見合うこと。
- ⑤ 正規職員としての雇用や福利厚生の充実。
- ⑥ 時給が高く、特にパートの場合は最低でも時給1,500円。

### 2 人間関係

- ① 良好な人間関係があり、互いに尊敬し助け合える環境。
- ② モラルや人間性の向上。
- ③ パワハラやいじめがない職場。
- ④ 信頼できる仲間の存在。

### 3 仕事内容

- ① 持ち帰り仕事や書類の提出が少ないこと。
- ② 仕事量が適切であり、時間内に仕事を終わらせる環境。
- ③ 子どもへの責任に対する待遇の向上。

### 4 柔軟性

- ① 子どもの急病や行事に対応できる休みの取りやすさ。
- ② 急な休みにも柔軟に対応できること。

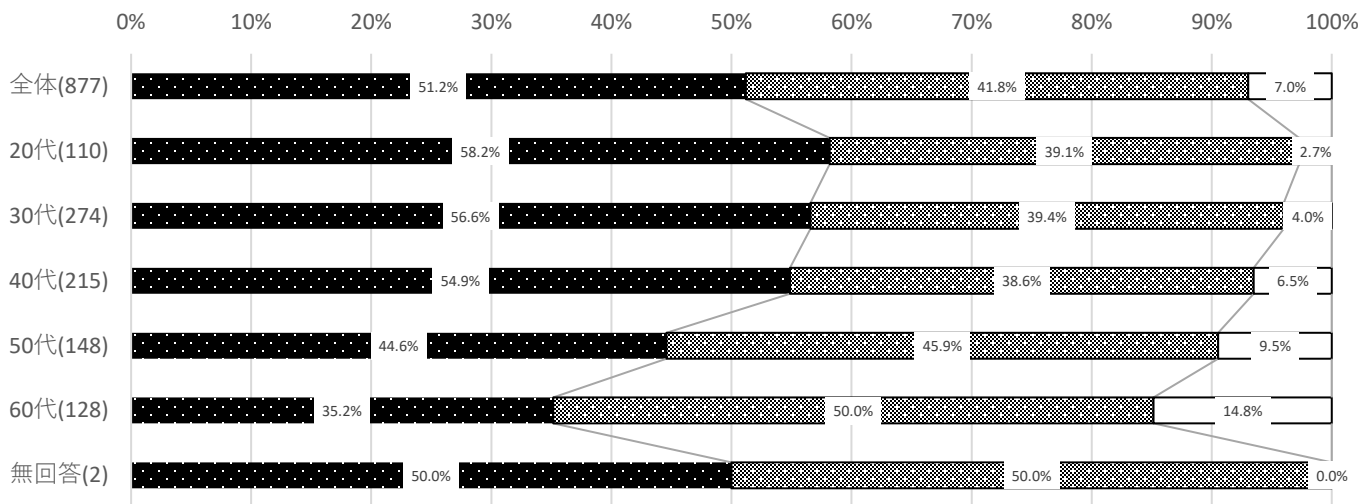
### 5 その他

- ① 古い考え方の保育からの脱却。
- ② 資質向上のための研修や上司の理解。
- ③ 小規模で運営する園の増加。
- ④ 自分自身や他人の多様性を認め合える環境。
- ⑤ 自腹での教材購入がないこと。
- ⑥ 昇給の機会があること。

BQ13 【BQ12で「1」～「14」と回答した方（「保育士として働くつもりはない」と回答した人以外）にお聞きます。】  
 あなたは、近い将来、「長野県内で保育士として働きたい」とお考えですか。（○は1つだけ）  
 BQ13-1 働きたい時期はいつですか。（○は1つだけ）

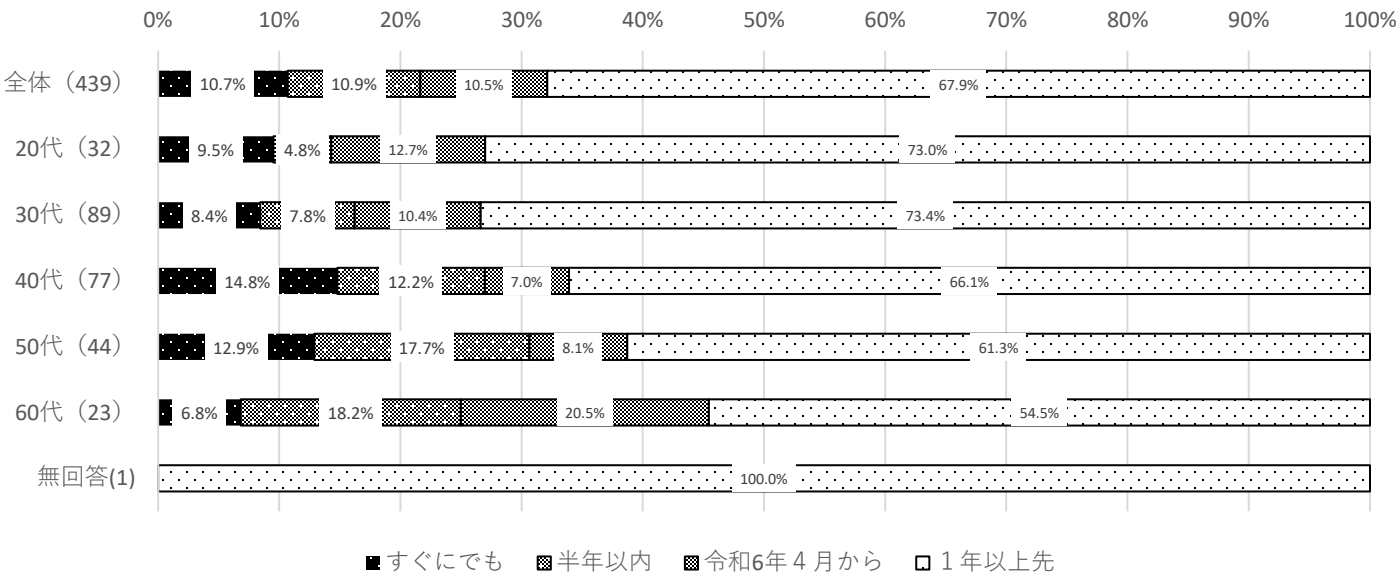
「雇用の条件さえ合えば、働きたい又は保育の仕事に転職したい」（51.2%）が最も多くなっている。  
 働きたい時期は、全ての年代で「1年以上先」が67.9%となっている。

### 就業意向(年代別)



■ 雇用の条件さえ合えば、働きたい又は保育の仕事に転職したい  
 ■ 県内では働く予定はない／保育士として働く予定はない

→ 就業希望時期(年代別)

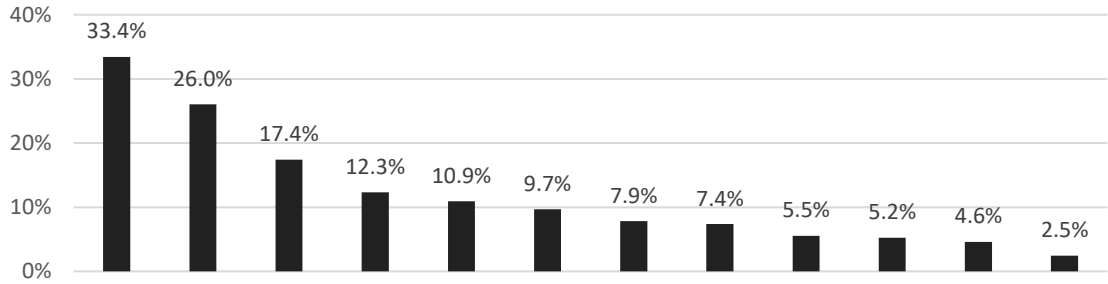


### (3) 保育士として働いた経験がない方の意見

BQ14 ◆これまでに保育士として働いたことのない方(BQ6で「2」「4」「5」のいずれかを回答した方)におたずねします。あなたが保育士として働かなかった理由は何ですか。あてはまるものをお答えください。(〇はいくつでも)

保育士として働いたことがない方に、保育士として働かなかった理由を聞いたところ「別の職業を希望した」が33.4%で最もおおくなっている。次いで、「自分には適性がないと感じた」が26.0%となっている。

保育士として働かなかった理由



	n	別の職業を希望した	自分には適性がないと感じた	希望する給与・待遇の求人がなかった	その他	資格取得が目的で、はじめから保育士として働く意思はなかった	勤務日数・時間が合致する求人がなかった	幼稚園での勤務を希望した	就職活動をしたが、採用されなかった	家事・育児に専念したかった	働く必要がなかった	そもそも保育士の求人の情報がなかった	家族等の意向
全体	649	33.4%	26.0%	17.4%	12.3%	10.9%	9.7%	7.9%	7.4%	5.5%	5.2%	4.6%	2.5%

#### その他の内容 (要約)

1 「他の職種への関心や既存のキャリア」  
介護福祉士や社会福祉士など、他の福祉関連の職業に興味があるため、またはすでに異なる職業で働いているために保育士としては働いていない。

2 「体力的な理由」  
仕事の負担が大きい、体力的に難しい、健康上の問題などが理由で保育士の仕事を避けている。

3 「経済的な理由」  
保育士の給料が低いと感じる、生活を支えるには不十分な収入であると考えられている。

4 「職場環境への不満」  
人間関係の複雑さや、職場の環境がストレスフルであると感じるため。

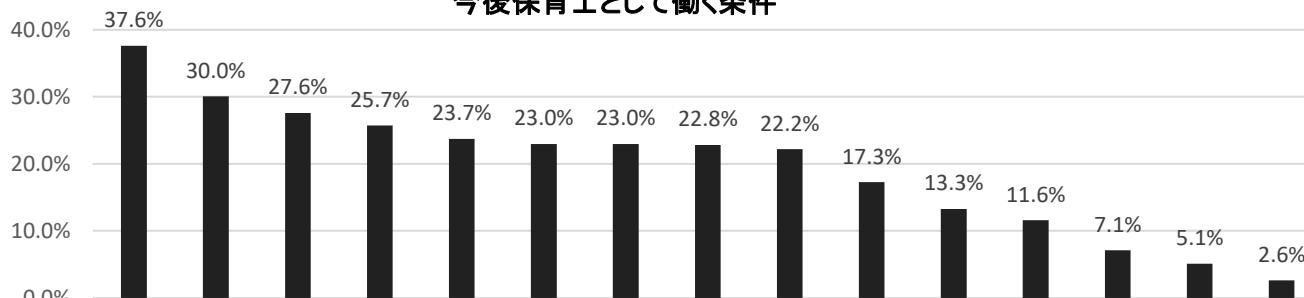
5 「家庭や個人的な状況」  
子育てや家庭の事情、移動や引っ越し、他の仕事との兼ね合いなどが影響している。

6 「職業への不向きさや興味の欠如」  
保育士としての業務に興味を持っていない、特定のスキルが苦手(例:ピアノ)などの理由で他の職業を選んでいる。

BQ15 あなたが今後、保育士として働く場合に求める条件をお聞かせください。

保育士として働いたことがない方に、今後、保育士として働く場合に求める条件を聞いたところ「給与等」37.6%で最も多く、次いで、「勤務日数」が30.0%となっている。

今後保育士として働く条件



	n	給与等	勤務日数	勤務時間	雇用形態正規職員雇用	雇用形態パート・非常勤雇用	保育所や法人の保育理念や運営方針への納得感	働くことが可能な家庭の状況	自身のキャリアアップが可能/やりがいを感じられること	通勤時間片道	どのような条件があっても保育士として働くつもりはない	研修等の再教育プログラム参加	自身の健康状況の改善	求人情報の提供	その他	雇用形態派遣
全体	649	37.6%	30.0%	27.6%	25.7%	23.7%	23.0%	23.0%	22.8%	22.2%	17.3%	13.3%	11.6%	7.1%	5.1%	2.6%

【年代別】

年代	n	給与等	勤務日数	勤務時間	雇用形態正規職員雇用	雇用形態パート・非常勤雇用	保育所や法人の保育理念や運営方針への納得感	働くことが可能な家庭の状況	自身のキャリアアップが可能/やりがいを感じられること	通勤時間片道	どのような条件があっても保育士として働くつもりはない	研修等の再教育プログラム参加	自身の健康状況の改善	求人情報の提供	その他	雇用形態派遣
20代	124	49.2%	26.6%	23.4%	36.3%	10.5%	21.0%	8.1%	18.5%	14.5%	20.2%	5.6%	9.7%	4.8%	4.0%	2.4%
30代	208	50.0%	31.7%	30.3%	31.7%	26.9%	22.6%	34.6%	28.4%	25.0%	10.6%	13.5%	12.0%	7.2%	2.9%	0.0%
40代	159	31.4%	32.1%	28.9%	24.5%	22.0%	24.5%	28.9%	25.2%	24.5%	15.7%	17.6%	13.2%	8.8%	5.0%	3.8%
50代	124	21.0%	29.8%	26.6%	12.1%	33.1%	25.0%	14.5%	17.7%	24.2%	20.2%	14.5%	12.1%	7.3%	9.7%	5.6%
60代	34	8.8%	23.5%	23.5%	5.9%	26.5%	17.6%	8.8%	11.8%	14.7%	44.1%	14.7%	5.9%	5.9%	5.9%	2.9%

その他の内容（要約）

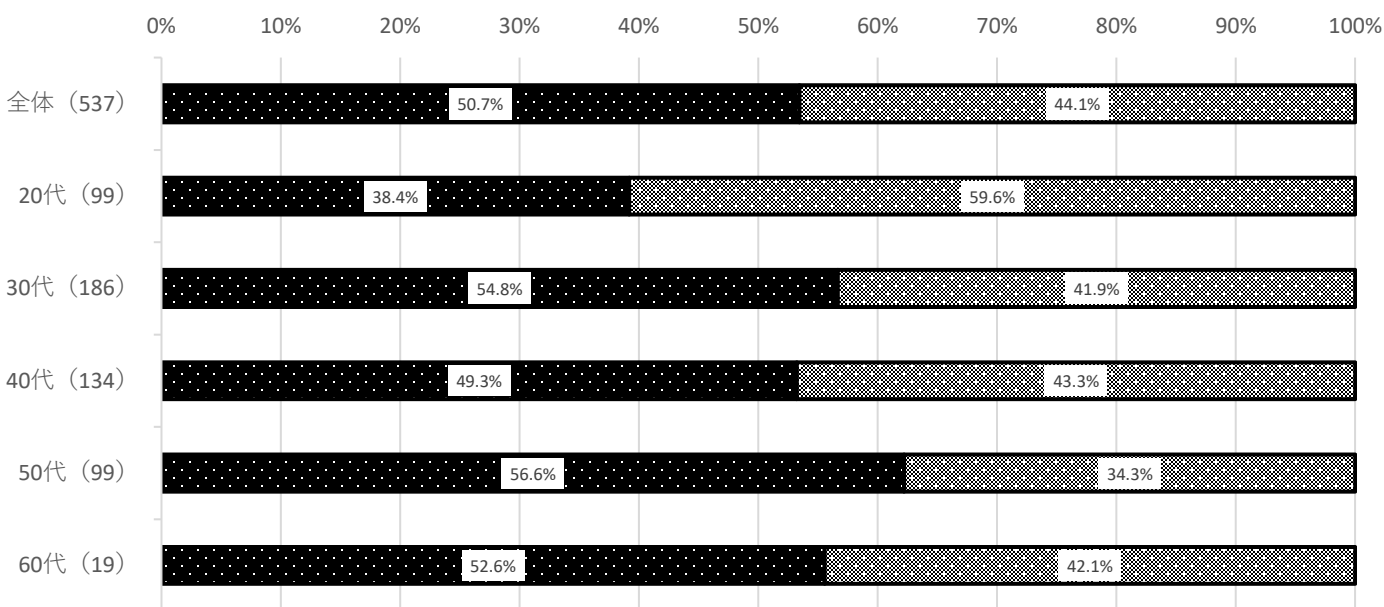
- |  |   |
|--|---|
| <p>1 職場環境の改善<br/>設備が充実しており、持ち帰りの仕事がないこと。<br/>勤務交代制、複数担任制を導入し、休暇が多く取りやすい環境。<br/>人間関係が良好で、ハラスメントや同調圧力が少ないこと。</p> <p>2 経済的な条件の改善<br/>時間外労働に対する適切な報酬の支払い。<br/>賃金の見直し。</p> <p>3 勤務形態の柔軟性<br/>午後からの勤務や長期休暇の取得が容易など、勤務時間の柔軟性。<br/>事務職や補助的な役割での勤務が可能な環境。</p> | <p>4 特定のニーズに対応<br/>障害児担当など、特定の専門性を活かせる環境。<br/>自身の子どもの園行事や病欠に対応できる職場。</p> <p>5 その他の条件<br/>定年退職後も保育の補助的な役割で働けること。<br/>幼稚園養護教諭としての勤務を希望。</p> |
|--|---|

BQ16 【BQ14で「1」～「14」と回答した方（「保育士として働くつもりはない」と回答した人以外）にお聞きます。】  
 あなたは、近い将来、「長野県内で保育士として働きたい」とお考えですか。（○は1つだけ）  
 「1」と回答した方は働きたい時期についてもお答えください。

保育士として働いたことがない方の中で、近い将来「長野県内で保育士として働きたい」と答えたのは50.7%となっている。年代別にみると20代が38.4%と他の年代よりも少なくなっている。

就業意向時期としては、どの年代も「1年以上先」が6割を超えている。

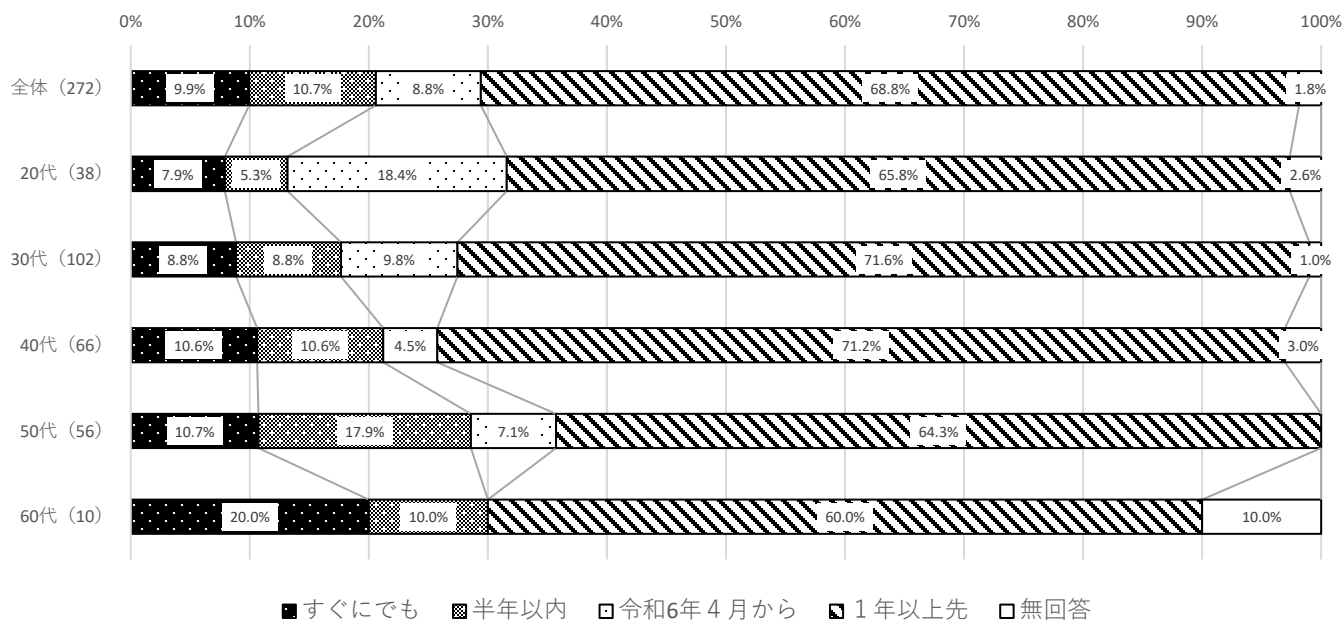
就業意向(年代別)



■ 雇用の条件さえ合えば、働きたい又は保育の仕事に転職したい

▨ 県内では働く予定はない/保育士として働く予定はない

就業希望時期(年代別)



■ すぐにも ▨ 半年以内 □ 令和6年4月から ▨ 1年以上先 □ 無回答

#### (4) 今後保育士として働く意向のある人の意見

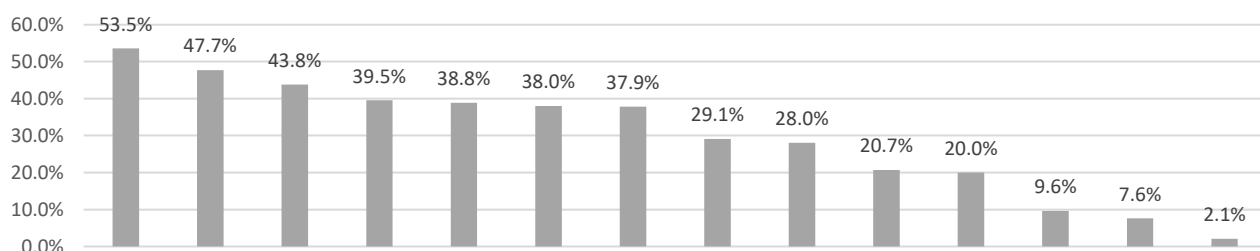
◆今後保育士として働く意向のある方におたずねします。(BQ13,BQ16で「雇用の条件さえ合えば、働きたい又は保育の仕事に転職したい」と回答した人)(以下BQ17-5まで)

BQ17 今後保育士として働くまでに、どのような知識や技術を習得したいと思いますか。下記の中からお選びください。(〇はいくつでも)

保育士意向のある人で、習得したい知識・技術は「特別な支援を必要とする子どもへの接し方」が53.5%と最も多く、次いで「発達心理学」(47.7%)となっている。

年代別では20代、40代は「発達心理学」が最も多くなっている。

習得したい知識・技術(年代別)



	n	特別な支援を必要とする子どもへの接し方	発達心理学	保育実技	救命救急	安全管理	保護者への対応の仕方	食育・食物アレルギー対応	衛生管理	地域の子育て支援	パソコンやタブレット端末の操作	保育所保育指針	特に習得したいと思うことはない	幼稚園教諭免許取得のための学習	その他
全体	721	53.5%	47.7%	43.8%	39.5%	38.8%	38.0%	37.9%	29.1%	28.0%	20.7%	20.0%	9.6%	7.6%	2.1%

【年代別】

年代	n	特別な支援を必要とする子どもへの接し方	発達心理学	保育実技	救命救急	安全管理	保護者への対応の仕方	食育・食物アレルギー対応	衛生管理	地域の子育て支援	パソコンやタブレット端末の操作	保育所保育指針	特に習得したいと思うことはない	幼稚園教諭免許取得のための学習	その他
20代	103	53.4%	57.3%	46.6%	33.0%	33.0%	35.9%	45.6%	22.3%	31.1%	14.6%	19.4%	6.8%	4.9%	0.0%
30代	257	53.3%	47.1%	45.9%	45.5%	38.9%	39.3%	40.9%	31.1%	30.7%	19.5%	23.7%	8.6%	11.3%	1.9%
40代	184	54.3%	57.1%	47.3%	41.8%	40.8%	42.9%	37.5%	31.0%	23.9%	28.3%	21.2%	10.3%	8.7%	1.1%
50代	122	54.1%	34.4%	36.9%	32.0%	42.6%	33.6%	27.0%	29.5%	26.2%	21.3%	14.8%	11.5%	1.6%	5.7%
60代	55	50.9%	30.9%	32.7%	32.7%	34.5%	29.1%	34.5%	25.5%	27.3%	10.9%	10.9%	12.7%	5.5%	1.8%



## その他の回答

- ・ 現在の子供や親への対応、方針、注意点
- ・ 新たな、リトミック・手遊び・ダンス
- ・ 災害時における対応
- ・ 自分のできることが今の保育園の方針に見合っているのかもわかりません
- ・ 発達障害について学びたい
- ・ 現在長野県外へ嫁ぎ他の仕事に従事しており転職は考えていません。
- ・ 病児保育、障害児支援
- ・ どんな現場に配属されるかわからないので。
- ・ 労務的な法規
- ・ 保育自体が年々変動しているので、どのような保育が現代の保育なのか。習得しなければいけないことはあると思うが、仕事をしながら小さい子どもを育てながらだと、なかなか体力的に難しい。研修機会があれば参加したいと思う。
- ・ 体力
- ・ 感染対策
- ・ 保育士経験がないので全般的に取得したいです。
- ・ 日本語以外の言語
- ・ 保育実践に必要な最新の知識、スキル
- ・ ピアノ

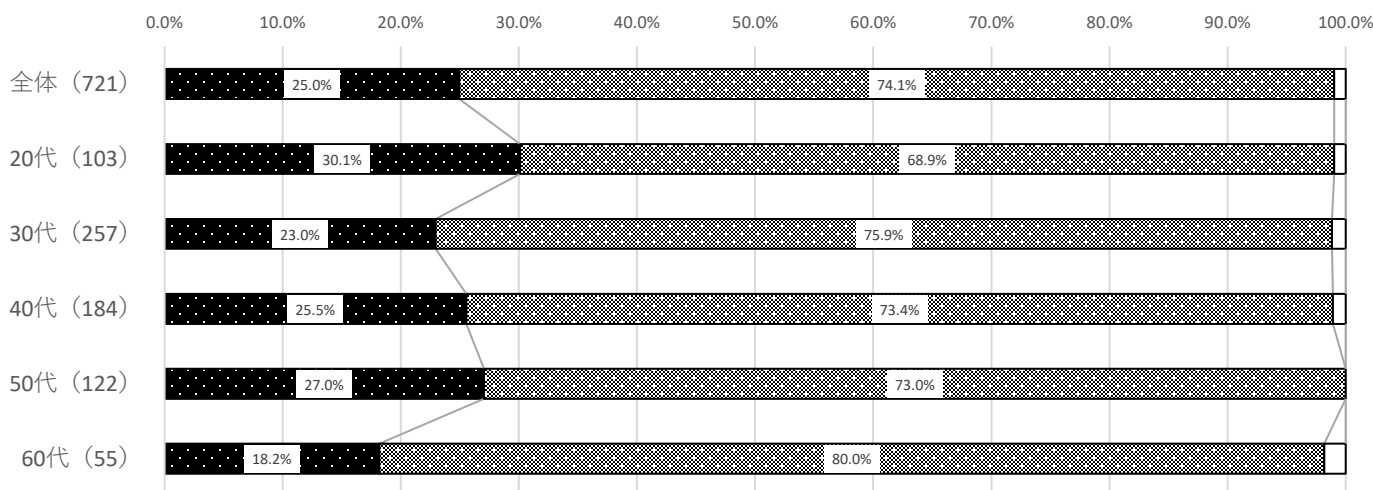
BQ17-1 どのような内容の研修があれば良いと思いますか。できるだけ具体的にお書きください。(自由記述)(抜粋)

年代	保育士経験の有無	内容
20代	保育士経験あり	実際に働いている保育士の方と働いていない保育士の人との交流を開き、保育現場や保護者対応に対する質問など交流会を開くこともいいと思う。
20代	保育士経験なし	現役保育士などが困っていることや悩んでいることを発言でき、相談にのるような内容
20代	保育士経験なし	保育士志望の学生を集めて学生同士で考えながら学んでいける場をつくる。
20代	保育士経験なし	実際の園子どもの姿を見てもらい、その子あった支援方法を学べる。現在、相談をかけないとコーディネーターの方に見てもらうことができないから。
20代	保育士経験あり	発達については、一人ひとり違うので、こんな障害があるという話よりも、こんな対応の仕方があるという話を聞きたい。また園で、どんな話し合いをしていけば良いか、話し合いの進め方の実演などの研修があるといい。
20代	保育士経験あり	他園を見学して保育に適した室内の作り方を学ぶ研修
20代	保育士経験なし	幼稚園教諭取得のための座学及び取得のための取得費用援助
20代	保育士経験なし	発達障がいのある子どもや、医療的ケアの必要な子どもへの支援
20代	保育士経験あり	「コロナ前とコロナ後の保育のあり方」「インクルーシブ教育の実践方法」「子育てと両立する保育士の働き方(ディスカッション有りだと嬉しい)」
20代	保育士経験なし	もう一度働ける自信につながるような研修。子育てを活かしてできる保育サポートの仕方、こういう働き方もあるよ！や、この数年で変わったであろう、保護者対応、衛生的な部分。
30代	保育士経験なし	保育士として働くには、みたいな保育士試験から資格を得た人向けに、実技を含めて研修してほしい。
30代	保育士経験なし	独学で資格取得した保育士も、学校卒の保育士と同じように働ける研修
30代	保育士経験あり	支援が必要な子に対してどう接したらいいか、事例をもとに学べる場が欲しい
30代	保育士経験なし	実際の保育現場での研修、現役保育士さんからの聞き取り
30代	保育士経験なし	救命救急は実技の講習があったらありがたいです。発達心理学、発達に遅れがある子への対応についてはその子により対応が違うと思うので、基本的な事をまた知れるところがあるとありがたいです。
30代	保育士経験なし	特にパソコンやタブレットなどは小学校に上がると使うため、そういった点を学びたい。また保護者も様々な方が増えているため、コミュニケーションのコツなども聞きたい。
30代	保育士経験あり	実際にあった事故やヒヤリハットをもとにした研修があるとありがたい。アレルギーや食育は基礎から教えてもらえる研修だといい。
30代	保育士経験あり	子どもの命を預かっているため、安全に関する事全て
30代	保育士経験なし	過去に保育士として働いた経験がないので、学校で学んだことの復習として、簡単な研修があればいいなと思います。
30代	保育士経験なし	保育士試験を受けて取得したため、実際の園の仕事の様子を知りません。可能ならば数日保育園の見学か体験をしてみたいです。
30代	保育士経験あり	保育のICT化が進んでいるということを知りたいです。利便性や使い方を知りたいです。パソコンやタブレットの事務作業にも不慣れなので、勉強できたらと思います。また私が働いていない間にも、保育園や保育士に求められることが変わってきていると思います。保護者対応、気になる子への対応や発達心、遊びを充実させるためにどんな保育環境にすればよいか等を知りたいです。
40代	保育士経験あり	職場の中のハラスメント対策
40代	保育士経験なし	子供1人1人に適した保育の姿勢が求められる時代になっている。勤務先のみで通用するような、自己流の対応ではなく専門的な理論の元、対応できる力が付く研修があれば自分の知識が広がり、自信を持って子供と向き合えるのではないかと思います。
40代	保育士経験なし	現場で働いてる方にお話を聞きたいです。また、実際に保育の現場で起こったことの例を挙げてもらい、それに対してどのような対応をすれば良いのかを考えたり、グループで話し合ったりする機会があると良いと思います。
40代	保育士経験あり	親子のふれあい遊び体操など
40代	保育士経験あり	知識としての座学も必要だと思うが、それと同時に、実践しながら学べるような内容だったら良いなと思う。あと、答えは1つではなく、自分がどう考え、どう行動するかを主体的に学べる内容だったら良いなと思う。
50代	保育士経験なし	プランクを埋められるような復習的なものと緊急対応が学べる研修
50代	保育士経験なし	座学でもう一度基礎的な事を学び直す研修。実際に保育現場を見学し、実習体験ができる環境
50代	保育士経験なし	保護者の方の子育ての悩み等、話を聴く研修を受けてみたいです。家庭でも余裕がある気持ちで子どもさんに接してもらえるといいなと思うので。
60代	保育士経験あり	安全管理、注意点などの一通りの講習会、説明会

◆今後保育士として働く意向のある方におたずねします。(BQ13,BQ16で「雇用の条件さえ合えば、働きたい又は保育の仕事に転職したい」と回答した方)(以下BQ17-5まで)  
 BQ17-2あなたは、現在、保育関係の就職先をお探していますか。  
 BQ17-3どのような勤務形態を希望しますか。

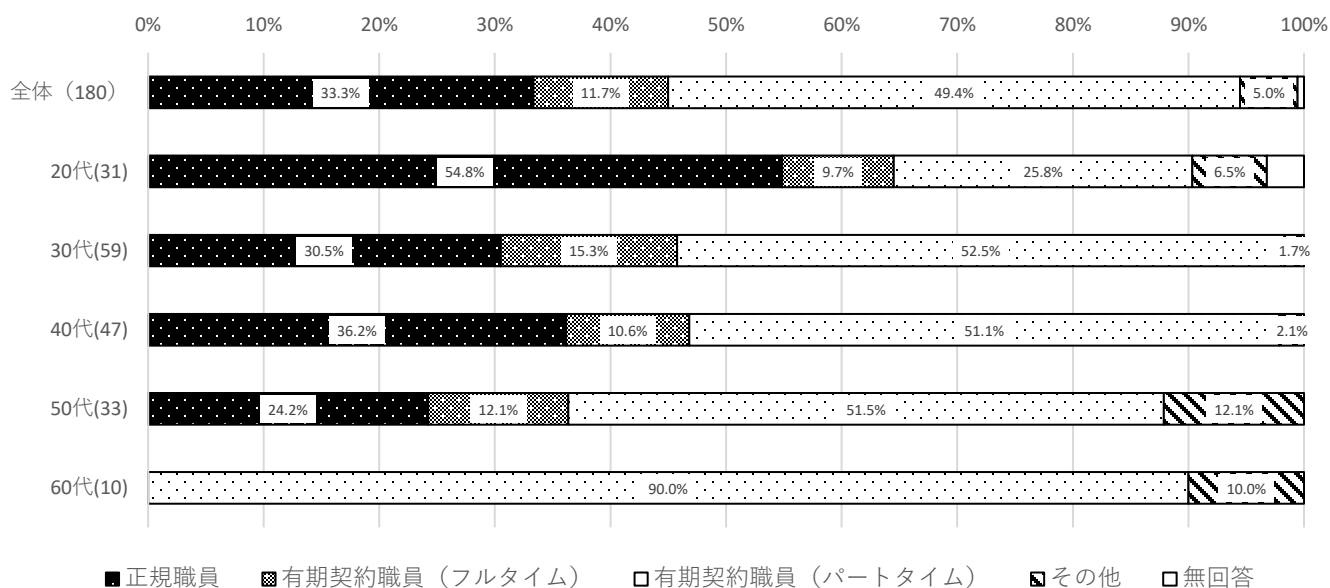
保育士意向のある方で、現在保育関係の就職先を探している人は全体で25.0%となっている。  
 年代別では20代が30.1%で他の年代よりも多くなっている。  
 希望する雇用形態はパートタイムが49.4%で最も多い。  
 年代別にみると、20代は正規職員が54.8%と他の年代よりも多いが、他の年代はパートタイムが50%以上となっている。

保育関係の就職先を探しているか(年代別)



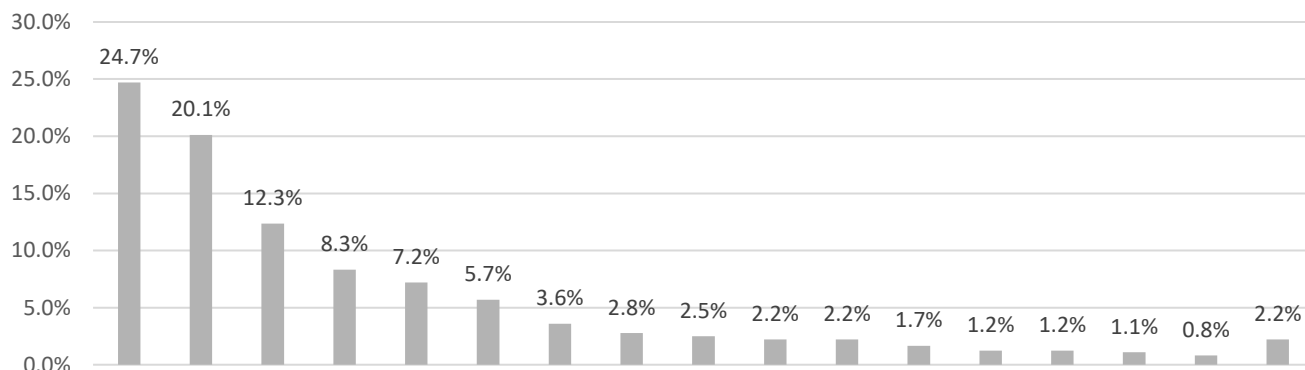
■ はい ■ いいえ □ 無回答

希望する勤務形態(年代別)



◆今後保育士として働く意向のある方におたずねします。(BQ13,BQ16で「雇用の条件さえ合えば、働きたい又は保育の仕事に転職したい」と回答した方)(以下BQ17-5まで)  
BQ17-4 再就職に際して、最も不安に思うことをお選びください。

「家事・子育ての両立」が24.7%で最も多く、次いで「給与や労働条件等、待遇面」(20.1%)となっている。



	n	家事・子育てと仕事の両立	給与や労働条件等、待遇面	職場の人間関係	命を預かること	体力的に仕事を続けられるか	最新の保育の知識・技術への対応	家族の健康問題・介護への対応	保護者への対応	クラス運営	時間外勤務への対応	再就職者に対する教育・研修が受けられるか	保育など育児支援が得られるか	配慮が必要な子どもへの対応	その他	不安はない	子どもとの関わり	無回答
全体	721	24.7%	20.1%	12.3%	8.3%	7.2%	5.7%	3.6%	2.8%	2.5%	2.2%	2.2%	1.7%	1.2%	1.2%	1.1%	0.8%	2.2%

【年代別】

年代	n	家事・子育てと仕事の両立	給与や労働条件等、待遇面	職場の人間関係	命を預かること	体力的に仕事を続けられるか	最新の保育の知識・技術への対応	家族の健康問題・介護への対応	保護者への対応	クラス運営	時間外勤務への対応	再就職者に対する教育・研修が受けられるか	保育など育児支援が得られるか	配慮が必要な子どもへの対応	その他	不安はない	子どもとの関わり	無回答
20代	103	25.2%	28.2%	12.6%	0.0%	0.0%	3.9%	0.0%	5.8%	4.9%	3.9%	2.9%	1.0%	0.0%	2.9%	1.9%	0.0%	6.8%
30代	257	44.4%	21.4%	8.2%	6.2%	1.6%	3.9%	0.4%	1.9%	1.6%	2.3%	1.6%	3.1%	1.6%	0.0%	0.4%	0.4%	1.2%
40代	184	17.9%	20.7%	16.8%	10.3%	6.5%	7.1%	3.3%	3.3%	3.3%	1.6%	2.2%	1.6%	0.0%	1.1%	0.5%	0.5%	3.3%
50代	122	2.5%	17.2%	14.8%	12.3%	15.6%	9.0%	9.8%	1.6%	2.5%	1.6%	2.5%	0.0%	3.3%	2.5%	1.6%	3.3%	0.0%
60代	55	3.6%	3.6%	10.9%	18.2%	30.9%	5.5%	12.7%	1.8%	0.0%	1.8%	3.6%	0.0%	1.8%	1.8%	3.6%	0.0%	0.0%

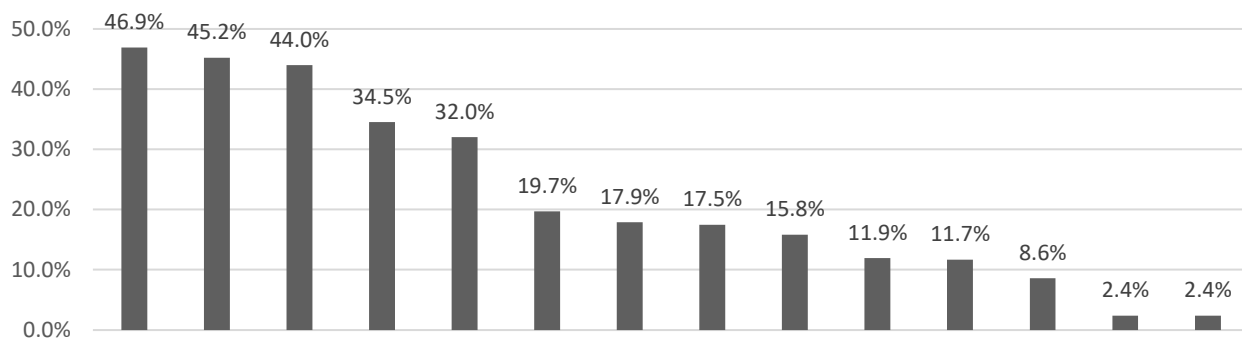
その他の回答

- ・前の職場でやめようと思ったことを次の場所でも同じ気持ちにならないか。
- ・あてはまることがありすぎて1つに絞れない。
- ・ピアノ
- ・モラハラをせずに理解のある園長の元で仕事したい。
- ・突然のお休みのときに気軽に休める。パワハラモラハラがない環境
- ・自分がコロナウイルスやインフルエンザ、胃腸炎などに感染した場合、家族(特に高齢の親)に感染されてしまわないか不安である。
- ・自分自身の体調
- ・以前の職場で自信をなくすことがあったので自分の力量に対しての不安
- ・年功序列の保育の保育環境や給料、休みがとれるか。不安なところは絞れない。
- ・腰痛が不安

◆今後保育士として働く意向のある方におたずねします。(BQ13,BQ16で「雇用の条件さえ合えば、働きたい又は保育の仕事に転職したい」と回答した方)(以下BQ17-5まで)  
BQ17-5再就職のために使いたい支援や制度等は何ですか。(〇はいくつでも)

保育士意向のある方に、再就職にあたり使いたい支援や制度等を聞いたところ「短時間勤務」が46.9%と最も多く、次いで「休日労働の免除」(45.2%)となっている。

### 使いたい支援・制度



	n	短時間勤務	休日労働の免除	時間外勤務の免除	子の看護休暇	時差出勤・フレックスタイム	介護休業・介護休暇	育児休業	両親等、家族による育児の支援	保育施設の利用	放課後児童クラブ	病児・病後児保育	必要と思う支援や制度はない	ベビーシッター	その他
全体	721	46.9%	45.2%	44.0%	34.5%	32.0%	19.7%	17.9%	17.5%	15.8%	11.9%	11.7%	8.6%	2.4%	2.4%

#### 【年代別】

年代	n	短時間勤務	休日労働の免除	時間外勤務の免除	子の看護休暇	時差出勤・フレックスタイム	介護休業・介護休暇	育児休業	両親等、家族による育児の支援	保育施設の利用	放課後児童クラブ	病児・病後児保育	必要と思う支援や制度はない	ベビーシッター	その他
20代	103	44.7%	52.4%	51.5%	42.7%	45.6%	11.7%	43.7%	20.4%	21.4%	11.7%	20.4%	3.9%	4.9%	1.0%
30代	257	60.7%	59.1%	58.0%	56.8%	37.0%	10.9%	28.4%	24.5%	29.2%	19.8%	20.2%	2.7%	3.9%	0.4%
40代	184	38.6%	39.1%	42.9%	30.4%	28.3%	21.2%	5.4%	22.3%	9.2%	11.4%	6.0%	11.4%	1.1%	2.7%
50代	122	32.8%	27.9%	22.1%	2.5%	24.6%	39.3%	0.8%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	16.4%	0.0%	7.4%
60代	55	45.5%	25.5%	16.4%	0.0%	12.7%	27.3%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%	0.0%	1.8%

## その他の回答

- ・いまは必要としないが後々は介護などを使いたい
- ・平等な勤務体制か、平等じゃなければ賃金で差が出てどちらかが誰かが損をすることができるだけ無ければ良い。
- ・休みたい時に気兼ねなく休暇が取得できる
- ・親の介護
- ・デイサービスの時間延長
- ・リフレッシュ休暇 誕生日休暇 有給を必ず取れる
- ・現在の保育士として働くのに必要な知識や技術
- ・老病親介護と孫出産介助と健康不安
- ・急な休みのとりやすさ
- ・賃上げ
- ・夫の実家の農業を手伝っているため、6月～7月の繁忙期に勤務日数を減らせられるとありがたい。
- ・同一労働、同一賃金または、時給については正規<非正規でなくてはおかしい
- ・勤務する上で困ったことを相談できる機関
- ・地域の役員もしているので希望休が取りたい
- ・時間外勤務の免除は、同じく働く別の保育士への負担を考えるとできない。そもそも時間外勤務が発生しない体制構築が必要。
- ・自分の健康が一番心配
- ・障害のある子のための放課後等デイサービスの充実
- ・今は再就職どころではないので分かりません

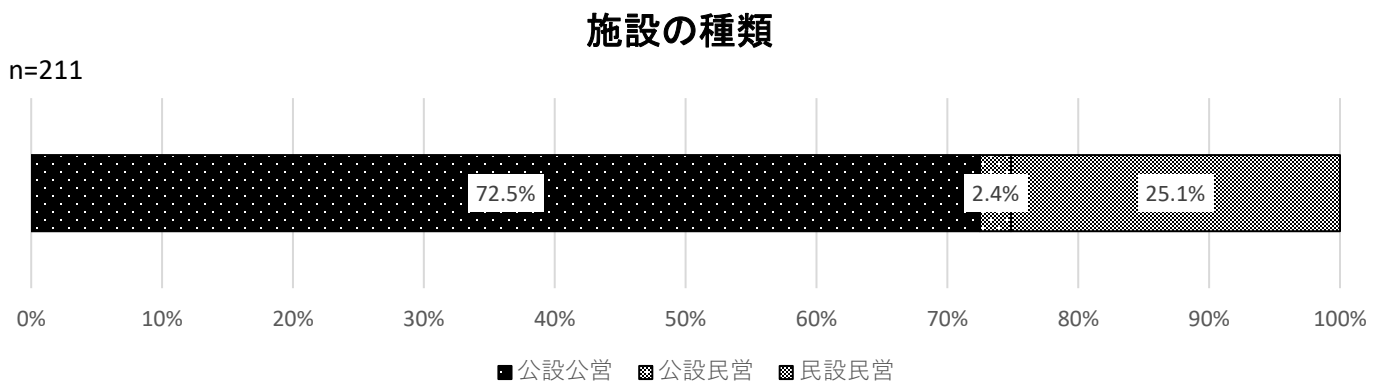
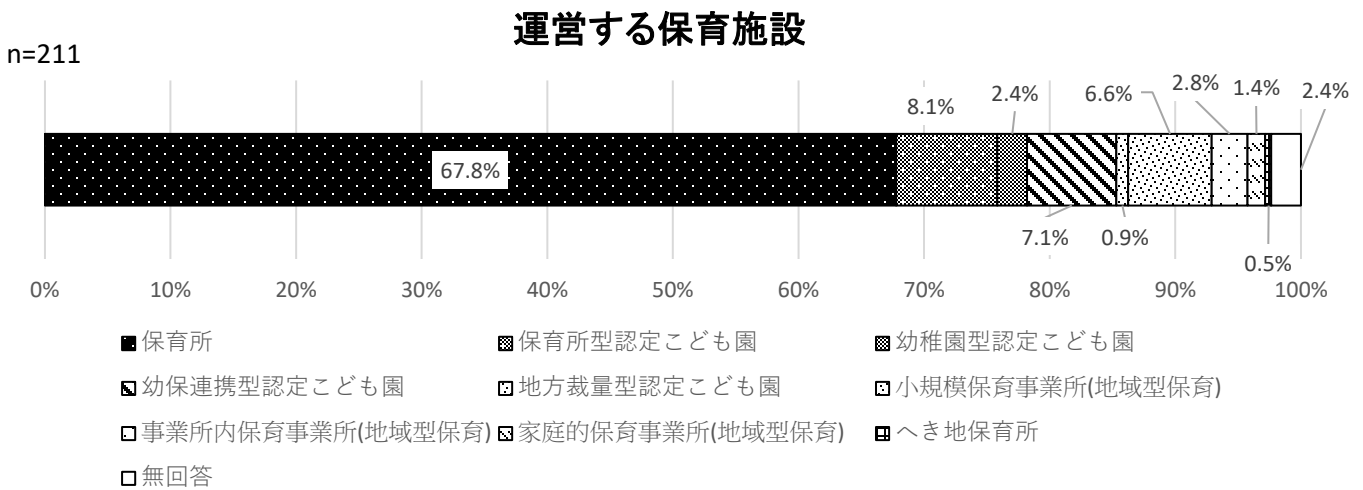
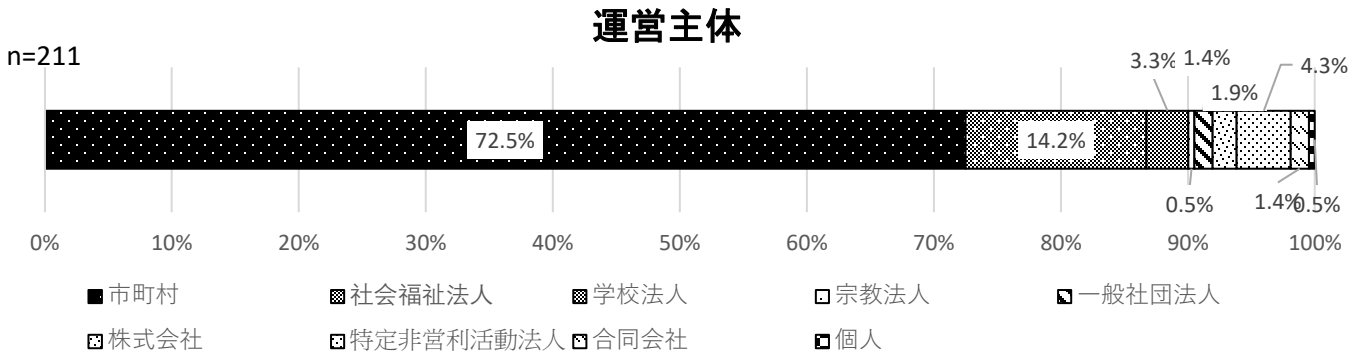
## 第Ⅲ章 保育所実態調査





## (1)属性

Q1 貴施設の設置・運営主体の種類などについておうかがいします。

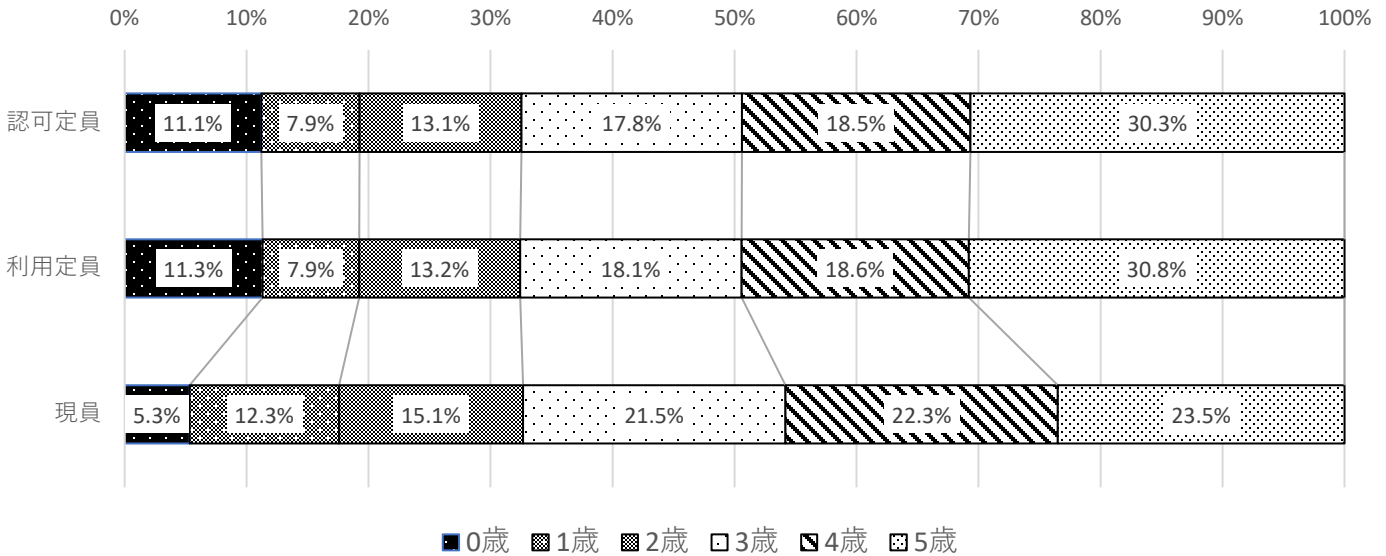


## (2) 定員・現員について

Q2 貴施設の利用定員、現員とその内訳についておうかがいします。

※現員については、本年(R5)4/1現在の年齢区分における12/1現在の人数を記入してください。

### 定員・現員



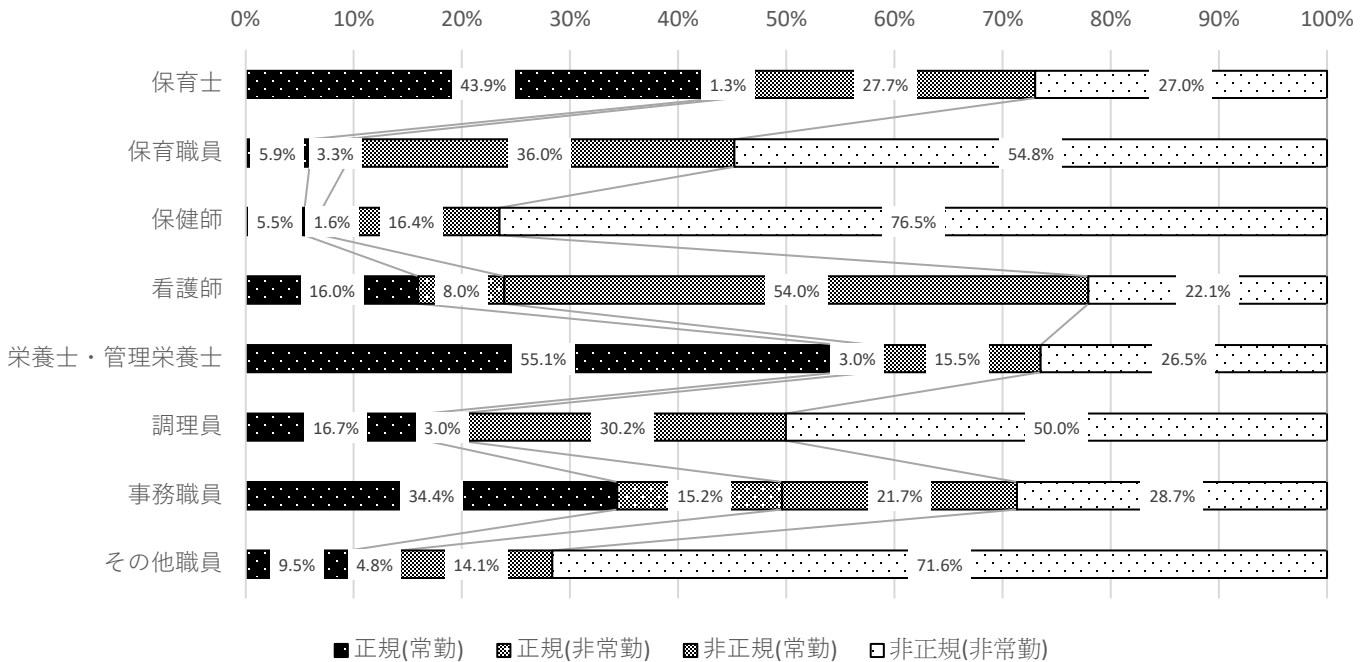
上段：実人員 下段：%	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
認可定員	2,275	1,633	2,694	3,662	3,801	6,219	20,544
	11.1%	7.9%	13.1%	17.8%	18.5%	30.3%	100.0%
利用定員	2,271	1,588	2,646	3,638	3,740	6,175	20,057
	11.3%	7.9%	13.2%	18.1%	18.6%	30.8%	100.0%
現員	847	1,945	2,393	3,413	3,543	3,729	15,870
	5.3%	12.3%	15.1%	21.5%	22.3%	23.5%	100.0%

### (3)職員について

Q3 貴施設の職員体制についておうかがいします。各職種別の職員数をご記入ください。  
 (複数施設を兼務している場合があるため1人以下の人数が生じている)

保育士は43.9%、栄養士・管理栄養士は55.1%と「正規・常勤」が最も多く、保育職員（保育補助者・保育支援者）、保健師、調理員、その他職員は「非正規・非常勤」が最も多く、看護師は「非正規・常勤」が最も多くなっている。

#### 職種別職員体制



上段：実人員 下段：%	合計	正規 (常勤)	正規 (非常勤)	非正規 (常勤)	非正規 (非常勤)
保育士	3289.6	1445.6	44	912.2	887.8
	100.0%	43.9%	1.3%	27.7%	27.0%
保育職員 (保育補助者・保育支援者)	663.6	39	22	238.9	363.7
	100.0%	5.9%	3.3%	36.0%	54.8%
保健師	18.3	1	0.3	3	14
	100.0%	5.5%	1.6%	16.4%	76.5%
看護師	37.6	6	3	20.3	8.3
	100.0%	16.0%	8.0%	54.0%	22.1%
栄養士・管理栄養士	99	54.5	3	15.3	26.2
	100.0%	55.1%	3.0%	15.5%	26.5%
調理員	626.2	104.5	19	189.4	313.3
	100.0%	16.7%	3.0%	30.2%	50.0%
事務職員	131.2	45.1	20	28.5	37.6
	100.0%	34.4%	15.2%	21.7%	28.7%
その他職員	188.6	18	9	26.5	135.1
	100.0%	9.5%	4.8%	14.1%	71.6%

## 職種別職員体制(運営主体別)

【保育士】

上段：実人員 下段：%	合計	正規 (常勤)	正規 (非常勤)	非正規 (常勤)	非正規 (非常勤)
公設公営	2,436	995	21	782	638
	100.0%	40.8%	0.9%	32.1%	26.2%
公設民営	54	20	2	11	21
	100.0%	37.0%	3.7%	20.4%	38.9%
民設民営	800	431	21	119	229
	100.0%	53.9%	2.6%	14.9%	28.6%
合計	3,290	1,446	44	912	888
	100.0%	43.9%	1.3%	27.7%	27.0%

【保健師】

上段：実人員 下段：%	合計	正規 (常勤)	正規 (非常勤)	非正規 (常勤)	非正規 (非常勤)
公設公営	10.3	1	0.3	0	9
	100%	9.7%	2.9%	0.0%	87.4%
公設民営	1	0	0	0	1
	100%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
民設民営	7	0	0	3	4
	100%	0.0%	0.0%	42.9%	57.1%
合計	18.3	1	0.3	3	14
	100%	5.5%	1.6%	16.4%	76.5%

【保育職員（保育補助者・保育支援者）】

上段：実人員 下段：%	合計	正規 (常勤)	正規 (非常勤)	非正規 (常勤)	非正規 (非常勤)
公設公営	552.6	5	0	229.9	317.7
	100.0%	0.9%	0.0%	41.6%	57.5%
公設民営	7	0	0	0	7
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
民設民営	104	34	22	9	39
	100.0%	32.7%	21.2%	8.7%	37.5%
合計	663.6	39	22	238.9	363.7
	100.0%	5.9%	3.3%	36.0%	54.8%

【看護師】

上段：実人員 下段：%	合計	正規 (常勤)	正規 (非常勤)	非正規 (常勤)	非正規 (非常勤)
公設公営	25.6	3	2	14.3	6.3
	100.0%	11.7%	7.8%	55.9%	24.6%
公設民営	1	0	0	0	1
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
民設民営	11	3	1	6	1
	100.0%	27.3%	9.1%	54.5%	9.1%
合計	37.6	6	3	20.3	8.3
	100.0%	16.0%	8.0%	54.0%	22.1%

【栄養士・管理栄養士】

上段：実人員 下段：%	合計	正規 (常勤)	正規 (非常勤)	非正規 (常勤)	非正規 (非常勤)
公設公営	38	21.5	0	8.3	8.2
	100.0%	56.6%	0.0%	21.8%	21.6%
公設民営	4	1	1	0	2
	100.0%	25.0%	25.0%	0.0%	50.0%
民設民営	57	32	2	7	16
	100.0%	56.1%	3.5%	12.3%	28.1%
合計	99	54.5	3	15.3	26.2
	100.0%	55.1%	3.0%	15.5%	26.5%

【事務職員】

上段：実人員 下段：%	合計	正規 (常勤)	正規 (非常勤)	非正規 (常勤)	非正規 (非常勤)
公設公営	71.2	22.1	3	20.5	25.6
	100.0%	31.0%	4.2%	28.8%	36.0%
公設民営	2	2	0	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
民設民営	58	21	17	8	12
	100.0%	36.2%	29.3%	13.8%	20.7%
合計	131.2	45.1	20	28.5	37.6
	100.0%	34.4%	15.2%	21.7%	28.7%

【調理員】

上段：実人員 下段：%	合計	正規 (常勤)	正規 (非常勤)	非正規 (常勤)	非正規 (非常勤)
公設公営	515.2	85.5	11	167.4	251.3
	100.0%	16.6%	2.1%	32.5%	48.8%
公設民営	6	1	0	0	5
	100.0%	16.7%	0.0%	0.0%	83.3%
民設民営	105	18	8	22	57
	100.0%	17.1%	7.6%	21.0%	54.3%
合計	626.2	104.5	19	189.4	313.3
	100.0%	16.7%	3.0%	30.2%	50.0%

【その他職員】

上段：実人員 下段：%	合計	正規 (常勤)	正規 (非常勤)	非正規 (常勤)	非正規 (非常勤)
公設公営	142.6	2	2	22.5	116.1
	100.0%	1.4%	1.4%	15.8%	81.4%
公設民営	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
民設民営	46	16	7	4	19
	100.0%	34.8%	15.2%	8.7%	41.3%
合計	188.6	18	9	26.5	135.1
	100.0%	9.5%	4.8%	14.1%	71.6%

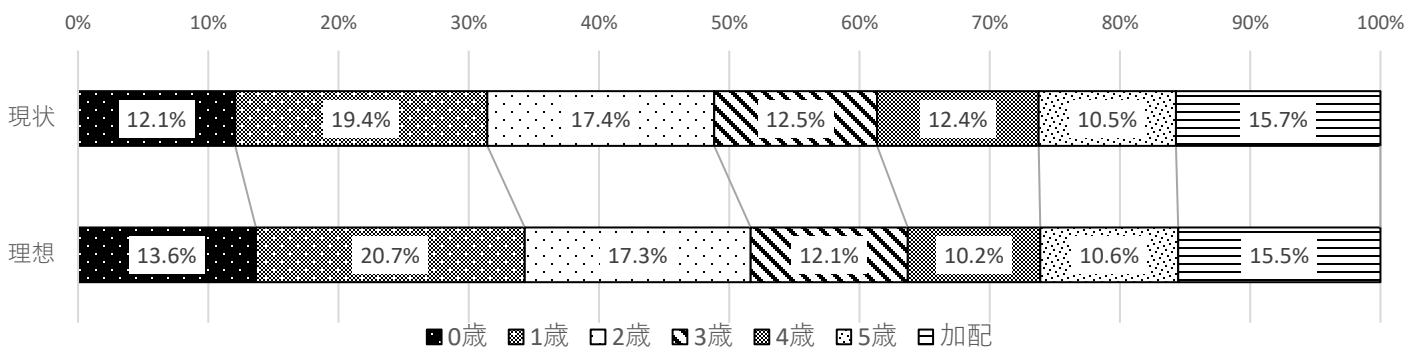
Q4 現状の保育士の人数と、理想の保育を行うために必要な保育士の人数をご記入ください。

※年齢ごとの区別がない場合は、合計の欄に人数をご記入ください。

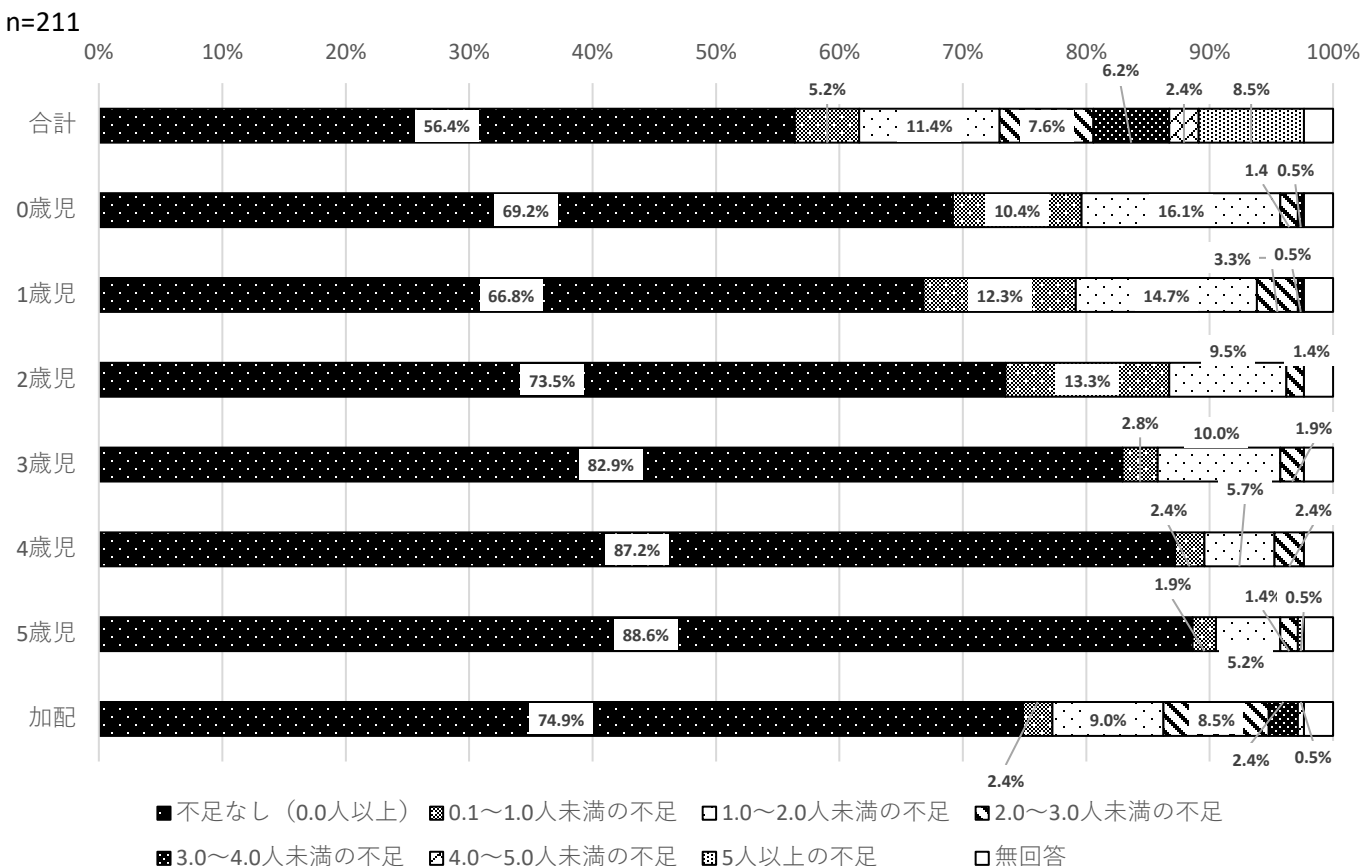
※非常勤職員がいる場合は、常勤換算による人数をご記入ください。(小数点第2位を切り捨て)

(常勤換算による人数=非常勤職員の1か月の勤務時間の合計÷各施設が定める1か月の所定労働時間)

現状の保育士数と理想の保育士数は「0歳児」「1歳児」において理想の保育士数が現状の保育士数を上回っている。

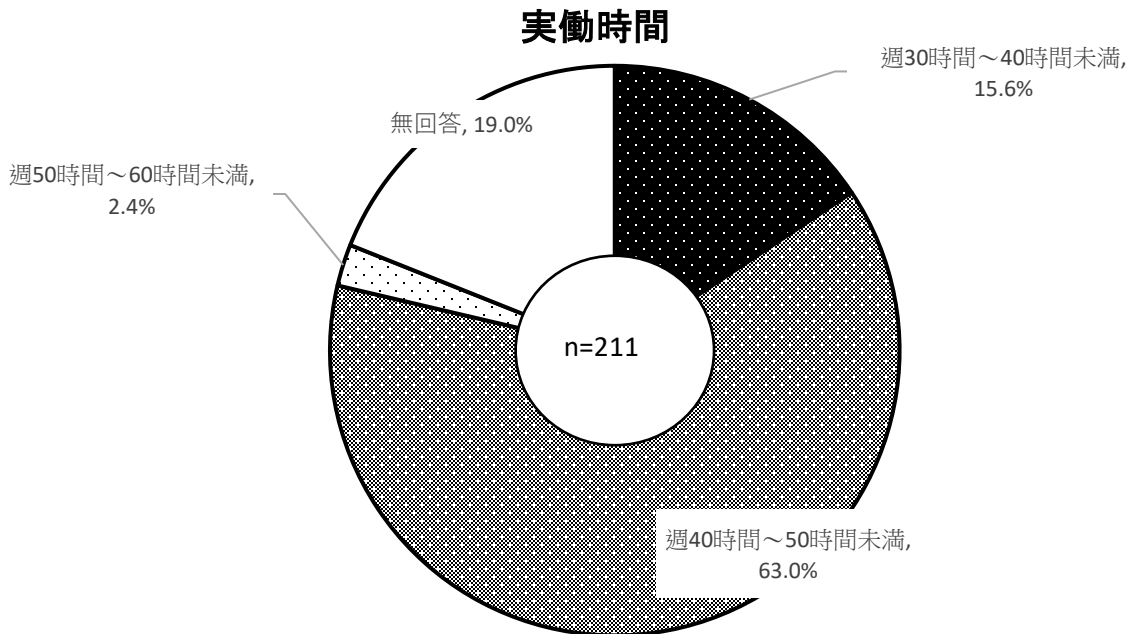


上段：実人員 下段：%	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	加配	合計
現状	261.6	420.2	378.0	271.3	269.4	228.6	340.7	2169.7
	12.1%	19.4%	17.4%	12.5%	12.4%	10.5%	15.7%	100.0%
理想	290.4	439.6	368.8	256.9	216.4	225.5	330.1	2127.7
	13.6%	20.7%	17.3%	12.1%	10.2%	10.6%	15.5%	100.0%
差(現状-理想)	-28.8	-19.4	9.2	14.4	52.9	3.1	10.6	42.0



Q5 貴施設の正規職員(常勤)である保育士(主任を含む)についておうかがいします。  
週あたりの平均的な(時間外労働を含む)実働時間は何時間ですか。

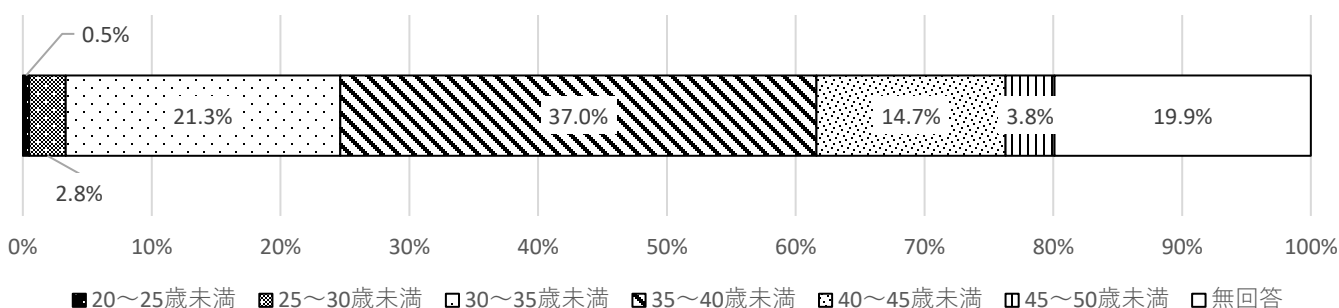
「週40時間～50時間未満」が63.0%と最も多い。



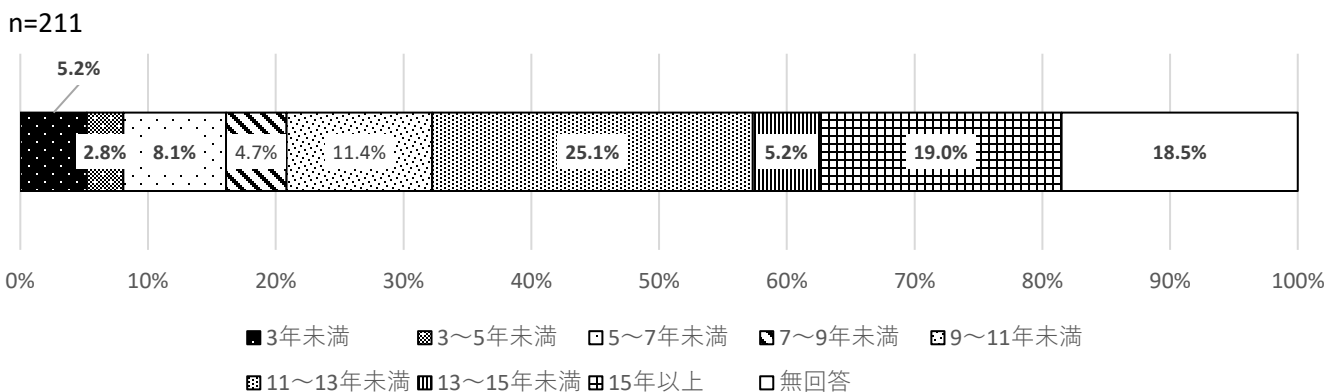
Q6 貴施設における正規職員(常勤)の待遇について、該当する数字をご記入ください。

平均年齢は「35～40歳未満」が37.0%で最も多く、次いで「30～35歳未満」(21.3%)となっている。  
 平均勤続年数は「11年～13年未満」が25.1%で最も多く、次いで「15年以上」(19.0%)となっている。  
 平均年収は「400～500万円未満」が40.8%で最も多く、次いで「300～400万円」(14.2%)となっている。  
 初任給(月給)は「21万円～22万円未満」が23.7%で最も多く、次いで「17万円～18万円未満」(19.4%)となっている。

n=211 **平均年齢**

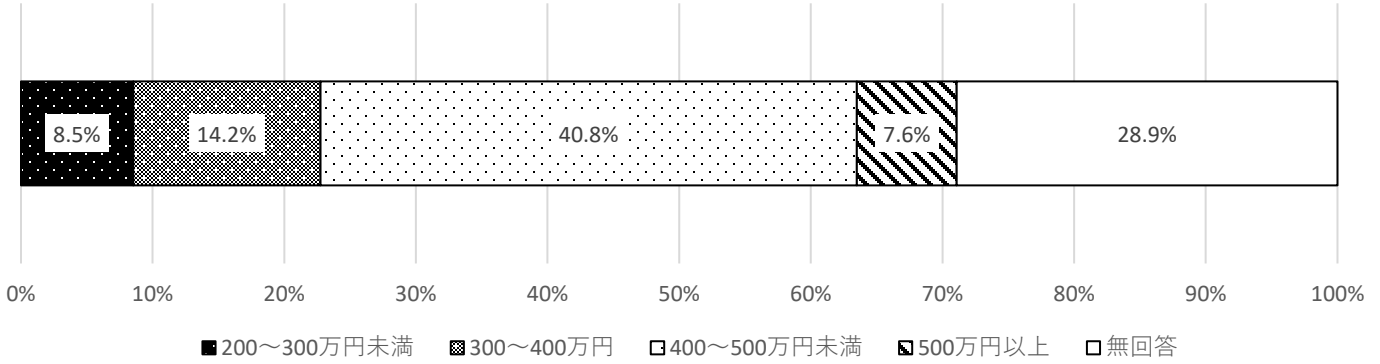


**平均勤続年数**



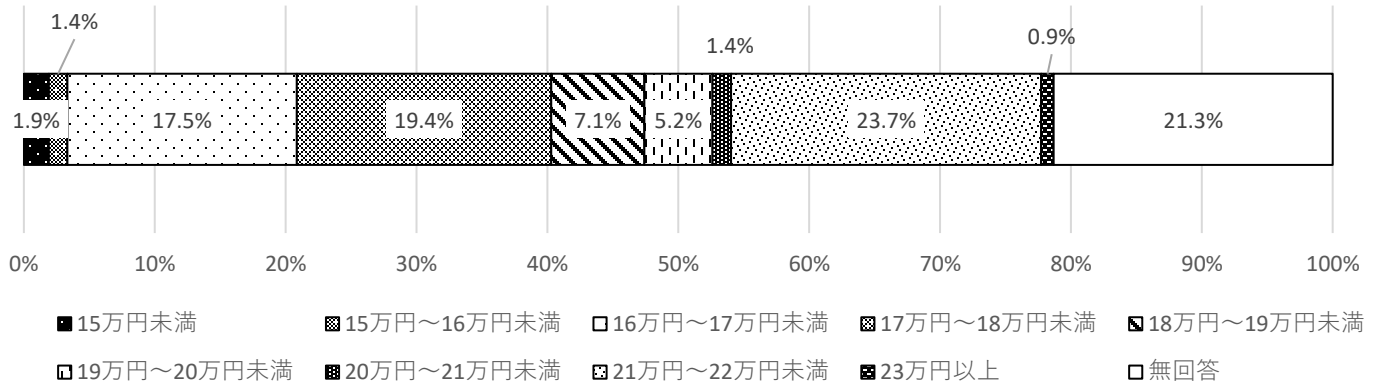
## 給与等支払額(年間)

n=211



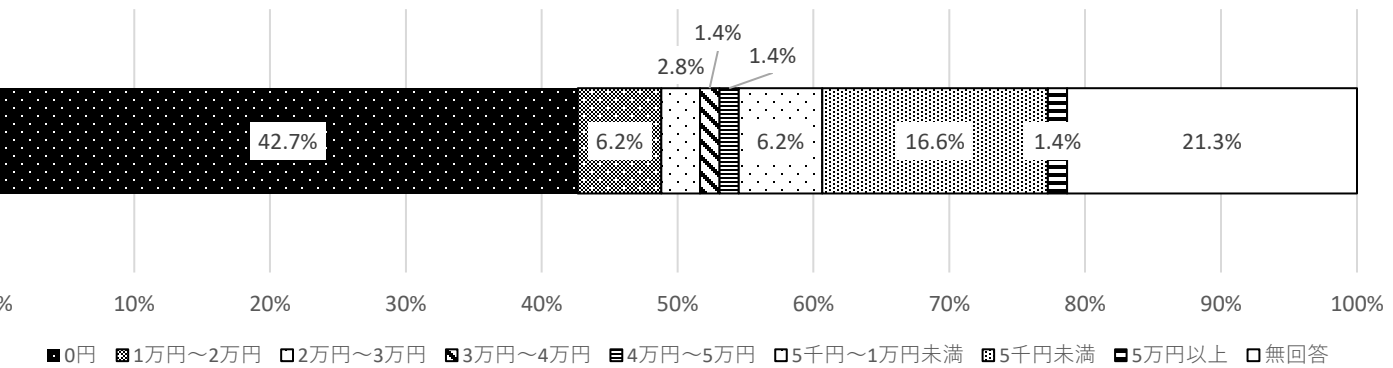
## 初任給(月給)

n=211



## 初任給(手当)

n=211



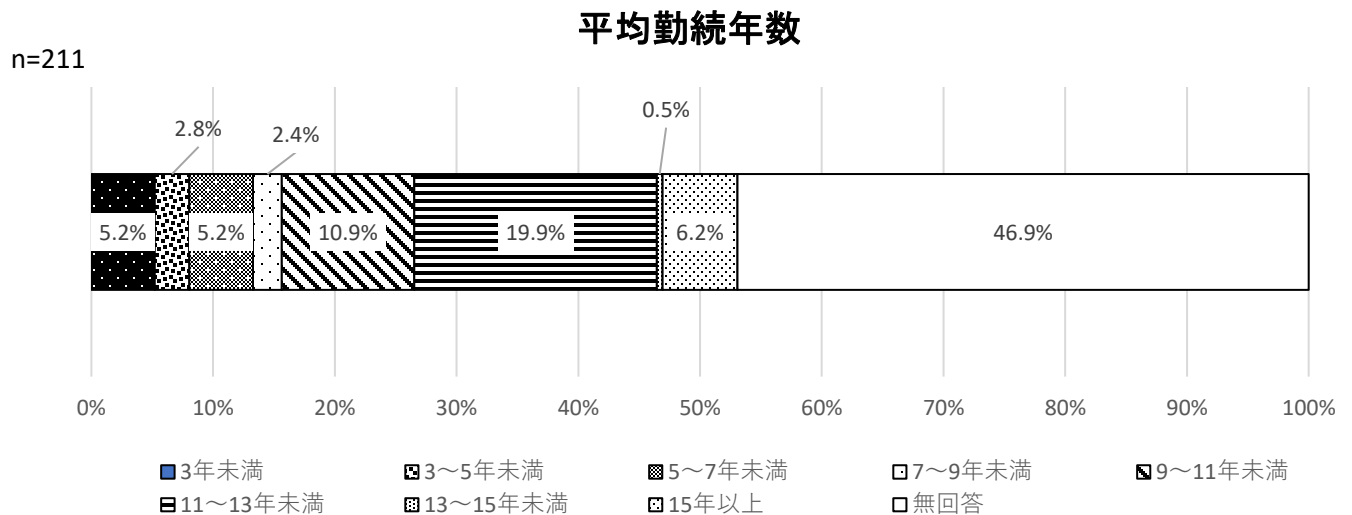
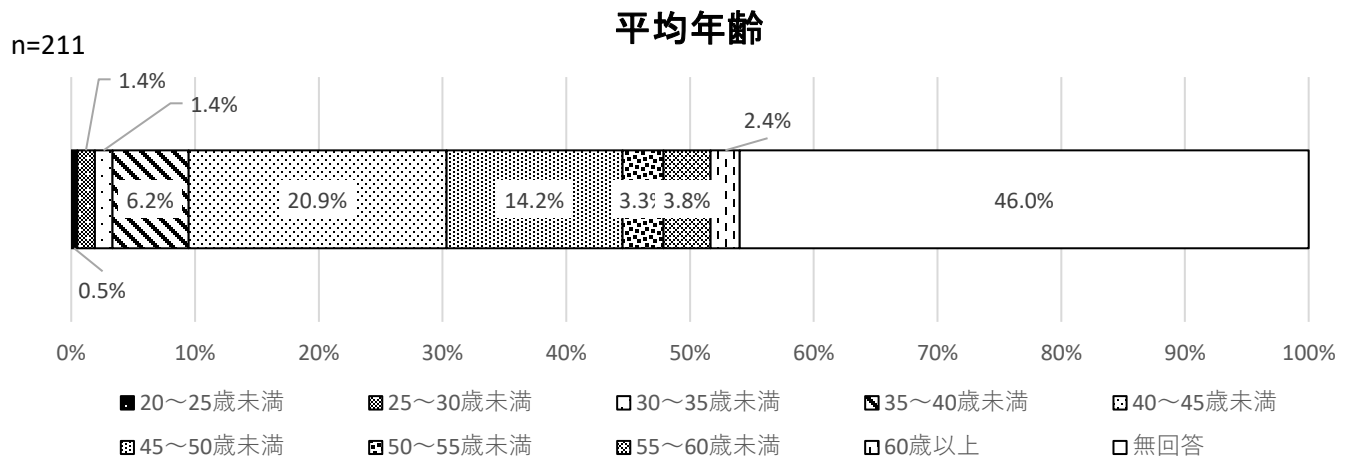
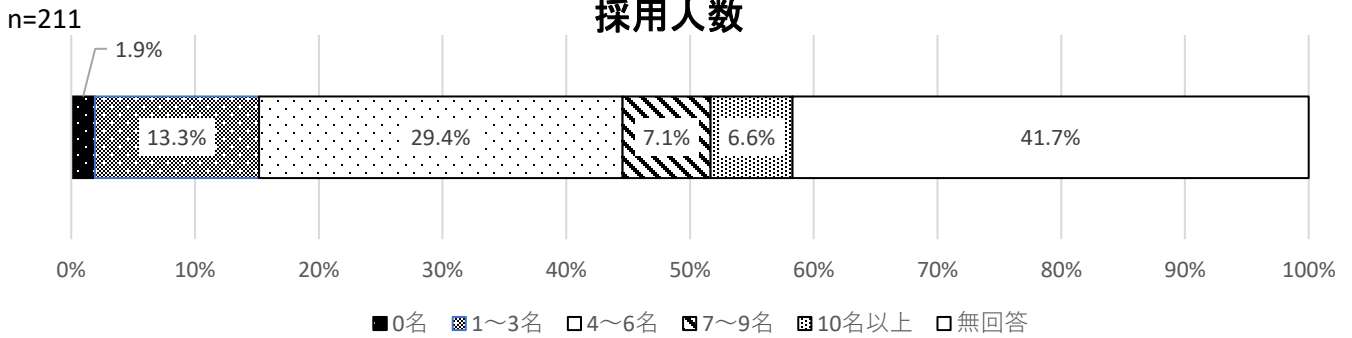


Q7-1 貴施設に勤める非正規職員のうち、保育士資格を持つ保育士について、雇用形態別に(1)雇用総人数、(2)平均年齢、(3)勤続年数、(4)給与等をお答えください。

Q7-2 貴施設において非正規職員として保育士資格を持つ保育士を採用する際の給与(月給、日給、時給)を教えてください。(前歴換算がない一般保育士を採用した場合の給与を記入願います)

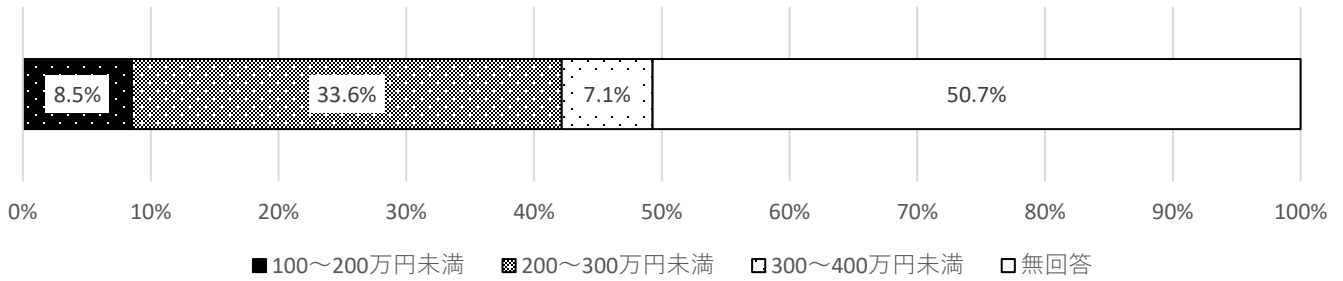
## 1 直接雇用(フルタイム)

フルタイムの採用人数は「4～6名」が29.4%で最も多い。平均年齢は「40～45歳未満」が20.9%で最も多い。平均勤続年数は「11～13年未満」が最も多い。平均給与は「200～300万円未満」が最も多い。



## 給与等支払額(年間)

n=211



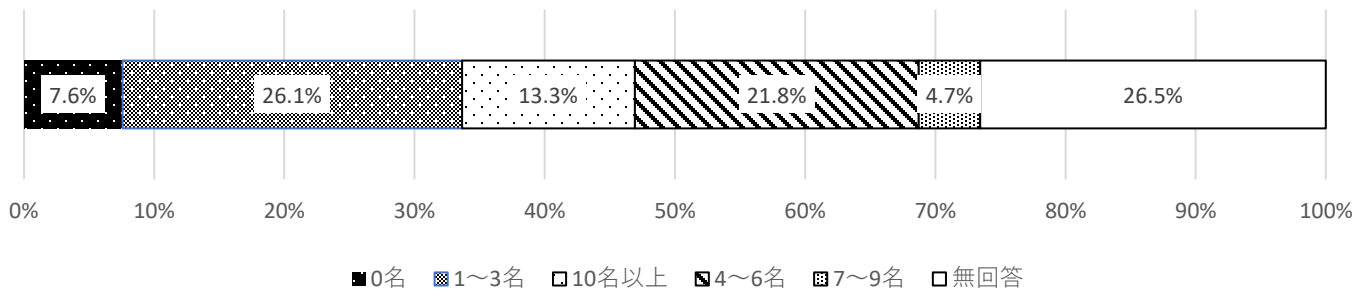
	月給制	日給月給制	日給制	時間給制
回答数	75	1	0	17
平均単価	177,905	160,000	-	1,059

## 2 直接雇用(パート)

パートの採用人数は「1~3名」が26.1%で最も多い。平均年齢は「45~50歳未満」が22.7%で最も多い。  
平均勤続年数は「5~7年未満」が24.6%で最も多い。平均給与は「100~200万円未満」が34.6%で最も多い。

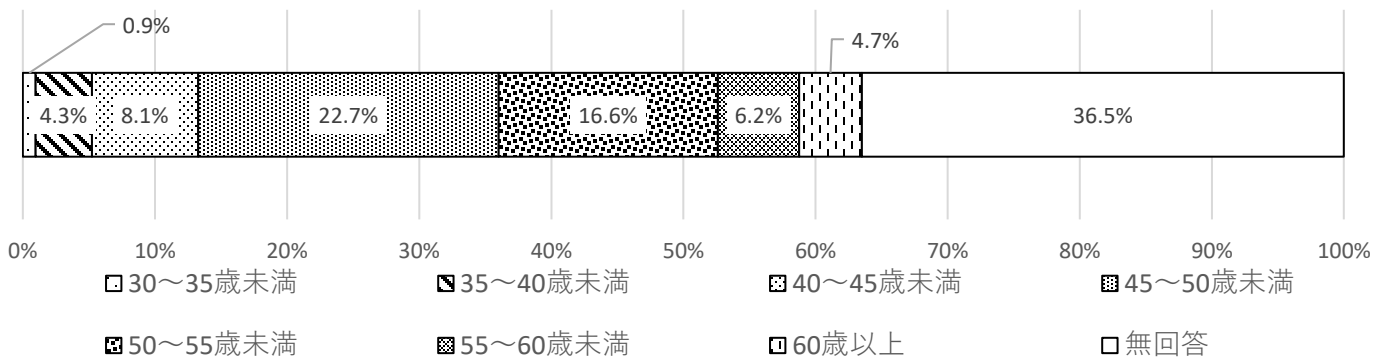
### 採用人数

n=211



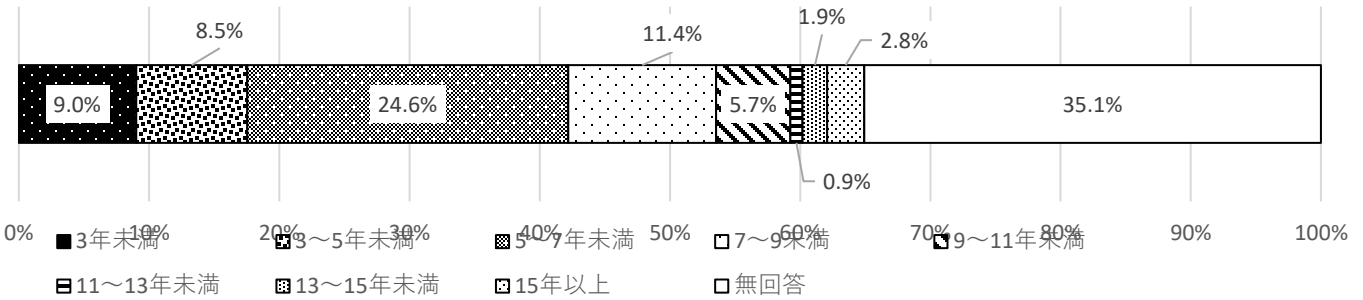
### 平均年齢

n=211



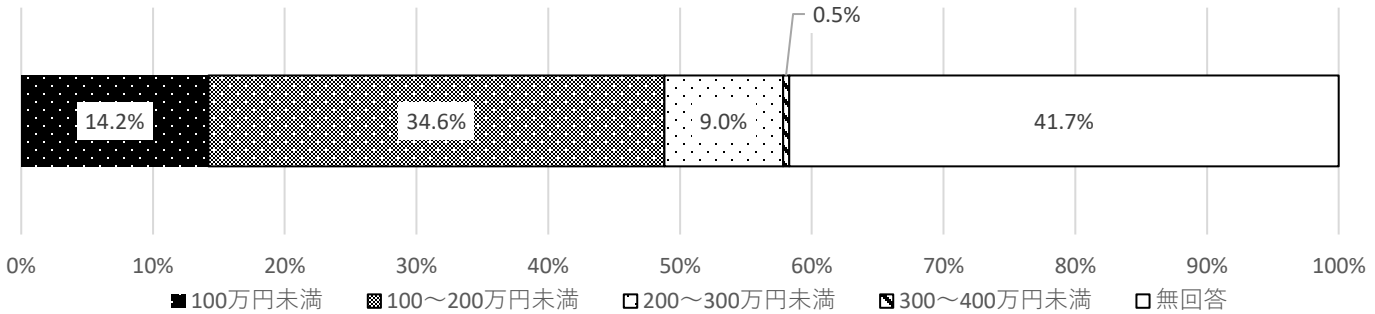
## 平均勤続年数

n=211



## 給与等支払額(年間)

n=211



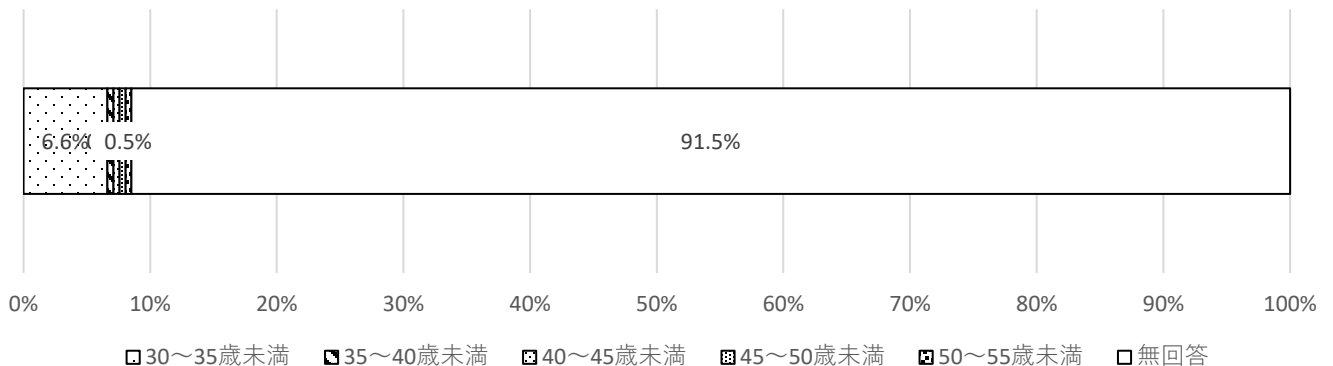
	月給制	日給月給制	日給制	時間給制
回答数	51	2	0	29
平均単価	136,870	110,000	-	1,095

## 3 派遣職員

平均年齢は「30～35歳未満」が最も多い。平均勤続年数は「3年未満」が最も多い。平均給与は「200～300万円未満」が最も多い。

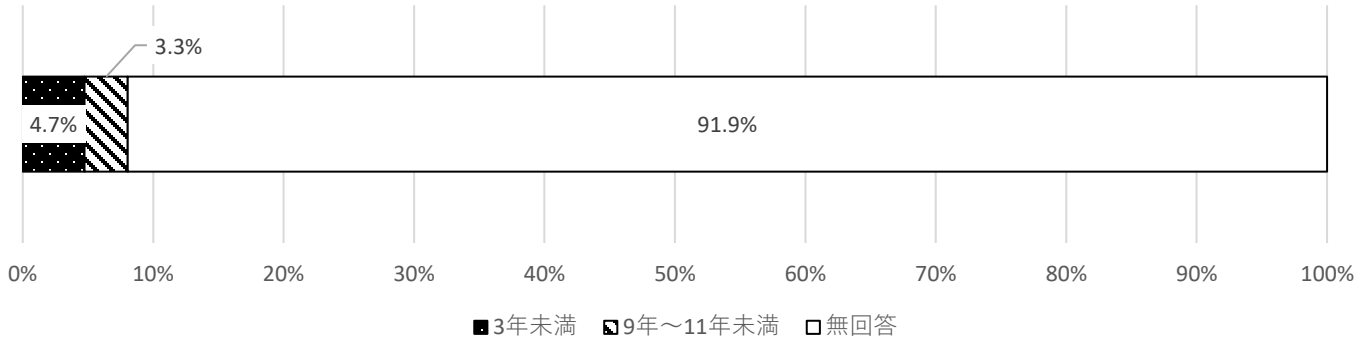
## 平均年齢

n=211



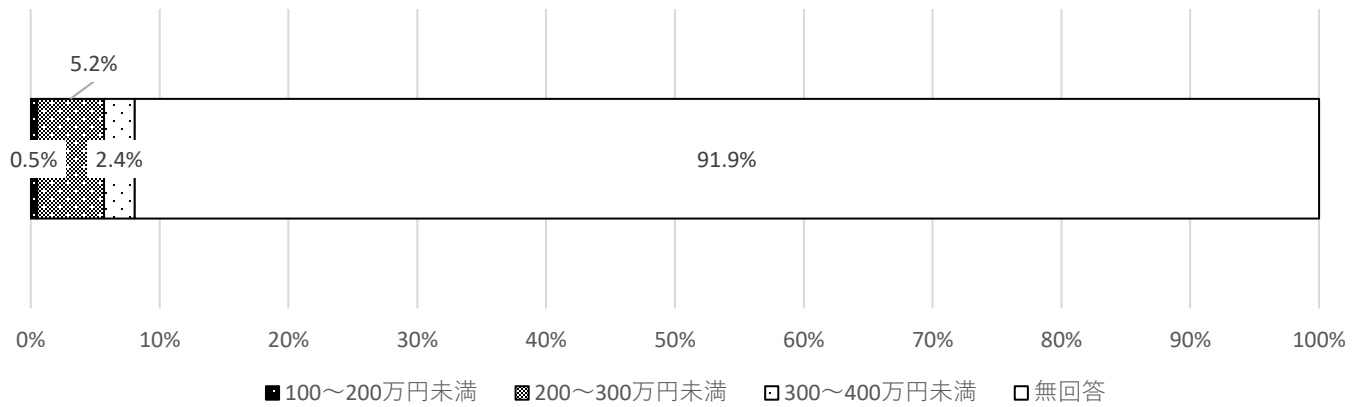
## 平均勤続年数

n=211



## 給与等支払額(年間)

n=211



	月給制	日給月給制	日給制	時間給制
回答数	5	-	-	4
平均単価	280,000	-	-	1,437

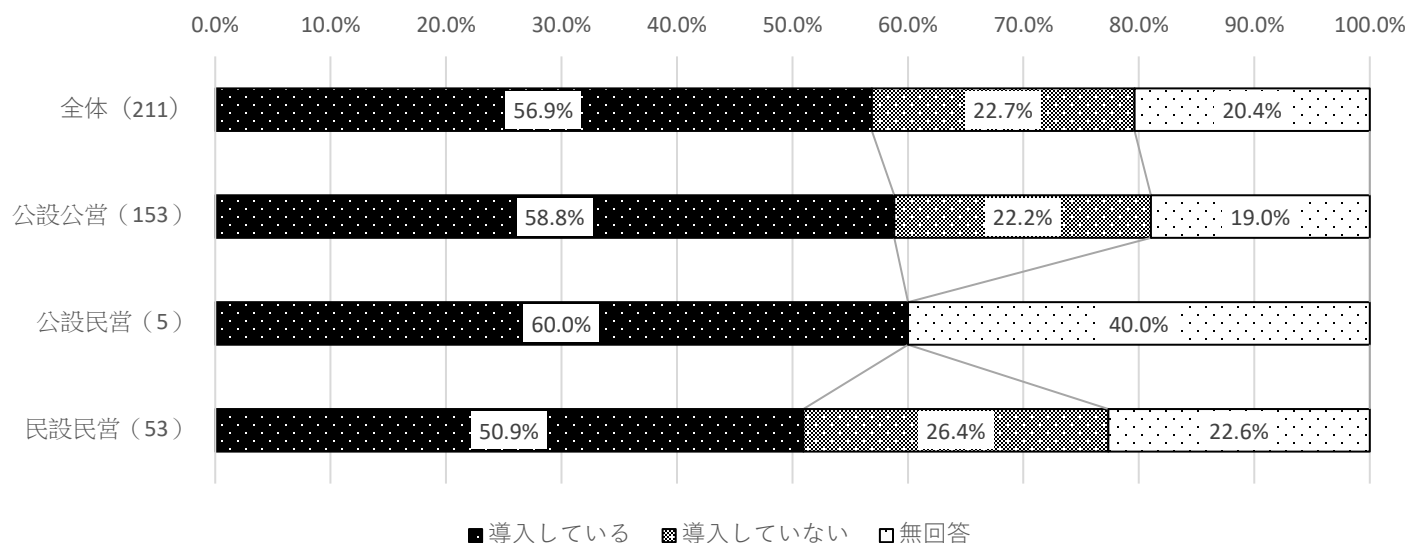
#### (4)ICTの導入について

Q8 貴施設において保育ICTシステムを導入していますか。

Q8-1 Q8において「導入している」と回答した方にお伺いします。  
貴施設において導入している保育ICTシステムの名称をご記入ください

「導入している」が56.9%となっている。  
施設の種別別でもどの種類でも過半数が導入している。  
導入しているシステムは「コドモン」が59.2%で最も多い。

#### システムの導入状況(種別別)



#### 導入しているシステムの名称

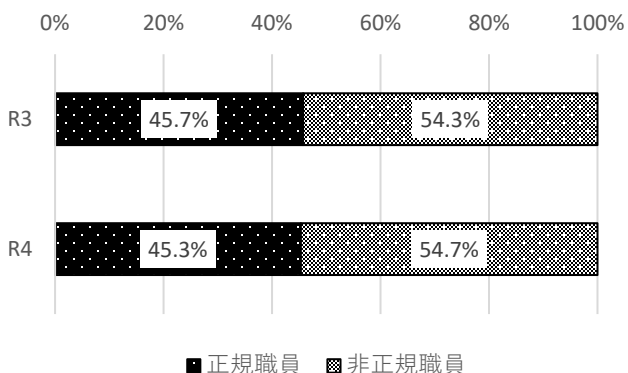
名称	回答数	割合(%)
コドモン	71	59.2
キッズビュー	16	13.3
はいチーズ!システム	6	5.0
ルクミー	5	4.2
C4THhome&school	3	2.5
すぐ〜る	2	1.7
コミュなび	1	0.8
タッチビュー、キッズビュー	1	0.8
CHAPPY	1	0.8
チャイルド	1	0.8
CCSシステム	1	0.8
登降園管理システム	1	0.8
チャイルドケアシステム	1	0.8
無回答/その他	10	8.3

## (5) 保育士数について

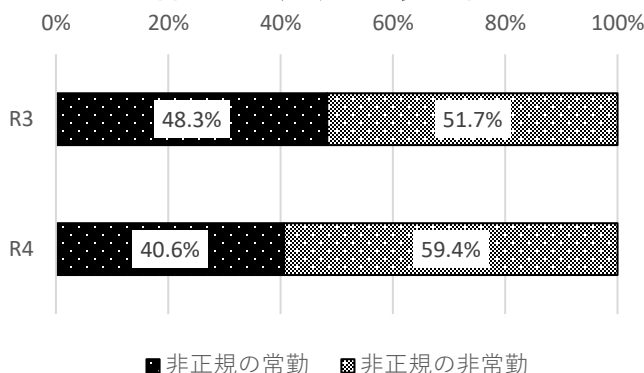
Q9 貴施設の、過去2年間(R3、R4年度)の4月1日時点での保育士の人数をご記入ください。

保育士数はR3、R4ともに「非正規職員」が「正規職員」を上回っている。  
 非正規職員はR3、R4ともに「非常勤職員」が「常勤職員」を上回っている。  
 公設公営はR3、R4ともに「非正規職員」が「正規職員」を上回っていて、「民設民営」は「正規職員」が「非正規職員」を上回っている。

### 保育士数



### 保育士数(非正規内訳)



上段：実人員 下段：%	正規職員	非正規職員	計
R3	1,085	1,288	2,372
	45.7%	54.3%	100.0%
R4	1,085	1,310	2,395
	45.3%	54.7%	100.0%

上段：実人員 下段：%	非正規の常勤	非正規の非常勤	計
R3	586	626	1,211
	48.3%	51.7%	100.0%
R4	580	849	1,429
	40.6%	59.4%	100.0%

上段：実人員 下段：%	正規職員	非正規職員	計	
R3	公設公営	773	1,064	1,836
		42.1%	57.9%	100.0%
	公設民営	9	21	30
		30.0%	70.0%	100.0%
	民設民営	303	203	506
		59.9%	40.1%	100.0%
R4	公設公営	756	1,083	1,839
		41.1%	58.9%	100.0%
	公設民営	8	24	32
		25.0%	75.0%	100.0%
	民設民営	321	213	534
		60.1%	39.9%	100.0%

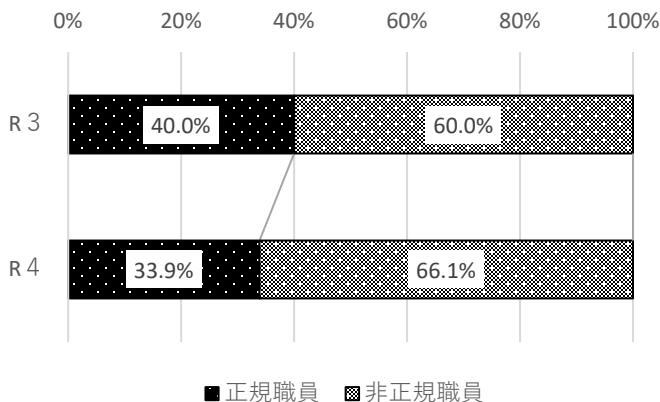
上段：実人員 下段：%	非正規の常勤	非正規の非常勤	計	
R3	公設公営	492	483	975
		50.5%	49.5%	100.0%
	公設民営	5	16	21
		23.8%	76.2%	100.0%
	民設民営	88	127	215
		40.9%	59.1%	100.0%
R4	公設公営	486	700	1,186
		41.0%	59.0%	100.0%
	公設民営	4	20	24
		16.7%	83.3%	100.0%
	民設民営	90	129	219
		41.1%	58.9%	100.0%

Q10 貴施設で、過去2年間(R3、R4年度)に自己都合で退職した保育士(定年退職除く)がいますか。いる場合、その人数をご記入ください。

Q11 Q10の退職者(定年退職除く)について、勤務年数別の実人数を記入してください。

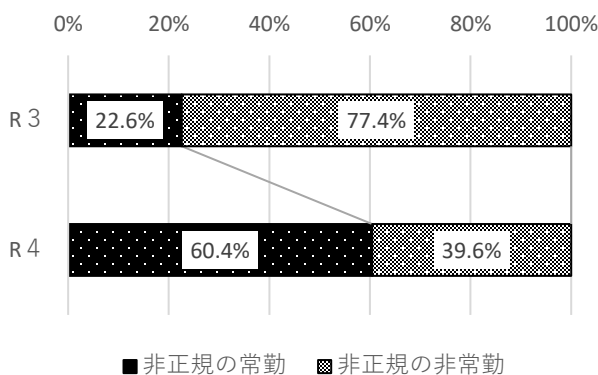
自己都合退職者はR3、R4ともに非正規職員の方が多い。  
勤務年数はR3は「1年以上3年未満」、R4は1年未満が最も多い。

### 退職者



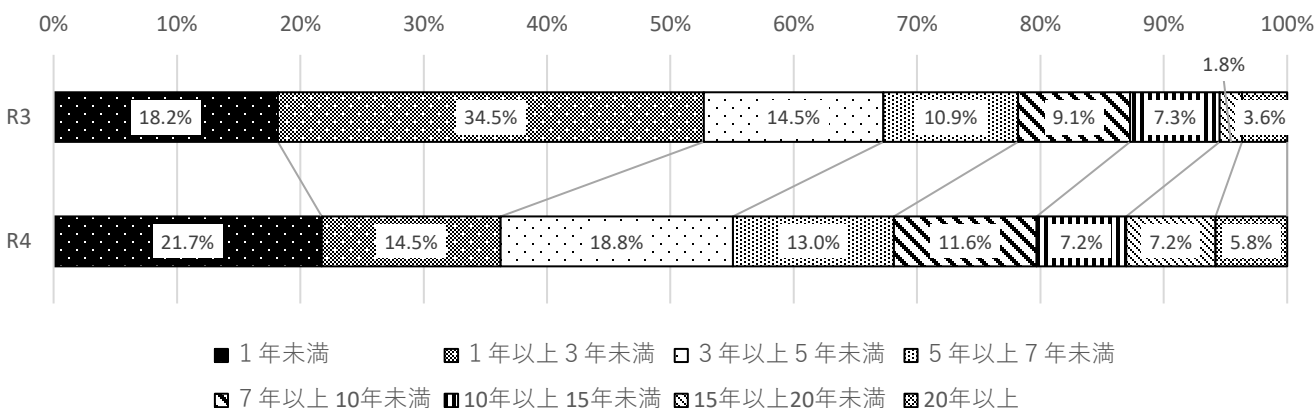
上段：実人員 下段：%	正規職員	非正規職員	計
R3	30	45	75
	40.0%	60.0%	100.0%
R4	39	76	115
	33.9%	66.1%	100.0%

### 退職者(非正規内訳)



上段：実人員 下段：%	非正規の常勤	非正規の非常勤	計
R3	7	24	31
	22.6%	77.4%	100.0%
R4	29	19	48
	60.4%	39.6%	100.0%

### 勤務年数



上段：実人員 下段：%	1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上7年未満	7年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上	計
R3	10	19	8	6	5	4	1	2	55
	18.2%	34.5%	14.5%	10.9%	9.1%	7.3%	1.8%	3.6%	100.0%
R4	15	10	13	9	8	5	5	4	69
	21.7%	14.5%	18.8%	13.0%	11.6%	7.2%	7.2%	5.8%	100.0%

## (6) 施設での取り組み

Q12 貴施設で、ア 現在、保育士の職場定着のために取り組んでいることは何ですか。また、イ 今後、保育士の職場定着のために取り組みたいと思うことは何ですか。⑳その他の場合は( )内に具体的内容をご記入ください。  
(それぞれ〇はいくつでも)

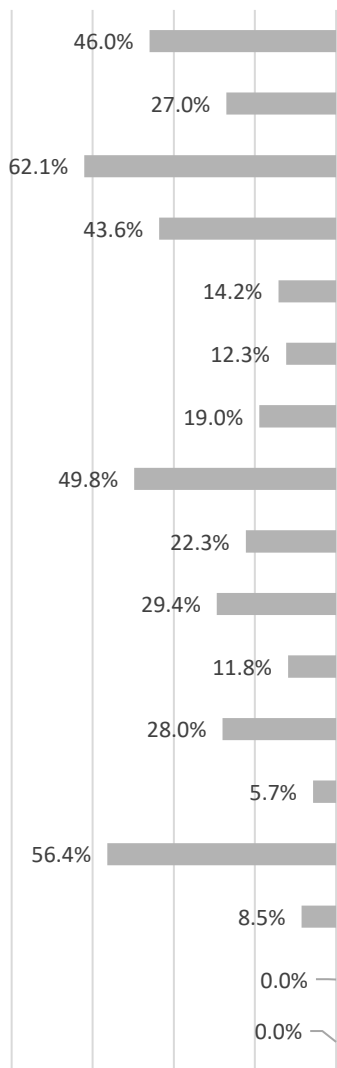
現在取り組んでいることは「休暇を取得しやすい環境の整備」が62.1%で最も多く、次いで「職場のなごやかな雰囲気づくり」(56.4%)となっている。

今後取り組みたいことは「給与水準の引き上げ」が36.0%で最も多く、次いで「作成書類の軽減、事務作業の効率化」(33.6%)となっている。

### 現在取り組んでいること

n=211

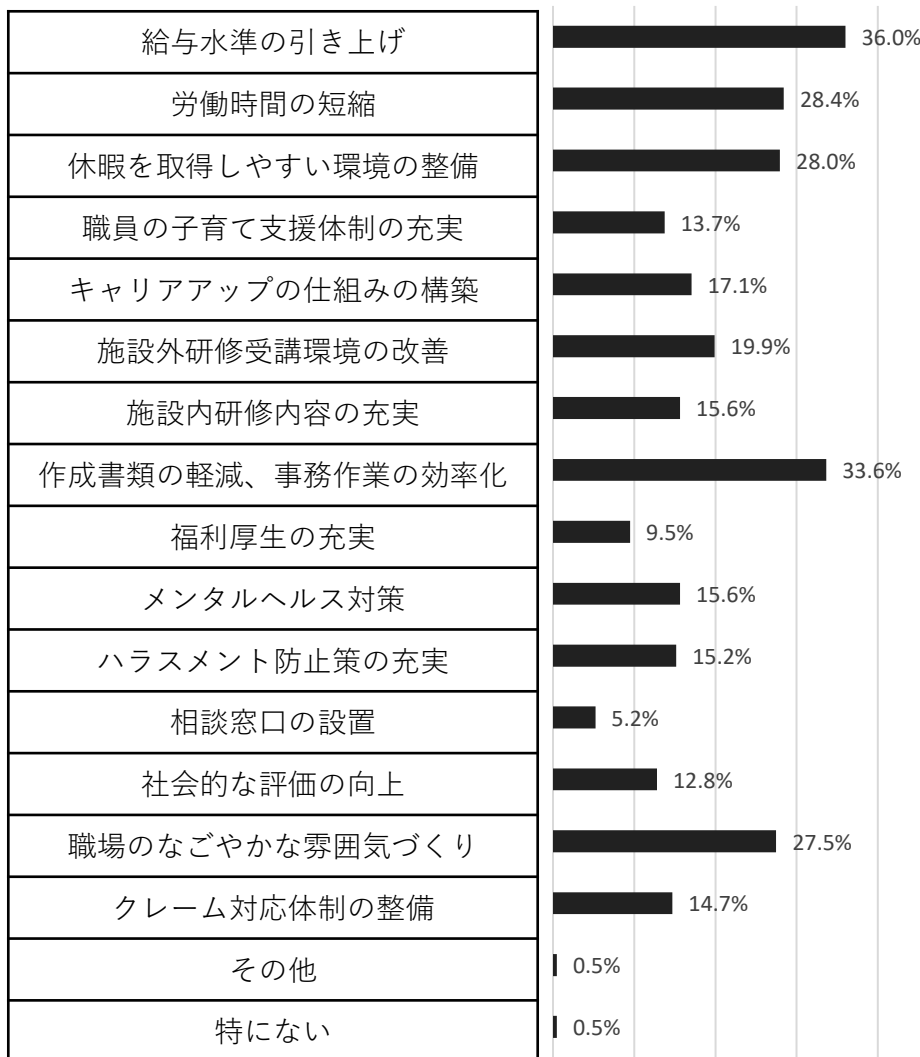
80.0% 60.0% 40.0% 20.0% 0.0%



### 今後取り組みたいこと

n=211

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0%



今後、取り組みたいこと  
その他の回答

教育・人事評価

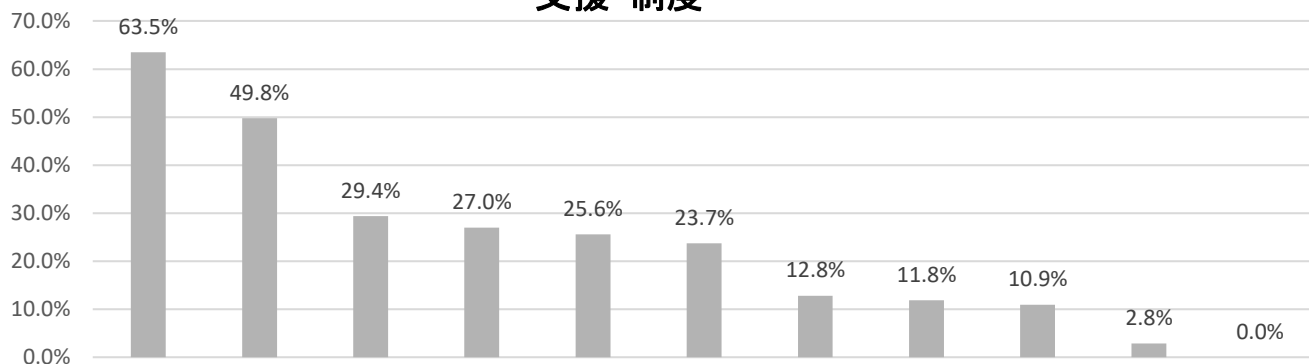


## (7) 支援・制度について

Q13 貴施設において、保育士を安定的に雇用していくために望む支援・制度見直しは何ですか。

保育士確保のために望む支援は、「職員の給与改善に関する公的支援の充実」が63.5%で最も多く、次いで「保育士の社会的評価を高める取り組み」(49.8%)となっている。

### 支援・制度



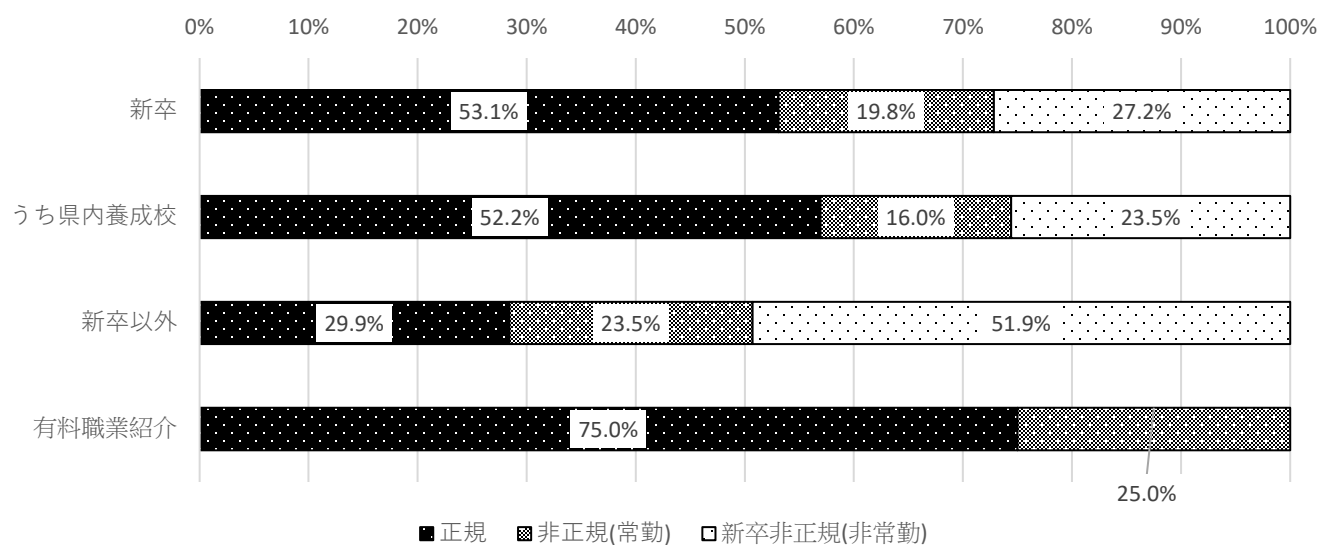
	n	職員の給与改善に関する公的支援の充実	保育士の社会的評価を高める取り組み	加配職員雇用のための支援の充実	現任保育士への教育・研修制度の充実	正規と非正規の均衡・均等待遇の促進	保育士・保育所支援センター(旧保育士人材バンク)の充実	助成金や法令等のPR・解説の充実	保育の技術・技能評価制度の整備	保育所相談支援体制の充実	その他	教育訓練等・保育士資格取得に関する助成金制度の充実
全体	211	63.5%	49.8%	29.4%	27.0%	25.6%	23.7%	12.8%	11.8%	10.9%	2.8%	0.0%

## (8) 保育士の採用について

Q14 昨年度(令和4年度)の「(1)新卒」及び「(2)新卒以外」の採用状況それぞれについて、該当する欄に数字をご記入ください。

新卒は「正規」が53.1%と最も多く、新卒以外は「非正規(非常勤)」が51.9%と最も多い。

### 採用状況

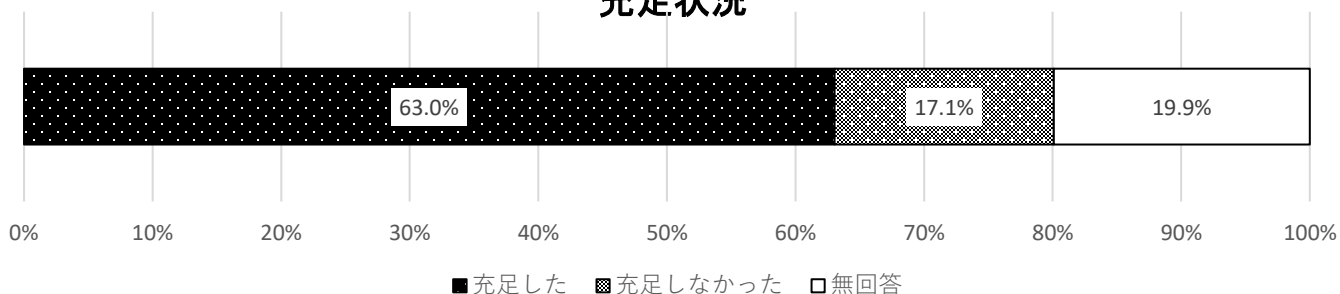


上段：実人員 下段：%	正規	非正規(常勤)	非正規(非常勤)	計
新卒	43	16	22	81
	53.1%	19.8%	27.2%	100.0%
うち県内養成校	35	13	19	67
	52.2%	16.0%	23.5%	100.0%
新卒以外	26	19	42	87
	29.9%	23.5%	51.9%	100.0%
新卒・新卒以外計	69	35	64	168
うち有料職業紹介	3	1	0	4
	75.0%	25.0%	0.0%	100.0%

Q15 令和4年度の採用において、募集人員は充足しましたか。しなかった場合は、その雇用形態について選択肢より  
 選び記入してください。(〇はいくつでも)

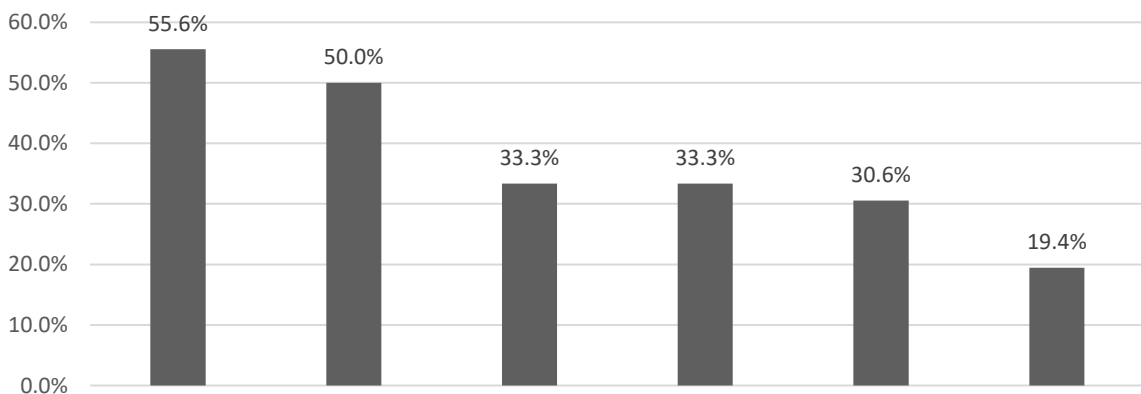
「充足した」が63.0%で「充足しなかった」を上回っている。  
 充足しなかった雇用形態としては「新卒以外の非正規（非常勤）」が55.6%で最も多い。

### 充足状況



	n	充足した	充足しなかった	無回答
全体	211	63.0%	17.1%	19.9%
公設公営	153	60.1%	21.6%	18.3%
公設民営	5	60.0%	0.0%	40.0%
民設民営	53	71.7%	5.7%	22.6%

### 充足しなかった雇用形態

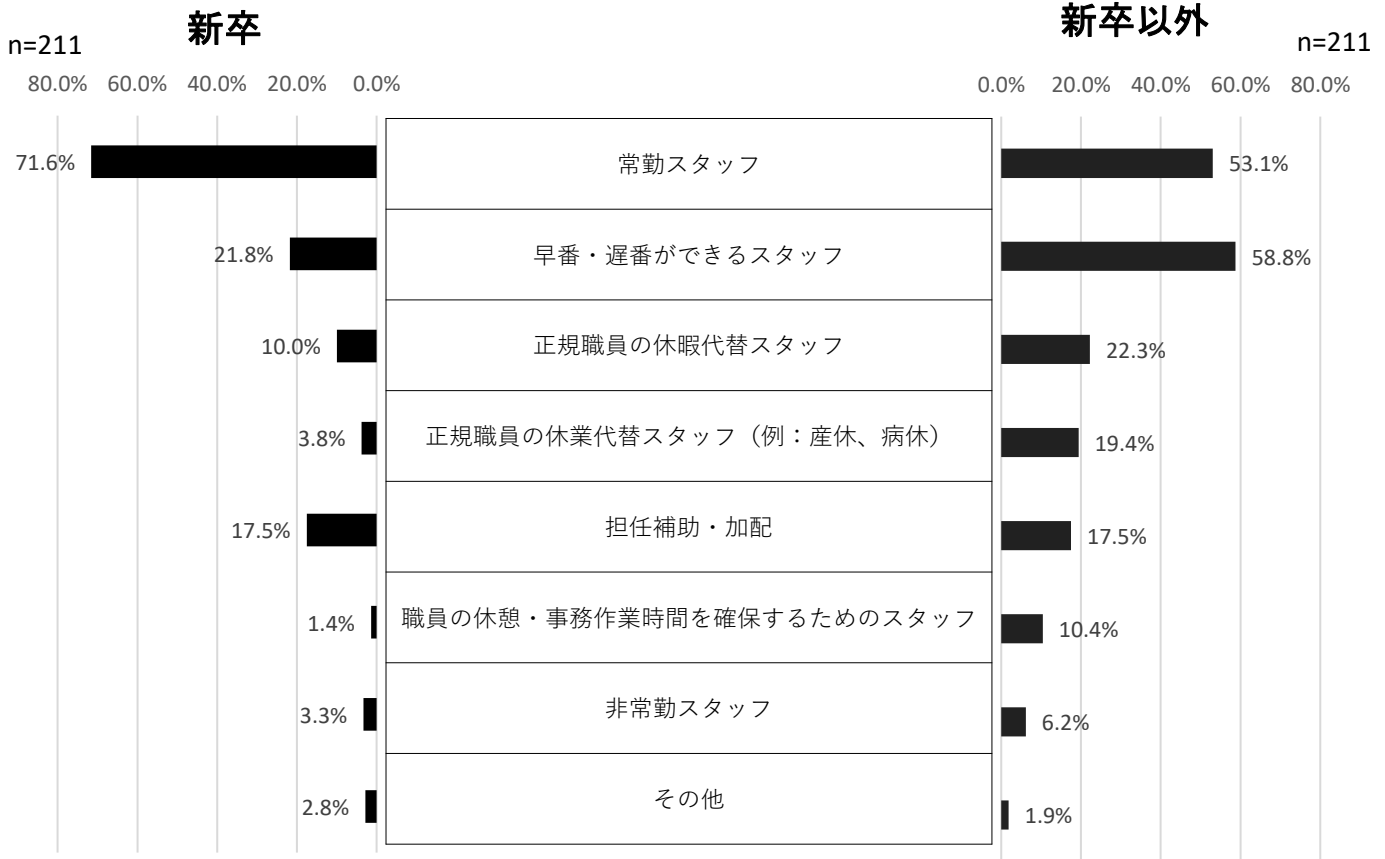


	n	新卒以外の非正規（非常勤）	新卒の正規	新卒の非正規（常勤）	新卒以外の正規	新卒以外の非正規（常勤）	新卒の非正規（非常勤）
全体	36	55.6%	50.0%	33.3%	33.3%	30.6%	19.4%
公設公営	33	57.6%	48.5%	36.4%	33.3%	33.3%	21.2%
公設民営	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
民設民営	3	33.3%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%

Q16 現時点で、どのようなスタッフを求めているか、(1)と(2)それぞれの場合について、選択肢より3つまで選び、番号に○を記入してください。

新卒では「常勤スタッフ」が71.6%で最も多く、次いで「早番・遅番ができるスタッフ」(21.8%)となっている。

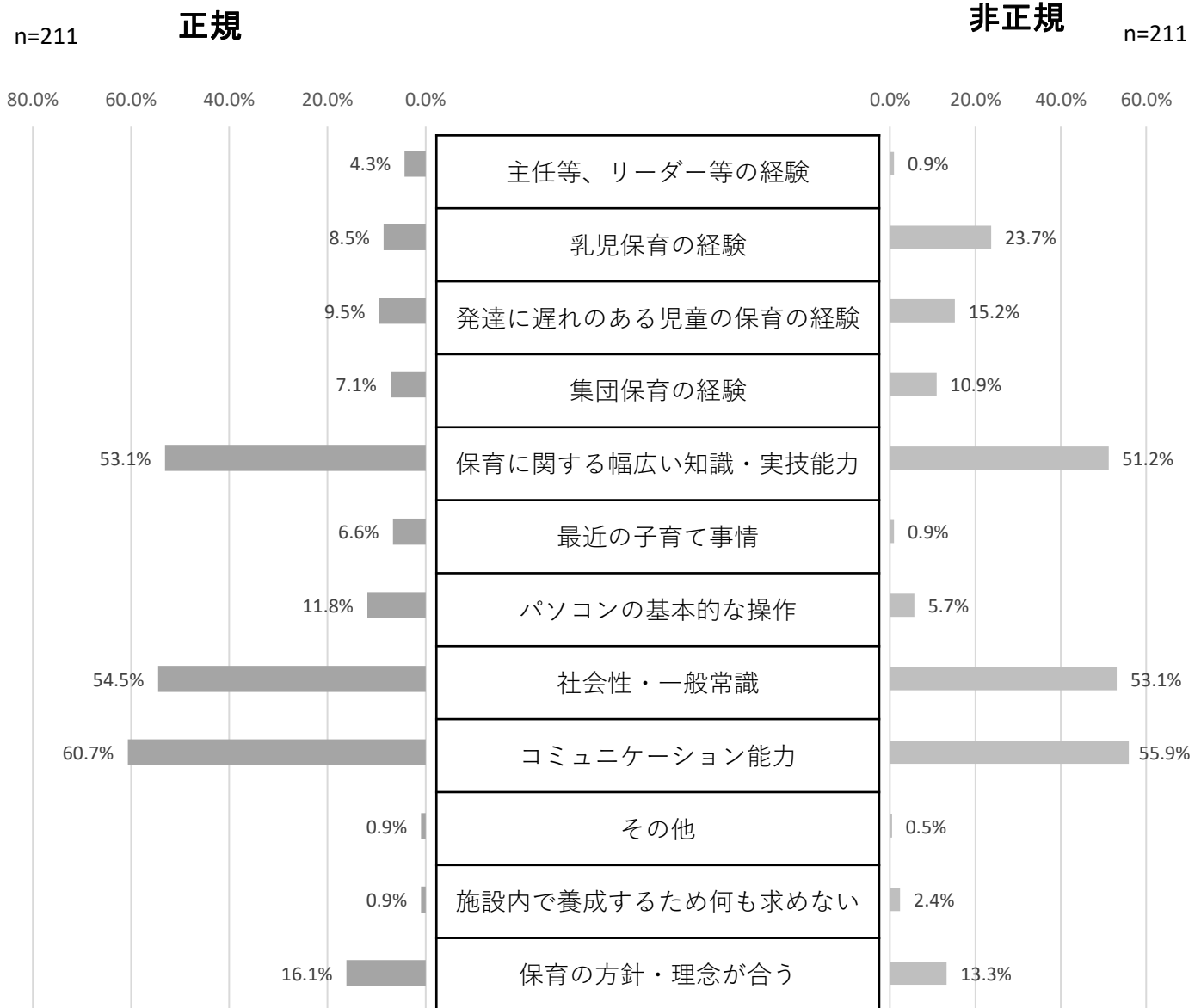
新卒以外では「早番・遅番ができるスタッフ」が58.8%で最も多く、次いで「常勤スタッフ」(53.1%)となっている。



その他の内容(新卒)	その他の内容(新卒以外)
<ul style="list-style-type: none"> <li>採用は考えていない</li> <li>充足しているため必要ない</li> <li>現在は充足している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>充足しているため必要ない</li> <li>代替保育士</li> <li>現在は充足している</li> </ul>

Q17 採用する保育士に求める技術・知識等についておうかがいします。(正規、非正規ごとに回答願います)(〇は3つまで)

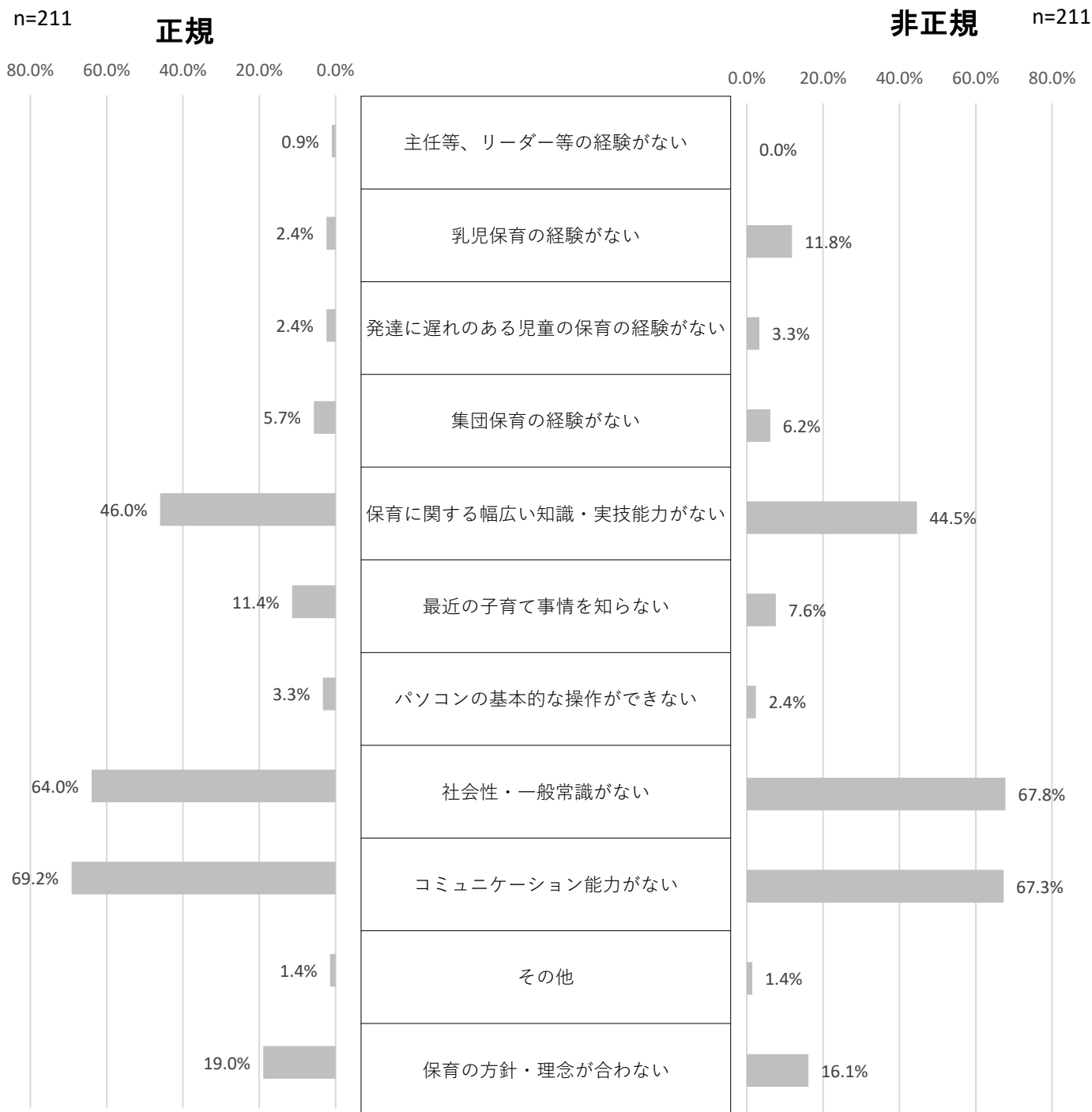
正規、非正規ともにでは「コミュニケーション能力」が最も多く、次いで、「社会性・一般常識」となっている。



その他の内容(正規)	その他の内容(非正規)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間性</li> <li>・ピアノが弾ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間性</li> <li>・子育て経験</li> </ul>

Q18 新卒以外保育士採用において至らない方、あるいは採用するには心配な方はどんな方ですか。(正規、非正規ごとに回答願います)(〇は3つまで)

正規・非正規ともに「コミュニケーション能力がない」が最も多く、次いで、「社会性・一般常識がない」となっている。

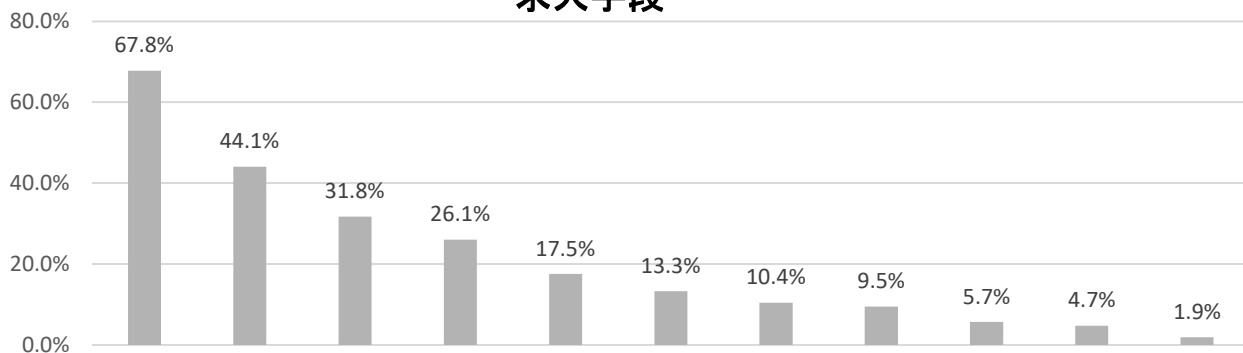


Q19 実施している求人手段をお答えください。(〇はいくつでも)

求人手段は「ハローワーク」(67.8%)が最も多く、次いで「県内の保育養成施設への求人」(44.1%)となっている。

施設の種別にも「ハローワーク」が最も多い。

### 求人手段



	n	ハローワーク	県内の保育士養成施設への求人	友人・知人の紹介	就職説明会	自施設・自社の掲示板またはHP	紹介 保育士人材バンクなどの無料職業	退職した職員への情報提供	その他	有料人材派遣・紹介会社に依頼	県外の保育士養成施設への求人	求人広告
全体	211	67.8%	44.1%	31.8%	26.1%	17.5%	13.3%	10.4%	9.5%	5.7%	4.7%	1.9%

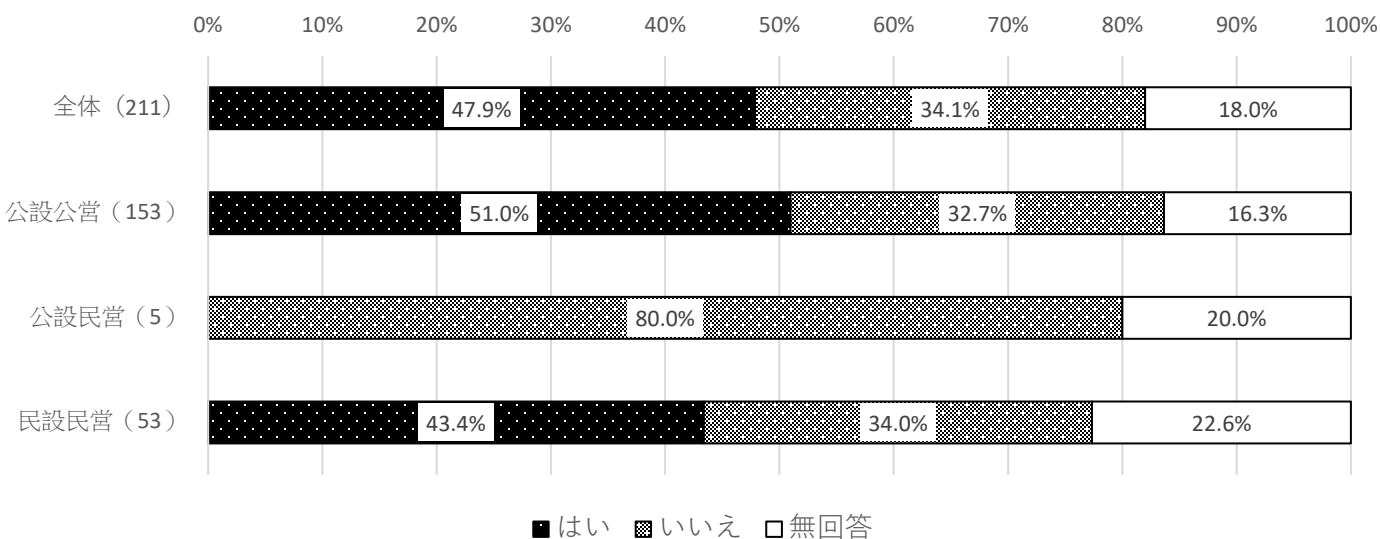
公設公営	153	67.3%	43.8%	25.5%	25.5%	15.0%	11.8%	10.5%	9.8%	3.3%	3.3%	0.7%
公設民営	5	80.0%	0.0%	20.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%
民設民営	53	67.9%	49.1%	28.3%	45.3%	24.5%	3.8%	22.6%	13.2%	9.4%	11.3%	5.7%

求人媒体 (自由記述)	その他回答の内容 (自由記述)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ココどう、リクマッチ、ファインプロダクト、カモンワーク</li> <li>・地元新聞</li> <li>・ホームページ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立なので上司に任せたり、知り合いに声がけをしたりしています。</li> <li>・市で行っている</li> <li>・facebook</li> <li>・町担当が行っている</li> <li>・正規職員は市の採用試験</li> <li>・市の方で採用している</li> <li>・役場で募集してくれています</li> <li>・現役保育士から潜在保育士への声掛け</li> </ul>

Q20 現在、保育士の採用に困難を感じていますか。(○は1つ)またその理由はどんなことですか。

全体では「はい(困難を感じている)」が47.9%、「いいえ(困難を感じていない)」が34.1%となっている。

### 採用の困難さ



#### 「はい(困難を感じている)」の理由

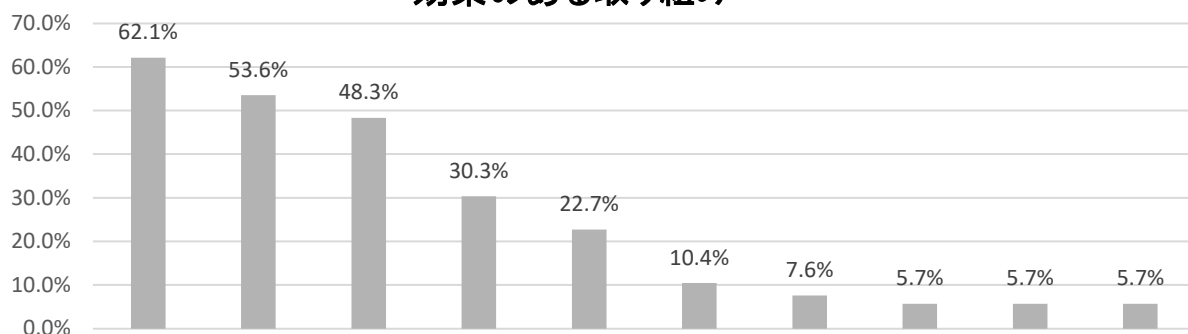
- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・募集しても人が集まらない</li> <li>・私立民間施設への保育士流出</li> <li>・私立 民間への保育士流出</li> <li>・他町村と試験日時が被ってしまう</li> <li>・朝夕の保育士が不足</li> <li>・他の職業についている、子育て中</li> <li>・パート職員への応募が少ない</li> <li>・保育士不足</li> <li>・市町村管轄なので、採用に関しては一任のため</li> <li>・苦勞の割に見入りの少ない職業なので継続する人が少ない</li> <li>・パート遅番希望者がいない</li> <li>・非常勤の代替保育士の確保</li> <li>・地域事情</li> <li>・延長保育士の確保が難しい</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・欠員がある</li> <li>・質の低下</li> <li>・探してもなかなかみつからない。</li> <li>・放課後デイサービス等、他の職種との人材のとりあい</li> <li>・労働時間などの条件が合わない</li> <li>・求人と合う人材が見つからない</li> <li>・希望に叶う人材を見つけることが難しい</li> <li>・1日働く人材の確保が困難</li> <li>・園児数変動するため</li> <li>・保育所開所の11時間を埋めるための人員確保が難しい</li> <li>・配置基準の見直し等により</li> </ul> |
|---|---|



Q21 今後、潜在保育士を雇用するにあたって、効果があると思われる取組についてお答えください。

「勤務時間の対応（短時間勤務、残業時間の短縮、隔日勤務等）」が62.1%と最も多く、次いで「給与の引き上げ」（53.6%）となっている。

### 効果のある取組み



	n	勤務時間の対応（短時間勤務、残業時間の短縮、隔日勤務等）	給与の引き上げ	雇用形態の対応（パート・アルバイト等希望の雇用形態での採用等）	キャリアアップの仕組み	就業のための実務研修制度（施設独自で行う潜在保育士復帰プログラムなど）	再雇用制度（退職者が一定の条件を満たせば復職を認める制度）の整備	相談窓口（担当者）の設置	その他	人間関係（例：潜在保育士への積極的サポート）	事務作業の効率化
全体	211	62.1%	53.6%	48.3%	30.3%	22.7%	10.4%	7.6%	5.7%	5.7%	5.7%

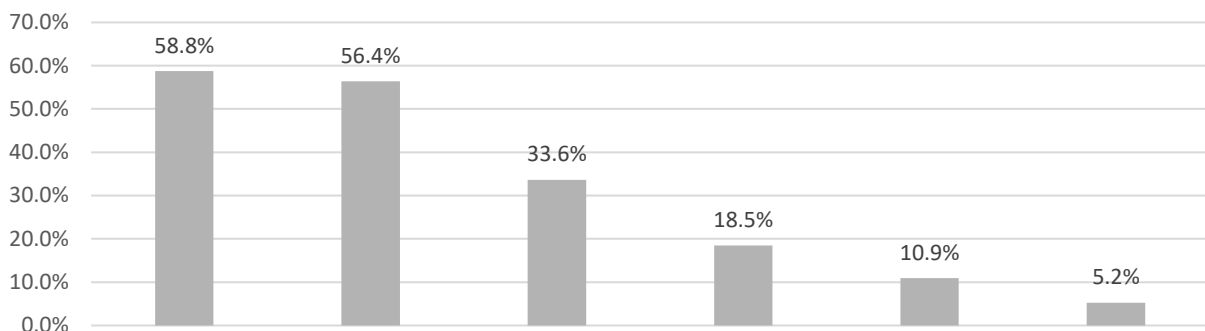
#### その他の内容

- ・ 就業のための研修
- ・ 人事評価
- ・ 保育士体験で園の雰囲気を感じる
- ・ 給与の引き上げ
- ・ 働きたい人に合わせた柔軟な対応
- ・ 保育資格の必要性

Q22 今後、潜在保育士の雇用に関して、県に求める取組・支援(現在実施しているものも含む)でどのようなものを求めますか。(複数回答可)

「潜在保育士の再就職に向けた研修の実施」が58.8%と最も多く、次いで、「再就職意向のある方を対象にした就職相談会の実施」(56.4%)となっている。

### 効果のある取り組み



	n	潜在保育士の再就職に向けた研修の実施	再就職意向のある方を対象にした就職相談会の実施	保育士・保育所支援センター(旧保育士人材バンク)での無料職業紹介	県外からの保育士確保支援	雇用管理改善のための管理者向け研修	その他
全体	211	58.8%	56.4%	33.6%	18.5%	10.9%	5.2%

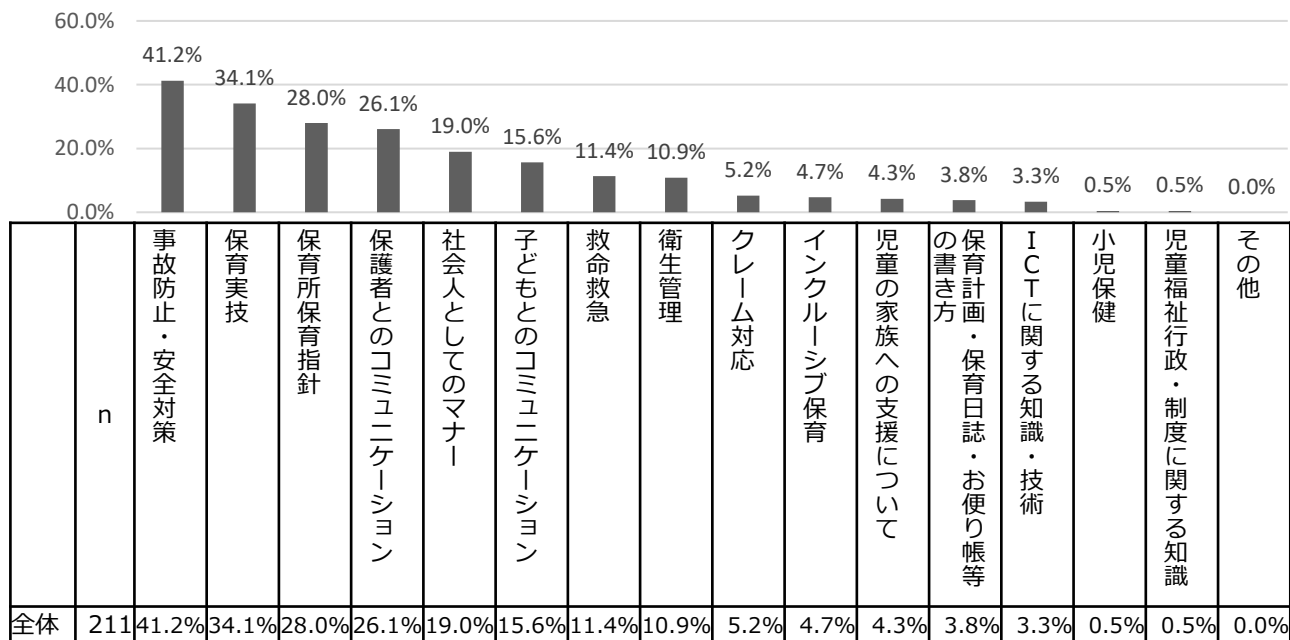
#### その他の内容

- ・ 正規職員は年齢制限の幅を広げる
- ・ 処遇改善、負担軽減策
- ・ 保育業務の改善
- ・ 県独自で保育士配置基準の見直し、それに関わる人件費等の補助金の拡充
- ・ 国の保育士配置基準が厳しすぎる
- ・ 保育士という仕事が魅力的であることをアピールしてほしい。報道では保育園へ対して厳しい評価やマイナスの評価しか報道されないため。

Q23 潜在保育士を現場に受け入れる際に、受けさせたい研修をお選びください。(3つまで)

潜在保育士に受けさせたい研修は「事故防止・安全対策」が41.2%で最も多く、次いで「保育実技」(34.1%)となっている。

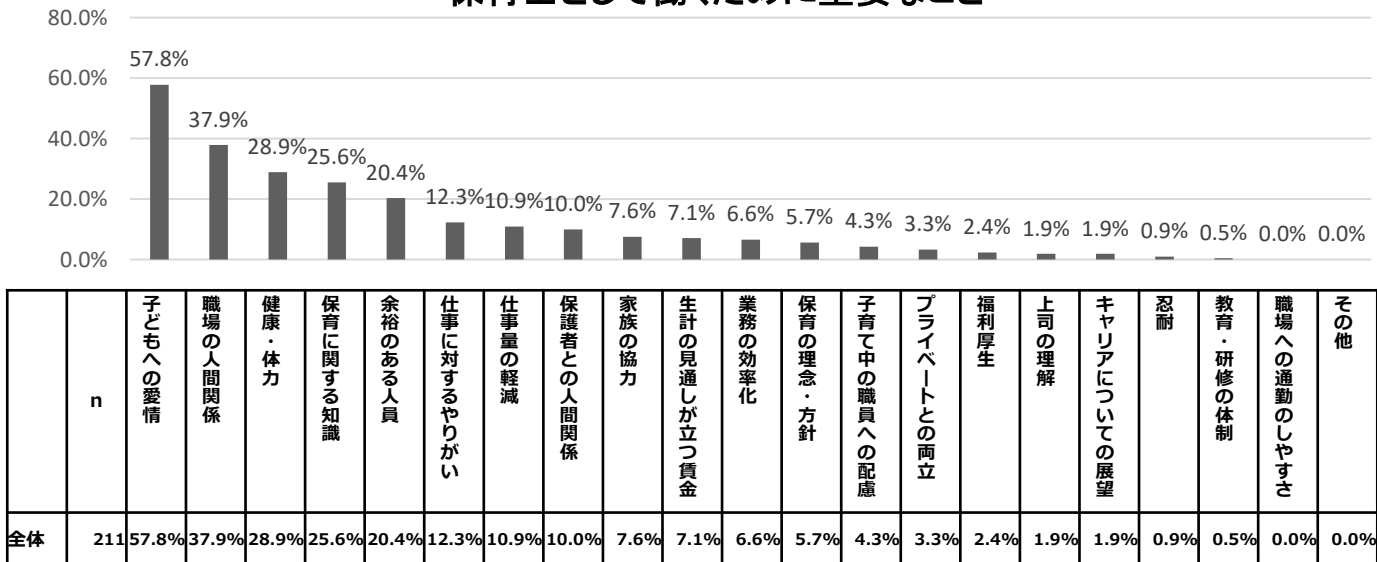
潜在保育士に受けさせたい研修



Q24 保育士として働くためには、何が重要だと思いますか。下記の選択肢の中から特に重要だと思うことを3つお選びください。

保育士として働くために重要な事項は「子どもへの愛情」が57.8%で最も多く、次いで「職場の人間関係」(37.9%)となっている。

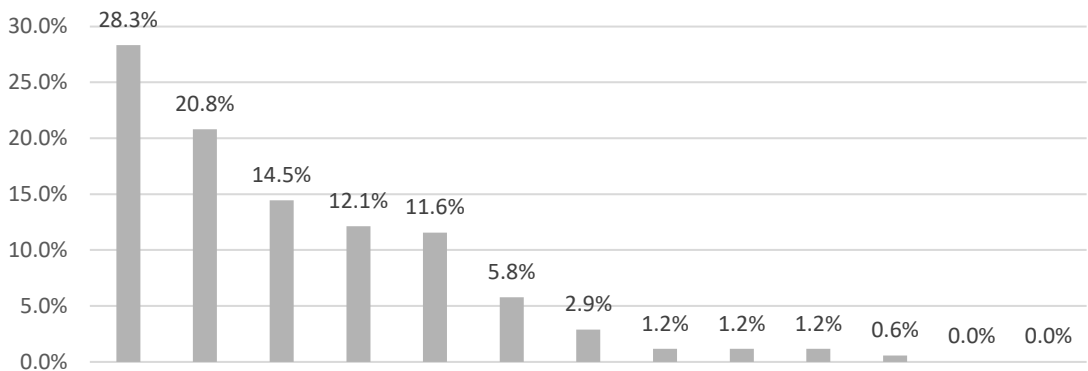
保育士として働くために重要なこと



Q25 保育施設において保育士確保を進めるためには何が必要だと考えますか。

保育士確保に必要なことは「給与改善」が28.3%で最も多く、次いで「保育士の魅力発信によるイメージアップ」(20.8%)となっている。

### 保育士確保に必要なこと



	n	給与改善	保育士の魅力発信によるイメージアップ	業務負担の見直し	保育士の配置基準(人員配置)の見直し	職場間の人間関係の円滑化	休暇を取得しやすい環境の整備	出産、育児、介護との両立支援	ICTの推進	その他	新人保育士の育成・指導強化	教育、研修体制の充実	キャリアアップの仕組みづくり	業務の標準化、OJTの整備
全体	211	28.3%	20.8%	14.5%	12.1%	11.6%	5.8%	2.9%	1.2%	1.2%	1.2%	0.6%	0.0%	0.0%

その他の内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 処遇改善全般</li> <li>・ 保育士配置基準の大幅な改善見直し</li> </ul>

## (9) 保育補助者・保育支援者の活用について

Q26 保育補助者は何人雇用していますか。

Q27 保育補助者が行っている業務はどのような業務ですか。

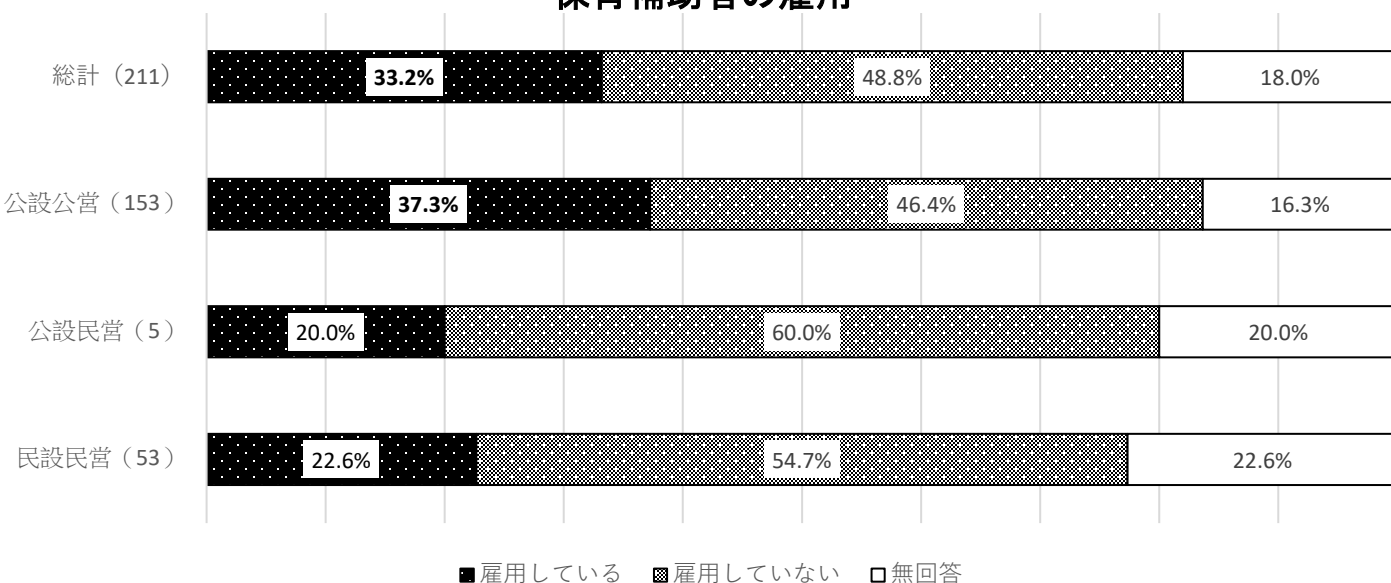
※保育補助者とは…保育士資格を有しておらず、保育に関する40時間以上の実習を受けたもの又はこれと同等の知識及び技能があると市町村が認めた者。

○保育補助者の活用状況については、全体で33.2%となっている。

業務内容としては「担任補助」や「早朝延長保育」等となっている。

※ 保育補助者とは…保育士資格を有しておらず、保育に関する40時間以上の実習を受けた者又はこれと同等の知識及び技能があると市町村が認めた者。

### 保育補助者の雇用



雇用人数	平均値	最大値	最小値
保育補助者	2.3	6	1

### 保育補助者の業務(自由記述)

保育補助者の業務 (自由記述)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任補助</li> <li>・早朝延長保育</li> <li>・未満児保育補助</li> <li>・支援の必要な子の見守り</li> <li>・延長保育</li> <li>・未満児保育</li> <li>・つどいの広場スタッフ</li> <li>・一時預かり保育</li> <li>・昼寝の見守り、複数担任</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスの代替</li> <li>・延長保育 シルバーサポーター</li> <li>・遅番業務補助</li> <li>・保育補助</li> <li>・バス添乗</li> <li>・掃除</li> <li>・保育士業務一般</li> <li>・保育士同等</li> </ul>

Q28 保育支援者は何人雇用していますか。

Q29 保育支援者が行っている業務はどのような業務ですか。

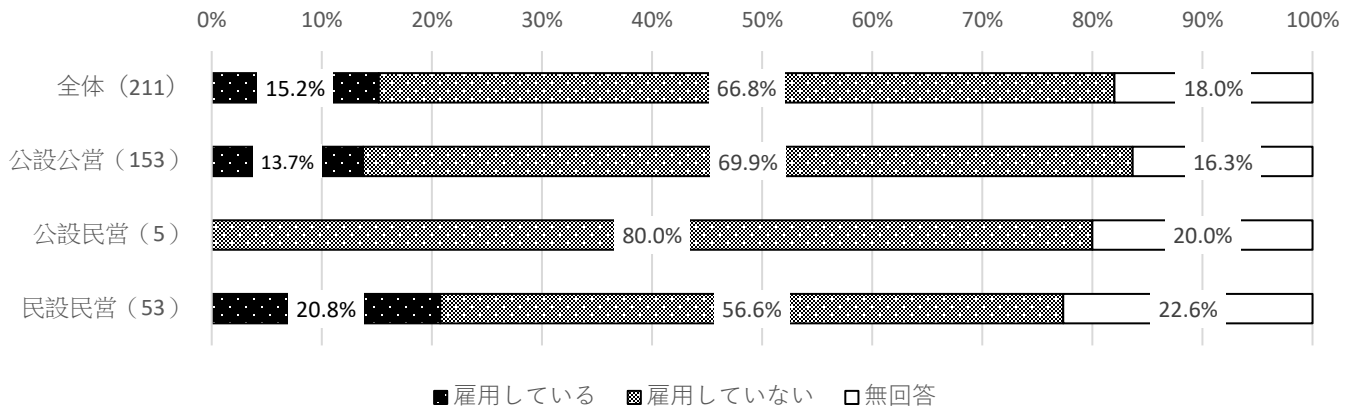
※保育支援者とは…保育士資格を有しない者で、保育に係る周辺業務(保育設備、遊ぶ場所、遊具等の消毒・清掃、給食の配膳・あとかたづけ等)を行うもの。

○保育支援者を雇用している施設は、15.2%となっている。

業務内容は、「保育設備、遊ぶ場所、遊具等の消毒清掃」が62.5%で最も多い。

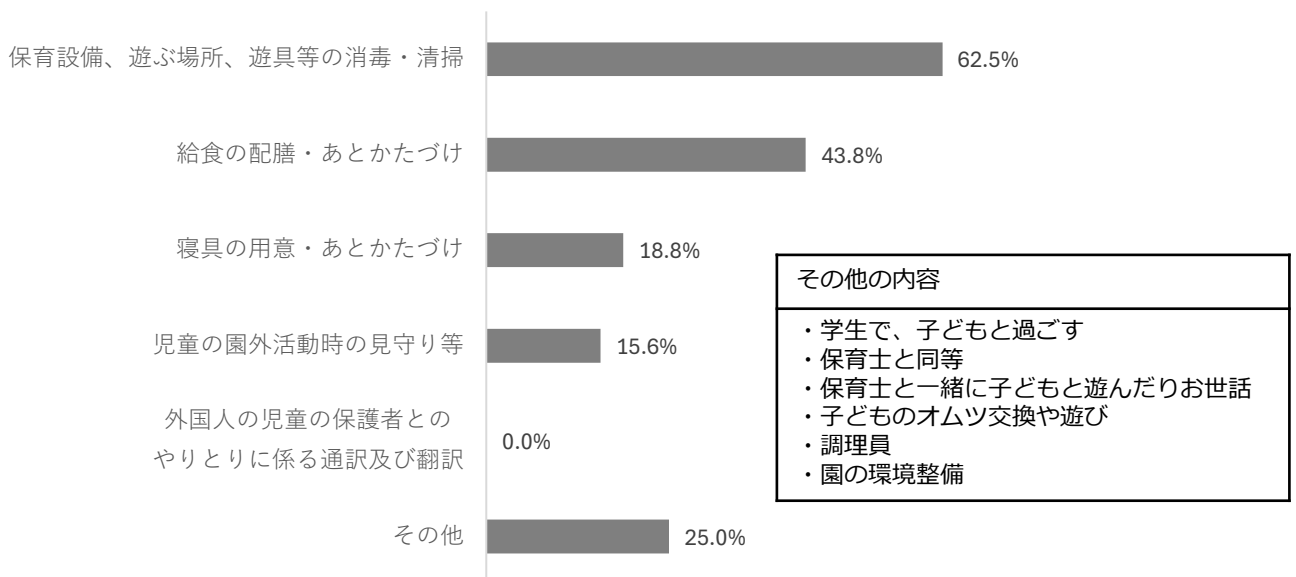
※ 保育支援者とは…保育士資格を有しない者で、保育に係る周辺業務(保育設備、遊ぶ場所、遊具等の消毒・清掃、給食の配膳・あとかたづけ等)を行う者。

### 保育支援者の雇用



雇用人数	平均値	最大値	最小値
保育支援者	2.8	14	1

### 保育支援者が行っている業務 (n = 32)



## (10) 休暇の取得について

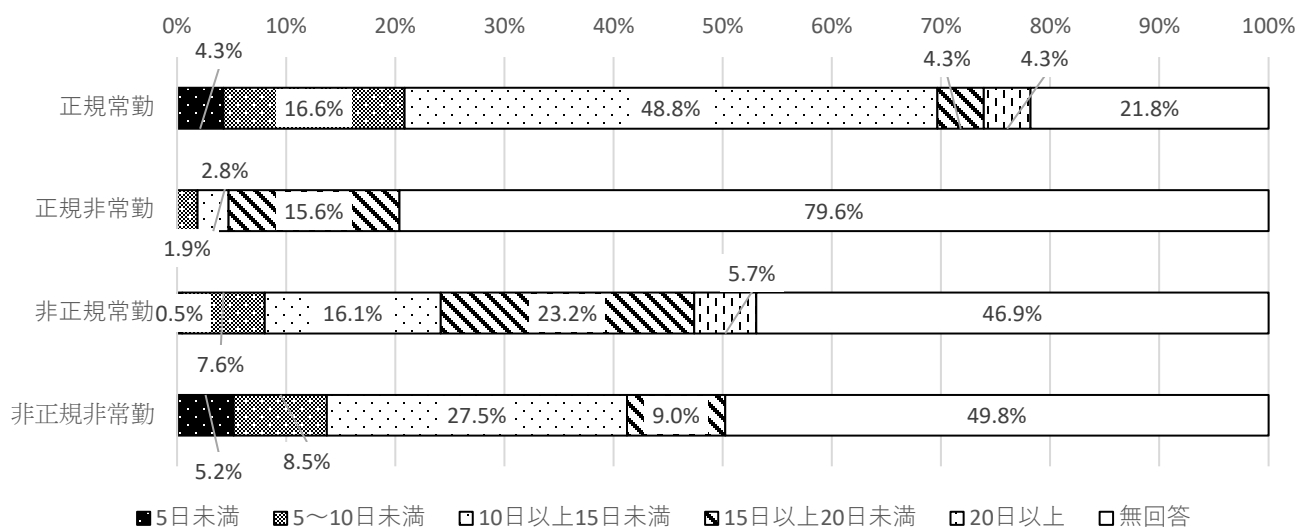
Q30 貴施設の保育士における平均有給取得日数をご記入願います。

正規常勤、非正規非常勤は無回答を除くと「10日以上15日未満」が最も多く、正規非常勤、非正規常勤は「15日以上20日未満」が最も多い。

保育士の平均取得日数は、正規常勤で10.6日、正規非常勤が13.7日、非正規常勤が13.5日、非正規非常勤が13.5日であった。

### 有休取得状況

n = 211



#### 【正規・常勤】

	全体	公設公営	公設民営	民設民営
平均値	10.6	10.8	11.9	10.0
最大値	40.0	40.0	20.0	20.3
最小値	1.8	2.0	7.6	1.8
回答数	165	123	4	38

#### 【正規・非常勤】

	全体	公設公営	公設民営	民設民営
平均値	13.7	14.4	10.0	9.6
最大値	15.0	15.0	10.0	15.0
最小値	5.0	8.0	10.0	5.0
回答数	43	37	1	5

#### 【非正規・常勤】

	全体	公設公営	公設民営	民設民営
平均値	13.5	14.0	12.5	11.8
最大値	25.0	25.0	15.0	20.0
最小値	2.0	2.0	10.0	5.0
回答数	112	88	2	22

#### 【非正規・非常勤】

	全体	公設公営	公設民営	民設民営
平均値	13.5	12.0	8.9	7.2
最大値	25.0	17.5	15.0	15.0
最小値	2.0	1.0	5.0	2.0
回答数	106	78	4	24

Q31 令和4年度中に出産した保育士、配偶者が出産した保育士数の合計をご記入ください。

Q32 令和4年度中に育児休業を取得した保育士数をご記入ください。

自身あるいは配偶者が出産した保育士がいた保育施設は正規常勤で16.5%であった。  
 育児休業を取得した人数が一番多い施設で正規常勤が4人取得していた。  
 育児休業者がいた保育施設は正規常勤で22.7%であった。

### 出産あるいは配偶者が出産した保育士数

	正規常勤	正規非常勤	非正規常勤	非正規非常勤
取得人数合計	56	2	8	2
1施設当たり最大人数	3	2	2	2
1施設当たり最小人数	1	2	1	1
出産者がいた 保育施設数 (n=211)	35	1	7	1
	16.5%	0.4%	3.3%	0.4%

### 育休取得状況

	正規常勤	正規非常勤	非正規常勤	非正規非常勤
取得人数合計	76	2	8	2
1施設当たり最大人数	4	1	2	2
1施設当たり最小人数	1	1	1	2
育児休暇取得者がいた 保育施設数(n=211)	48	2	7	1
	22.7%	0.9%	3.3%	0.5%

Q33 貴施設で定めている独自の休暇制度はありますか。ある場合はその内容を記入ください。(自由記述)

- ・誕生日休暇
- ・パパの産前休暇及び在宅ワーク認定制度
- ・積極的休息制度
- ・子の看護休暇の有休化と対象となる子の範囲の延長
- ・子の育児目的休暇の有休化と対象となる子の範囲の延長
- ・介護休暇の有休化
- ・月1日休暇を増やしている
- ・夏季休業
- ・感染症等の療養休暇
- ・子の看護休暇、子の育児目的休暇、生理休暇、家族愛休暇
- ・長期休業を有給に当てている
- ・休暇、時間給は事情に応じ取ることができる
- ・リフレッシュ休暇・感染症休暇
- ・勤続リフレッシュ休暇



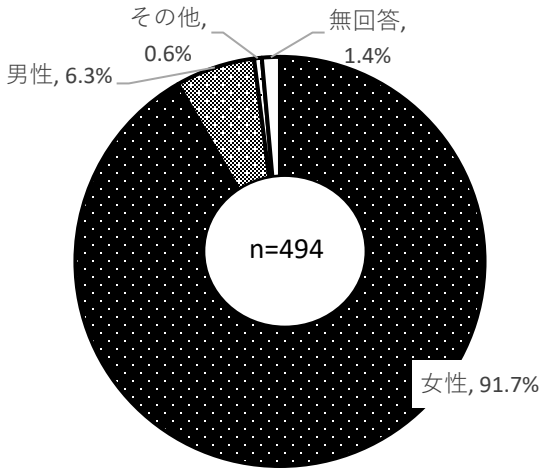
## 第Ⅳ章 指定保育士養成校学生実態調査



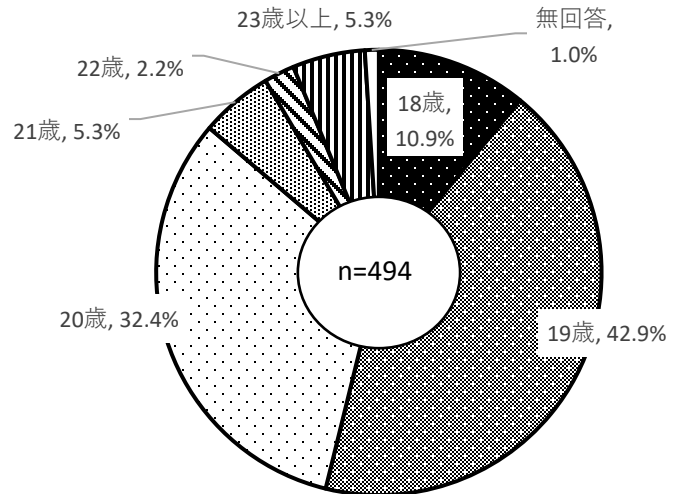
## (1) 回答者の属性

Q1 あなたご自身についてお答えください。

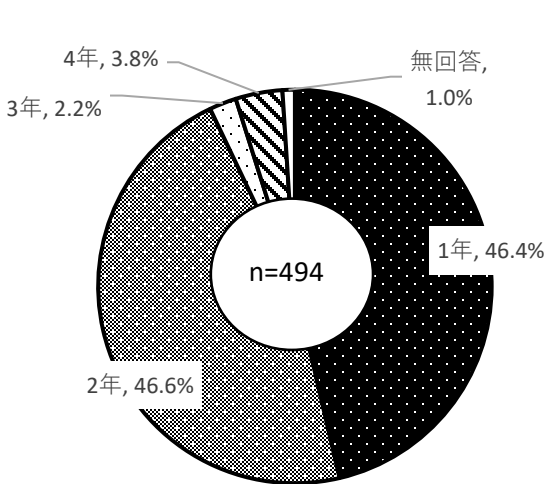
### ①性別



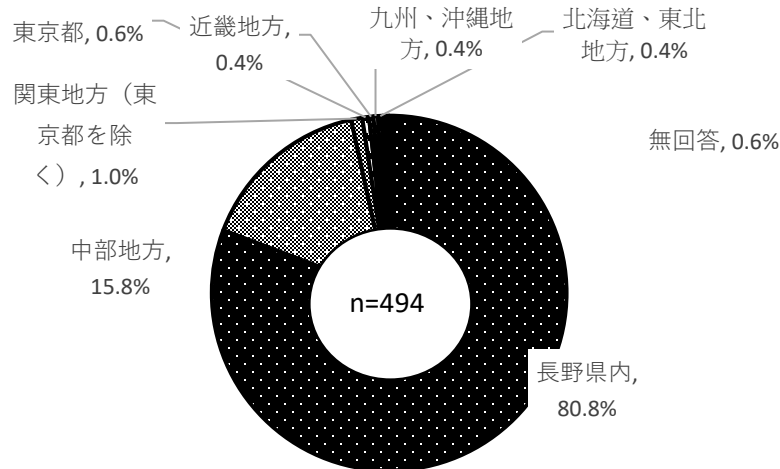
### ②年齢



### ③学年



### ④出身地

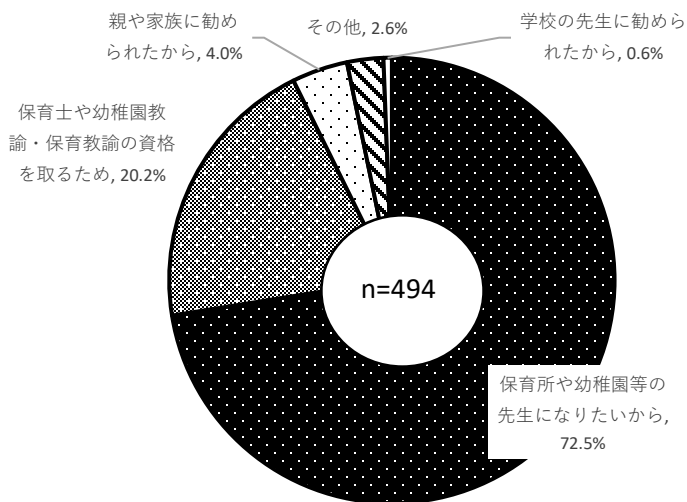


## (2) 保育者を目指す理由等

Q2 保育者(保育士、幼稚園教諭、保育教諭)養成施設に通っている理由は何ですか。

「保育所や幼稚園等の先生になりたいから」が72.5%と最も多く、次いで「保育士や幼稚園教諭・保育教諭の資格を取るため」(20.2%)となっている。

### 養成施設に通っている動機



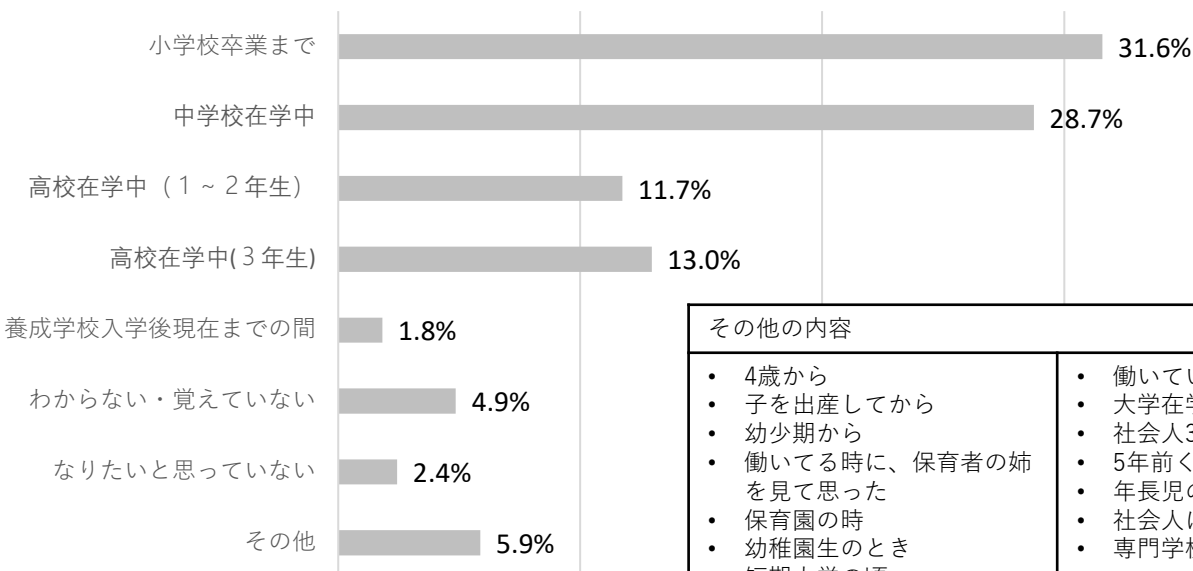
#### その他の内容

- ・ 施設で働きたいから
- ・ 資格取って施設で働きたいから
- ・ 将来子どもと関わる仕事をしてみたいと思ったから
- ・ 子どもが好きだから
- ・ 児童養護施設職員になりたかった
- ・ この学校しか道が無かったから
- ・ 自分の知る就労している女性のほとんどが保育士だったから
- ・ 子どもと関わる仕事がしたかったから
- ・ 障害者の支援施設で働きたかったから
- ・ 施設職員になりたいため
- ・ 介護福祉士と迷っている状態でどちらの資格も取れる学校に入りたいと思ったから
- ・ 習い事の先生に勧められてなんとなく
- ・ 幼児教育に興味を持っているため

Q3 保育士になりたいと思った時期はいつですか。

「小学校卒業まで」が31.6%と最も多く、次いで「中学校在学中」が28.7%となっている。

### 保育士になりたいと思った時期



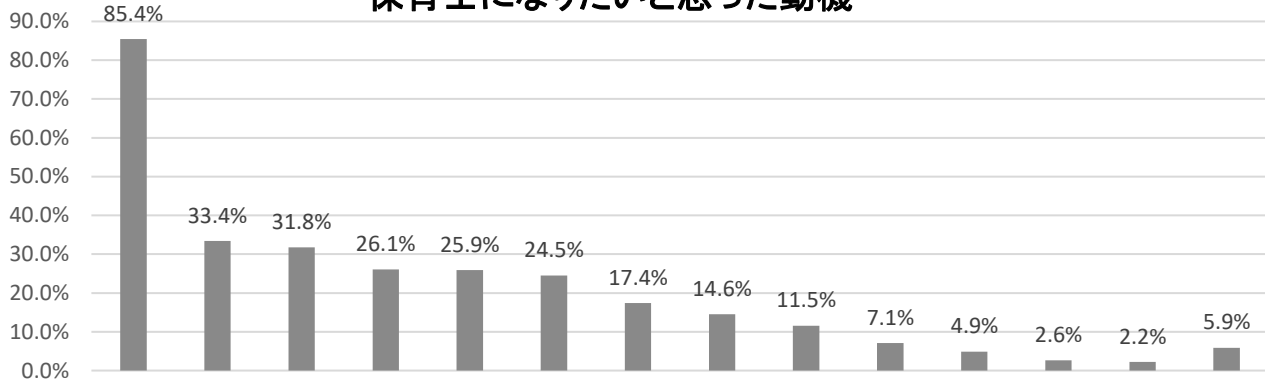
#### その他の内容

- ・ 4歳から
- ・ 子を出産してから
- ・ 幼少期から
- ・ 働いてる時に、保育者の姉を見て思った
- ・ 保育園の時
- ・ 幼稚園生のとき
- ・ 短期大学の頃
- ・ 働いている時
- ・ 大学在学中
- ・ 社会人3年目
- ・ 5年前くらい
- ・ 年長児の時
- ・ 社会人になってから
- ・ 専門学校の時

Q4 保育者(保育士、幼稚園教諭、保育教諭)になりたいと思った主な動機は何ですか。(複数回答可)

保育者になりたい動機は、「子どもが好きだから」が85.4%で最も多く、次いで、「憧れの職業だから」(33.4%)となっている。

保育士になりたいと思った動機



動機	割合	動機	割合	動機	割合	動機	割合	動機	割合	動機	割合	動機	割合	動機	割合	動機	割合										
子どもが好きだから	85.4%	憧れの職業だから	33.4%	保育者に興味があるから	31.8%	自分の性格に合っているから	26.1%	得意なことを活かせると思ったから	25.9%	人のため、社会貢献できる職業だから	24.5%	子育てに役立つと思ったから	17.4%	身近に保育者がいるから	14.6%	親や家族に勧められたから	11.5%	就職に困らないと思ったから	7.1%	中学・高校で勧められたから	4.9%	保育者になるつもりはない	2.6%	身近な資格だから	2.2%	その他	5.9%
全体	494																										

その他の内容

- 得意を活かせるから
- 当時の先生に憧れを抱いた
- 幼稚園の時の先生に憧れて
- 好きな先生に憧れたのと保護者を支えたい
- 好きな先生がいたから
- 自分の保育園の頃の担任の先生に憧れて、そうなりたいと思ったから
- ボランティアで子どもと関わっていたから
- 音楽が続けられるから
- 実習を重ねてやってみようと思った
- 将来働くなら自分の好きなことをしたいと思ったから
- 保護者の方のサポートや子どもの成長に携わりたいため
- 担任の先生が好きだったから

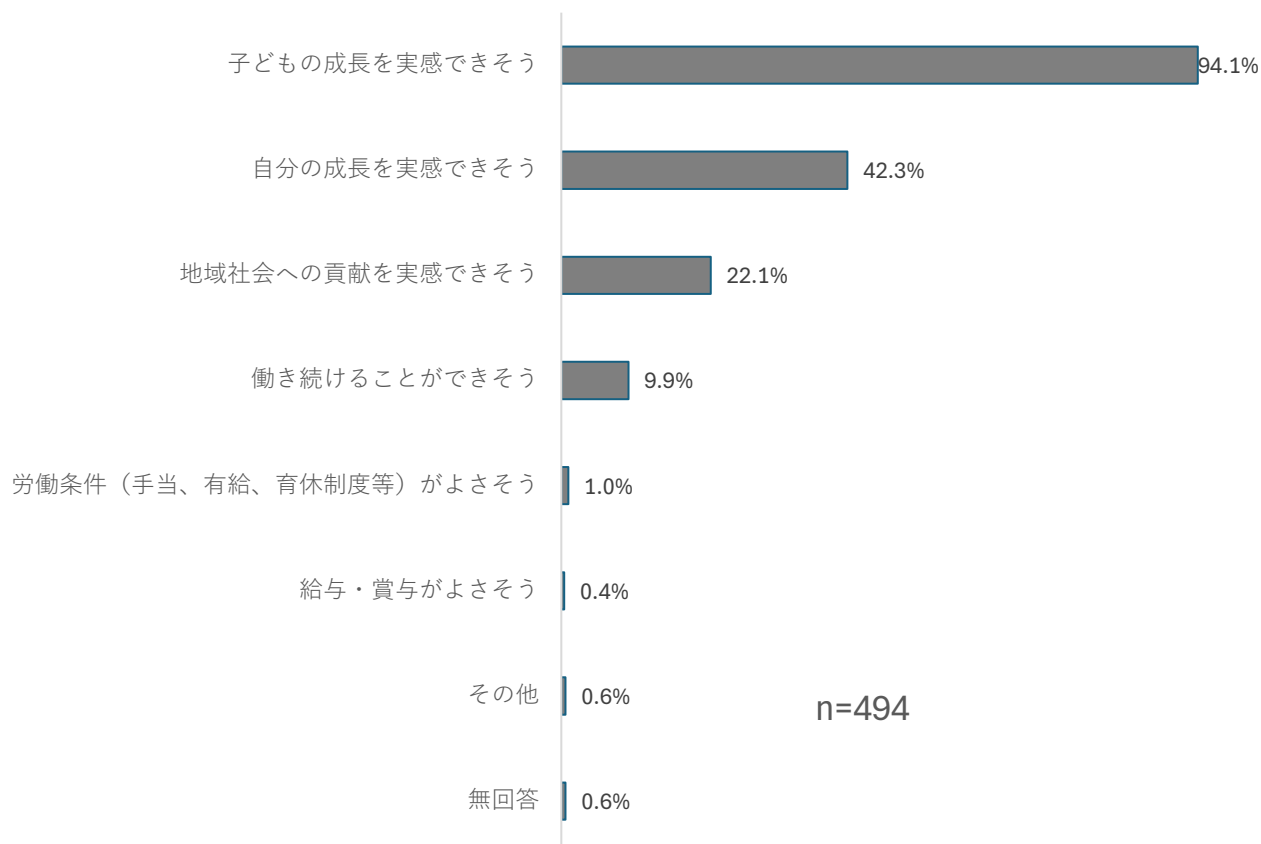
- 児童心理に興味がある
- 職場体験に行き、いいなと思ったから
- よくわからない
- 憧れの先生のようになりたいたいから
- 出身園の先生みたいな大人になりたいと思ったから
- 他にやってみたい職業があり、それに役立ちそうだった
- 体験できないことを体験して欲しいと思ったから
- 職場体験で保育園に行ったから
- なりたいたい職業が思いつかなかったから自分の中で保育園児だった頃の先生の存在が大きかったから
- 職業体験
- とりあえず資格が欲しかった

### (3) 保育者の魅力

Q5 保育者(保育士、幼稚園教諭、保育教諭)について、どのようなことに魅力を感じますか。(複数回答可)

保育者について魅力を感じることは「子供の成長を実感できそう」が94.1%で最も多く、次いで「自分の成長を実感できそう」(42.3%)となっている。

#### 魅力



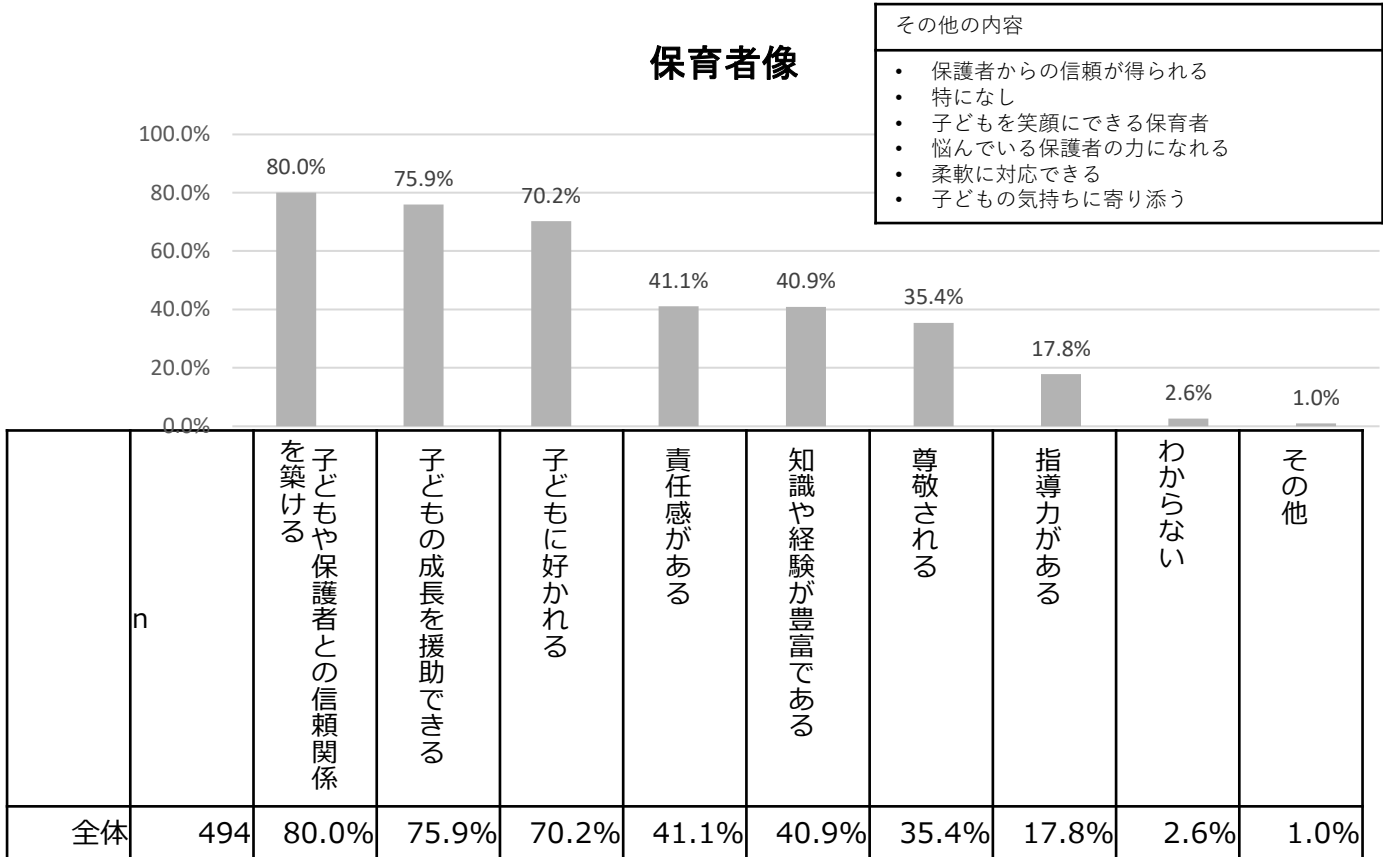
#### その他の内容

- 子どもたちと一緒に様々な遊びを楽しめる
- 保育者になるつもりはない
- 資格を取るので働いてみる

#### (4) 目指す保育者像

Q6 将来どのような保育者(保育士、幼稚園教諭、保育教諭)になりたいですか。(複数回答可)

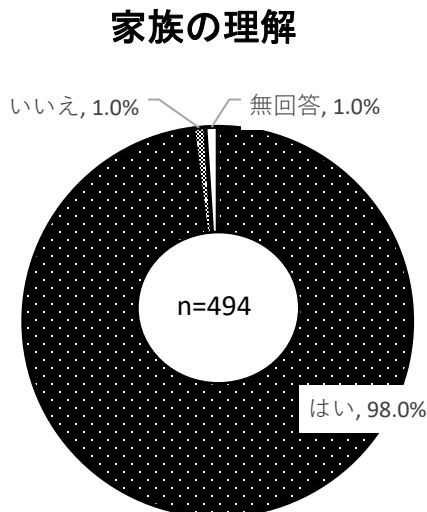
将来どのような保育者になりたいか聞いたところ「子どもや保護者との信頼関係を築ける」が80.0%で最も多く、次いで「子どもの成長を援助できる」(75.9%)となっている。



#### (5) 家族の理解

Q7 保育者(保育士、幼稚園教諭、保育教諭)になることを家族は応援してくれていますか。

「はい(応援してくれている)」が98.0%となっている。

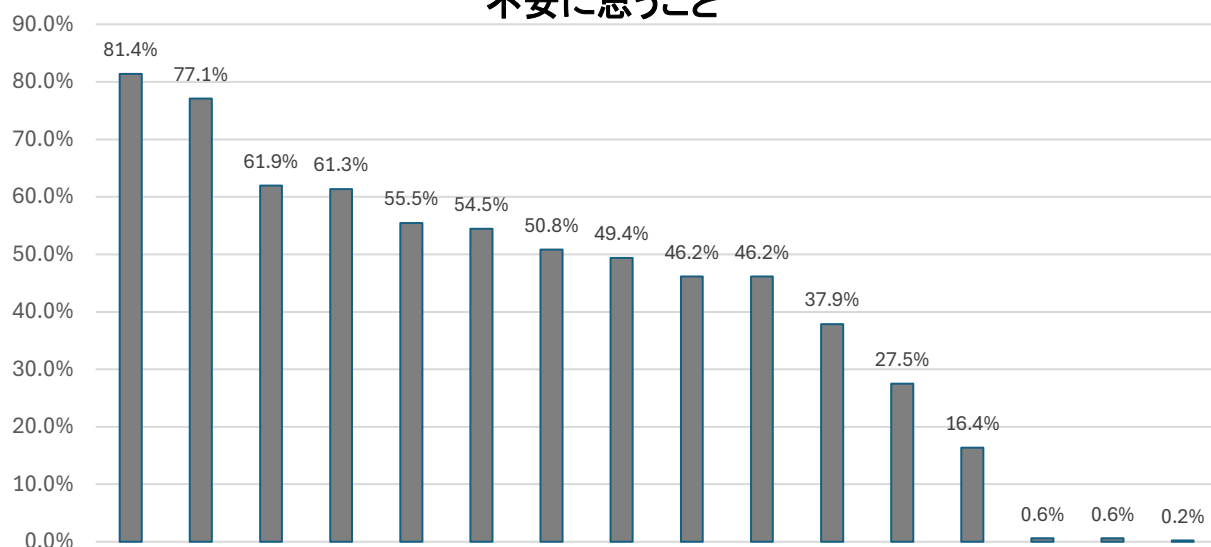


## (6) 不安に思うこと

Q8 保育者(保育士、幼稚園教諭、保育教諭)になるにあたり、不安に思うことはありますか。(複数回答可)

保育士になるにあたり不安に思うことは「保護者対応」が81.4%で最も多く、次いで「職場の人間関係」(77.1%)となっている。

### 不安に思うこと



	n	保護者対応	職場の人間関係	クラス運営	命を預かること	配慮が必要な子どもへの対応	ピアノ、製作等	自分の保育の知識・技術	給与や労働条件等、待遇面	プライベートとの両立	時間外勤務	子どもとの関わり	自分の体力・意欲	教育・研修が受けられるか	特にない	その他	無回答
全体	494	81.4%	77.1%	61.9%	61.3%	55.5%	54.5%	50.8%	49.4%	46.2%	46.2%	37.9%	27.5%	16.4%	0.6%	0.6%	0.2%

#### その他の内容

- ・ 将来本当に保育士になるか悩んでる
- ・ 給与
- ・ 休みは取れるのか



## (7) 実習について

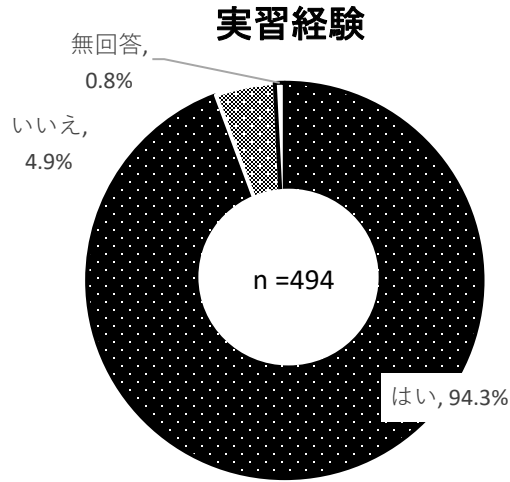
Q9 あなたは実習に行ったことがありますか。

Q9-1 Q9で「1 はい」と回答された方におうかがいします。

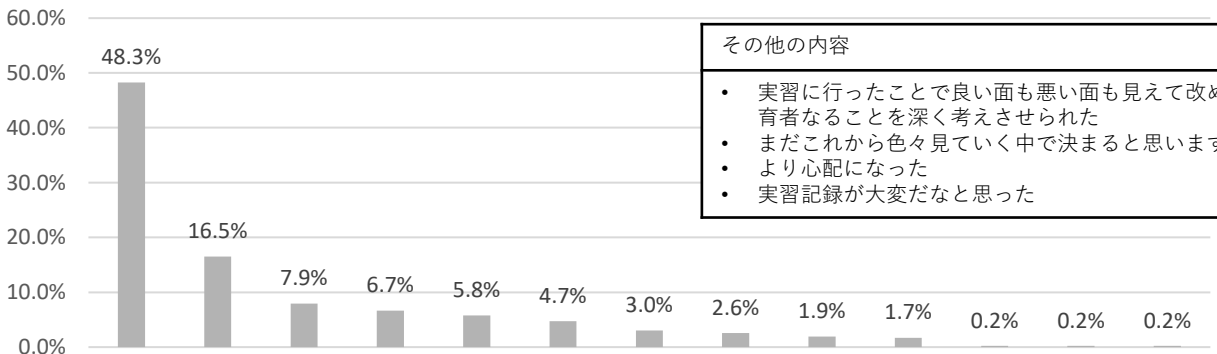
実習の前後で変化したことはありますか。(複数回答可)

実習経験がある人は全体の94.3%となっている。

実習前後の気持ちの変化は、「保育者になりたい気持ちが高まった」が48.3%で最も多く、次いで「保育者になりたい気持ちが低くなった」(16.5%)となっている。



### 実習の前後の変化



#### その他の内容

- 実習に行ったことで良い面も悪い面も見えて改めて保育者なることを深く考えさせられた
- まだこれから色々見ていく中で決まると思います
- より心配になった
- 実習記録が大変だなと思った

	n	保育者になりたい気持ちが高まった	保育者になりたい気持ちが低くなった	子どもを好きな気持ちが強くなった	自分に向いていない仕事だと思った	保育者の仕事へのイメージが悪くなった	特に変化はない	仕事を続けていけないと思った	保育者の仕事へのイメージが悪くなった	学習する意欲が高まった	自分に向いている仕事だと思った	仕事を続けていけそうだと思った	子どもを好きな気持ちが弱くなった	その他
全体	466	48.3%	16.5%	7.9%	6.7%	5.8%	4.7%	3.0%	2.6%	1.9%	1.7%	0.2%	0.2%	0.2%

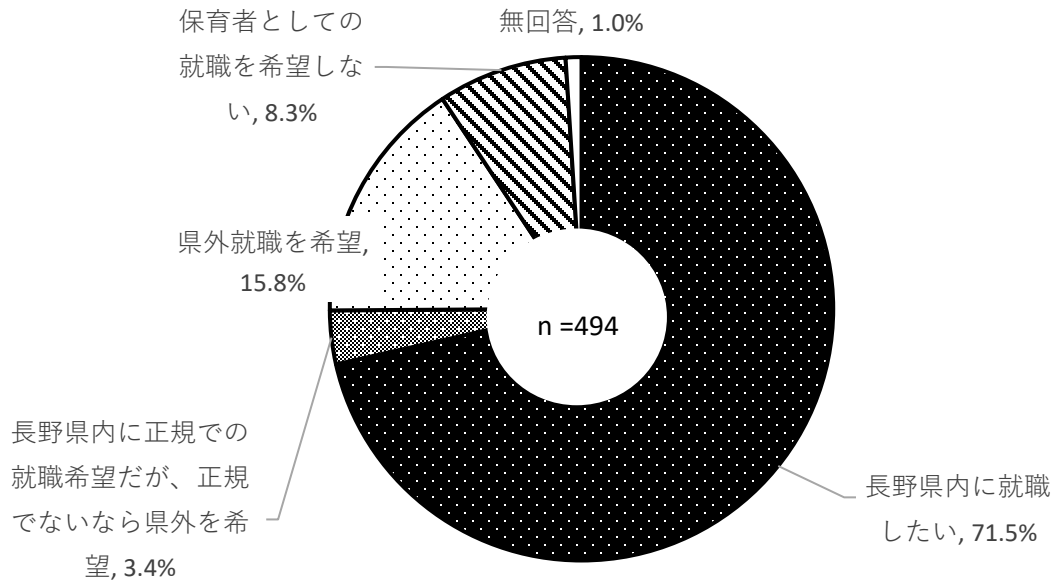
## (8) 県内での就職希望

Q10 長野県内で保育者(保育士、幼稚園教諭、保育教諭)としての就職を希望しますか

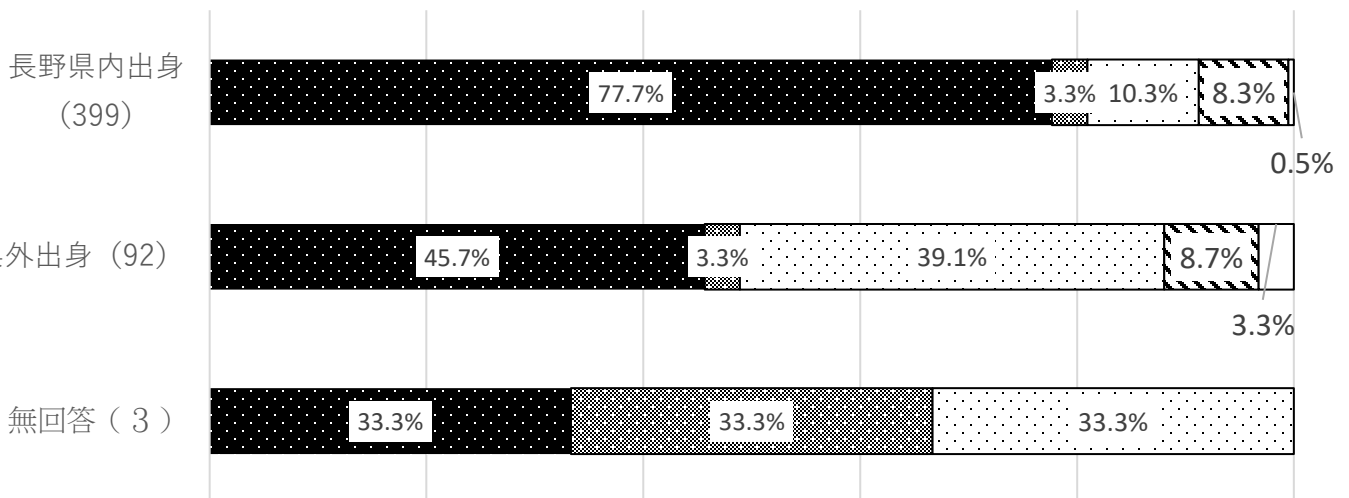
学生のうち、「長野県内に就職したい」は71.5%となっている。

出身地別にみると、県内出身者で「長野県内に就職したい」は77.7%、県外出身者で「長野県内に就職したい」は45.7%となっている。

### 就職希望



### 就職希望(出身地別)



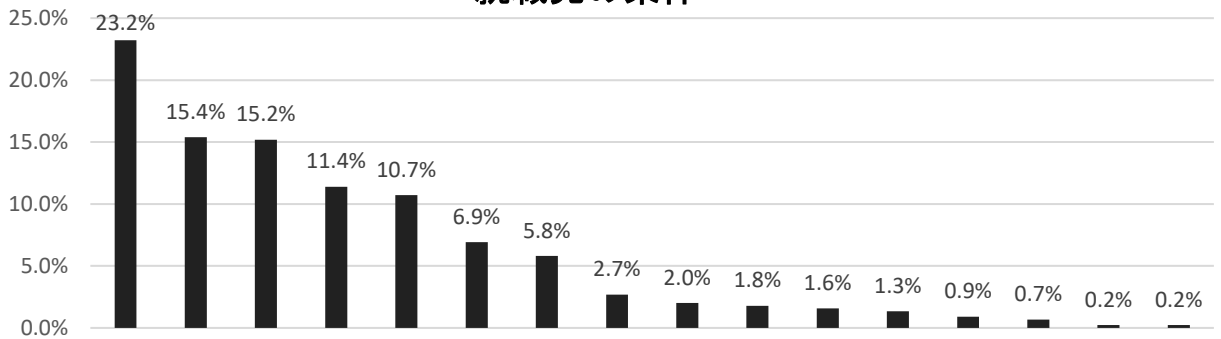
- 長野県内に就職したい
- ▨ 長野県内に正規での就職希望だが、正規でないなら県外を希望
- 県外就職を希望
- ▩ 保育者としての就職を希望しない
- 無回答

Q10-1 Q10 で「1 長野県内に就職したい」「2 長野県内に正規でなら就職したい」「3 県外就職を希望」と回答された方におうかがいします。

就職先を決める際の条件について選択肢の中から選び、最も優先する番号を記入してください。

就職先を選ぶ際に重要視することは「職場の人間関係」が23.2%で最も多く、次いで「やりがい」(15.4%)となっている。

### 就職先の条件



	n	職場の人間関係	やりがい	勤務地 (自宅から近い等)	保育理念への共感	給与が高いこと	福利厚生 の充実度	休暇が多い・とりやすい	無回答	勤務時間・交代制の融通がきく	保育所や法人の評判	その他	保育所等の施設や設備充実度 (新しさ等)	寮や家賃補助制度の有無	職員の数	研修制度の充実度	昇格制度 (キャリアアップ)
全体	448	23.2%	15.4%	15.2%	11.4%	10.7%	6.9%	5.8%	2.7%	2.0%	1.8%	1.6%	1.3%	0.9%	0.7%	0.2%	0.2%

#### その他の内容

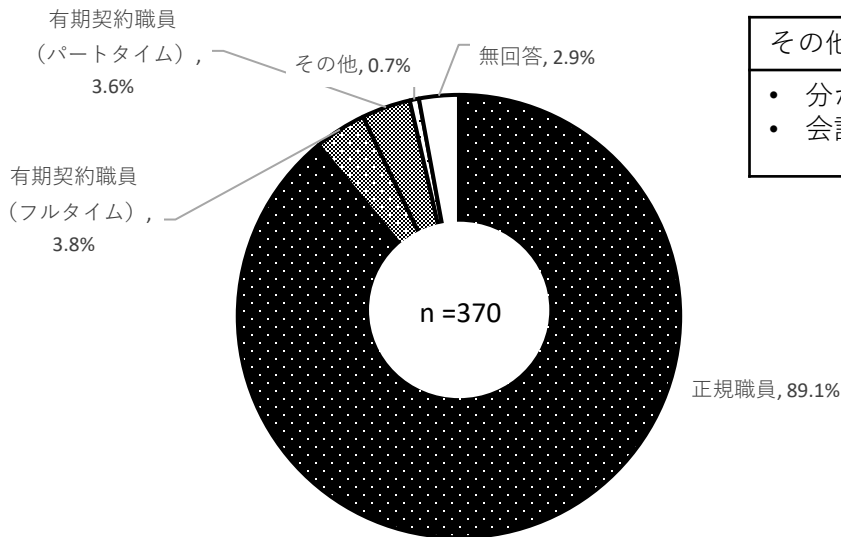
- ・ 県外で経験してみたい
- ・ 地元で働きたい
- ・ 奨学金
- ・ 受かるかどうか
- ・ 長野県保育士奨学金返済のため
- ・ 県の奨学金の援助をもらっているため
- ・ 所属しているソフトボールチームが長野県にあるから

Q10-2 Q10で「1 長野県内に就職したい」「2 長野県内に正規でなら就職したい」「3 県外就職を希望」と回答された方におうかがいします。

就職にあたってどのような雇用形態を希望しますか。(1つ選択)

就職にあたっての雇用形態の希望としては「正規職員」が89.1%と最も多い。

### 希望雇用形態



その他の内容

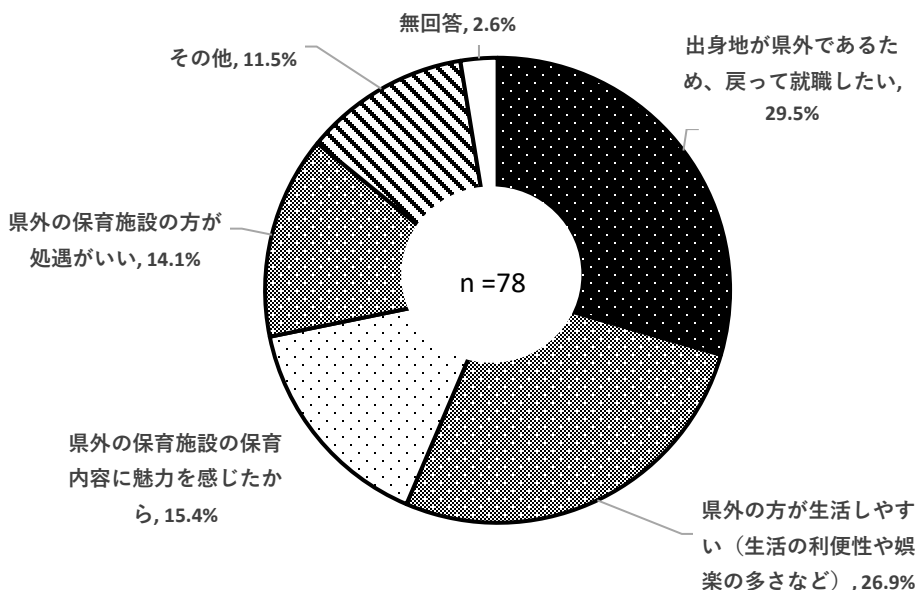
- 分からない
- 会計任用職員

Q10-3 Q10で「3 県外就職を希望」と回答された方におうかがいします。

県外就職を希望する理由について選択肢の中から選び、最も優先する番号を記入してください。

県外就職希望の理由としては、「出身地が県外であるため」が29.5%と最も多い。

### 県外就職希望理由



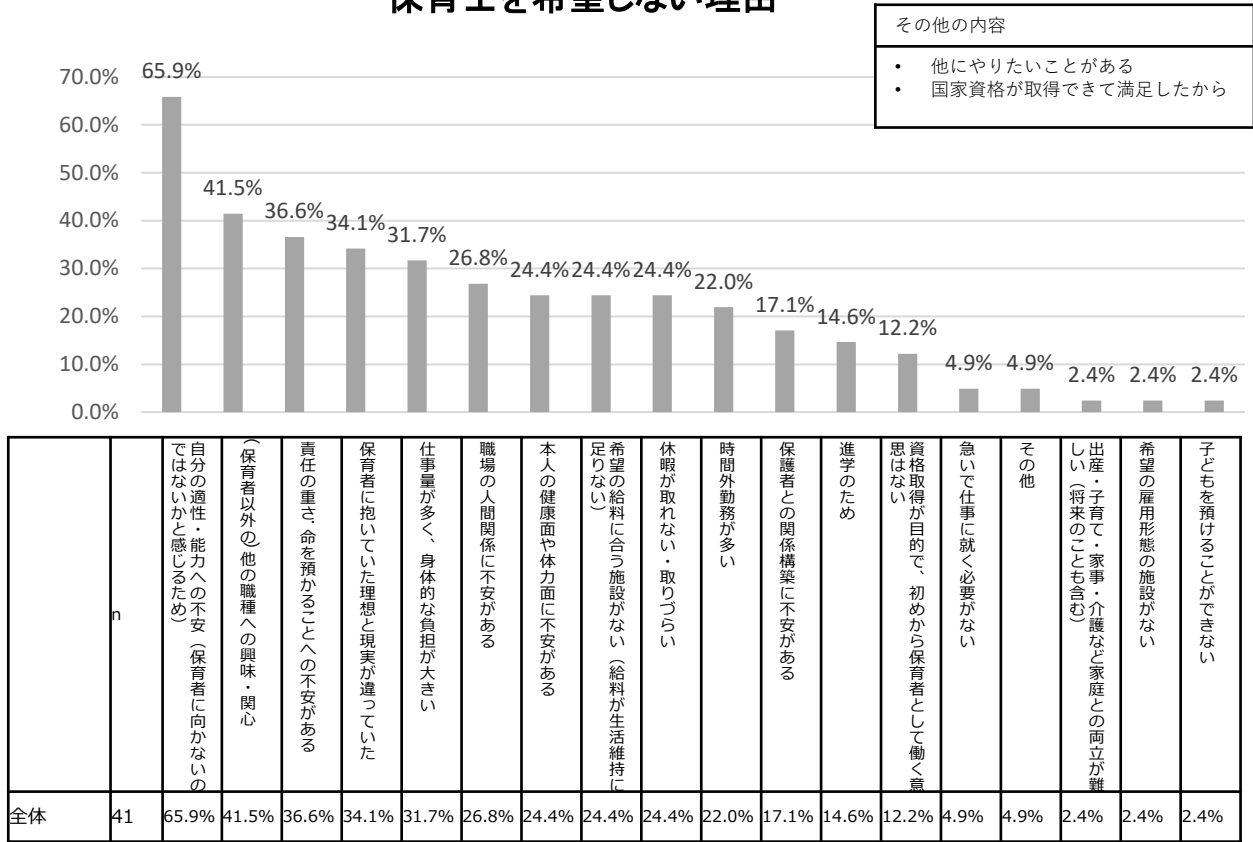
その他の内容

- 一人暮らしをしたい
- 付き合ってる人が居るため
- 生まれ、育ち、保育をまなんだ場所が長野県で他の環境に魅力を感じた
- 経験してみたい
- 県外にある、自分の好きな場所の近くで
- 働きたいから
- 県内から出たいから
- 県外にずっといたから
- 県外で就職したいと思ったから
- いろんな場所に行きたいから

Q10-4 Q10で「4 保育者(保育士、幼稚園教諭、保育教諭)としての就職を希望しない」と回答された方におうかがいします。希望しない理由は何ですか。(複数回答可)

自分の適性・能力への不安(保育者に向かないのではないかと感じるため) (65.9%)が最も多く、次いで「(保育者以外の)他の職種への興味・関心」(41.5%)となっている。

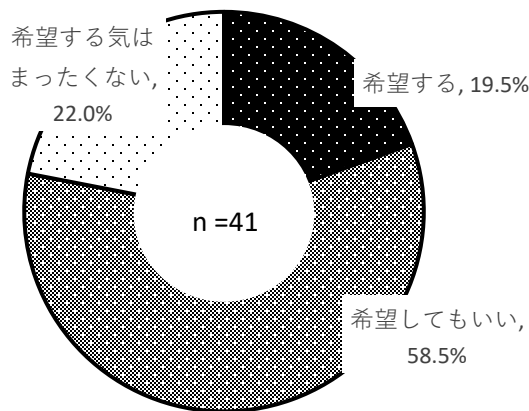
### 保育士を希望しない理由



Q10-5 Q10-4の理由が解消された場合には、保育者(保育士、幼稚園教諭、保育教諭)としての就職を希望しますか。

「希望する」が19.5%、「希望してもいい」が58.5%で合わせて78.0%となっている。

### 希望しない理由が解消された場合の保育士就職意向

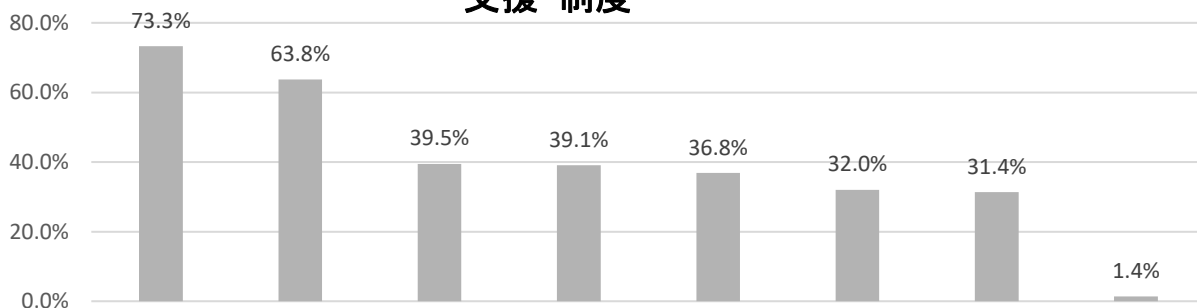


## (9) 保育者確保のための支援や制度について

Q11 どのような支援や制度があれば、保育者(保育士、幼稚園教諭、保育教諭)を目指す学生が増えると思いますか。  
(複数回答可)

「保育者の処遇(給与・賃金)」の向上が73.3%と最も多く、次いで、「保育者の労働環境(休日増、超勤の削減等)の向上」(63.8%)となっている。

### 支援・制度



	n	保育者の処遇(給与・賃金)の向上	保育者の労働環境(休日増、超勤の削減等)の向上	報道等によって広がったマイナスイメージの改善	進学のための奨学金制度の充実	職場体験など、キャリア教育の充実	保育園・幼稚園等の現場からの情報発信・PR	保育士養成校からの情報発信・PR	その他
全体	494	73.3%	63.8%	39.5%	39.1%	36.8%	32.0%	31.4%	1.4%

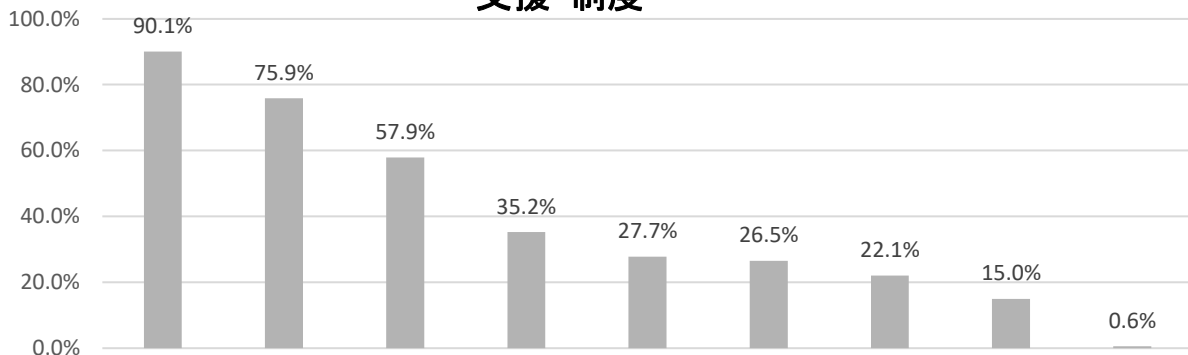
#### その他

- ・ 就業中の者が受けられる相談窓口の設置
- ・ 地域の保育所等の情報を集約・発信する窓口の設置
- ・ 保育者(保育士、幼稚園教諭、保育教諭)に関する法令等の最新情報を発信する窓口の設置
- ・ 子どもと関わる楽しさや面白さ
- ・ 実習内容をゆるくした方がいい、どの保育園や幼稚園行っても同じ実習内容がいいと思う
- ・ 日誌の書く量を減らしてもう少し実務と同じようにすること。
- ・ 保育者とは遊んでいるだけの仕事では無いことを社会全体に認識してもらう
- ・ 育の楽しさ、子どもの素敵さ
- ・ 子どもと関わる場を増やす
- ・ ほんとお金と休みがないイメージ(今も)
- ・ 保育者になるための指導方法の改善

Q12 社会全体で保育者(保育士、幼稚園教諭、保育教諭)が安定的に確保されるためには、どのような支援や制度があるとよいと思いますか。(複数回答可)

「保育者の処遇(給与・賃金)」の向上が90.1%と最も多く、次いで、「保育者の労働環境(休日増、超勤の削減等)の向上」(75.9%)となっている。

### 支援・制度



	n	保育者の処遇(給与・賃金)の向上	保育者の労働環境(休日増、超勤の削減等)の向上	ライフスタイル・ライフサイクルに合わせた制度の充実(産休・育休、長期休暇)	男性の保育者の増加	現場を離れ、ブランクができてしまったときの復職研修	保育者に関する就職・復職の相談窓口の設置	研修など、保育者としてスキルアップ、最新の保育について学ぶ場の充実	「保育者のしごと」のPR	その他
全体	494	90.1%	75.9%	57.9%	35.2%	27.7%	26.5%	22.1%	15.0%	0.6%

#### その他

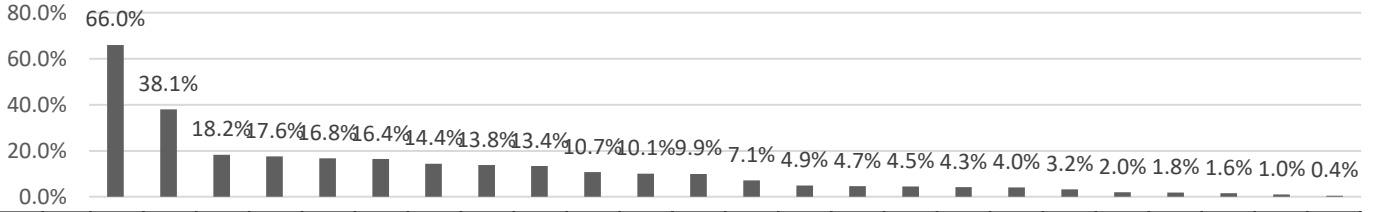
- 就業中の者が受けられる相談窓口の設置
- 地域の保育所等の情報を集約・発信する窓口の設置
- 就職・復職前研修の実施
- 労働環境
- とにかく仕事量と給与が見合っていない。現場で先輩保育士から新人保育士に対するイジメや嫌がらせ、お局、仕事でプレッシャーや圧を園長やベテラン枠が新人保育者にかけるようなことが多い。

## (10) 保育者として働く上で重要だと思うこと

Q13 保育者(保育士、幼稚園教諭、保育教諭)として働くためには、何が重要だと思いますか。  
 下記の選択肢の中から特に重要だと思うことを3つ選び、最も重要だと思うものの番号を記入してください。  
 (3つ選択)

「子どもへの愛情」が66.0%と最も多く、次いで、「職場の人間関係」(38.1%)となっている。

### 働く上で重要だと思うこと



	n	子どもへの愛情	職場の人間関係	余裕のある人員	仕事に対するやりがい	保護者との人間関係	生計の見通しが立つ賃金	福利厚生	プライベートとの両立	保育に関する知識	健康・体力	相談できる相手	仕事の量	保護者との関係	子育て中の職員への配慮	忍耐	上司の理解	家族の協力	保育の理念・方針	業務の効率化	適性・能力	教育・研修の体制	職場への通勤のしやすさ	パソコン等電子機器の操作技術	キャリアについての展望
全体	494	66.0%	38.1%	18.2%	17.6%	16.8%	16.4%	14.4%	13.8%	13.4%	10.7%	10.1%	9.9%	7.1%	4.9%	4.7%	4.5%	4.3%	4.0%	3.2%	2.0%	1.8%	1.6%	1.0%	0.4%